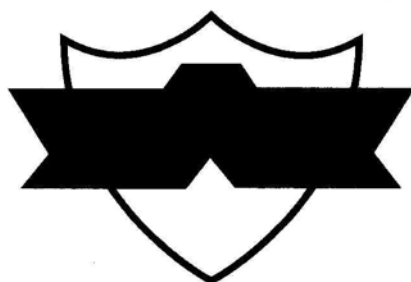


令和 8 年 度

大館市政の概要



大館市議会事務局

目 次

1 総 説

1	沿 革	1
2	市制後の主なあゆみ	2
3	名誉市民	18
4	市域の変遷	19
5	人口・世帯数の推移	20
6	人口動態	21
7	産業別就業人口	21
8	大館市行政組織機構図	22

2 議 会

1	議 員	24
2	常任委員会	25
3	議会運営委員会	25
4	議会事務局	25
5	議員報酬等	26
6	議会の活動	26

3 総 務

1	職 員 数	30
2	特別職の報酬等	30
3	旅 費	33
4	選 挙	33
5	おおだて未来づくりプラン	35
6	地域活性化対策	36

4 財 政

1	予算総括表	39
2	一般会計款別構成	40
3	一般会計財源内訳	41
4	一般会計性質別歳出	41
5	一般会計負担額調	42
6	地方交付税の推移	42
7	一般会計予算、決算の推移	42
8	一般会計地方債現在高調	43
9	財政分析	43
10	税 務	43

5 市民生活と環境

1	交通安全対策	46
2	防犯対策	46
3	消費者行政及び市民相談	46
4	墓地公園	47
5	ペット霊園	48
6	斎場	49
7	広報と広聴	49
8	環境保全対策組織	50
9	公害関係予算	51
10	居住環境の公害(鉱害を含む)に関する調査と対策について	51
11	大館市衛生処理施設	52
12	ごみ処理状況	53
13	地域資源の利活用	58
14	大館市エコプラザ	59

6 福祉厚生

1	福祉施設	61
2	福祉関係事業	64
3	生活保護	67
4	国民年金	68
5	国民健康保険	69
6	福祉医療	70
7	後期高齢者医療	70
8	保健衛生	71
9	介護保険	73

7 農林業

1	農 業	74
2	農地の移動	75
3	農業関係事業	76
4	米の生産の目安	77
5	市民菜園	77
6	農業関係団体	77
7	畜産企業の誘致	79
8	林 業	80

8 商 工 観 光

1	商業の概略	81
2	工業の概略	81
3	大館市工場等設置促進条例による指定工場の現況	82
4	商工関係事業	86
5	雇用状況・出稼ぎ対策	92
6	工業団地	93
7	観 光	95
8	移住交流	97

9 教 育 文 化

1	学校教育	98
2	秋田職業能力開発短期大学校	101
3	秋田看護福祉大学	101
4	公 民 館	102
5	栗盛記念図書館	105
6	花矢図書館	106
7	比内図書館	107
8	田代図書館	107
9	指定・登録文化財	108
10	名園・名木	109

10 建 設

1	土 木	110
2	区画整理事業	110
3	市営住宅	111
4	建築確認申請審査業務	114
5	都市下水路事業	115
6	公 園	116
7	長木川河川緑地	118
8	大館市歴史的風致維持向上計画の取り組み	120

11 上 下 水 道

1	上水道の沿革	124
2	水道施設の概要	128
3	上水道施設の概要	128
4	水道料金	136
5	水道加入金	137
6	工業用水道事業	137
7	下水道事業	139
8	農業集落排水事業	142

12 市 立 病 院

1	市立総合病院	147
2	市立扇田病院	154

13 消 防

1	消 防	157
2	消 防 団	159
3	消防関係予算(当初)の推移	160
4	火災件数と損害額	160
5	救急活動	161

14 施 設 の 概 要

	大館地域配置図	162
	比内地域・田代地域配置図	163
1	スポーツ施設	164
2	教育・文化施設	189
3	福祉・厚生施設	209
4	その他の施設	248

市 章



大館市の飛躍的發展を表わし、
両翼をひろげた形に大の字を作図
し、楯を配して端的に伸びゆく郷
土を象徴したもの。

昭和29年 7 月 1 日制定

市 の 木



秋 田 杉

昭和42年10月31日制定

市 の 花



キ ク

昭和56年11月 3 日制定

1 総 説

1 沿 革

(1) 中世から近世まで

12世紀、陸羽の奥州藤原三代隆盛のころ、この地方一帯はその支配下にあり、同氏譜代の臣河田氏の勢力下におかれた。慶長7年（1602年）、当地を領有していた秋田城之介実季は常陸の宍戸に遷され、佐竹義宣が水戸から秋田に転封された際、義宣の入国とともに家臣赤坂朝光を使って大館城を接收させたが、慶長15年（1610年）、大館が南部・津軽両藩主との軍事上の要衝であることから、小場義成（後に佐竹と改姓）を特に城代として任命した。元和6年（1620年）、一国一城の幕令が下ったが、大館はその地理的重要性から秋田・横手とともに秋田三城として存置され、その後、この地方一帯を支配発展させた。幕末戊辰の役の際、官軍に味方し南部軍の侵入によってついに落城したが、半月を経過して官軍の手により回復した。

(2) 近 代

明治4年廃藩置県、同年8月大小区の行政制度となり、第5大区扱所を設置。秋田郡比内部・鹿角を含む9小区を統括した。その後明治10年の区務改正では東大館町（1,279戸）と西大館町（394戸）の行政区に分割されたが、明治22年の町村制の施行とともに合併して町制を施行。町長・助役・収入役を置いて、今日の自治体の基礎を確立するに至った。

(3) 市 政 施 行

大館町と釈迦内村の解体合併により、昭和26年4月1日に全国で251番目、当時日本で最小の市として大館市が誕生した。その後、昭和30年3月に周辺の長木・上川沿・下川沿・二井田・真中の5村と十二所町との合併を実現し、さらに昭和42年12月に花矢町を編入合併して人口約7万8,000人となった。その後主要産業であった鉱業が、相次ぐ鉱山の閉山に伴い衰退したことなどにより、昭和60年代には人口7万人台を割ることとなったものの、平成17年6月20日には、比内町・田代町の2町を編入合併し、人口8万4,700人を擁する市となった。

近年、人口減少・高齢化が進行する中、函館・大館・仙北（角館）の「館」をつなぎりとした3D連携や、「奥州藤原氏」を縁とした横手市、美郷町、岩手県平泉町との交流など地域間連携による交流人口の拡大に取り組んできた。また、農商工業連携により企業と地元食材とのコラボを具現化させるなど、枝豆など大館ブランドの確立と世界を見据えた販路拡大を進めてきた。これらの取り組みと合わせ、北東北3県の中心に位置する地の利を生かし、観光振興の取り組みのほか、教育ツーリズムやスポーツを通じた交流の促進など、本市と思いを同じくする自治体等との連携を強化しながら、更なる交流人口の拡大に努めている。

2 市制後の主なあゆみ

年 月 日	事 項
昭和26.	4. 1 大館町と釈迦内村が解体合併し大館市制施行 人口30,056人 (5,361世帯)
	4. 23 初代市長に佐藤敬治氏が当選、市議30人当選決定
	7. 21 大水害発生
	9. 1 市立養老院開設
	10. 1 福祉事務所発足
昭和27.	4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校開設
	8. 15 国民健康保険事業が市営として発足
	11. 1 大館市教育委員会発足
昭和28.	1. 20 市立栗盛記念図書館完成
	2. 18～22 冬季国体スキー大会開催
	4. 20 山田敬藏氏が第57回ボストンマラソンにて世界新記録（2時間18分51秒）で優勝
	4. 29 片町付近の大火により137棟焼失、公立大館病院類焼（風呂屋町大火）
	8. 1 県立花岡工業高等学校開校
昭和29.	4. 1 桂城幼稚園開設
	4. 10 公益質屋開設
	7. 1 市の記念日（4月1日）及び市章を制定
	7. 13 大滝に秋田労災病院開設
	12. 20 市役所庁舎完成（総事業費5,600万円）
昭和30.	1. 1 衆楽園の寄贈を受け、同所に中央公民館を設置
	1. 16 市庁舎、旧庁舎（現ホテルクラウンパレス秋北地）からの移転完了
	2 公立大館病院が現在地（豊町）に新築移転
	3. 1 長木・上川沿・下川沿・二井田・真中の5村を編入合併（人口50,034人、8,875世帯）
	3. 31 十二所町を編入合併し、人口56,107人、9,913世帯となる
	4. 30 市長に佐藤敬治氏が再選、市議36人当選決定
	5. 3 御成町一丁目の大火により508棟焼失、大館駅類焼（御成町一丁目大火）
	12. 22 上水道通水式挙行
	12. 23 国鉄大館駅完成
昭和31.	2. 17～21 全日本スキー選手権大会開催（長根山）
	4. 1 上川沿中学校開校
	8. 18 東大館駅通りから出火し1,342棟を焼失（東大館駅前大火）
昭和33.	3. 30 国際スキージャンプ大会開催（長根山）
	4. 1 県立桂城高校創立（昭和41. 4 大館南高校に改称）
	6. 15 秋田放送大館放送局開局
	9. 30 古館、片山の両小学校を廃校し、城西小学校新設を決定（昭和34. 3. 31完成）
昭和34.	4. 1 上川沿公民館、下川沿公民館完成
	4. 30 市長に佐藤敬治氏が3選、市議36人当選決定
	10. 1 秋田総合高等職業訓練校開校（清水2丁目）
	12 花輪線立体交差新大館橋完成
昭和35.	3. 31 上水道工事完了

年 月 日			事 項
昭和35.	8.	5	市営火葬場完成
昭和36.	10.	1	大館駅前に忠犬ハチ公の銅像が完成
	10.	8	第16回秋田国体大館会場でテニス、バレーボール、バスケット種目開催
	10.	20	NHK大館テレビジョン局開局
	11.	23	市制施行10周年記念式典挙行
昭和37.	3.	30	交通安全都市宣言
	4.	1	萩の岱に県立大館商業高等学校創立（昭和38. 2 片山町3丁目へ移転）
	5.	7	川口の火災により50棟焼失
	6.	16	沼館の火災により36棟焼失
	12.	17	市民体育館完成（桂城公園内）
昭和38.	4.	30	市長に佐藤敬治氏が4選、市議36人当選決定
昭和39.	1.	16	鳳鳴高校山岳部岩木山で遭難（1人生還、4人死亡）
	3.	31	旧市町村別の9農協が大同合併、大館市農業協同組合として発足
	11.	30	沼館にし尿処理場完成
昭和40.	4.	1	二井田中学校と真中中学校を統合し、南中学校の新設を決定
	7.	20	第1次住居表示実施（御成町地区）
昭和41.	11.	11～20	第88回秋田県種苗交換会開催
	2.	13	公立大館病院の事務組合が解散し、大館市立総合病院となる
	5.	22	大館電報電話局新築完了、電話自動化となる
	5.		上水道事業第1期拡張工事着工
	7.	13	大館勤労青少年ホーム完成
	8.		公益質屋と母子寮が大館市から社会福祉法人大館感恩講に移管
昭和42.	3.	1	第2次住居表示実施（国道7号西側地域）
	3.	15	軽井沢に市立養護老人ホーム完成
	4.	1	県立大館南高等学校開校
	4.	28	市長に石川芳男氏が当選、市議36人当選決定
	12.	21	花矢町を編入合併し、人口78,754人、18,157世帯となり県内第2の市となる
昭和43.	1.	22	南中学校新校舎完成（真中中学校と二井田中学校を統合）
	4.	1	県立花岡工業高等学校を県立大館工業高等学校に改称
	4.		花岡中学校新校舎完成
	8.	6	明治百年を記念し鳳凰山で第1回「大文字焼き」を実施
	10.	12	御成町二丁目の大火により209棟焼失、市制後4度目の大火となる（御成町大火）
	12.	21	西大橋完成
昭和44.	4.	5	同和花岡、日鉱釈迦内両鉱山の鉱さいパイプ流送（能代浅内浜まで）事業が開始
	10.	4	雪沢に身体障害者福祉センター「四十八滝」オープン
	10.	18	市立総合病院新築完了（総事業費6億9,500万円）
	11.	13	雪沢に県立老人福祉センター完成
	12.		第三中学校と長木中学校を統合し、東中学校新設を決定
昭和45.	1.	3	矢立峠に市民保養所「峠の家」完成（総事業費6,457万円）
	2.	1	社会福祉法人大館感恩講が大館乳児保育園を設置
	3.	31	成章小学校曲田分校を廃校、開校92年の歴史を閉じる

年 月 日			事 項
昭和45.	6.	5	城南小学校新校舎完成
	8.	15	武道館新築完了（桂城公園内）
	10.	1	市制施行20周年記念式典挙行、市民歌を制定
昭和46.	3.	31	釈迦内小学校沼館分校廃校、桂城小学校に編入
	4.	25	市長に石川芳男氏が再選、市議36人当選決定
	6.	10	大館市農協と花矢農協が合併
	7.	15	勤労青少年体育施設50mプール完成
昭和47.	8.	20	卸町に公設総合地方卸売市場完成（総事業費 3 億1,710万円）
	3.		上水道事業第 1 期拡張工事完了（総事業費 2 億7,500万円）
	3.	31	成章小学校合津冬期分校を廃止し、成章小学校に編入
	7.	24	大館周辺広域市町村圏組合発足（1 市 2 町）
	10.	1	東中学校新校舎完成（第三中学校と長木中学校を統合）
	11.	1	天然記念物比内鶏、声良鶏、金八鳥の三鶏資料収蔵の「山田記念館」完成
	11.	15	県立大館桂高等学校新校舎へ移転完了（餅田地区）
	12.	25	曲田橋完成（総事業費5,772万円）、つり橋除去される
	1.	31	大館比内森林組合発足
	3.	20	花岡鉱山堂屋敷鉱床を廃坑、60年の歴史を閉じる
昭和48.	4.	1	大館周辺広域市町村圏組合常備消防発足
	6.	16	有浦スポーツ館完成（総事業費962万円）
	10.	1	第 4 次住居表示実施（餅田地区及び清水町、片山、根下戸地区一部変更）
	10.	6	比内前田地区に「市民の森」オープン（面積70ha、総事業費 1 億752万円）
	11.	12	比内山麓大規模農道開通（総延長10,897m、架橋を含む総事業費12億3,555万円）
	11.	26	十二所公民館（出張所併設）が完成（総事業費2,551万円）
	1.	17	広域消防本部（署）庁舎完成移転（根下戸新町、総事業費7,663万円）
	4.	1	県立大館東高等学校開校（県立大館工業高、南高の定時制課程を統合）
	5.	17	桂城小学校新校舎落成記念式を挙行
	6.	1	中央公民館完成（旧桂高校跡地）
昭和49.	〃		桂城スポーツ館開館（総事業費1,237万円）
	10.	15	県立大館少年自然の家開館（総事業費 2 億6,420万円）
	11.	20	桂城幼稚園完成（総事業費6,320万円）
	3.	15	道目木更生園開園
	3.	24	食肉センター完成（総事業費 1 億4,169万円）
	4.	27	市長に石川芳男氏が 3 選、市議36人当選決定
昭和50.	11.	16	上水道第 2 次拡張事業中山取水場建設着工
	11.	19	大館比内鶏原種鶏農場完成
	1.	7	長根山総合運動公園造成工事着工
	1.	24	有浦保育園完成（総事業費4,825万円）
昭和51.	3.	28	休日急患診療所開設
	4.	1	南小学校開校（二井田小、杉沢小、真中小の 3 校統合）
	5.	15	上水道第 2 次拡張事業山館浄水場建設着工
	7.	1	市役所庁舎増築工事完了（総事業費 2 億4,030万円）

年 月 日	事 項
昭和51. 7. 1	県立大館東高等学校新校舎完成
〃	特別養護老人ホーム「水交苑」完成
7. 31	上水道第2次拡張事業中山取水場完成
10. 2	中央公民館30周年記念式典挙行
11. 12	真中公民館完成
11. 16	二井田公民館完成
12. 17	有浦小学校全焼
昭和52. 5. 10	地盤沈下に伴う松峰地区集団移転完了、記念式典挙行（移転戸数102戸）
5. 20	第28回秋田県植樹祭開催（市民の森）
6. 1	矢立診療所廃止
11. 8	矢立公民館（総事業費2,227万円）、矢立地区コミュニティー体育館（総事業費1,696万円）新築完了
昭和53. 1. 31	松木鉦山閉山
3. 31	し尿処理場改造増設工事完了（総事業費1億9,700万円）
5. 2	秋田犬会館完成（総事業費7,700万円）
5. 4	二井田野球場完成（総事業費1,271万円）
5. 26	市立総合病院創立100周年記念式典挙行
9. 10	下川沿公民館新築完了（総事業費4,176万円）
10. 5	上水道第2次拡張工事完了（総事業費43億6,400万円）
10. 21	有浦小学校新校舎完成（総事業費6億5,050万円）
10. 28	釈迦内保育園改築工事完了
昭和54. 1. 10	花岡体育館完成（総事業費1億1,141万円）
1. 16	成章中学校新築工事完了
4. 1	大館広域斎場完成、業務開始（総事業費1億8,100万円）
4. 22	市長に畠山健治郎氏が当選、市議36人が当選決定
6. 30	大館市史第1巻刊行
7. 1	長根山野球場オープン（総事業費2億6,898万円）
10. 8	広域ごみ処理センター完成
10. 27	上川沿公民館完成（総事業費6,018万円）
12. 1	老人いこいの家「清和荘」開設（総事業費7,675万円）
12. 19	第一中学校新築工事完了（総事業費11億6,300万円）
昭和55. 3. 28	市立総合病院放射線棟完成（総事業費9億2,000万円）
4. 1	上川沿中学校を第一中学校に統合
5. 11	花岡体育館附属弓道場完成（総事業費788万円）
6. 17	長根山運動公園第1期分テニスコートオープン（総事業費2,945万円）
6. 19	大館矢立ハイツ（秋田勤労総合福祉センター）オープン（総事業費6億円）
10. 1	大館市高齢者事業団設立（昭和55.12大館市シルバー人材センターに改称）
10. 16	「大館曲げわっぱ」が国の伝統的工芸品に指定される
10. 30	長木公民館新築完了（総事業費6,100万円）
11. 1	東台地区（赤館含む）住居表示実施
11.6～10	第1回大館市産業祭開催

年 月 日	事 項
昭和56.	3. 25 保健センター完成（総事業費 1 億7,857万円）
	3. 31 長根山陸上競技場スタンド完成（総事業 6 億1,723万円）
	4. 1 真中農林業多目的研修集会施設オープン（総事業費7,519万円）
	5. 1 厚生省から障害者福祉都市の指定を受ける
	5. 30 市民菜園開園（南ヶ丘・有浦）
	6. 7 二井田運動場完成（総事業費1,430万円）
	9. 28 環境浄化都市宣言
	10. 26 長木小学校改築完了（総事業費 5 億6,420万円）
	10. 31 長根山シャンツェ完成（総事業費8,121万円）
	11. 3 市制30周年記念式典挙行、市の花に「キク」を指定
	11. 5 長木公民館雪沢分館完成（総事業費4,318万円）
	11. 16 市立総合病院神経精神棟（110床）改築完成（総事業費 5 億5,323万円）
	11. 27 東北縦貫自動車道小坂インターチェンジ増設促進期成同盟会発足
	11. 30 桂城児童センター完成（総事業費6,030万円）
	12. 19 釈迦内体育館完成（総事業費 2 億6,172万円）
昭和57.	2. 23 身体障害者福祉センター完成（総事業費 1 億2,020万円）
	3. 8 沼館に広域ごみ焼却場完成（総事業費16億9,850万円）
	3. 15 花岡小学校改築完了（総事業費 2 億4,900万円）
	〃 働く婦人の家完成（総事業費 1 億7,300万円）（平成13. 4 女性センターに改称）
	3. 28 成章小学校葛原分校廃校式、開校103年の歴史を閉じる
	6. 23 大館～盛岡間に東北新幹線リレーバス運行
	6. 27 市民文化会館開館（総事業費24億2,421万円）
	9. 25 矢立育成園完成（総事業費 2 億6,000万円）
	10. 1 白沢通園センター完成（総事業費2,893万円）
	10. 15 粕田へき地保育所完成（総事業費2,636万円）
	12. 20 城西体育館完成（総事業費 2 億6,675万円）
昭和58.	3. 10 農業会館完成（総事業費 1 億1,403万円）
	3. 25 中央図書館完成（総事業費 4 億7,600万円）
	〃 大館広域交流センター完成（総事業費 7 億2,100万円）
	4. 24 市長に畠山健治郎氏が再選、市議36人当選決定
	5. 26 日本海中部地震発生（震源秋田沖・マグニチュード7.7）
	9. 8 大館市と比内町の境界を変更
	10. 28 市立総合病院第3次増改築整備事業着工（総事業費12億4,820万円）
	11. 1～7 第106回秋田県種苗交換会開催
	11. 30 真中公民館完成（総事業費4,223万円）
	12. 12 非核・平和都市宣言（昭和59. 8. 6 非核・平和都市宣言碑除幕式）
	12. 19 市立第二中学校校舎完成（総事業費 7 億2,954万円）
	12. 21 城南保育園完成（総事業費 1 億8,355万円）
昭和59.	2. 27 十二所体育館完成（総事業費 3 億1,291万円）
	3. 15 粕田沢農林業多目的研修集会施設完成（総事業費5,192万円）
	3. 20 母子寮「白百合ホーム」完成（総事業費 2 億2,692万円）

年 月 日	事 項
昭和59. 5. 10	第35回全県植樹祭開催（岩神）
5. 31	秋田杉桶樽が伝統的工芸品に指定される
8. 1～ 4	全国高校総合体育大会ウエイトリフティング競技開催
8. 17～20	全国高校総合体育大会水泳競技開催
12. 1	広域し尿処理施設完成
12. 25	下川沿中学校完成（総事業費 4 億6, 200万円）
昭和60. 3. 31	同和鉱業㈱小坂鉄道花岡線廃止
4. 1	花岡公民館完成（総事業費 1 億1, 816万円）
5. 1	第 1 回大館市植樹祭開催
6. 29～30	日中友好親善の集いを開催
7. 26～28	第34回秋田県中学校総合体育大会開催
11. 6	金属工業危機突破全国大会開催
11. 15	勤労身体障害者教養文化体育施設「サン・アビリティーズ大館」完成
11. 29	真中保育所完成（総事業費5, 700万円）
昭和61. 1. 17	日本海沿岸縦貫道秋田県北部内陸ルート期成同盟会設立
1. 27	中央公民館完成（総事業費 6 億2, 000万円）
3. 3	大館市鉱山緊急対策本部設置
7. 30	東北縦貫自動車道全線開通
8. 1	特別養護老人ホーム「神山荘」完成（総事業費 3 億3, 551万円）
10. 1	県道大館十和田湖線「樹海ライン」全線開通
11. 1	同和鉱業㈱花岡鉱業所が合理化により、花岡鉱業㈱として再スタート
12. 2	第 1 回秋田県非核平和サミット開催
12. 5	雪沢保育所完成（総事業費4, 800万円）
12. 22	スポーツ都市宣言
昭和62. 3. 19	「小さな親切」実践都市宣言
3. 31	釈迦内鉱山閉山
4. 1	下水道事業、農業集落排水事業スタート
〃	小規模授産施設「白沢ミニ通所センター」オープン
4. 26	市長に畠山健治郎氏が 3 選、市議32人が当選決定
5. 22	大館共同福祉施設「メゾン・ドゥ・レスポワール」完成
5. 26～6. 9	第33回秋田県高等学校総合体育大会開催（6 種目）
6. 26	福祉バンク大館設立
6. 30	鉱さいパイプ流送事業が停止
9. 1	第25回秋田県総合防災訓練開催
12. 1	老人福祉センターオープン
12. 19	釈迦内小学校完成（総事業費 5 億1, 493万円）
昭和63. 2. 13	国道 7 号大館鷹巣地区高規格幹線道路整備促進期成同盟会設立（大館・鹿角・北秋田 2 市 7 町 1 村）
2. 20	二井田保育所完成（総事業費 1 億4, 173万円）
2. 24	釈迦内児童センター完成（総事業費5, 215万円）
3. 2	花岡地区入会権確認請求事件にかかる裁判で和解

年 月 日	事 項
昭和63.	7. 1 市役所の行政組織機構を改正（部制導入）
	〃 二井田市民集会所「ハチ公荘」オープン
	12. 15 矢立中学校新校舎完成
平成元.	1. 25 個人情報保護条例施行
	7. 1 養護老人ホーム「成章園」オープン
	8. 18 第1回「米の日」事業実施
平成 2.	3. 7 市立総合病院附属高等看護学院閉校式を挙行
	3. 12 全庁的OA化スタート（住民基本台帳ほか）
	3. 19 大館八幡神社が国の重要文化財に指定
	3. 24 矢立小学校新校舎完成
	6. 9 市役所土曜（第2、第4土曜日）閉庁実施
	9. 30 十二所地区上水道拡張工事完了
	10.8～16 国際交流事業「国連本部訪問等平和旅行団」実施
	10. 12 東北縦貫自動車道小坂インターチェンジ開通
	12. 27 ふるさと創生大滝温泉蘇生事業「湯夢湯夢の里」オープン
	12. 10 労働福祉会館「アポックセンター」完成
平成 3.	1. 30 ペット霊園完成
	3. 20 第三次大館市総合開発計画決定
	3. 31 長走小学校を廃校し、矢立小学校へ統合
	4. 21 市長に小畑元氏が当選、市議30人が当選決定
	7. 1 秋田短期大学誘致準備室を設置
	9. 28 台風19号本市を直撃、被害総額約8億1,000万円
	10. 1 初の女性消防団員誕生
	11. 19 二井田大橋開通
	11. 21 市制施行40周年記念式典挙行
	12. 16 デイサービスセンター「のぎく」オープン
平成 4.	3. 25 成章小学校新校舎完成
	〃 シルバー人材センター完成
	3. 31 釈迦内公民館完成
	4. 1 公共下水道一部共用開始
	〃 県立大館高等学校開校（県立大館南高等学校と県立大館東高等学校が統合）
	6. 29 総合福祉センターオープン
	9. 1 学校週5日制がスタート
平成 5.	1. 5 湯夢湯夢の里温水プールオープン
	3. 3 最初の名誉市民に石田博英氏が選ばれる
	3. 19 敬老都市宣言
	4. 1 指定ごみ袋によるごみ分別収集スタート
	〃 市役所完全週休2日制を実施
	〃 あやめ苑オープン
	4. 13 秋田職業能力開発短期大学校開校
平成 5.	8. 13 県北16市町村が米代川流域地方拠点都市地域に指定される

年 月 日	事 項
平成 5. 10	大冷害（冷夏、長雨により県北地域の米作況指数は69）
3. 17	市営水門前住宅改築完了
平成 6. 3. 22	下川沿保育所改築完了
3. 29	花岡鉱業(株)深沢・松峰鉱山閉山
4. 1	大館スカイパーキングオープン
9. 30	同和鉱業(株)小坂鉄道小坂線旅客部門廃止
10. 21	大館能代空港起工式
11. 6	大館ふるさと会発足
12. 14	秋田桂城短期大学文部省第1次申請認可
3. 28	大館西道路側道開通(国道7号片山～沼館)
平成 7. 3. 31	雪沢中学校を廃校し、東中学校に統合
4. 1	二ツ山総合公園テニスコートオープン
4. 6	成章学校給食センター業務開始
4. 23	市長に小畑元氏が再選、市議28人が当選決定
6. 1	大館矢立ハイツがリニューアルオープン
8. 26～27	第22回東北総合体育大会ウエイトリフティング競技開催
11. 16	大館能代空港ターミナルビル株式会社設立
1. 19	大館地域職業訓練センターオープン
平成 8. 3. 8	道の駅「やたて峠」オープン
3. 21	雪沢小学校新校舎完成
4. 1	市立総合病院外来医事業務全面委託実施
4. 15	秋田桂城短期大学開学
4. 25	大館郷土博物館オープン
4. 10	西地区学校給食センター業務開始
平成 9. 4. 25	大館郷土博物館に子ども科学室を併設
7. 1	塩化ビニール系ごみの分別収集開始
8. 1	大館樹海ドームオープン
10. 1	公文書の一部公開、文書ファイリングシステム一部導入
〃	二ツ山総合公園多目的運動広場オープン
12. 1	勤労者総合福祉センター「サンクレア大館」オープン
4. 1	学区を再編し、上川沿小学校を移転改築
平成10. 〃	大館市休日夜間急患センターオープン
〃	大館市養護老人ホーム「成章園」を大館市社会福祉事業団へ委託
〃	大館市民文化会館を大館市文教振興事業団へ委託
4. 3	長走風穴館オープン
7. 18	大館能代空港開港
12. 5	大館西道路・大館南バイパス開通
2. 1	秋田県北部老人福祉総合エリア一部入所開始
平成11. 3. 16	大館市地域振興券交付開始
4. 1	大館市情報公開条例施行

年 月 日			事 項
平成11.	4.	1	大館市環境基本条例・環境保全条例施行
	〃		市立総合病院に自動再来受付機導入
	4.	25	市長に小畑元氏が3選、市議28人当選決定
	7.	1	I S O推進本部を設置
	〃		西暦2000年問題対策本部を設置
	8.	1	秋田県北部老人福祉総合エリアのコミュニティーセンターオープン
	8.	5	長木ダム建設、県公共事業再評価審議委員会で「休止」に
	9.	11	日本海沿岸東北自動車道大館一小坂間、中心杭打ち式挙行
	9.	30	秋田県北部老人福祉総合エリア第1期工事完了
	11.	1	大館能代空港東京便1日2往復運航開始
	11.	12	秋田県北部エコタウン計画を国が承認
	12.	4	J R 東日本花輪線大滝温泉駅無人化
平成12.	1.	5	大館市環境方針を表明、環境マネジメントシステム運用開始
	2.	4	緊急経済対策連絡調整会議設置
	4.	1	介護保険制度スタート
	〃		十二所・花岡両出張所の取り扱い業務変更
	〃		インターネットで「e-HOT函」開始
平成13.	8.	24	市の環境マネジメントシステムがI S O14001の第三者認証を取得
	12.	23	都市計画道路大館駅東大館線（大館駅一弁天町間）供用開始
	1.	24	渋谷区と災害時相互応援協定を締結
	1.	28	松木地下道開通
	3.	1	2人目の名誉市民に山田敬蔵氏が選ばれる
	3.	29	コンポストセンター完成
	4.	1	市制施行50周年記念式典挙行
	6.	14	国道7号線「大館新橋」架け替え工事完了
平成14.	10.	27	中央図書館創立100周年記念式典挙行
	10. 31～11. 6		第124回秋田県種苗交換会が大館樹海ドームで開催
平成15.	12.	4	都市計画道路大館駅東大館線の弁天町一常盤木町区間が開通し、大館駅と東大館駅が直結
	2.	25	釈迦内保育園改築完了（総事業費1億7,000万円）
	4.	1	市の行政組織機構改正
	4.	15	城西地区学校給食センター業務開始
	4.	29	山田記念ロードレース大会が第50回を迎える
平成16.	8.	5	住民基本台帳ネットワークシステム稼動
	2.	3	市営前田住宅新築完了（総事業費3億5,108万円）
	4.	27	市長に小畑元氏が4選、市議28人当選決定
	7.	14	比内町・田代町・小坂町と任意合併協議会を設置
平成17.	10		冷害（低温・日照不足により県北地域の米作況指数は88）
	12.	20	秋田ウッド株式会社が操業開始
	2.	17	大館市・田代町合併協議会設置
平成18.	4.	1	粗大ごみ収集有料化を実施

年 月 日			事 項
平成16.	4.	1	コミュニティバス「さわやかみなみ号」運行開始
	〃		大館市・田代町合同国民体育大会準備室設置
	〃		秋田県北木材センターが操業開始
	7.	1	大館市・田代町合併協議会に比内町が参加
平成17.	3.	29	大館駅自由通路「若草ロード」開通
	4.	1	秋田看護福祉大学開学（秋田桂城短期大学を4年制に改組）
	〃		県立大館国際情報学院開学（県立大館商業高等学校を母体に県立中学校を併設）
	4.	18	高館公園テニスコート開設（人工芝コート16面、総事業費9億5,929万円）
	6.	20	比内町・田代町を編入合併し、人口84,701人、30,691世帯となる
	〃		市議、在任特例により63人となる
	7.	1	大館市樹海体育館開館（総事業費33億7,600万円）
	8.	1	大館クリーンセンターが本格稼動
平成18.	1.	5	平成18年豪雪により、災害（豪雪）対策本部設置（最大積雪量115cm、除雪費6億6,700万円）
	2.	28	市営南町住宅新築完了（総事業費2億5,090万円）
	3.	19	三岳小学校閉校
	3.	27	デイサービスセンター大館南竣工
	4.	1	消防署比内分署が救急業務を開始
	5.	13	犬都記念公園ドッグラン開園
	6.	30	比内公民館味噌内分館の新築完了
平成19.	1.	25	二井田公民館の新築完了
	3.	1	消防署田代分署が救急業務を開始
	3.	6	花岡保育所の新築完了（花岡幼稚園を閉園し、花岡保育所と統合）
	3		大館市国民保護計画策定
	4.	1	助役を廃止して副市長を置く
	4.	22	市長に小畑元氏が5選、市議30人当選決定
	8.10～18		秋田県大館市アートプロジェクト ゼロダテ／大館展2007を大町空き店舗で開催
	9.	14	市立総合病院高層棟完成
	9.	17	記録的な豪雨のため「大館市豪雨災害対策本部」を設置（被害額5億6,330万円）
	9.	20	市道有浦東台線暫定供用開始
	9.	29	秋田わか杉国体開会（大館市開催種目：ソフトテニス、バレーボール）
	10.	23	比内地鶏ブランドを守る緊急対策本部を設置
	11.	5	有浦児童会館改築オープン
	12.	15	大館樹海ドーム入場者数300万人突破
平成20.	3		大館市地域防災計画修正
	3.	25	北地区学校給食センター竣工（総事業費6億3,057万円）
	4.	1	市の組織・業務を一部変更
	〃		市立病院に病院事業管理者を置く（地方公営企業法の全部適用）
	〃		山田・越山小学校を山瀬小学校に、岩野目小学校を早口小学校に統合
	〃		後期高齢者医療制度スタート
	〃		市庁舎にIP電話システム導入

年 月 日	事 項
平成20. 4. 22	地域防災計画に基づき株式会社東北電力等と災害協定を締結
5. 7	いとく大館ショッピングセンター内に市民サービスセンターを開設
6. 14～16	天皇皇后両陛下が第59回全国植樹祭に出席のため道目木更生園などを訪問
7. 20	大館能代空港開港10周年記念感謝祭の開催
9	財政健全化法に基づく健全化判断比率、公営企業会計の資金不足比率の算定・公表
12. 22	市立総合病院増改築工事の竣工式典を開催
〃	平成20年度使用済小型電気電子機器の回収モデル事業のモデル地域に決定
12. 25	有浦東台線小柄沢墓園付近の2車線化等の完成により全線供用開始
平成21. 1. 15	比内公民館がリニューアルオープン
3. 24	大館市農業公社を設立
4. 1	市の組織・業務を一部変更（産業部内に地域振興課の新設など）
〃	十二所北地区農業集落排水施設の供用開始
〃	ふれあいセンターやまびこ内に「成章保育ルーム森のおうち」を開所
7. 31	大館市バイオマスタウン構想認定
8. 8	観光物産プラザ開設（ホテルクラウンパレス秋北 1階）
8. 16	映画「HACHI」にちなみ鳳凰山大文字焼きで犬文字を8分間実施
9. 1	大館市定住自立圏中心市宣言
〃	有浦保育園分園を桂城幼稚園内に開設
11. 17	弘前大学専門医養成病院ネットワークに関する協定を締結
12. 17	大館市定住自立圏形成方針策定
平成22. 1	旧山田小学校の廃校舎利活用として生ハム工場（白神フーズ(株)）が操業開始
3. 15	市有林無断伐採の訴えの提起に係る議案の可決、訴訟へ
3. 16	大館市定住自立圏共生ビジョン公表
3. 24	大館市食育推進計画策定
3. 31	桂城幼稚園閉園
4	大館市観光基本計画「ウェルカム大館プラン」を策定
〃	携帯電話を利用する「緊急時情報一斉配信システム」が稼動
4. 1	市の組織・業務を一部変更（建設部管理課の廃止など）
〃	秋田三鶏記念館開設
〃	ハチ公小径（こみち）開通（旧正札竹村跡地一部）
8. 1	市立病院広報「おおだて病院だより」の創刊
8. 7	大町地区優良建築物等整備事業（市営大町住宅建てかえ）の工事に着手
9	地域づくり協働推進支援事業（地域づくり応援プラン）に42団体を採択
11	菅谷地地区に養豚企業（株）シムコの誘致が決定
11. 2	比内公民館が文部科学大臣表彰を受賞
11. 30	市内全域が大館どぶろく地域活性化特区に認定
12. 4	東北新幹線新青森駅全線開通により、大館駅で各種イベントを開催
12. 17	ハチ公小径にフードエリアがオープン
12. 20	大館市地域おこし協力隊2名の辞令交付、大葛地区で活動開始
平成23. 1. 4	大館能代空港の大阪便が廃止
2. 11～13	市民文化会館で、おおだて映像計画が制作した映画「ハナばあちゃん!!わたしのヤ

年 月 日	事 項
	マのカミサマ」が上映
平成23. 2. 15	地域の事業所とともに高齢者などの安否確認を行う大館市見守り隊が発足
3. 11	午後2時46分 東北地方太平洋沖大地震発生 大館市 震度4（東日本大震災発災）
3. 24	大館鳳鳴高校が第83回選抜高等学校野球大会に21世紀枠で初出場。強豪天理高校に0－8で敗れる
3. 25	有浦保育園がリニューアルし開園式と卒園式を開催
3.31～4.30	岩手県山田町へ災害支援として、秋田県とともに市職員を派遣（職員28人 活動期間28日）
4. 1	秋田県内陸北部を震源地とする地震発生 大館市 震度5強
〃	旧正札竹村新館B棟にあきた結婚支援センター北センターなどの県関連施設が開設
4. 24	市長に小畑元氏が6選、市議28人当選決定
7. 1	大館市観光大使に4氏を任命
7.1～9.9	岩手県大船渡市へ災害支援として、能代市・鹿角市・北秋田市・三種町・八峰町とともに市職員を派遣（職員20人 活動期間80日）
7. 11	関東圏からの焼却灰に放射性セシウムが含まれていることが判明
7. 23	市制施行60周年記念式典を挙行、元国連事務総長の明石康氏が名誉市民（議決6. 17）
8.2～ 4	高館テニスコートで北東北インターハイの女子ソフトテニスが開催
9. 1	TKマンション大町に入居開始
10. 1	北地区コミュニティセンター（旧サンクレア）の開設
10. 3	越山地区に地域おこし協力隊2名が着任
10. 26	市立総合病院で災害時トリアージ訓練を実施
11. 21	被災地を元気にする大館市議会有志の会22名が岩手県大船渡市できりたんぽの炊き出しボランティアを実施
12. 21	兵庫県篠山市と災害時相互応援協定を締結
平成24. 2. 19	十二所公民館移転改築工事の竣工式典
3. 31	雪沢保育所、大館市森林整備公社、湯夢湯夢の里の温水プールとその休憩所、比内スキー場を廃止
4. 1	大葛小学校が東館小学校に統合
〃	市立総合病院が入院診療報酬の定額支払い方式となるDPC対象病院へ
〃	JR大館駅、いとく大館ショッピングセンターに観光案内所を移転オープン
4. 2	市立2病院で医療費のクレジット支払いを導入
5. 20	市立総合病院に災害派遣医療チーム（DMAT）隊員を設置
5. 22	大館市農業ビジョン（大館市農業振興計画）を作成
5. 23	大館警察署と災害時協定を締結
5. 30	菅谷地地区に株式会社シムコの養豚農場、大館GGPセンターが竣工
6. 1	東北初となるエコ・アクション・ポイント事業を開始
6. 15	二井田工業団地の木村食品工業大館工場の野菜パック工場の増設が完了。操業開始
7. 26	ロシア連邦プーチン大統領に贈呈する秋田犬「ゆめ」の出発式を実施
8.17～19	平成24年度国民体育大会東北ブロック大会兼第39回東北総合体育大会ソフトテニス、バスケットボール競技が高館テニスコート、樹海体育館で開催
8. 20	大館市防災連絡協議会を設立（大館市・自衛隊・大館警察署・大館市消防本部）

年 月 日	事 項
平成24. 8. 21	大館市本庁舎建設検討委員会を設置
10. 13～14	本場大館きりたんぽまつり in 大館樹海ドームを開催。初のドーム開催で8万5,000人の来場者。大盛況のうちに終了
10. 16	桂城小学校耐震補強工事が完成
10. 20	三重県津市の近鉄久居駅前に上野英三郎博士と忠犬ハチ公の銅像が建立。ハチ公の縁を契機に渋谷区・津市と3都市間で交流を深めることを確認
10. 31	東京都港区と間伐材を初めとした国産材の利用促進に関する協定を締結
11. 1	二井田工業団地のニプロの人工肺関連装置の研究、開発のための第6工場が操業開始。同団地の東北センバ大館工場が操業開始
〃	昭和木材株式会社が松木境で東北支店・プレカット工場を操業開始
〃	上川沿・川口・長木小学校の放課後子ども教室に放課後児童クラブを併設
12. 19	東中学校耐震補強工事完了
平成25. 1. 10	地域応援プランによる活動で、釈迦内地区まちづくり協議会の「釈迦内サンフラワープロジェクト」活動が地域づくり総務大臣表彰の団体表彰受賞決定
1. 18	市立総合病院が公益財団法人日本医療機能評価機構による認定病院に登録
1. 31	地域応援プランによる、釈迦内上・中通り町内会の「親水公園」活動が国土交通省の手づくり郷土賞の一般部門受賞決定
2. 8	成章中学校体育館改築工事完了
2. 19	平成22年度からのふるさと・キャリア教育の取り組みが認められ、キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰を受賞
3. 28	小柄沢墓園拡張工事（工期：23年度～24年度）が完成。規制墓地300区画と駐車スペース79台分を増設
4. 1	行政組織機構の改正（福祉部の創設、子ども課の新設、税務課・収納課を市民部へ移管など）
〃	秋田県内初となる大館市ご当地ナンバー交付開始（デザイン「秋田犬に鳳凰山」）
4. 15	比内地鶏糞処理施設「ヒナイドリームセンター」の竣工式を開催
6. 1	市立総合病院が里帰り出産の月ごとの人数制限を撤廃
6. 20	市議会が本庁舎建設に関する特別委員会を設置
8. 9	豪雨災害発生。災害救助法が適用されるほどの大災害となり、被害は3,000箇所を超えた。被害額約60億円
9. 16	台風18号災害が発生。被害額約2億4,000万円
10. 1	秋北バスターミナルが廃止
10. 12～14	秋田デスティネーションキャンペーン（10月～12月）の目玉イベントとして、第41回本場大館きりたんぽまつり開催、県内外から11万6,000人が来場
11. 30	日本海沿岸東北自動車道「大館北IC～小坂JCT」間、延長16.1kmが開通
12. 14	弘前大学との協定で開設された「大館・北秋田地域医療推進学講座」が市立総合病院を会場に「FUTURE DOCTOR SEMINAR IN大館」を開催
12. 24	上川沿公民館が旧交流センターへ移転
平成26. 2. 14	雪沢地区、長走地区で光ファイバーを利用したサービス提供開始（光ブロードバンド整備事業）
3. 22	雪沢小学校閉校

年 月 日	事 項
平成26. 4. 1	雪沢小学校を長木小学校へ統合
〃	釈迦内・十二所・東館・西館保育園、及び15体育施設、8 スポーツ公園施設の管理・運営を指定管理者に変更
〃	行政組織機構の改正（防災対策室を廃止し、危機管理課を新設。スポーツ課をスポーツ振興室に再編など）
6. 27	空き公共施設利活用の取り組みが「全国の地方分権優良30事例」に選出
7. 1	第二中学校の防災教育が「安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞
7. 10	茨城県常陸大宮市と災害時相互応援協定を締結
8. 1	大葛地域で集中豪雨発生（住家床下浸水5棟、非住家浸水4棟など）
8. 1～22	本庁舎建設に関するパブリックコメントを募集。1,090人から意見が寄せられる
9. 12	平成26年産米の概算金が過去最低水準で決定される（あきたこまち60キログラム当たり8,500円など）
10. 4～11. 3	第29回国民文化祭・あきた2014開催（大館市ではマーチングバンド・バトントワリングの祭典、ゴスペル音楽祭in大館2014、食文化フォーラム、ゼロダテ美術展）
10. 20	釈迦内産業団地において事業所が操業を開始
平成27. 2. 21	下川沿公民館の改築工事竣工
2. 14	豪雪により災害警戒対策室設置（累計降雪量658.5cm、除雪費10億円超）
3. 24	秋田銀行との間において、子育て支援ならびに定住促進に関する協定を締結
3. 31	第二中学校、花岡中学校、矢立中学校が閉校
4. 1	北陽中学校が開校
〃	行政組織機構の改正（新庁舎建設推進室、総合戦略推進室の新設など）
〃	高機能消防指令センターが完成。専任通信指令員を配置した指令業務を開始
4. 26	市長に福原淳嗣氏が当選、24年ぶりとなる新市長誕生。市議28人が当選決定
5. 28	3R普及啓発施設「大館市エコプラザ」オープン
6	歴史的風致維持向上計画の策定に着手
6. 20	大館市合併10周年記念式典を開催
10. 21	茨城県常陸大宮市と友好都市協定を締結
11. 6	市教育研究所が「子どもハローワーク」の先進性を評価され、民間の教育表彰として権威のある「博報賞」を受賞
12. 22	大館市総合戦略と大館市人口ビジョンを策定
12. 24	ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）が、12/24現在で19,053件、3億6百万円余りとなり、前年度同期と比べ約3倍となる。寄附金額は県内第1位
平成 28. 3. 16	大館市本庁舎建設基本計画を策定
4. 1	県立大館桂桜高等学校が開校（県立大館桂高等学校、県立大館工業高等学校、県立大館高等学校が統合）
〃	行政組織機構の改正（移住交流課、スポーツ振興課の新設など）
〃	地域連携DMO一般社団法人秋田犬ツーリズム設立
〃	総合病院が地域包括ケア病棟を導入
6. 23	市議会が次回の一般選挙から議員定数を26人とする条例を議決
7. 1	子育て世代包括支援センター「子育てサポートさんまある」を開設
8. 1	「子どもの福祉医療制度」助成対象を中学生まで拡大

年 月 日	事 項
平成28. 8. 26～27	博報教育ワークショップ i n 大館を開催
10. 1	総合病院が認知症患者医療センターを開設
10. 1～ 2	第3回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！大館大会を開催
10. 22	日本海沿岸東北自動車道 鷹巣 I C—二井田真中 I C間が開通
10. 27	国道103号葛原バイパスが完成
10. 29～30	「新・秋田の行事 i n おおだて2016」「第2回肉の博覧会 i n おおだて」を開催
12. 22	旧矢立中学校を改築した新矢立公民館の供用を開始
平成29. 1. 29	新長木公民館の供用を開始
3. 17	大館市歴史的風致維持向上計画が国の認定を受ける（県内初）
3. 18	大館市歴史まちづくりシンポジウムを開催
4. 1	行政組織機構の改正（歴史文化課の新設など）
4. 4	市立図書館から名称変更した栗盛記念図書館の増築工事と松下村塾の移築工事完了
5. 15	温泉が市民生活に密着している環境にあることなどが評価され、環境省より「大館ぐるみ温泉郷」が国民保養温泉地の指定を受ける。
5. 26	農林水産省の地理的表示（G I）保護制度に「大館とんぶり」が県内で初めて登録
8	扇田病院外来診療費着服問題が発覚。被害額約1億1,800万円
8. 5～6	市民文化会館35周年記念行事としてNHKのど自慢を開催
8. 13	本市出身の小林快選手が世界陸上競技選手権（ロンドン）50キロ競歩で銅メダル
9. 3	秋田県総合防災訓練が大館市で実施される
9. 9～11	ねんりんピック秋田2017開催。大館市ではソフトテニス、ゲートボール、ソフトバレーボールの3競技が開催され、延べ5,892人が来市
10. 13～14	とうほく街道会議第13回交流大会大館大会が開催される
12. 3	ベースボールクリスマス2017 i n 秋田をニプロハチ公ドームで開催
平成30. 2. 7	タイ王国ホストタウン向け異文化教室を開催
3. 21	日本海沿岸東北自動車道 大館能代空港 I C—鷹巣 I C間が開通
4. 1	都市計画税を廃止
5. 11	弘前地区消防事務組合と消防相互応援協定を締結
7	旧正札竹村本館棟解体工事に着手
7. 18	大館能代空港開港20周年記念式典を開催
11. 11	大規模災害対応訓練「みちのくアラート2018」へ参加
12. 16	タイ王国脳性麻痺スポーツ協会と東京2020パラリンピック競技大会の事前キャンプに関する基本合意書を締結
平成31. 3.	大館准看護学院が閉院
4. 1	市税等のコンビニ・ゆうちょ銀行・郵便局での収納サービス開始
〃	行政組織機構の改正（秋田県種苗交換会協賛会事務局を設置）
〃	初の女性消防士誕生
4. 3	市役所本庁舎建設工事の安全祈願祭を開催
4. 21	市長に福原淳嗣氏が再選、定数が2減となった市議は26人が当選決定
令和元. 5. 8	大館市観光交流施設「秋田犬の里」がグランドオープン
9. 25～10. 5	タイ王国パラリンピックチーム（ボッチャ・陸上）チームのキャンプ受け入れ
10. 11	共生社会ホストタウン登録

年 月 日	事 項
令和元. 7. 2	五所川原地区消防事務組合と消防相互応援協定を締結
11. 8～9	教育長・校長プラットフォーム i n 大館を開催
令和 2. 3. 7	市長を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置
3. 31	田代診療所の閉院
4.	行政組織機構の改正（観光交流スポーツ部の新設など）
4.	第2次新大館市総合計画後期基本計画及び第2期大館市総合戦略を策定
8. 6	渋谷・ハチ公前広場に設置されていた「東急5000系車両（愛称＝青ガエル）」が秋田犬の里に到着
12. 25	秋田県内で初となる先導的共生社会ホストタウンに登録
令和 3. 2. 16	ゼロカーボンシティ宣言（県内初）
3.	大館市バリアフリーマスタープランー移動等円滑化促進方針ー策定
	スポーツコミッション大館を設立
5. 6	大館市役所新庁舎開庁
6. 9	大館市で東京2020オリンピック聖火リレーを開催
6. 12～8. 22	ニプロハチ公ドームを会場に、1日4,000人から7,000人規模の新型コロナウイルスワクチンの大規模集団接種を実施
10. 22	市制施行70周年記念式典を挙行
12. 10	大館駅インランドデポ推進協議会を設立
令和 4. 4.	「大館学び大学」グランドオープン
5. 7	渋谷区・大館市交流促進協定を締結
8. 3	大雨による災害発生。下内川の決壊等による住家の浸水被害が152世帯。道路・河川・農地等の被害は1,000か所を超え、被害額約33億円。激甚災害指定となる。
10. 1	大館版 mobi プロジェクト実証運行開始
12.	大館市道路等包括的民間委託がスタート
12. 22	「子どもの遊び場」がニプロハチ公ドームパークセンター内にオープン
令和 5. 4. 23	市長に福原淳嗣氏が3選、市議26人当選決定
8. 11	ハチ公生誕100年 「大館うたの日」を開催
10.	田代地域でバス路線再編実証運行を開始
11.	比内扇田地区で自動運転実証調査事業を実施
10. 11	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）との連携協定を締結
10. 29	大館駅新駅舎開業 JR東日本秋田支社およびJR東日本クロスステーションリールカンパニーとJR大館駅待合室に関する連携協定を締結
11. 11～12	「ハチ公生誕100年フェスティバル i n 大館」を開催
12. 1	国土交通省の「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」のモデル地域に東北で唯一選定される。 令和5年度のふるさと納税寄附額が11億542万円となり、初めて10億円を突破。
令和 6. 4. 1	総合病院に地域救命救急センターを開設
8. 8	大館駅前広場完成
9. 1	市長に石田健佑氏が当選、全国最年少の新市長誕生
10. 11	鳥潟会館庭園が国指定名勝に登録
11. 11	消防署北分署の新庁舎が完成し、運用を開始
12.	秋田犬の里、来場者100万人突破

年 月 日	事 項
令和 7. 3.	令和 7 年度から令和 1 1 年度までを計画期間とする「第 2 期大館市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定
4.	一般社団法人として設立した「北鹿ヘルスケアネット」が県内 2 例目となる地域医療連携推進法人の認定を受ける
7. 18	大館市合併20周年記念式典を開催
8.	令和 4 年度に着工したニホンザリガニ第 2 人工生息地が完成
8. 25	大手不動産デベロッパーの三菱地所レジデンス株式会社と北鹿地域林業成長産業化協議会、大館市の 3 者で「大館市産森林認証材等の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結
10. 1	総務省消防庁と連携した「マイナ救急」の実証事業を開始
11. 26	「『ボッチャのまち大館』宣言～ボッチャを通じたまちづくり～」が日本スポーツツーリズム推進機構によるスポーツ振興賞観光庁長官賞を受賞
令和 8. 4. 1	大館市新斎場の供用を開始

3 名 誉 市 民（平成 4 年 9 月条例制定）

故 石 田 博 英 氏（平成 5 年 3 月 3 日議決）

大正 3 年12月12日生まれ

略 歴：早稲田大学卒。昭和14年中外商業新報社（現日本経済新聞社）に入社し、上海支局長、政治部次長を歴任。昭和22年秋田県 1 区から衆議院議員に初当選。以来連続14回当選を果たし36年間にわたって国政に参画した。この間、内閣官房長官 2 期、労働大臣 6 期、運輸大臣 1 期を務めた。平成 5 年10月14日、東京都内で逝去。

故 山 田 敬 藏 氏（平成13年 3 月 1 日議決）

昭和 2 年11月30日生まれ

略 歴：大館市字新地で出生。昭和25年同和鉱業株式会社花岡鉱業所に入社。昭和27年第15回ヘルシンキオリンピック大会マラソン26位。昭和28年 4 月、第57回ボストンマラソンで当時の世界新記録で優勝。氏の偉業は戦後復興期の日本国民に大きな夢と希望を与え、マラソンに打ち込む真摯な姿勢は「心臓破りの丘」として映画化もされた。氏の栄誉をたたえて昭和28年から開催されている「山田記念ロードレース大会」は、いまや全国からランナーが集まるビッグイベントとして定着している。令和 2 年 4 月 2 日神奈川県川崎市内で逝去。

明 石 康 氏（平成23年 6 月17日議決）

昭和 6 年 1 月19日生まれ

略 歴：比内町扇田出身。昭和32年に日本人初の国連職員となり、以来、平成 9 年に退官するまで40年余りにわたり世界平和と人類の福祉向上に貢献。この間、事務局幹部、日本政府国連代表部参事官、公使、大使、事務次長等を歴任し、国連大学の東京誘致や国際舞台における日本の地位向上、世界的な軍縮の進展に尽力した。特に国連カンボジア暫定統治機構事務総長特別代表として、国連史上最大規模の平和維持活動を成功に導いたことは、同氏の大きな功績である。本県の名誉県民でもある。

4 市域の変遷

年 月 日	関係市町村名	事 由	世帯数 (世帯)	人 口 (人)	面 積 (km ²)
昭26. 4. 1	大 館 町	解 体	4,587	23,444	12.75
〃	釈 迦 内 村	〃	1,044	6,612	23.12
昭30. 3. 1	長 木 村	編 入 合 併	627	4,206	132.05
〃	上 川 沿 村	〃	446	2,960	28.13
〃	下 川 沿 村	〃	557	3,372	14.27
〃	二 井 田 村	〃	513	3,452	26.71
〃	真 中 村	〃	393	2,598	14.28
昭30. 3. 31	十 二 所 町	〃	1,005	5,927	68.25
昭42. 12. 21	花 矢 町	〃	2,954	13,103	81.46
昭44. 11. 1	大館市・比内町	境 界 変 更	0	0	0.00
昭59. 6. 1	〃	〃	△ 5	△ 13	0.13
昭63. 10. 1		国 土 地 理 院 の 測 量 調 査			0.39
平17. 6. 20	比 内 町	編 入 合 併	3,699	11,765	205.39
〃	田 代 町	〃	2,476	7,782	306.77
平27. 4. 1		国土地理院の面積 計測方法の変更			△0.48
合 計					913.22

5 人口・世帯数の推移

年 月 日	人 口 (人)	世帯数 (世帯)	人数密度 (人/k㎡)	備 考
昭45. 10. 1	72,958	13,947	—	
昭50. 10. 1	71,828	19,980	—	
昭55. 10. 1	72,428	20,858	—	
昭60. 10. 1	71,794	21,335	—	
平 2. 10. 1	68,195	21,436	169.8	男31,920人・女36,275人
平 7. 10. 1	67,214	22,117	167.4	男31,525人・女35,689人
平12. 10. 1	66,293	22,808	165.1	男30,879人・女35,414人
平17. 4. 1	65,000	24,347	161.9	男30,408人・女34,592人
平17. 7. 1	84,671	30,677	92.7	男39,750人・女44,921人
平20. 4. 1	82,149	30,900	89.9	男38,490人・女43,659人
平25. 4. 1	78,191	31,410	85.6	男36,571人・女41,620人
平26. 4. 1	77,096	31,384	84.4	男36,103人・女40,993人
平27. 4. 1	76,135	31,457	83.3	男35,638人・女40,497人
平28. 4. 1	75,064	31,489	82.2	男35,173人・女39,891人
平29. 4. 1	74,095	31,452	81.1	男34,721人・女39,374人
平30. 4. 1	73,001	31,443	79.9	男34,310人・女38,691人
平31. 4. 1	71,944	31,474	78.8	男33,818人・女38,126人
令 2. 4. 1	70,902	31,515	77.6	男33,331人・女37,571人
令 3. 4. 1	69,957	31,615	76.6	男32,885人・女37,072人
令 4. 4. 1	68,728	31,505	75.3	男32,402人・女36,326人
令 5. 4. 1	67,550	31,390	74.0	男31,900人・女35,650人
令 6. 4. 1	66,218	31,251	72.5	男31,264人・女34,954人
令 7. 4. 1	64,824	31,028	71.0	男30,639人・女34,185人
令 8. 4. 1	63,310	30,701	69.3	男29,996人・女33,314人

※平成17年以降は、住民基本台帳による。

※平成24年7月9日から外国人住民も住民基本台帳に含む。

6 人口動態

(単位：人)

区 分 年 度	自 然 増 減			社 会 増 減			増減合計
	出生	死亡	差引	転入等	転出等	差引	
平成22	465	1,035	△570	1,681	1,805	△124	△ 694
27	397	1,167	△770	1,612	1,913	△301	△1,071
28	408	1,107	△699	1,546	1,816	△270	△ 969
29	382	1,201	△819	1,550	1,825	△275	△1,094
30	343	1,168	△825	1,498	1,730	△232	△1,057
令和元	354	1,256	△902	1,624	1,764	△140	△1,042
2	305	1,218	△913	1,496	1,528	△32	△945
3	314	1,310	△996	1,440	1,673	△233	△1,229
4	294	1,347	△1,053	1,527	1,652	△125	△1,178
5	235	1,369	△1,134	1,435	1,633	△198	△1,332
6	235	1,374	△1,139	1,392	1,647	△255	△1,394
7	219	1,307	△1,088	1,358	1,784	△426	△1,514

7 産業別就業人口

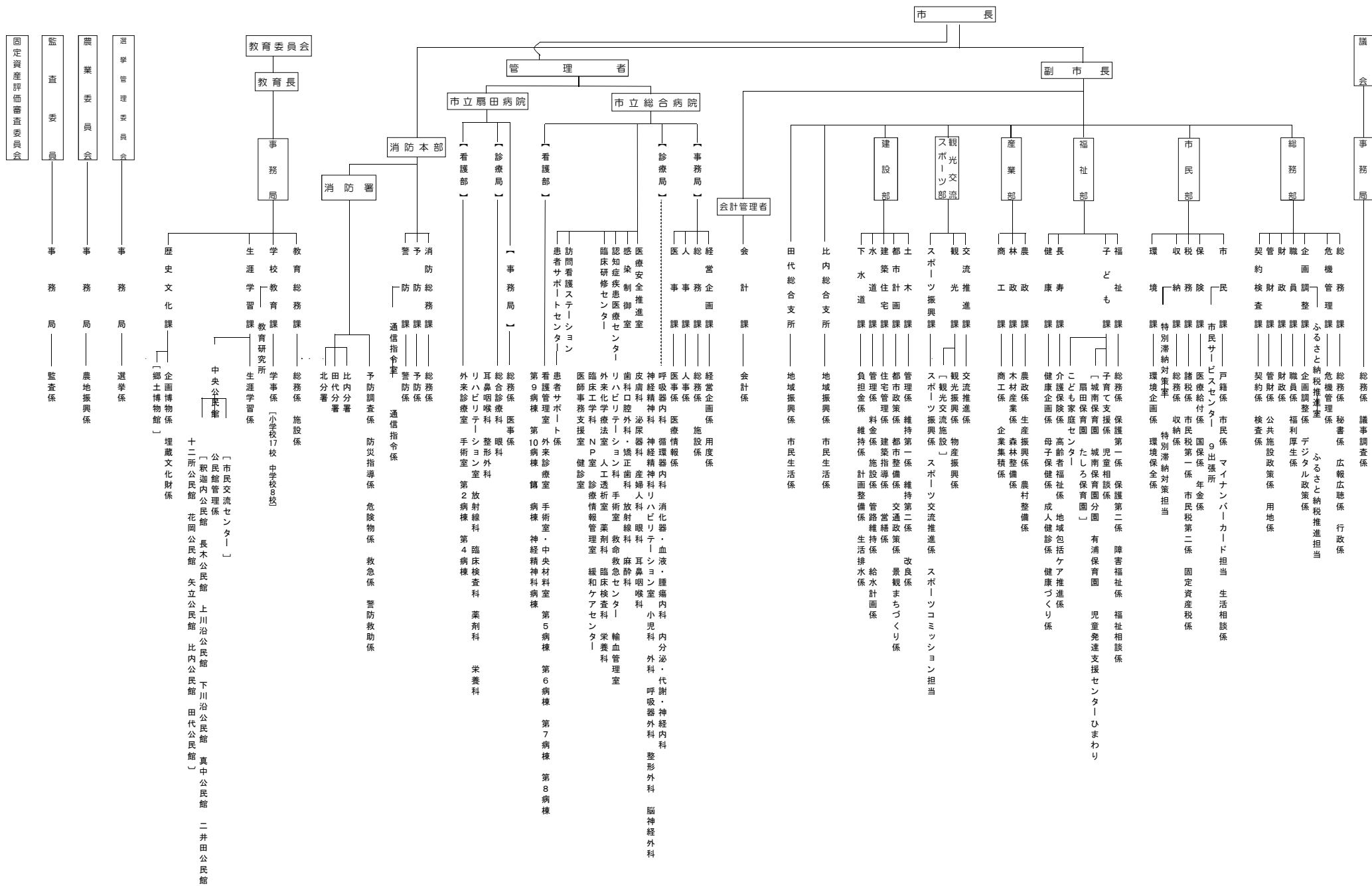
(国勢調査)

区 分	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数 (人)	構 成 比 (%)	就業者数 (人)	構 成 比 (%)	就業者数 (人)	構 成 比 (%)	就業者数 (人)	構 成 比 (%)	就業者数 (人)	構 成 比 (%)
第 1 次 産 業	4,105	9.9	3,913	10.1	2,892	8.1	2,379	6.9	2,025	6.2
農 業	3,838	9.3	3,743	9.7	2,679	7.5	2,207	6.4	1,862	5.7
林 業	262	0.6	170	0.4	210	0.6	171	0.5	161	0.5
漁業・水産養殖業	5	0.0	0	0.0	3	0.0	1	0.0	2	0.0
第 2 次 産 業	12,766	30.8	10,686	27.6	9,663	27.1	9,571	27.9	9,371	28.5
鉱 業	79	0.2	41	0.1	24	0.1	31	0.1	36	0.1
建 設 業	5,394	13.0	4,367	11.3	3,633	10.2	3,462	10.1	3,133	9.5
製 造 業	7,293	17.6	6,278	16.2	6,006	16.9	6,078	17.7	6,202	18.8
第 3 次 産 業	24,489	59.2	24,098	62.1	22,801	64.0	21,994	64.0	21,046	64.0
卸売・小売業	9,314	22.5	7,446	19.2	6,568	18.4	5,912	17.2	5,428	16.5
金 融 ・ 保 険 不 動 産 業	992	2.4	891	2.3	968	2.7	928	2.7	854	2.6
電気・ガス・ 熱供給・水道・ 運輸・通信業	2,538	6.1	2,146	5.5	2,130	6.0	1,866	5.4	1,627	4.9
サ ー ビ ス 業	10,446	25.3	12,406	32.0	11,994	33.7	12,167	35.4	11,971	36.4
公 務	1,199	2.9	1,209	3.1	1,141	3.2	1,121	3.3	1,166	3.5
分 類 不 能	26	0.1	75	0.2	249	0.7	426	1.2	463	1.4
総 数	41,386	100.0	38,772	100.0	35,605	100.0	34,370	100.0	32,905	100.0

平成7年～12年の数値は旧大館市・旧比内町・旧田代町の合算値

※計数は、それぞれ四捨五入によっているので、合計とは一致しない場合があります。

大 館 市 行 政 組 織 機 構 図 （令和8年4月1日）



2 議 会

1 議 員

(1) 議員定数 26人 (平成28年6月30日条例改正、平成31年の一般選挙から施行)

(2) 年齢別構成 (令8. 4. 1 現在)

年 齢 別	25歳～ 30歳未満	30歳～ 40歳未満	40歳～ 50歳未満	50歳～ 60歳未満	60歳～ 70歳未満	70歳以上	平 均 年 齢 〔 最高78歳 最低31歳 〕
人 員	0人	2人	2人	2人	7人	13人	65.5歳

(3) 当選回数別構成

当選 回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
人 員	10人	1人	4人	2人	0人	4人	1人	1人	2人	1人

※旧町合併特例期間を含む

(4) 職業別構成

職 業 区 分	会社役員	農 業	自 営 業	政党役員	そ の 他
人 員	4人	5人	5人	2人	10人

(5) 会派及び党派別構成

(令8. 4. 1 現在)

会 派 別	人	党 派 別	人
令和会	8	立憲民主党	5
真政会	7	公明党	2
市民の風	7	日本共産党	1
公明党	2	無所属	18
日本共産党	1		
無所属	1		

2 常任委員会 (令 2. 3. 30 条例改正)

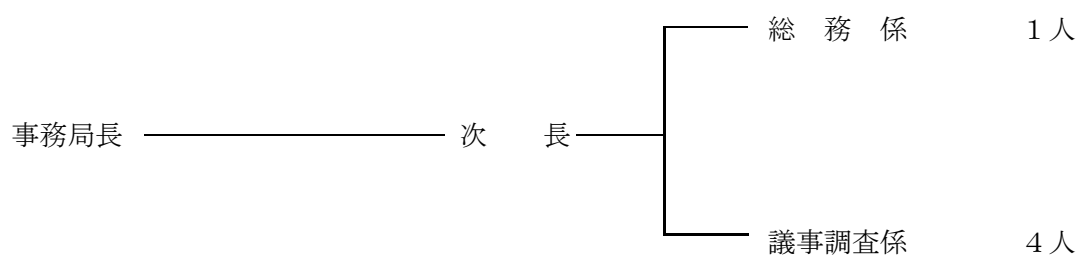
委員会名	定数	所管事項
総務財政	7 人	総務部、会計課、総合支所、消防本部、選挙管理委員会及び監査委員の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
厚生	7 人	市民部、福祉部、市立総合病院及び市立扇田病院の所管に関する事項
教育産業	6 人	産業部、観光交流スポーツ部、教育委員会及び農業委員会の所管に関する事項
建設水道	6 人	建設部の所管に関する事項

3 議会運営委員会

委員会名	定数	所管事項
議会運営委員会	6 人	議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例、議長の諮問に関する事項等

4 議会事務局

定数10人（現員 7 人）



5 議員報酬等

(1) 議員報酬（令6. 4. 1施行）

- ・議長 月額 417,000円
- ・副議長 月額 380,000円
- ・議員 月額 361,000円

(2) 期末手当（令8. 4. 1施行）

期末手当基礎額（議員報酬月額×120/100）に345/100を乗じた額が年間支給額。

（6月、12月にそれぞれ期末手当基礎額×172.5/100を支給）

(3) 政務活動費 1人年額 180,000円（平25. 3. 1改定） 個人に支給

(4) 費用弁償

- ・本会議等出席費用弁償「出席1回につき住居と参会場所までの時間、距離等の事情に照らし最も経済的かつ合理的な経路により往復する場合に要する交通機関の運賃に相当する額」（平20. 4. 1改定）

（参考）議員報酬の変遷

施行年月日	議長	副議長	議員	施行年月日	議長	副議長	議員
昭60. 4. 1	285,000円	255,000円	245,000円	平9. 4. 1	437,000円	397,000円	379,000円
昭62. 10. 1	315,000円	285,000円	270,000円	平16. 4. 1	428,000円	389,000円	371,000円
平元. 4. 1	340,000円	310,000円	295,000円	平19. 4. 1	419,000円	381,000円	363,000円
平2. 4. 1	363,000円	331,000円	315,000円	平22. 4. 1	418,000円	380,000円	362,000円
平4. 4. 1	396,000円	361,000円	344,000円	平23. 10. 1	413,000円	376,000円	358,000円
平6. 4. 1	415,000円	378,000円	360,000円	平24. 4. 1	412,000円	375,000円	357,000円
平7. 7. 1	420,000円	382,000円	364,000円	令6. 4. 1	417,000円	380,000円	361,000円
平8. 4. 1	427,000円	388,000円	370,000円				

6 議会の活動

○会議開会の状況（令7. 4. 1～令8. 3. 31）

・本会議開会日数	19日	
・常任委員会開会日数	74日	
・議会運営委員会開会日数	17日	
・特別委員会開会日数	7日	
・その他会議開会日数	28日	計 延べ145日

(1) 本 会 議

定 例 会				臨 時 会			
開閉年月日		会期	本会議 開会日数	開閉年月日		会期	本会議 開会日数
令 7 年	自 6 月 2 日 至 6 月 19 日	18 日	4 日	令 7 年	自 5 月 23 日 至 5 月 23 日	1 日	1 日
	自 8 月 25 日 至 9 月 26 日	33 日	6 日				
	自 11 月 25 日 至 12 月 11 日	17 日	4 日				
令 8 年	自 2 月 24 日 至 3 月 16 日	21 日	4 日				
計 4 回		89 日	18 日	計 1 回		1 日	1 日

・招 集 回 数 5 回
・本会議開会日数 19 日

・延 べ 会 期 90 日
・実 会 議 時 間 37 時間 30 分

(2) 常 任 委 員 会

(回)

委員会名 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総 務 財 政		2	3		1	4			4	1		4	19
厚 生		2	4	1		2			3	1	1	5	19
教 育 産 業		1	4		1	4			3	1		5	19
建 設 水 道		2	2	1		4			4			4	17
計		7	13	2	2	14			14	3	1	18	74

(3) 議会運営委員会

(回)

委員会名 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
議会運営委員会		3	2		1	4		2	2		1	2	17

(4) 特 別 委 員 会

(回)

委員会名 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一般・特別会計決算						4							4
企業会計決算						3							3
計						7							7

(5) その他の会議（協議または調整を行うための場）

(日)

月 委員会名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
各派代表者会議		2			1	2			1		1	1	8
議員全員協議会													0
正副議長・委員長会議													0
議会改革協議会			2			1			2			1	6
常任委員協議会										1			1
議会報委員会	3		1	3		2	2		2	2		1	16
計	3	2	3	3	1	5	2	0	5	3	1	3	31

(参考) 会議出席議員調〔令和7年度〕

区 分 会 議		定 数	会議日数	延べ定数	延べ出席者	出 席 率	備 考
本 会 議		26人	19日	494人	470人	95.14%	
常任委員会	総 務 財 政	7	19	133	123	92.48	
	厚 生	7	19	133	129	96.99	
	教 育 産 業	6	19	114	113	99.12	
	建 設 水 道	6	17	102	90	88.24	
議 会 運 営 委 員 会		6	17	102	98	96.08	
特別委員会	一般・特別会計決算	12	4	48	42	87.50	
	企 業 会 計 決 算	11	3	33	28	84.85	
計			117	1,159	1,093	94.31	

(6) 議 会 報

「おおだて市議会だより」昭和61年7月創刊、A4判平均12ページで年4回（定例会ごと）31,000部発行。市内全世帯及びその他公共施設等に無料で配布している。配布は「広報おおだて」と同様に行政協力員を経て行っている。内容は市ホームページにも掲載している。

(7) 本会議の放送について

平成18年度から議会中継システムを導入。本会議は、本庁舎市民ホール、比内・田代両総合支所ホールに庁舎LANを利用してライブ中継を配信している。また、一般質問のみ民間CATV（大館ケーブルテレビ）にて加入世帯へ後日録画放送しているほか、令和6年12月からYouTube公式チャンネルでも録画配信を行っている。

(8) 付 議 事 件

区 分 議会名		市 長 提 出								議 員 提 出			請 願	陳 情	合 計
		条 例 案	予 算 案	単 行 案	承 認	報 告	同 意	認 定	そ の 他	条 例 ・ 規 則	意 見 書 ・ 決 議	設 置 ・ 選 任 他			
定 例 会	7 年 6 月	7	7	5		9					1		1	10	40
	9 月	8	11	3	1	6		19	1	1	1	2		8	61
	12 月	12	18	23		1	2							13	69
	8 年 3 月	23	35	6	4		2		1					14	85
臨 時 会	7 年 5 月				3	1	1					7			12
計		50	71	37	8	17	5	19	2	1	2	9	1	45	267

【参考】意見書・決議等一覧（令 7. 4～令 8. 3）

- ① 地方財政の充実・強化に関する意見書の提出（令 7. 6. 19）
- ② 西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書の提出（令 7. 9. 12）

3 総 務

1 職 員 数

(令 8. 4. 1 現在)

区 分	定 数	実 数	備 考
市 長 事 務 部 局	552人	480人	派遣職員4人 (秋田県(企業立地事務所)、秋田県後期高齢者医療 広域連合、秋田県観光連盟、秋田犬ツーリズム)
議 会 事 務 部 局	10	7	
教育委員会事務局	159	63	
選挙管理委員会事務局	4	3	
監 査 委 員 事 務 部 局	7	5	
農業委員会事務局	9	4	
水 道 事 業 等 部 局	59	43	
病 院 事 業 部 局	620	575	派遣職員 1 人 (医療法人 楽山会)
消 防 部 局	129	129	派遣職員 1 人 (秋田県消防防災航空隊)
合 計	1, 549	1, 309	

2 特別職の報酬等

職 名	報酬等の額	適 用 日	改定前の報酬等の額
市 長	月額 863,000円	令 6. 4. 1	852,000円
副 市 長	〃 685,000円	〃	676,000円
教 育 長	〃 580,000円	〃	572,000円
病 院 事 業 管 理 者	〃 670,000円	平24. 4. 1	672,000円
教 育 委 員 会 委 員	〃 48,000円	平 8. 4. 1	42,000円
監 査 委 員	(識 見 者)	〃	77,000円
	(議 員 選 出)	〃	47,000円
選 挙 管 理 委 員 会	委 員 長	〃 38,000円	〃 35,000円
	委 員	〃 28,000円	〃 26,000円
農 業 委 員 会	会 長	基本給 (月額) 50,000円	〃 45,000円
		能率給 予算の範囲内で 市長が定める額	平29. 7. 20 —
	会 長 職 務 代 理 者	基本給 (月額) 37,000円	平 8. 4. 1 32,000円
		能率給 予算の範囲内で 市長が定める額	平29. 7. 20 —
	委 員	基本給 (月額) 35,000円	平 8. 4. 1 20,000円
		能率給 予算の範囲内で 市長が定める額	平29. 7. 20 —
農地利用最適化 推 進 委 員	基本給 (月額)	25,000円	平 2 9 . 7 . 2 0 —
	能 率 給	予算の範囲内で 市長が定める額	〃 —
農 業 委 員 会 委 員 候 補 者 選 考 委 員 会 委 員	日 額 7,000円	平 2 8 . 1 2 . 2 7	—

職 名		報酬等の額	適 用 日	改定前の報酬等の額
国保運営協議会	会 長	〃 8,000円	平8.4.1	7,000円
	委 員	〃 7,000円	〃	6,000円
上川沿財産区 管 理 会	会 長	年額 30,000円	昭63.4.1	(月額) 5,500円以内
	委 員	〃 27,000円	〃	(〃) 5,500円以内
固定資産評価審査委員		日額 7,000円	平8.4.1	6,000円
公民館運営審議会委員		年額 14,000円	〃	12,000円
図 書 館 協 議 会 委 員		〃 14,000円	〃	12,000円
社 会 教 育 委 員		〃 16,000円	〃	14,000円
ス ポ ー ツ 推 進 委 員		〃 10,000円	令7.4.1	22,000円
スポーツ推進審議会委員		〃 14,000円	平8.4.1	12,000円
文化財保護審議会委員		〃 14,000円	〃	12,000円
秋 田 犬 専 門 委 員		日額 7,000円	〃	5,000円
温 泉 審 議 会 委 員		〃 7,000円	〃	6,000円
防 災 会 議 委 員		〃 7,000円	〃	6,000円
水 防 協 議 会 委 員		〃 7,000円	〃	6,000円
国 民 保 護 協 議 会 委 員		〃 7,000円	平18.10.1	—
民 生 委 員 推 薦 会 委 員		〃 7,000円	平8.4.1	6,000円
特別職報酬等審議会委員		〃 7,000円	〃	6,000円
青 少 年 問 題 協 議 会 委 員		〃 7,000円	〃	6,000円
都市計画審議会委員及び臨時委員		〃 7,000円	〃	6,000円
景 観 審 議 会 委 員		〃 7,000円	令8.4.1	—
水道事業等経営審議会委員		〃 7,000円	令8.4.1	—
大館市政治倫理審査会委員		〃 7,000円	平16.12.24	—
情 報 審 査 会 委 員		〃 7,000円	平11.4.1	—
名 誉 市 民 選 考 委 員 会 委 員		〃 7,000円	平8.4.1	6,000円
介 護 認 定 審 査 会 委 員		〃 20,000円	平17.6.20	—
障害者支援区分認定審査会委員		〃 20,000円	平18.7.1	—
災害弔慰金等支給審査委員会委員		〃 20,000円	令7.3.28	—
歴史的風致維持向上協議会委員		〃 7,000円	平28.1.1	—
空 家 等 対 策 協 議 会 委 員		〃 7,000円	〃	—
プロポーザル 審査委員会委員	大学の教授、准教授その他これらに準ずる者	日額20,000円以内において市長が定める額	平28.4.1	—
	上記以外の者	日額 7,000円		
大館市空き公共施設等指定事業者 審 査 委 員 会 の 委 員		〃 7,000円	令2.10.1	—
投 票 所 の 投 票 管 理 者		1選挙につき 14,500円	令7.6.30	1選挙につき 12,800円
期日前投票所の投票管理者		1日につき 12,800円	〃	1日につき 11,300円
開 票 管 理 者		1選挙につき 12,200円	〃	1選挙につき 10,800円
選 挙 長		1選挙につき 12,200円 (※6,100円)	〃	1選挙につき 10,800円 (※5,400円)
投 票 所 の 投 票 立 会 人		〃 12,400円	〃	1選挙につき 10,900円
期日前投票所の投票立会人		1日につき 10,900円	〃	1日につき 9,600円

職 名	報酬等の額	適 用 日	改 定 前 の 報 酬 等 の 額
開 票 立 会 人	1 選挙につき 10,100円	令 7 . 6 . 30	1 選挙につき 8,900円
選 挙 立 会 人	1 選挙につき 10,100円 (※5,050円)	〃	1 選挙につき 8,900円 (※4,450円)
消 防 団	消防の項参照		
そ の 他 特 別 職 の 委 員	日額7,000円以内、月額389,000円以内又は年額30,000円以内において市長が定める額	平 8 . 4 . 1	6,000円

※更正決定、繰上補充または無投票の場合。

(参考) 職員平均給与

(令 8 . 4 . 1 現在)

	平均年齢	平均経歴年数	平均給	最高給	最低給
部長	58歳 11月	40年 0月	447,357円	457,710円	440,070円
課長	57歳 0月	36年 5月	424,847	453,476	334,538
課長補佐	54歳 1月	35年 1月	408,433	412,251	397,132
係長	50歳 5月	31年 8月	389,865	408,824	335,042
主査	46歳 6月	27年 4月	343,464	399,652	277,145
主任	43歳 0月	24年 2月	286,995	315,387	210,303
主任主事	28歳 5月	9年 7月	261,390	272,146	249,467
主事	23歳 3月	4年 9月	234,410	256,120	208,343
合計	43歳 3月	24年 3月	332,484	—	—
消防職	40歳 6月	21年 7月	332,760	438,559	208,343
技能労務職	58歳 4月	39年 4月	321,504	375,763	252,693
市役所計	43歳 3月	24年 3月	332,169	—	—

(参考) 過去5年間のラスパイレス指数の変遷

令 3 . 4 . 1	令 4 . 4 . 1	令 5 . 4 . 1	令 6 . 4 . 1	令 7 . 4 . 1
98.2	98.1	97.7	98.2	99.0

(参考) 初 任 給

(令 8 . 4 . 1 現在)

学 歴	行 政 職	医療職 (二)	医療職 (三)	技能労務職
高 校 卒	208,343円	—円	—円	187,781円
短 大 卒	224,369	239,085	265,494	
大 学 卒	239,448	246,846	272,952	

3 旅 費

(令 8. 4. 1 現在)

区 分		日 当	宿 泊 料 (一夜につき)	食 卓 料 (一夜につき)	航 空 賃
市長、議長、副議長、議員、 副市長、教育長、各種委員		3,000円	甲地方 14,800円 乙地方 13,300円	3,000円	現に支払った 旅客運賃
一 般 職 員	7 級～4 級	2,600円	甲地方 13,100円 乙地方 11,800円	2,600円	
	3 級～1 級	2,200円	甲地方 10,900円 乙地方 9,800円	2,200円	

- (備考)
- ・甲地方とは、東京都、大阪市、名古屋市、京都市、横浜市、神戸市、北九州市、札幌市、川崎市、福岡市の10都市。乙地方とは、その他の地域をいう。
 - ・東京都内の出張に限り1日2,500円の車賃を加算。
 - ・急行料金は片道50km以上、特急料金及び座席指定料金は片道100km以上の旅行に限り支給。
 - ・秋田県内及び近接区域へ出張の場合、日当は支給しない。

4 選 挙

(1) 有権者数 (令 8. 3. 2 定時登録者数)

登 録 者 数			構 成 割 合		全 人 口 対 比	
男	女	計	男	女	人口 (8. 3. 1)	有権者数割合
26,697人	30,178人	56,875人	46.94%	53.06%	63,852人	89.07%

(2) 地方選挙投票率調

選挙区分	執行年月日	当日の有権者数 (人)			投票者数 (人)			投票率 (%)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
知事・県議	○H19. 4. 8	31,501	37,063	68,564	22,109	26,231	48,340	70.19	70.77	70.50
	◎H21. 4. 12	30,873	36,414	67,287	20,806	23,954	44,760	67.39	65.78	66.52
	○H23. 4. 10	30,431	35,896	66,327	19,427	22,195	41,622	63.84	61.83	62.75
	◎H25. 4. 7	無投票			無投票			無投票		
	○H27. 4. 12	29,421	34,555	63,976	18,132	21,080	39,212	61.63	61.00	61.29
	◎H29. 4. 9	29,434	34,397	63,831	15,296	18,025	33,321	51.97	52.40	52.20
	○H31. 4. 7	無投票			無投票			無投票		
	◎R 3. 4. 4	28,283	32,600	60,883	14,606	16,867	31,473	51.64	51.74	51.69
	○R 5. 4. 9	27,534	31,500	59,034	14,664	16,586	31,250	53.26	52.65	52.94
市長・市議	◎R 7. 4. 6	26,730	30,419	57,149	14,292	16,578	30,870	53.47	54.50	54.02
	H23. 4. 24	30,398	35,868	66,266	22,482	26,668	49,150	73.96	74.35	74.17
	H27. 4. 26	29,378	34,522	63,900	21,022	25,170	46,192	71.56	72.91	72.29
	H31. 4. 21	29,173	33,676	62,849	18,441	21,675	40,116	63.21	64.36	63.83
	R 5. 4. 23	27,498	31,461	58,959	16,648	19,366	36,014	60.54	61.56	61.08
	R 6. 9. 1	27,167	30,889	58,056	15,863	18,496	34,359	58.39	59.88	59.18

*投票者及び投票率は知事・市長選挙を記した。

*◎は知事のための選挙である。

*○は県議のための選挙である。

*△は市議のための選挙 (市長選は無投票) である。

(3) 国の選挙投票率調

選挙区分	執行年月日	当日の有権者数（人）			投票者数（人）			投票率（％）		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
衆議院	H24. 12. 16	30,338	35,593	65,931	20,057	22,014	42,071	66.11	61.85	63.81
	H26. 12. 14	29,807	34,934	64,741	16,315	17,386	33,701	54.74	49.77	52.06
	H29. 10. 22	29,687	34,453	64,140	17,879	20,306	38,185	60.23	58.94	59.53
	R 3. 10. 31	28,309	32,509	60,818	17,656	20,033	37,689	62.37	61.62	61.97
	R 6. 10. 27	27,263	30,946	58,209	16,481	18,557	35,038	60.45	59.97	60.19
	R 8. 2. 8	26,685	30,211	56,896	14,657	15,789	30,446	54.93	52.26	53.51
参議院	H22. 7. 11	30,892	36,371	67,263	20,599	23,217	43,816	66.68	63.83	65.14
	H25. 7. 21	30,178	35,426	65,604	17,413	19,210	36,623	57.70	54.23	55.82
	H28. 7. 10	30,080	35,038	65,118	18,690	21,099	39,789	62.13	60.22	61.10
	R元. 7. 21	29,161	33,626	62,787	16,166	17,816	33,982	55.44	52.98	54.12
	R 4. 7. 10	27,849	31,931	59,780	15,273	16,977	32,250	54.84	53.17	53.95
	R 7. 7. 20	26,860	30,466	57,336	15,634	16,755	32,389	58.18	55.00	56.49

(4) 市議立候補者・得票数調

執行年月日 区 分		平27. 4. 26	平31. 4. 21	令 5. 4. 23	令 6. 9. 1 (補欠選挙)
立候補者数（人）		37	29	28	3
投票率（％）		72.28	63.82	61.08	59.16
総得票数（票）		45,490	39,359	36,013	34,346
1人平均得票数（票）		1,229	1,357	1,286	11,448
当 選 人	定 数（人）	28	26	26	2
	投票数（票）	37,960	37,577	34,460	25,099
	1 人 平均 得票数（票）	1,355	1,445	1,325	12,549

(5) 法定費用額

(単位：円)

執行年月日 区 分		平27. 4. 26	平31. 4. 21	令 5. 4. 23	令 6. 9. 1
市	長	8,335,000	8,220,100	7,942,300	7,832,300
市	議	3,356,400	3,418,100	3,352,000	3,325,800

※参 考

① 選挙の公営化に関する条例

- ・大館市議会議員及び大館市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例
(令和4年6月30日施行)(平成7年4月から実施)
- ・大館市議会議員及び大館市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例
(令和7年9月29日施行)(平成7年4月から実施)
- ・大館市議会議員及び大館市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例
(令和7年9月29日施行)(平成19年4月から実施)

② ポスター掲示場設置数

- ・448カ所(令和5年4月 秋田県議会議員一般選挙)
- ・291カ所(令和6年10月 衆議院議員総選挙)
- ・205カ所(令和8年2月 衆議院議員総選挙)

③ 投票所設置数(平成31年4月 大館市長・市議会議員一般選挙)

- ・61カ所

5 おおだて未来づくりプラン

本市の総合計画は、昭和47年に策定した「第一次大館市振興基本計画」以来、6度の改定を経てきました。この間、北東北の拠点都市“おおだて”を目指し、人口減少や地方創生といった課題に対して、さまざまな施策を展開してきました。

「第2次新大館市総合計画(平成28年度～令和5年度)」が終了したため、新たに策定した「おおだて未来づくりプラン(令和6年度～令和9年度)」をまちづくりの指針として、「大館の未来を紡ぐものがたりづくり」に沿って取り組みを進め、まちを守り未来に拓きます。

目指すべき姿のもととなる価値観

新たなまちづくりでは、第2次新大館市総合計画の基本理念「大館の未来を紡ぐものがたりづくり」を継承し、「ひと」、「暮らし」、「まち」が相互に関わり合いながら、本市の未来につながるものがたり(歴史)をつくることを目指すべき姿のもととなる価値観として位置付けます。



まちづくりのコンセプト(将来像)

人口減少と少子化、長寿社会が進行する中で、これからのまちづくりを推進していくために、先人の英知と努力によって培われた、匠の技をはじめ、今日の地域の発展を支える様々な歴史を未来へ継承します。

さらに、一人ひとりの違い、多様性を尊重し、多様性に共感し、多様性をより取り入れることで、個人の生きがいや学び、社会の発展や新たな価値創出につなげます。

ちが い

匠と歴史を伝承し、多様性を

力に変えていく「未来創造都市」



6 地域活性化対策

中山間地域の不利的条件や過疎・高齢化等により、活力の低下が懸念されている地域の活性化を図るため、地域協働による地域活性化対策を推進しています。

(1) 市内地域の状況

住民基本台帳より（令和8年3月31日現在）

地域	地区数	世帯数	分 類				年 代 別 人 数				
			計	限界 集落	準限界 集落	存続 集落	55才未満	55～64才	65才以上	計	(55才 以上)
大館	11	24,357	255	109	109	37	22,490	6,867	20,498	49,855	27,365
比内	8	3,568	64	35	25	4	3,134	1,024	3,790	7,948	4,814
田代	11	2,194	67	42	18	7	1,867	644	2,413	4,924	3,057
計		30,119	386	186	152	48	27,491	8,535	26,701	62,727	35,236

【分類の説明】

- （**限界集落**）65歳以上の高齢者が集落人口の50%を超え、冠婚葬祭をはじめ田役、道役などの社会的共同生活の維持が困難な状態にある集落
- （**準限界集落**）55歳以上の人口が集落人口の50%を超え、現在は集落の担い手が確保されているものの、近い将来、その確保が難しくなっている限界集落の予備軍的存在となっている集落
- （**存続集落**）55歳未満の人口が集落人口の50%を超え、後継ぎ確保によって集落の担い手が再生産されている集落

※老人ホーム等の施設があることにより高齢化率の高い行政区を除く

(2) 大館市地域づくり協働推進会議

過疎・高齢化等により、活力の低下が懸念される中山間地域をはじめとする市内全域の活性化を図るため、平成21年7月に「大館市地域づくり協働推進会議」を設置し、中山間地域の16地区（重点推進地区）で座談会や聞き取り調査など地域が抱えている問題や課題の洗い出しを実施しました。

推進会議では、調査結果の検討をして、地域の活性化を図るためには、地域が有する温もりのある人間関係や多様な地域資源を活かし、市と地域の協働により魅力ある地域づくりを推進する必要

があることから、平成22年6月に「地域づくり協働推進支援事業（地域応援プラン）」を、さらに平成25年度から「地域応援プランステップアップ事業」を創設し、市民協働による地域づくりに取り組んでいます。また、令和8年度には制度の見直しを行い、市民が自ら取り組む地域活性化をさらに支援していきます。

○地域づくり協働推進支援事業（地域応援プラン）

年 度	区 分	団 体 数	補 助 金 額（円）
平成22年度	計画支援事業	40団体	4,056,752
平成23年度	計画支援事業	10団体	532,000
	活動支援事業	38団体	33,888,000
平成24年度	計画支援事業	4団体	438,000
	活動支援事業	44団体	38,614,000
平成25年度	計画支援事業	4団体	586,000
	活動支援事業	13団体	10,590,000
	ステップアップ事業	3団体	5,772,000
平成26年度	計画支援事業	3団体	322,000
	活動支援事業	9団体	8,847,000
平成27年度	計画支援事業	4団体	364,000
	活動支援事業	7団体	6,159,000
平成28年度	計画支援事業	1団体	6,000
	活動支援事業	7団体	6,811,000
	ステップアップ事業	1団体	3,000,000
平成29年度	計画支援事業	8団体	1,002,000
	活動支援事業	5団体	4,769,000
平成30年度	計画支援事業	2団体	127,000
	活動支援事業	5団体	4,562,000
	ステップアップ事業	1団体	1,880,000
令和元年度	計画支援事業	2団体	236,000
	活動支援事業	7団体	6,375,000
	ステップアップ事業	1団体	2,135,000

年 度	区 分	団 体 数	補 助 金 額 (円)
令和 2 年度	計画支援事業	1 団体	186, 000
	活動支援事業	5 団体	4, 896, 000
	ステップアップ事業	1 団体	3, 840, 000
令和 3 年度	計画支援事業	1 団体	200, 000
	活動支援事業	4 団体	4, 000, 000
	ステップアップ事業	1 団体	2, 400, 000
令和 4 年度	計画支援事業	1 団体	200, 000
	活動支援事業	2 団体	2, 000, 000
令和 5 年度	活動支援事業	1 団体	902, 000
	ステップアップ事業	1 団体	3, 000, 000
令和 6 年度	—	—	(実施団体なし)
令和 7 年度	—	—	(実施団体なし)

(3) 集落支援員制度

少子高齢化などにより、地域活動の核となる町内会役員などの担い手不足を解消するため、地域にお住まいになっている方々自身による、世代間交流などを通じた地域活動の活性化を目的として、兼任の集落支援員制度を導入しました。モデル地区として令和 7 年度に行った公募に対しまして、応募があった 4 団体を設置団体と選定し、各地域から推薦された 4 人に委嘱状を交付しました。

今後も集落支援員の活動状況や、活動地域における課題を確認し、適宜サポートするとともに、地域活性化に向けた意欲ある取組みを後押ししてまいります。また、今年度の活動状況を参考にしながら、さらなる導入団体の拡充や専任の集落支援員の導入を検討していきます。

○集落支援員導入団体

年 度	団 体 数	団 体 名
令和 8 年度	4 団体	御成町三丁目町内会、猿間自治会、独鈷町内会、山田部落会

4 財 政

1 予算総括表

(単位：千円)

会計区分		年度区分	令和8年度 当初予算(A)	令和7年度 最終予算(B)	(A)(B)の 比較増減	R7年度当初予 算と(A)の比較
一 般 会 計			35,888,804	45,672,723	△ 9,783,919	△ 1,476,078
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		6,408,408	6,859,310	△ 450,902	△ 310,921
	後 期 高 齢 者 医 療		1,437,608	1,234,048	203,560	264,000
	介 護 保 険		10,500,891	10,727,660	△ 226,769	△ 6,661
	介 護 サービス 事業		83,014	43,597	39,417	38,812
	小 規 模 水 道 等 事業		5,290	5,395	△ 105	△ 105
	休日夜間急患センター		51,498	52,367	△ 869	2,123
	公設総合地方卸売市場		6,711	9,653	△ 2,942	△ 375
	温 泉 開 発		16,033	18,247	△ 2,214	△ 1,360
	奨 学 資 金		19,579	19,474	105	△ 2,645
	都 市 計 画 事 業		169,659	257,355	△ 87,696	△ 43,138
	土 地 取 得		4	46	△ 42	0
	財 産 区		14,921	30,187	△ 15,266	△ 14
	計		18,713,616	19,257,339	△ 543,723	△ 60,284
合 計			54,602,420	64,930,062	△ 10,327,642	△ 1,536,362

(単位：千円)

会計区分		科 目		令和 8 年度 当初予算 (a)	令和 7 年度 最終予算 (b)	(a) (b) の 比較増減
企 業 会 計	水 道 事 業	収益の収支	収入	1, 539, 429	1, 527, 430	11, 999
			支出	1, 515, 085	1, 509, 936	5, 149
		資本の収支	収入	277, 751	193, 507	84, 244
			支出	694, 891	1, 211, 739	△ 516, 848
	工業用水道事業	収益の収支	収入	89, 393	87, 172	2, 221
			支出	88, 550	87, 172	1, 378
		資本の収支	収入	8	8	0
			支出	69, 949	77, 054	△ 7, 105
	下 水 道 事 業	収益の収支	収入	1, 795, 082	1, 836, 544	△ 41, 462
			支出	2, 419, 825	2, 351, 666	68, 159
		資本の収支	収入	1, 637, 903	1, 685, 323	△ 47, 420
			支出	2, 016, 207	1, 963, 988	52, 219
	病 院 事 業	収益の収支	収入	13, 548, 476	13, 434, 082	114, 394
			支出	14, 077, 024	14, 449, 330	△ 372, 306
		資本の収支	収入	671, 226	690, 821	△ 19, 595
			支出	1, 027, 966	1, 056, 738	△ 28, 772
企 業 会 計 合 計		収益の収支	収入	16, 972, 380	16, 885, 228	87, 152
			支出	18, 100, 484	18, 398, 104	△ 297, 620
		資本の収支	収入	2, 586, 888	2, 569, 659	17, 229
			支出	3, 809, 013	4, 309, 519	△ 500, 506

2 一般会計款別構成

(1) 歳入

(単位：千円)

款 別	令和8年度(A)		令和7年度(B)		(A)(B)比較
	当初予算	構成比	最終予算	構成比	
1 市 税	8,159,176	22.7%	8,309,619	18.2%	△ 150,443
2 地 方 譲 与 税	388,000	1.1%	406,000	0.9%	△ 18,000
3 利 子 割 交 付 金	6,000	0.0%	6,000	0.0%	0
4 配 当 割 交 付 金	30,000	0.1%	30,000	0.1%	0
5 株式等譲渡所得割交付金	50,000	0.1%	50,000	0.1%	0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	110,000	0.3%	110,000	0.2%	0
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,900,000	5.3%	1,900,000	4.2%	0
8 ゴルフ場利用税交付金	3,000	0.0%	3,000	0.0%	0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	3,000	0.0%	20,000	0.0%	△ 17,000
10 地 方 特 例 交 付 金	86,000	0.2%	45,483	0.1%	40,517
11 地 方 交 付 税	11,950,000	33.3%	13,757,055	30.1%	△ 1,807,055
12 交通安全対策特別交付金	5,000	0.0%	5,000	0.0%	0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	80,894	0.2%	65,785	0.2%	15,109
14 使用料及び手数料	349,561	1.0%	355,595	0.8%	△ 6,034
15 国 庫 支 出 金	4,793,817	13.4%	6,294,000	13.8%	△ 1,500,183
16 県 支 出 金	2,687,261	7.5%	2,645,415	5.8%	41,846
17 財 産 収 入	157,330	0.4%	280,383	0.6%	△ 123,053
18 寄 附 金	3	0.0%	979,053	2.1%	△ 979,050
19 繰 入 金	2,395,709	6.7%	2,788,278	6.1%	△ 392,569
20 繰 越 金	500,000	1.4%	1,518,521	3.3%	△ 1,018,521
21 諸 収 入	959,953	2.7%	1,054,236	2.3%	△ 94,283
22 市 債	1,274,100	3.6%	5,049,300	11.1%	△ 3,775,200
歳 入 合 計	35,888,804	100.0%	45,672,723	100.0%	△ 9,783,919

(2) 歳出

(単位：千円)

款 別	令和8年度(A)		令和7年度(B)		(A)(B)比較
	当初予算	構成比	最終予算	構成比	
1 議 会 費	263,755	0.7%	264,365	0.6%	△ 610
2 総 務 費	3,760,701	10.5%	5,949,958	13.0%	△ 2,189,257
3 民 生 費	13,156,741	36.7%	13,812,816	30.2%	△ 656,075
4 衛 生 費	3,925,472	10.9%	6,961,082	15.2%	△ 3,035,610
5 労 働 費	82,411	0.2%	107,496	0.2%	△ 25,085
6 農 林 水 産 業 費	1,085,412	3.0%	1,260,659	2.8%	△ 175,247
7 商 工 費	1,523,605	4.2%	1,585,566	3.5%	△ 61,961
8 土 木 費	2,677,148	7.5%	4,384,556	9.6%	△ 1,707,408
9 消 防 費	1,346,149	3.8%	1,588,140	3.5%	△ 241,991
10 教 育 費	3,596,097	10.0%	4,468,316	9.8%	△ 872,219
11 災 害 復 旧 費	25,003	0.1%	770,203	1.7%	△ 745,200
12 公 債 費	3,255,448	9.1%	3,168,919	6.9%	86,529
13 諸 支 出 金	1,140,862	3.2%	1,300,647	2.9%	△ 159,785
14 予 備 費	50,000	0.1%	50,000	0.1%	0
歳 出 合 計	35,888,804	100.0%	45,672,723	100.0%	△ 9,783,919

3 一般会計財源内訳（令和8年度当初予算）

（単位：千円）

自主財源			依存財源		
科目	金額	構成比	科目	金額	構成比
市税	8,159,176	22.7%	地方譲与税	388,000	1.1%
分担金及び負担金	80,894	0.2%	利子割交付金	6,000	0.0%
使用料及び手数料	349,561	1.0%	配当割交付金	30,000	0.1%
財産収入	157,330	0.4%	株式等譲渡所得割交付金	50,000	0.1%
寄附金	3	0.0%	法人事業税交付金	110,000	0.3%
繰入金	2,395,709	6.7%	地方消費税交付金	1,900,000	5.3%
繰越金	500,000	1.4%	ゴルフ場利用税交付金	3,000	0.0%
諸収入	959,953	2.7%	環境性能割交付金	3,000	0.0%
			地方特例交付金	86,000	0.2%
			地方交付税	11,950,000	33.3%
			交通安全対策特別交付金	5,000	0.0%
			国庫支出金	4,793,817	13.4%
			県支出金	2,687,261	7.5%
			市債	1,274,100	3.6%
計	12,602,626	35.1%	計	23,286,178	64.9%
合 計			35,888,804		

4 一般会計性質別歳出（令和8年度当初予算）

（単位：千円）

科目	金額	構成比	科目	金額	構成比
消費的経費	25,956,200	72.3%	投資的経費	2,702,138	7.5%
人件費	6,889,633	19.2%	普通建設事業	2,677,135	7.4%
物件費	5,778,645	16.1%	補助事業	1,462,599	4.0%
維持修繕費	679,361	1.9%	単独事業	1,214,536	3.4%
補助費等	3,859,172	10.7%	災害復旧事業	25,003	0.1%
扶助費	7,130,842	19.9%	その他の	7,230,466	20.2%
貸付金	600,000	1.7%	公債費	3,255,303	9.1%
投資・出資金	1,018,547	2.8%	繰出金	3,795,516	10.6%
			積立金	129,647	0.4%
			予備費	50,000	0.1%
			計	35,888,804	100.0%

5 一般会計負担額調 (令和8年度当初予算)

区 分	予 算 額 (千円)	1世帯当たり 負担額 (円)	1人当たり 負担額 (円)	備 考
一 般 会 計	35,888,804	1,168,978	566,874	R8. 4. 1現在 人 口 63,310 世帯数 30,701
自 主 財 源	12,602,626	410,495	199,062	
市 民 税 (個 人)	3,020,383	98,380	47,707	
人 件 費	6,889,633	224,410	108,823	
物 件 費	5,778,645	188,223	91,275	
普 通 建 設 事 業	2,677,135	87,200	42,286	
公 債 費	3,255,303	106,032	51,418	

6 地方交付税の推移

(単位：千円)

年度	基準財政需要額	基準財政収入額	交付基準額	普通交付税 交付決定額	特別交付税 交付決定額
R02	18,960,436	8,199,160	10,761,276	10,830,832	1,596,951
R03	19,494,267	7,853,534	11,640,733	11,640,733	1,756,048
R04	19,457,535	8,255,787	11,201,748	11,201,748	1,902,879
R05	19,790,010	8,462,367	11,327,643	11,327,643	1,773,349
R06	20,146,478	8,397,427	11,749,051	11,749,051	1,997,749
R07	20,325,905	8,568,850	11,757,055	11,757,055	2,420,575

7 一般会計予算、決算の推移

(単位：千円)

年度	当 初 予 算	最 終 予 算	決 算		
			歳 入	歳 出	差 引
R02	36,578,299	51,669,194	52,165,838	50,092,639	2,073,199
R03	34,107,894	44,787,777	46,439,867	44,112,753	2,327,114
R04	34,887,745	44,125,065	44,168,311	42,125,551	2,042,760
R05	34,763,132	42,427,549	43,401,088	41,507,562	1,893,526
R06	36,305,716	42,579,428	44,224,895	42,616,848	1,608,047
R07	37,364,882	45,672,723	—	—	—
R08	35,888,804	—	—	—	—

8 一般会計地方債現在高調

(単位：千円)

区 分	令和7年度末に おける現在高	令和8年度中増減見込み		令和8年度末 現在高見込額
		令和8年度中 起債見込額	令和8年度中 元金償還見込額	
I 普 通 債	20,870,844	1,274,100	1,834,989	20,309,955
(1)土 木	1,169,119	320,600	124,468	1,365,251
(2)農林水産	1,119,032	74,200	101,580	1,091,652
(3)教 育	319,686	91,700	62,554	348,832
(4)公営住宅	840,216	167,700	51,936	955,980
(5)消 防	372,748	10,300	81,760	301,288
(6)衛 生	677	20,000	215	20,462
(7)庁 舎	4,282	0	320	3,962
(8)民 生	3,200	69,000	0	72,200
(9)商 工	733,470	100,000	107,713	725,757
(10)労 働	29,690	0	9,977	19,713
(11)過疎対策	6,076,204	399,800	609,322	5,866,682
(12)合併特例	9,865,802	0	652,719	9,213,083
(13)そ の 他	336,718	20,800	32,425	325,093
II 災害復旧債	601,629	0	57,295	544,334
(1)土木農林	601,629	0	57,295	544,334
(2)公営住宅				
III そ の 他	10,166,561	0	1,167,352	8,999,209
合 計	31,639,034	1,274,100	3,059,636	29,853,498

9 財 政 分 析

項 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公 債 費 比 率	4.9%	4.7%	3.0%	3.2%	2.9%	4.5%
財 政 力 指 数	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
実 質 収 支 比 率	8.2	8.3	9.6	8.0	7.6	6.8

10 税 務

(1) 令和8年度市税歳入予算額の内訳(滞納繰越分含む)

区 分	金 額	構成比 (%)	区 分	金 額	構成比 (%)
1. 市民税	3,610,023	44.2	4. 市たばこ税	486,340	6
(1) 個人	3,020,383	37	5. 入湯税	3,143	0
(2) 法人	589,640	7.2	6. 都市計画税	59	0
2. 固定資産税	3,808,229	46.7			
(1) 固定資産税	3,708,069	45.5			
(2) 国有資産等所在市町村 交付金及び納付金	100,160	1.2			
3. 軽自動車税	251,382	3.1			
(1) 環 境 性 能 割	4,523	0.1			
(2) 種 別 割	246,859	3.0	計	8,159,176	100

※都市計画税は平成30年度から廃止

(2) 税 率

区			分	均 等 割	法 人 税 割	
市 民 税	個 人			3, 000円	標 準 税 率	
	法 人	資本金等の金額		従 業 員 者 数		8. 4/100
		50億円を超え		50人を超える	3, 600千円	
		50億円以下で10億円を超え		50人を超える	2, 100千円	
		10億円を超え		50人以下	492千円	
		10億円以下で1億円を超え		50人を超える	480千円	
		10億円以下で1億円を超え		50人以下	192千円	
	人	1 億円以下で1千万円を超え		50人を超える	180千円	
		1 億円以下で1千万円を超え		50人以下	156千円	
		1 千万円以下で		50人を超える	144千円	
前各号に掲げる法人以外の法人等			60千円			
○固定資産税 ○軽自動車税 ○市たばこ税					標準税率	
○特別土地保有税 ○入 湯 税						

標準税率

(3) 市民税（個人分）徴収実績

(単位：円、%)

年 度	区 分	調 定 額	収 入 済 額	収 納 率	備 考
R 5	現 年 分	2,810,973,423	2,800,667,325	99.63	決 算 額
	滞納繰越分	48,358,679	11,319,448	23.41	
	計	2,859,332,102	2,811,986,773	98.34	
R 6	現 年 分	2,573,528,800	2,564,638,656	99.65	決 算 額
	滞納繰越分	39,410,010	9,021,231	22.89	
	計	2,612,938,810	2,573,659,887	98.50	
R 7	現 年 分	3,120,786,170	2,925,497,970	93.74	令和8年3月末 現 在
	滞納繰越分	34,829,647	9,065,786	26.03	
	計	3,155,615,817	2,934,563,756	92.99	

(4) 納税貯蓄組合（令8.4.9現在）

- ・組 合 数 11 組合
- ・組 合 員 数 195 人
- ・優良組合表彰 10,000 円（市税10年連続完納、以後 5 年ごとに表彰）
- ・納 税 推 進 員 年額謝礼 6,000 円（納税貯蓄組合長を任命）

5 市民生活と環境

1 交通安全対策

(1) 交通指導隊（令 8. 4. 1 現在）

大館地区交通安全協会事業の一環として設置運営されてきた「交通指導隊」は、昭和47年4月1日から市長委嘱による非常勤特別職、令和2年度からは有償ボランティアである交通指導員で組織し、交通指導と事故防止に活躍している。

(2) 配置状況（23人）

大館地域…16人 比内地域…4人 田代地域…3人

(3) その他

制服等は貸与とし、市費で傷害保険に加入している。

（参考）交通事故件数調（令和7年）

大館警察署管内

月 区分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	令6年
発生件数(件)		4	4	2	3	0	5	4	4	0	4	3	5	38	54
死 傷 者	死 者(人)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	負傷者(人)	4	4	1	3	0	6	4	6	0	4	5	6	43	62
	計 (人)	4	4	2	3	0	6	6	4	0	4	5	6	44	63

2 防犯対策

(1) 防犯指導隊

大館市の防犯指導の活動を効果的に行い、犯罪及び事故のない明るい社会づくりを推進するため、平成5年4月1日から市長委嘱による非常勤特別職、令和2年度からは有償ボランティアである防犯指導員で組織し、犯罪等の未然防止に活躍している。

・配置状況（31人）

中央班……6人 北班……8人 南班……3人 比内班……9人 田代班……5人

(2) 街灯

・設置状況…蛍光灯、水銀灯等特殊灯 2,248灯

L E D灯10,228灯 （令 8. 4. 1 現在）

・8年度予算…街灯工事費50.0万円 街灯電気料金3,700.0万円 街灯修繕費150.0万円

L E D街灯設置費補助金 110.0万円

3 消費者行政及び市民相談

(1) 消費生活の相談、苦情処理のあっせん

① 消費生活に係る相談、苦情処理のためのあっせん

② 消費生活の知識の普及及び啓発

③ 消費生活に係る情報の収集及び提供

- ④ 消費生活の安定及び向上
- (2) 消費生活相談受付件数
令和7年度 359件
- (3) 消費者講演会
消費生活に関する知識、技術の学習により、消費者意識の啓発促進を図る。(年1回)
- (4) 市民相談
市民の要請等の相談に応じているほか、次の相談も定期的に開設している。
- ① 法律相談 年35回(7年度受付 127件)
- ② 困りごと相談 週5日(7年度受付 397件)

4 墓地公園

(1) 大館市小柄沢墓園

市街地の東部約2kmに位置する丘陵地の西斜面に造成されており、従来の墓地形式にとらわれることなく、新しい感覚による独創的な形態が考慮されている。昭和52年度から供用を開始、現在3,280区画となっている。

① 墓域地域

区 分	区 画 数	延 面 積	備 考
墓 所	4 m ²	265	1,060m ² 普通墓地
	6 m ²	2,526	一般規制墓地
		354	普通墓地
	8 m ²	81	648 //
	9 m ²	52	468 //
	120m ²	1	120 合同墓地
	20m ²	1	20 //
	その他		980
墓 参 路		18,160	
緑 地		20,800	
計	3,280	59,536	墓所面積計20,576m ² (規制15,156m ² 普通4,440m ² ほか)

② 分譲内容

区分	造成年度	造成区画数 (1区画6m ²)	分譲価格 (永代使用料)	管 理 費 (1区画当たり年額)
	昭52年度	440	300,000円	3,000円
一般 規制 墓地	昭56年度	252	330,000	3,000
	昭59年度	388	330,000	3,000
	平4年度	582	360,000	3,000
	平13年度	98	390,000	3,000
	平16年度	96	390,000	3,000
	平19年度	250	420,000	3,000

	平21年度	120		450,000	3,000
	平24年度	300		500,000	3,000
普通墓地	昭62年度	4㎡	265	220,000	2,000
		6㎡	122	330,000	3,000
		8㎡	81	440,000	4,000
		9㎡	52	495,000	4,500
	平13年度	6㎡	148	440,000	3,000
	平19年度	6㎡	84	440,000	3,000
合同墓地	平2年度	120㎡	1		60,000
	平27年度	20㎡	1		10,000

- (2) 大館市十瀬野公園墓地（1区画 6.48平方メートル）

永代使用料…… 70,000円

管理手数料…… 3,240円（年間）

- (3) 大館市小森山墓地公園（1区画 5平方メートル）

永代使用料……260,000円

管理手数料…… 2,500円（年間）

- (4) 大館市田代墓地公園（1区画 5平方メートル）

永代使用料……175,000円

管理手数料…… 2,500円（年間）

5 ペット霊園

- (1) 所在地 大館市柄沢字小柄沢12番地

- (2) 建物概要

① 構造 管理棟 木造平家建

② 床面積 73.25m²

③ 建築面積 100.58m²

- (3) 工事費 造成工事費 9,280千円 新築工事費 14,265千円 合計 23,545千円

増築工事費 787千円（納骨堂増築3.1m²）

増築工事費 2,706千円（納骨堂増築16.02m²）

- (4) 施設使用料 (令6年4月1日改正)

施設名	使用料		
	区分	市内に住所を有する者	市内に住所を有しない者
ペット火葬場	体重30kg以上のペット	11,700 円	23,400 円
	体重15kg以上30kg未満のペット	9,300	18,600
	体重3kg以上15kg未満のペット	7,000	14,000
	体重3kg未満のペット	3,500	7,000

ペット納骨堂	1,300 円
ペット霊安室	無 料

(5) 利用件数（令和7年度）

・犬279件 ・猫262件 ・鳥9件 ・その他60件 計610件 1日平均2.07件（294日稼動）

6 斎場

- (1) 名 称 大館市斎場
(2) 所 在 地 大館市柄沢字丸山下181番地
(3) 開 設 令8.4.1
(4) 敷地面積 20,148.13㎡
(5) 建物面積 延べ1,858.89㎡
(6) 建物構造 鉄筋コンクリート造一部木造一部鉄骨造
(7) 総事業費 3,478,600千円（調査、設計、用地取得費等含）
(8) 施設の概要 エントランスホール、告別収骨室4室、待合室4室、待合ホール、キッズコーナー、トイレ、更衣室、事務室等
(9) 火 葬 炉 火葬炉4基、炉室、バグフィルター2基
(10) 使 用 料 (令8年4月1日改正)

適用区分	単 位	料 金	
		市 内 住 民	他 市 町 村 住 民
15歳以上	1体につき	無 料	60,000円
15歳未満	〃	〃	50,000円
死 胎 児	〃	〃	40,000円
医 療 汚 物	1件につき	3,000円	6,000円
霊 安 室	1体1日につき	3,000円	6,000円

7 広報と広聴

(1) 広報活動

① 広報「おおだて」

昭和26年8月20日創刊。A4判オフセット平均24ページで毎月1回、31,650部を発行。市内全世帯及びその他必要なところに無料配布している。各世帯への配布は行政協力員を経て行っている。平成12年からは市ホームページにも掲載している。

② 点字広報

全ての市民に市政の動きを知っていただくという広報活動の原則に立って、昭和45年度から他の市町村に先駆けて、視覚障害者向けの点字広報（A4判約8,000字）を隔月20部発行している。

③ 声の広報

視覚障害者の中でも点字を読むことができない方のために、昭和48年度から視覚障害者

向けの録音テープを作成して広報活動を行っている。録音はボランティアグループ「麦の会」の協力を得て月1回編集し、平成23年度からは録音テープをCDに変更して視覚障害者宅に郵送、市政のニュース等の提供に努めている。

④ 市公式LINE

令和7年度から、市民へより多くの市政情報を提供することを目的として、市公式LINEを導入。登録時に把握した利用者の居住地（市内の地域・市外）、性別などの利用者属性や配信を希望するジャンルに応じて、利用者が必要としている情報をピンポイントに配信し、市民満足度の向上を図っている。

(2) 広聴活動

① 市長への手紙・HOT函

市政に対する意見・要望を広くかつ各年齢層から寄せていただくことを目的に、平成3年8月13日からHOT函（市庁舎玄関1カ所、合併後は比内総合支所と田代総合支所に各1カ所）を設置。また、手紙やFAXなどでも「市長への手紙」として随時受け付けている。（令和7年度 33通）

平成12年4月からは、市ホームページに市政への意見・要望を電子メールで寄せてもらう「e-HOT函」を実施している。（令和7年度 62通）

② 「市民の声」の公表

市民からの様々な声を市政に反映させるとともに、これらを紹介して市民と共有するため、市民から寄せられた意見・要望と市の対応状況を、平成29年度から市ホームページで公表している。

③ 市民と語る会

市長ほか市幹部職員が各町内に出向き、地域住民と市政について語り合い、市民からの意見・要望を行政に反映させる目的で昭和43年から実施している。

④ 市長と話そう

地域ごとに設定したテーマ（地域課題）について、市長と話したい内容を書いて応募してもらい、座談会形式で市長が深掘りしていく。令和7年2月に第1回を開催し、令和7年度は4回開催した。

(3) 行政協力員

市政の円滑な運営と行政能率の向上を図る目的で、昭和26年4月に設置。現在433人（行政区域数386）の行政協力員を委嘱している。

行政協力員は1人でおおむね30から100世帯の区域を担当している。

・報酬（月額） 世帯割（1世帯）…20円 均等割（年12回）…2,700円
活動費（年1回）…3,000円

8 環境保全対策組織

(1) 環境課（環境企画係職員4人 環境保全係職員4人）

環境保全及び衛生、廃棄物の処理事務を所管している。

(2) 環境審議会

環境基本条例により市長の諮問機関として設置することになった環境審議会は、平成13年度より旧廃棄物減量等審議会を吸収統合し、有識者、各種団体の代表者、関係行政機関の職

員及び一般公募者で構成されている。

9 公害関係予算

(令和8年4月1日現在予算)

区 分	金 額	主 な 内 容
環 境 保 全 費	29,016千円	・水質、土壌等分析手数料 2,468千円 ・廃棄物不法投棄監視員報酬 915 ・坑廃水处理場管理等業務委託料 22,456 ・その他 3,177

10 居住環境の公害（鉱害を含む）に関する調査と対策について

公害の種類	公害の発生源	現 状 と 対 策 の 概 要
水 質 汚 濁	鉱山排水によるもの	管内の主要河川は、水質汚濁防止法による全国一律の排水基準及び県条例による流域別の排水基準並びに上乘せ基準が設定されており、重金属の汚染調査は国・県が毎月実施、汚濁監視に当たっている。
	工場・事業所等の排水によるもの	水質汚濁防止法、県公害防止条例等による規制対策施設は、県の監視・指導のもとに排水規制値遵守の徹底を図っており、大館保健所が随時立入検査を実施している。
	一般家庭生活排水によるもの	昭和53年以来、生活雑排水が流下する主要な川や下水路の調査を実施している。 平成3年度から国・県の補助金制度を受け実施している合併処理浄化槽設置整備事業は、市民の環境・水質問題に対する理解も浸透してきており、年々設置希望者も多く、着実に推移している。 また、平成11年度より施行された市環境保全条例により、原則として、生活排水を未処理のまま流すことになる単独処理浄化槽の新規設置は禁止としたため、成果が期待される。
大 気 汚 染	自動車排気ガス、稲わら焼き、工場・事業所によるもの	市内には、幸いに広範囲に及ぶ大気汚染発生源はない。 また、工場・事業所から発生するばいじんやばい煙はダイオキシン特別措置法により規制摘要範囲が小型焼却炉まで拡大されたことにより工場・事業所の焼却炉の改修や使用自粛が進んでいることから、年々減少の傾向にある。
騒音・振動	鉄工所、製材工場、建設作業、その他	鉄工所、製材工場などでは、現場での騒音防止や工場移転によって解決を図っている。 振動は、ほとんどの事業所で規制基準内となっている。 建設作業にかかわる騒音・振動は全面的に防止することは難しいが、事業主と業者に対して周辺住民に誠意を持って接し、理解と協力を求めるよう指導している。 その他の騒音は、自動車の交通騒音、飲食店のカラオケ騒音等があるが、苦情もなく、騒音が深刻ではない状態におさまっている。

悪臭	畜産施設、食品加工所、その他	畜産施設の悪臭は広範囲にわたるため、これを防止するには発生源の対策が必要である。しかしながら、防止対策には多額の費用と高度の技術を必要とすることから、経営を圧迫するため根本的に解決するのは難しいところである。 そのため、経営者の公害防止に対する認識を高めるとともに、徹底した施設の維持管理を指導しているところである。
----	----------------	--

11 大館市衛生処理施設

生活様式の変化に伴い、年々増加するごみ処理に対応するため、広域根幹事業として取り上げた一般廃棄物処理施設の建設は、昭和54年3月に埋立最終処分場、同年9月に粗大ごみ処理施設が完成し、同年10月1日から業務を開始した。

また昭和57～59年度継続事業で建設した大館市し尿処理場が昭和59年9月25日完成、昭和60年4月1日から業務を開始した。(令和7年3月31日廃止)

- ・ 衛生処理施設使用料 (令和元年10月1日改定)

施設名	重量または容量	使用料(円)
大館市粗大ごみ処理場	100キログラム以下	660(税込)
	100キログラムを超え、100キログラムにつき加算する額	660(税込)

(1) 大館市堤沢埋立最終処分場

① 所在地 大館市沼館字下堤沢130-2ほか

② 施設の概要

- ・埋め立て地面積

総面積	156,000m ²
埋め立て面積	47,000m ²
- ・処理能力

ごみ埋め立て可能量	710,000m ³
ごみ埋め立て残余容量	118,000m ³ (令和8年3月末)
排水処理	400m ³ (最大800m ³ /日)
- ・処理方式 ごみは粉砕埋め立て、排水は活性汚泥方式

《埋立処分場》

コンクリート擁壁、集水透水管、防火貯水槽、雨水等排除設備、ごみ搬入路、揚水設備、沈砂地、処理水排水、管理棟給排水、排水処理施設整地

《排水処理施設》

前処理設備、曝気設備、沈殿設備、凝集沈殿設備、汚泥処理設備、薬品注入設備、建屋設備、配管設備、電気計装設備、附帯設備

《附帯工事》

石垣築造、ヒューム管布設、揚水場道路、市道付け替え

(2) 大館市粗大ごみ処理場

① 所在地 大館市沼館字下堤沢130-2ほか

② 施設の概要

- ・敷地面積 1,781.25m²
- ・処理能力 40 t / 5 h
- ・処理方式 (併設施設) 破碎、圧縮

《粗大ごみ処理施設》

受入供給設備、破碎設備、搬出設備、集塵設備、分別設備、電気設備、計装設備、建屋設備

12 ごみ処理状況 (令和7年度実績)

- (1) 計画収集人口 64,824人(令和7年4月1日)
- (2) 年間排出量 22,687 t
- (3) 1人1日平均排出量 959 g
- (4) 1日平均排出量 約62.2 t
- (5) 収集委託業者 7業者 運転手26人 作業員25人
- (6) 業者作業台数 30台

4 t パック	16台
10 t パック	2台
5 t ユニック	1台
4 t アームロール	1台
2 t トラック	9台
1 t トラック	1台
- (7) 収集回収

・燃やせるごみ	週2回
・破碎ごみ	月1回
・埋立ごみ	月1回
・資源ごみ	
ペットボトル	月2回
紙	月2回
缶	月2回
ビン	月1回
スクラップ	年4回
・こでん(小型家電)	拠点回収
・粗大ごみ	有料

戸別収集(奇数月のみ)

(8) PFI方式によるごみ処理事業「大館クリーンセンター」

平成17年8月からPFI事業で運営された、大館市一般廃棄物処理委託事業(大館クリーンセンターによるごみ焼却処分)が令和2年7月31日をもって契約満了となることから、契約満了後のごみ処理方法について、平成26年度から当市及びPFI事業者(当時)で協議を開始した。

協議の結果、施設の更新より経済的及び効率的であることから、老朽化対策として基幹的設備改良工事を実施し、同施設での運営を継続することとなった。また、事業方式についても、前方式と同様にPFI方式とすることとなった。

協議の結果を踏まえ、令和元年12月に新PFI契約を締結し、基幹的設備改良工事を経て現在

の運営に至っている。

① 再度 P F I 方式で実施するに至った理由

イ．事業全体を通じて民間事業者の資金調達力や効率的な事業ノウハウを活用することが可能となる。

ロ． P F I 方式の場合、改良工事年次における多額の財政支出は発生せず、契約期間全体にわたって平準化した形で、民間事業者にサービスの対価と合せて支払われることとなる。

ハ．市が自ら実施する場合（新施設を市が自ら建設し、10 年間運営する。）と PFI 方式により実施する場合（大館クリーンセンターを基幹的設備改良工事により延命化し、10 年間稼働する。）の市の財政負担額を比較したところ、負担額が約 8%削減される。

ニ．工事段階において、民間事業者が工期の管理を行うとともに、工期の遅延等のタイムオーバーランリスクを負担することにより、計画通り円滑に事業を遂行できることが期待される。（リスク移転）

ホ．事業期間において、プラントの運営及び保守管理を民間事業者の責任とするとともに、プラント運転等に係る技術的瑕疵等に起因するコストオーバーランリスクを民間事業者が負担することにより、効率的な事業運営が期待できる。（リスク移転）

② 事業の概要

事業名	大館クリーンセンター基幹的設備改良工事・運営事業		
事業内容	大館クリーンセンターの基幹的設備改良工事の設計・施工、運営及び副成物の運搬・処分並びにこれらに附帯する事業		
契約締結	令和元年 12 月 12 日（議決日）		
基幹改良工事	令和元年 12 月 25 日～令和 4 年 3 月 31 日		
引継運営期間	令和 2 年 8 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日（改良工事期間）		
運営期間	令和 4 年 4 月 1 日～令和 14 年 3 月 31 日（改良工事後 10 年間）		
工事・運営	大館エコマネジ株式会社（SPC）		
副成物運搬	DOWA 通運株式会社		
副成物処分	エコシステム花岡株式会社		
工事請負者	日立造船株式会社 東北支社		
総事業費	11,504,155 千円（交付金控除前）		
	9,705,334 千円（交付金控除後）		

基幹的設備改良工事に係る交付金（環境省交付金）

交付金名称 二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金 交付率 1 / 2

基幹的設備改良工事（総工事費 4,290,000 千円）

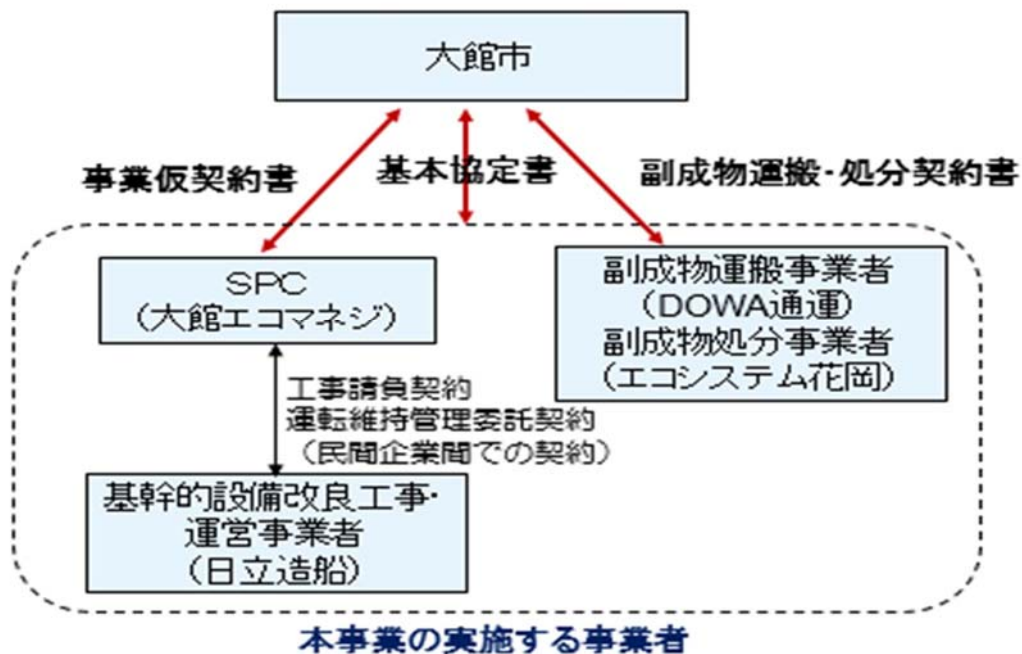
単位：千円

年度	交付対象工事費	交付金額
1	56,595	25,724
2	646,745	293,974
3	3,254,072	1,479,123
合計	3,957,412	1,798,821

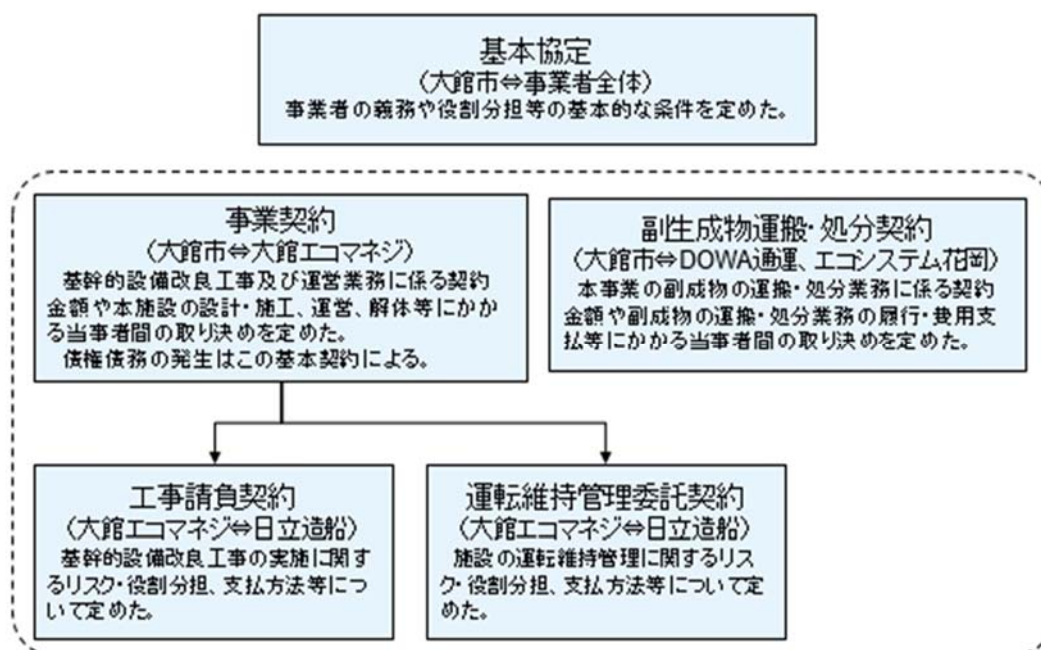
③ 施設の概要

施 設 名 称	大館クリーンセンター
施設の設置者	大館エコマネジ株式会社（S P C）
立 地 場 所	秋田県大館市雪沢字又右エ門沢地内
全体敷地面積	約16,600平方メートル（造成面積 約8,000平方メートル）
造 成 緑 地	約2,300平方メートル
施 設 規 模	・焼却炉 90 t / 日（24時間連続45 t / 日の2炉2系列）
処 理 方 式	・焼却炉 ストーカ方式
煙 突	構造形式：内外筒式 高 さ：59メートル
工 場 棟	構 造：鉄骨コンクリート造及び鉄骨造 高 さ：軒高約25メートル、最高高さ約26メートル 延床面積：約3,700平方メートル
そ の 他	・蒸気タービンによる発電（場内電力に使用 ※売電なし） ・余熱利用については場内給湯及びロードヒーティング ・排水については、雨水以外は場外に排出しないクローズド方式
供 用 開 始	令和4年4月（新契約による運営開始）
契 約 期 間	供用開始から10年間（令和13年度まで）

④ 契約の構造



⑤ 契約の概要



⑥ 事業の経緯

年月日	事 項	内 容 等
26. 8. 18	第 1 回 延長協議開催	【決定事項】 ・延長協議の構成員（大館市、大館エコマネジ株式会社、エコシステム花岡株式会社の3者とする） ・作業部会の設置（3者の担当部署で構成） ・ごみ質・ごみ量の将来予測
27. 5. 25	現事業者からの事業延長提案書受理	・（案1）性能回復を目的に更新 ・（案2）発電の付加価値を加えて更新
27. 7. 10	H27基本方針検討業務委託契約締結 （㈱日本総合研究所）	・P F I 事業者から提出された事業延長提案書の分析評価及び事業期間延長の基本方針についての検討業務を委託
28. 3. 28	第 2 回 延長協議開催	【決定事項】 ・現在地での事業継続 ・延長期間10年
29. 3. 21	第 3 回 延長協議開催	【決定事項】 ・基幹改良工事の整備手法 <u>ボイラー化</u> ・灰溶融炉の取扱い <u>廃止</u>
30. 3. 23	第 4 回 延長協議開催	【決定事項】 ・契約方針 循環型社会形成推進交付金を活用するため、P F I 法に則り、事業選定、事業者選定を経て契約締結する
30. 10. 1	民間提案書の受理	・P F I 法第6条に基づきエコマネジグループが民間提案書提出

30. 10. 19	第 1 回民間提案検討委員会 開催（庁内）	・ 民間提案書の検討 ・ 提案者ヒアリングの実施
30. 10. 30	第 2 回民間提案検討委員会 開催（庁内）	・ 提案者ヒアリングの結果 ・ 検討項目の評価
31. 2. 4	検討結果の通知	・ P F I 法第 6 条に基づき検討結果の通知 ・ P F I 法第 5 条に基づき実施方針（案）の作成
31. 3. 28	第 1 回事業評価委員会開催	・ 実施方針（案）について
元. 5. 10	実施方針公表	・ P F I 法第 5 条に基づく実施方針の公表 (広く情報提供を実施、事業に関する質疑を受付、質疑提出は、現事業者の1社のみ)
元. 8. 23	変更地域計画承認申請	・ 計画期間を令和 3 年度まで延長する ・ 費用対効果分析書についても提出
元. 8. 30	第 2 回事業評価委員会開催	・ 特定事業選定について ・ 事業者との契約方法について ・ 提案評価の考え方について
元. 9. 17	特定事業選定	・ P F I 法第 7 条に基づく特定事業の選定（事業の定量的、定性的な評価を行い、本事業を特定事業として選定する） 特定事業選定を行い公表する(告示・ホームページ)
元. 9. 19	参加資格要件等の確認(照会)	・ 大館エコマネジグループへ事業参加資格要件等を満たしているか確認するため、参加資格要件確認事項について照会する。
元. 9. 24	参加資格要件等の確認	・ 参加資格要件を満たしていることを確認
元. 9. 25	要求水準書の策定及び提案書提出依頼	・ 要求水準書策定 ・ 大館エコマネジグループへ提案書の提出依頼をする。
元. 10. 21	提案書受付	・ 大館エコマネジグループより提案書が提出される。
元. 10. 30	第 3 回事業評価委員会開催	・ 大館エコマネジ（株）による提案内容に関するプレゼンテーション ・ 事業評価委員会による提案内容最終評価（客観的な評価を行い、事業内容を健全なものとする）
元. 11. 6	優先交渉権者決定	・ 優先交渉権者の決定を行い、公表 (優先交渉権者：大館エコマネジグループ)
元. 11. 27	大館クリーンセンター基幹的設備改良工事・運営事業に係る各種契約締結	・ 基本協定締結 ・ 事業仮契約締結（議決が必要） ・ 副成物運搬・処分契約締結
元. 12. 12	事業仮契約議決	・ 事業仮契約が議決により本契約となる
元. 12. 25	大館クリーンセンター基幹的設備改良工事請負契約締結	・ 大館エコマネジ（株）と日立造船（株）東北支社が工事請負契約を締結 工事期間 令和元年12月25日～令和 4 年 3 月 31 日
2. 8. 1	新 P F I 契約による運営開始	・ 令和 2 年 7 月 31 日で旧 P F I 契約が満了し、新 P F I 契約による事業が開始された。 運営期間 令和 2 年 8 月 1 日～令和14年 3 月 31 日

2. 10. 27	燃やせるごみの外部処理業務委託契約締結	・ 工事に伴い11月から1炉（全1炉）運転となり、燃やせるごみの処理量が半減することから、余剰分について市内の処理業者と委託契約を締結した。
4. 3. 25	大館クリーンセンター基幹的設備改良工事完成	・ 大館クリーンセンター基幹的設備改良工事が完成
4. 4. 1	大館クリーンセンター供用開始	・ 新システムによる稼働が開始

⑦ 一般可燃ごみ焼却手数料

単 位	金 額
10キログラムにつき	60円

13 地域資源の利活用

「21世紀に飛翔する環境先端都市」の実現に向け、市内の豊かな自然と共生し、調和した社会づくりを図るために、平成21年7月に「大館市バイオマスタウン構想」を策定しました。

バイオマスタウン構想では、地域資源であるバイオマスを有効に活用するため廃棄物系バイオマスや未利用バイオマスの利活用の目標数値や期待される効果などを定め、地球温暖化の大きな要因とされるCO₂（二酸化炭素）を削減した「低炭素社会」の構築に取り組んでいます。

(1) 廃棄物系バイオマスの利活用

① 食品廃棄物及び家畜排せつ物等の堆肥化及びエネルギー化

大館市コンポストセンターでは、事業系生ごみ、鶏糞、籾殻を原料に良質の堆肥（製品名「土っ恋しよ」）を製造し、農地に還元する循環型農業の推進を図っています。

【原材料受入量】

区 分	受 入 量
事業系生ごみ	19 t
鶏 糞	42 t

【製造量】

区 分	製 造 量
土っ恋しよ	635 t

（※令和7年度実績）

② 廃食用油のエネルギー化

一般家庭などから回収した廃食用油を原料に、市内事業所がBDF（軽油代替燃料）を精製し、化石燃料の代替に活用しています。

【廃食用油回収量】

区 分	回 収 量
一般家庭	1,211 ^{リットル}
事業所	69,097 ^{リットル}

【製造量】

区 分	精 製 量
B D F	0 ^{リットル}

(2) 未利用バイオマスの利活用

森林組合等で行っている間伐材事業で発生する間伐材を利用してペレット燃料化の推進を図るとともに、市庁舎をはじめとする公共施設へのペレットボイラーやペレットストーブの導入を図り、木質バイオマスの利活用に取り組んでいます。

① 公共施設へのペレット等燃焼機器の導入状況

区 分	～H30 以前	令和 元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	合計
ストーブ	115台	－	－	－	－	－	－	－	115台
ボイラー	10台	1 台	－	－	－	－	2 台	－	13台

② ペレットストーブ設置費補助金事業

民間に木質ペレットストーブの普及を図るために、平成23年8月に「ペレットストーブ設置費補助金事業」を創設しました。市民や事業主の方を対象にペレットストーブの設置経費の一部を補助しています。

【ペレットストーブ設置費補助金事業の実績】

23～28 年度	29年度	H30 以前	令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	合計
74台	5 台	1 台	2 台	4 台	2 台	3 台	1 台	－	4 台	96台

③ 新エネルギー事業への取り組み

市では、環境先端都市の構築に向けて、再生可能エネルギーの太陽光、風力、水力、バイオマスなど新エネルギー事業に取り組んでいくため、平成24年度から国のグリーンニューディール基金を活用して、防災拠点施設や避難所となる公民館や小中学校などに太陽光発電を設置し、緊急時や災害時の対応が図れるように取り組んでいます。

事業年度	事 業 名	総事業費（千円）
平成24～27年度	公共施設再生可能エネルギー等導入事業	577, 591

④ 省エネへの取り組み

市では、平成24年度から平成29年度まで公共施設の電気使用量の削減による二酸化炭素排出量の削減を図るため、全公共施設へのLED照明導入に取り組みました。

事業年度	事 業 名	対 象 施 設	年間CO2削減量
平成29年度	LED導入事業	全 公 共 施 設	128トン

14 大館市エコプラザ

- (1) 名 称 大館市エコプラザ
- (2) 所 在 地 大館市字沼館道南40番地12
- (3) 開 設 平成27年5月28日
- (4) 敷地面積 2,669.88㎡
- (5) 建築面積 379.66㎡

- (6) 床面積 313.80㎡
- (7) 建物構造 鉄骨造平家建
- (8) 建設工事費 91,030千円（建築69,182千円、電気8,424千円、機械13,424千円）
- (9) 事業の概要
- ・資源回収事業：びん、紙、缶、スクラップ、ペットボトル、ペットボトルキャップ、廃食用油、こでんを無料で回収する。
 - ・再生販売事業：家具、自転車、チャイルドシート等リユース可能な物を無料で受け入れ、清掃、修理を行い販売する。
 - ・不用品引取サービス：再生販売事業で扱うリユース可能な物を運ぶ手段がないかた向けに自宅まで引き取りに行く。
 - ・3R関連情報提供事業：売ります・買います・譲ります情報の掲示、イベント、環境関連情報を発信する。
 - ・べんりステーション事業：粗大ごみ（品目で1個あたり200円、400円または800円）及び埋立ごみ（1袋110円）を有料で受け入れる。
 - ・コンクリートの引き取り：コンクリートブロックや物干し台などの廃コンクリート製品を1kgあたり22円で引き取りする。
 - ・貸館業務：もったいない工房及びイベント広場の利用管理。
- (10) 管理運営 指定管理者 東北ビル管財株式会社（平成29年4月1日～）
- (11) 施設使用料

（令和8年4月1日現在）

施設名	使用料（1時間につき）	冷暖房料（1時間につき）
もったいない工房	240円	120円
イベント広場	240円	—

- (12) 施設利用状況（令和7年度実績）
- ・来館人数 13,394人
 - ・資源回収事業
 - 回収物品 合計 42,294kg
 - ・再生品販売事業
 - 受け入れ 数量 7,891kg（1,781個）
 - 売り渡し 数量 8,258kg（1,823個）
 - ・べんりステーション事業
 - 粗大ごみ 数量 24,899kg（3,029個）
 - 埋立ごみ 数量 3,220kg（557個）
 - ・コンクリートの引き取り 1,003kg
 - ・貸館事業（もったいない工房）
 - 貸館回数 6回

6 福祉厚生

1 福祉施設

() 内は臨時職員等の内書き (令和8.4.1現在)

施設名		数	職員数	収容定員	備 考
公 設 施 設	総合福祉センター	1	— 人	— 人	基幹相談支援センター・地域活動支援センター配置 R7.4身体障害者福祉センター機能移転
	養護老人ホーム成章園	1	28 (3)	84	管理・運営を大館市社会福祉事業団に指定管理
	特別養護老人ホームつくし苑	1	93 (19)	120	
	ケアハウスほうおう	1	13 (1)	50	
	ふれあいセンターやまびこ	1	4 (2)	—	
	デイサービスセンター大滝	1	12 (2)	30	
	デイサービスセンターかつら	1	14 (10)	25	管理・運営を大館市社会福祉協議会に指定管理
	保 育 園	9	206 (119)	970	城南・城南分園・有浦・扇田・たしろ：市直営 釈迦内・十二所・西館・東館：管理・運営を大館感恩講に指定管理
	へ き 地 保 育 所	3	28 (7)	22	沼館・二井田・長木 管理・運営を大館市社会福祉事業団に指定管理
	児 童 館	4	27 (12)	—	比内・西館・たしろ・はやぐち 管理・運営を大館市社会福祉協議会に指定管理
	児童発達支援センターひまわり	1	8 (5)	15	障害児通所支援施設
	老人いこいの家清和荘	1	4 (2)	200	管理・運営を大館市老人クラブ連合会に指定管
	比内福祉保健総合センター	1	—	—	管理・運営を比内ふくし会に指定管理
	八木橋地域福祉センター	1	—	—	管理・運営を大館市社会福祉協議会に指定管理
	高齢者生きがいセンター	1	—	—	
	田代いきいきふれあいセンター	1	—	—	管理・運営を(株)友愛ビルサービスに指定管理
	田代老人福祉センター	1	—	—	管理・運営を(株)友愛ビルサービスに指定管理
	障害者生活支援センター	1	—	—	事業運営は大館市社会福祉協議会
委 託 施 設 ・ 私 設 施 設	地域包括支援センターかつら	1	6	—	管理・運営を大館市社会福祉協議会に委
	地域包括支援センター神山荘	1	4	—	管理・運営を大館圏域ふくし会に委託
	地域包括支援センター水交苑	1	5	—	管理・運営を水交苑に委託
	地域包括支援センターおおたき	1	3	—	管理・運営を大館市社会福祉事業団に委
	地域包括支援センターひない	1	4	—	管理・運営を比内ふくし会に委託
	地域包括支援センター長慶荘	1	2	—	管理・運営を大館圏域ふくし会に委託
	地域包括支援センター大館南	1	2	—	管理・運営を大館圏域ふくし会に委託
	母子生活支援施設白百合ホーム	1	11 (1)	20世帯	社会福祉法人 大館感恩講
	私 立 認 可 保 育 園	1	25 (11)	70	社会福祉法人 大館感恩講
	私 立 認 定 こ ど も 園	8	240 (68)	1,049	学校法人大館ホテヤ学園、学校法人福原 学園、学校法人月居学園、学校法人瑞垣 学園、学校法人日景学園、学校法人秋田カ トリック学園、学校法人富沢学園
	地域型保育施設	2	14 (3)	25	みらいっこ園・クレイドル

施 設 名		数	職 員 数	収容定員	備 考
委 託 施 設 ・ 私 設 施 設	特別養護老人ホーム水交苑	1	77 (28)	100	社会福祉法人 水交苑
	特別養護老人ホーム山館苑	1	49 (13)	50	
	特別養護老人ホーム神山荘	1	55 (11)	60	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
	特別養護老人ホーム大館南ガーデン	1	63 (12)	80	
	特別養護老人ホーム長慶荘	1	49 (12)	60	
	特別養護老人ホームやまぼうし	1	60 (7)	70	社会福祉法人 比内ふくし会
	特別養護老人ホームはなみずき	1	56 (6)	60	
	地域密着型介護老人福祉施設 C l u b C i t y	1	20	29	
	道 目 木 更 生 園	1	60 (9)	98 人	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
	軽 井 沢 福 祉 園	1	49 (7)	58	
	白 沢 通 園 セ ン タ ー	1	41 (14)	70	
	グループホーム軽井沢福祉園	1	6 (2)	24	
	グループホーム矢立育成園	1	11 (8)	28	
	おおだて障害者相談支援センター	1	7	—	
	大館市基幹相談支援センター	1	4	—	
	大館市地域活動支援センター	1	3 (2)	—	(長岡 40人、前田野20人) 特定非営利活動法人 共生センターとっと工房
	共生センター とっと工房	1	—	60	
	共生センター とっと工房 「なかよし とっと」	1	—	10	
	共生センター とっと工房 「たのしいわが家」	2	—	14	
	友 生	1	4	13	医療法人 和成会
	相 談 支 援 事 業 所 友 生	1	1	—	
	地域生活支援拠点おおだて 相談支援事業所プラットフォーム おおだて	1	1 (1)	—	社会福祉法人 花輪ふくし会
	生活介護事業所ケアワークおおだて	1	41 (14)	27	
	グループホーム シオン・ミズキ・スマイレ	3	26 (19)	27	
	多機能型事業所（生活介護） ぱすてる	1	12 (6)	9	
	放課後等デイサービス ぱすてる	1	5 (1)	7	
	日中サービス支援型指定共同 生活援助事業所きゃんぱす	1	10 (7)	7	
	相談支援事業所ぱれっと	1	1 (1)	—	

施 設 名		数	職 員 数	収容定員	備 考
委 託 施 設 ・ 私 設 施 設	障害者支援施設等 共同生活援助（グループホーム） ※重複記載あり	8	—	100	グループホーム軽井沢福祉園、 グループホーム矢立育成園、た のしいわが家、グループホーム シオン・ミズキ・スマレ、日中 サービス支援型共同生活援助 事業所きゅんぱす
	障害者支援施設等 就労継続支援事業所 ※重複記載あり	11	—	260	就労継続支援（A型） パッソアパッソ、アーレイズ 就労継続支援（B型） パッソアパッソ、工房JOYさあ くる、白沢通園センター、日中 活動事業所とむとむ、ワークサ ンフラワー、とっと工房、チョ コおおだて、比内ヒルズ・ふも との家、まんまる一心堂
	障害児通所支援事業所 ※重複記載あり	10	—	87	児童発達支援 わんぱく広場、ふぁみーゆ 放課後等デイサービス わんぱく広場、ふぁみーゆ、な かよしとっと、一心堂・2号店・ 3号店、ぱすてる、くらLabo

2 福祉関係事業（令和8.4.1現在）

	区 分	金額(千円)	負 担 内 容	備 考
社会福祉関係	民 生 委 員 報 償 費	8,621	市 費	269人＋地区会長17人(定数)
	社 会 福 祉 協 議 会 補 助 金	32,442		一般活動費 27,574千円 福祉活動専門員設置費補助金 3,679千円 屋内ゲートボール場運営費補助金 1,189千円
	計	41,063		
障がい者福祉関係	自立支援給付費(介護給付・訓練等給付)	1,906,300	国1/2・県1/4 ・市1/4	居宅介護、生活介護、施設入所等
	障害福祉サービス等措置費負担金	2,400		やむを得ない事由による措置費
	補装具給付費	13,700		
	自立支援医療費(更生、育成、療養)	58,000		
	障害児通所給付費	220,600		児童発達支援、放課後等デイサービス等
	地域生活支援事業費	29,844		意思疎通支援、訪問入浴、日常生活用具給付等
	重層的支援体制整備事業費	35,060		基幹相談支援センター事業 地域活動支援センター事業
	障害者権利擁護支援事業	731	県1/3・市1/3	成年後見制度法人後見支援事業補助金247千円ほか
	難聴児補聴器購入費助成事業	179		
	重度心身障害者(児)移送費	4,641	市 費	タクシー利用、燃料購入助成券
	地域生活支援事業費(単独)	16,188		障害者支援区分認定審査会事務、 自動車改造等助成費等
	地域活動支援センター事業委託料			たしろの里・こさかわいわい・鹿角障害者センター
	身体障害者協会連合会補助金	195		会員数 50人
	大館市手をつなぐ育成会補助金	135		会員数 51人
	秋田県難病団体連絡協議会補助金	40		
	大館圏域ふくし会土地賃借料補助金	1,001		
	東北ろうあ者大会補助金	100		
	障害者福祉総務費 その他障害福祉関連予算	6,081		国保連合会システム事務支払手数料ほか
	特別障害者手当扶助費	25,393	国3/4・市1/4	特別障害者、障害児福祉手当等
	特別障害者手当事務費	21	市 費	
	計	2,320,609		
高齢者対策関係	長 寿 祝 金	11,446	市 費	地域限定商品券 在宅(20万円分)35人、施設(3万円分)30人 77歳長寿記念品贈呈(3,000円)1,182人
	高齢者地域支え合い支援事業補助金	17,844	市	
	生活管理指導短期宿泊事業費	508	市	
	移 送 サ ー ビ ス 事 業 費	607	市 費	
	高齢者バス利用補助券交付事業費	0	市 費	R6年度で廃止
	軽 度 生 活 援 助 事 業	1,694	市	
	生活管理指導員派遣事業費	0	市 費	
	訪問理美容サービス事業費	13	市 費	
	成年後見制度利用促進推進事業	48	市 費	
	高齢者福祉施設等指定管理料	320,427	市 費	8カ所(田代老人福祉センター、ケアハウスほうおう、八木橋地域福祉センター、高齢者生きがいセンター、田代いきいきふれあいセンター、比内福祉保健総合センター、老人いこいの家、成章園)

	区 分	金額(千円)	負 担 内 容	備 考
高 齢 者 対 策 関 係	養護老人ホーム入所者措置費	24,243	徴収分を除く市費	
	高齢者住宅整備資金貸付金	0		0 件
	老人クラブ連合会補助金	4,948	国1/3・県1/3・市1/3	単位クラブ数 100クラブ 会員数 2,748人
	友愛訪問活動強化支援事業費補助金	701	国1/3・県1/3・市1/3	
	緊急通報システム委託料	2,639	(地方債)・利用料	大館・比内地区緊急通報2,000 ふれあい安心電話(田代地区)639
	介護予防・生活支援サービス事業費 (訪問・通所サービス)	296,900	国25%・県12.5%・市12.5%	
	生きがい健康づくり支援事業費	29,240	国25%・県12.5%・市12.5%	
	地域包括支援センター運営委託料	110,500	国25%・県12.5%・市12.5%	7カ所(施設の項を参照)
	認知症総合支援事業費	3,601	国38.5%・県19.25%・市19.25%	
	介護用品支給事業費	2,652	国38.5%・県19.25%・市19.25%	介護用品支給券交付
	家族介護教室開催事業費	980	国38.5%・県19.25%・市19.25%	
	成年後見制度等利用支援事業費	1,025	国38.5%・県19.25%・市19.25%	
	高齢者等配食サービス事業費	8,755	国38.5%・県19.25%・市19.25%	
	認知症予防教室開催費	1,596	国38.5%・県19.25%・市19.25%	
	認知症高齢者見守り事業費	459	国38.5%・県19.25%・市19.25%	
	認知症サポーター等養成事業費	315	国38.5%・県19.25%・市19.25%	
	地域ケア会議事業費	123	国38.5%・県19.25%・市19.25%	
	計	841,264		
児 童 対 策 関 係	家庭相談員設置費	10,345	市 費	3 人
	母子父子自立支援員設置費	2,774		1 人
	へき地保育所指定管理料	120,691	保育料相当額除く 国2/4・県1/4・市1/4	3カ所(二井田・沼館・長木)
	母子生活支援施設措置費負担金	87,981	国2/4・県1/4・市1/4	定員20世帯
	教育・保育施設型給付費	1,514,747	保育料相当額除く 国2/4・県1/4・市1/4	781人(公立保育園を除く)
	母子生活支援施設土地賃貸料補助金	1,484	市 費	
	すこやか子育て支援事業費補助金	62,448	県1/2・市1/2	1,571人
	〃 (ひとり親)	2,206	県1/2・市1/2	71人
	助産施設入所医療費扶助	950	国2/4・県1/4・市1/4	2 件
	被用者0歳～3歳未満第1子、第2子児童手当	71,775	国 5/5	延べ 4,785 人 (新制度)
	被用者0歳～3歳未満第3子以降児童手当	50,640	国 5/5	延べ 1,688 人 (新制度)
	被用者3歳～高校生年代第1子、第2子児童手当	391,577	国 7/9・県 1/9・市 1/9	延べ 50,346 人 (新制度)
	被用者3歳～高校生年代第3子以降児童手当	152,339	国 7/9・県 1/9・市 1/9	延べ 6,529 人 (新制度)
	非被用者0歳～3歳未満第1子、第2子児童手当	5,005	国13/15・県1/15・市1/15	延べ 385 人 (新制度)
	非被用者0歳～3歳未満第3子以降児童手当	4,810	国 7/9・県 1/9・市 1/9	延べ 185 人 (新制度)
	非被用者3歳～高校生年代第1子、第2子児童手当	48,542	国 7/9・県 1/9・市 1/9	延べ 6,242 人 (新制度)
	非被用者3歳～高校生年代第3子以降児童手当	23,376	国 7/9・県 1/9・市 1/9	延べ 1,002 人 (新制度)
	児童館指定管理料	59,798	市 費	4カ所(比内・西館・たしろ・はやぐち)
	ふれあいセンターやまびこ指定管理料	29,795	市 費	
	一時預かり事業費補助金	9,288	国1/3・県1/3・市1/3	大館感恩講・学校法人福原学園・学校法人富沢学 園・学校法人秋田カトリック学園・学校法人月居 学園・学校法人聖公会聖パウロ学園

区 分	金額(千円)	負 担 内 容	備 考
出産祝い地域限定商品券贈呈事業	15,550	市 費	第1子 87人、第2子以降 137人
在宅子育て支援事業	15,031	市 費	299人
病児保育事業委託料	25,965	国・県・市 各1/3	耳鼻咽喉科まきなクリニック、学校法人大館ホテヤ学園
ほっとワンツー応援事業	9,842	市 費	470人
夜間養護(トワイライトステイ)事業	770	国・県・市 各1/3	大館感恩講
短期入所生活援助事業	4,687	国・県・市 各1/3	児童養護施設 陽清学園、大館感恩講 秋田赤十字乳児院、里親
地域子育て支援センター事業	998	国・県・市 各1/3	1カ所
つどいの広場事業	8,455	国・県・市 各1/3	1カ所
子どもの遊び場事業	17,158	市 費	パークセンター
障害児通所支援事業	11,261	通所支援給付費 県補助・利用料	定員15人
児童扶養手当扶助費	236,064	国1/3・市2/3	全額支給188人 一部支給者222人 2人目加算158人 3人目以降加算42人
ひとり親家庭住宅整備資金貸付金	0		0件
待機児童ゼロプロジェクト	16,055	市 費	
子育て世帯訪問支援事業	781	国・県・市 各1/3	
計	3,013,188		



ワンだふる🐾はちくん

3 生 活 保 護

(1) 保護の状況

	世 帯 数	人 口	被保護世帯	被保護人員	保 護 率
H27. 3. 31現在	31, 457 世帯	76, 135 人	737 世帯	948 人	12. 5 ‰
H28. 3. 31現在	31, 489	75, 064	749	958	12. 8
H29. 3. 31現在	31, 452	74, 095	737	909	12. 3
H30. 3. 31現在	31, 443	73, 001	717	909	12. 5
H31. 3. 31現在	31, 474	71, 944	695	866	12. 0
R 2. 3. 31現在	31, 515	70, 902	671	813	11. 5
R 3. 3. 31現在	31, 615	69, 957	660	790	11. 2
R 4. 3. 31現在	31, 505	68, 728	633	754	11. 0
R 5. 3. 31現在	31, 390	67, 550	627	741	11. 0
R 6. 3. 31現在	31, 251	66, 218	648	772	11. 7
R 7. 3. 31現在	31, 028	64, 824	631	742	11. 4
R 8. 3. 31現在	30, 701	63, 310	624	730	11. 5

(2) 年度別保護率の推移（年度平均）

年 度	28	29	30	R 1	2	3	4	5	6	7
保護率(‰)	12. 6	12. 2	12. 0	11. 6	11. 2	11. 0	10. 8	11. 2	11. 5	11. 4

(3) 保護費の推移

年度 区分		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度 (見込)
被保護世帯数(年度平均)		660世帯	641世帯	622世帯	635世帯	636世帯	622世帯
被保護世帯人数(年度平均)		790人	766人	736人	754人	752人	731人
扶 助 費 (千円)	生 活 扶 助	326, 274	316, 239	305, 607	313, 688	313, 716	303, 111
	住 宅 扶 助	123, 593	124, 386	118, 668	122, 427	122, 394	122, 850
	教 育 扶 助	2, 576	2, 245	1, 759	1, 919	2, 272	2, 723
	介 護 扶 助	32, 225	32, 593	33, 649	30, 964	29, 905	40, 094
	医 療 扶 助	525, 905	565, 963	457, 182	544, 081	642, 906	517, 962
	出 産 扶 助	0	4	0	0	0	17
	生 業 扶 助	1, 319	1, 241	1, 366	1, 923	856	778
	葬 祭 扶 助	862	1, 837	559	1, 245	3, 646	2, 710
計		1, 012, 754	1, 044, 508	918, 790	1, 016, 247	1, 112, 395	990, 245
就労自立給付金(千円)		580	208	549	207	844	371
施設事務費(千円)		49, 402	50, 702	51, 613	50, 090	60, 200	73, 550
進学準備給付金(千円)		300	0	300	0	400	800
合 計 (千円)		1, 063, 036	1, 095, 418	971, 252	1, 066, 544	1, 173, 839	1, 064, 966

4 国民年金

(1) 被保険者状況

(令和8年3月末現在)

区 分	加入者数(人)	備 考
第1号被保険者	4,621	○第1号被保険者… 自営業者、農業従事者、学生、無職の人など (第2号、第3号被保険者に該当しない人)
イ、強制加入者	4,567	○第2号被保険者… 会社員、公務員など厚生年金や共済組合に加入 している人
ロ、任意加入者	54	○第3号被保険者… 第2号被保険者に扶養されている配偶者
第3号被保険者	1,601	○付加年金加入者… 163人
		○保険料免除者… 法定免除 825人 申請免除(全額) 714人
		申請免除(半額) 49人 申請免除(3/4) 63人
		申請免除(1/4) 29人 納付猶予 242人
計	6,222	学生納付特例 377人

(2) 福祉年金支給状況

(令和7年3月末現在)

区 分	受給者数 (人)	金 額 (円)	備 考
老 齢 福 祉 年 金	0	0	
障 害 基 礎 年 金	873	773,802,400	
計	873	773,802,400	

(3) 拠出年金支給状況

(令和7年3月末現在)

区 分	受給者数(人)	金 額 (円)	備 考
老 齢 基 礎 年 金	25,717	18,277,875,213	新法受給者
老 齢 年 金	88	44,410,258	旧法受給者 国民年金加入期間のみで受給資格を満たした 人の年金
通 算 老 齢 年 金	84	18,134,230	旧法受給者 国民年金加入期間と他年金の加入期間を合 わせて受給資格を満たした人の年金
5 年 年 金	3	1,262,400	旧法受給者
障 害 基 礎 年 金	830	725,582,900	病気やけがで障害になったときに支給
遺 族 基 礎 年 金	129	106,688,902	被保険者または老齢基礎年金の受給資格を満たした人 が死亡した場合、子のある妻または子に支給
障 害 年 金	13	11,798,650	旧法受給者
寡 婦 年 金	5	2,346,850	老齢基礎年金の受給資格を満たした夫が、年金を受け ずに死亡した場合、その妻に60歳から65歳の間支給
計	26,869	19,188,099,403	

5 国民健康保険

年度 区分			令和 6 年度決算		令和 7 年度決算見込		令和 8 年度当初予算	
年度 別 予 算 ・ 決 算	歳 入	保 險 税	一 般 分	966,052 千円	994,677 千円	956,571 千円		
			退 職 分	18	0	—		
		国 庫 支 出 金		59	1,465	1		
		県 支 出 金		17,532	16,698	16,698		
		保 険 給 付 費 等 交 付 金		5,137,023	4,940,680	4,903,162		
		一 般 会 計 繰 入 金		495,191	473,435	474,112		
		そ の 他 繰 入 金		48,902	0	57,135		
		繰 越 金		145,956	169,778	1		
		そ の 他		10,717	7,362	728		
		計		6,821,450	6,604,095	6,408,408		
	歳 出	療養給付費	一 般 分	4,240,343	4,161,965	4,091,564		
			退 職 分	0	—	—		
		療 養 費	一 般 分	24,052	19,617	21,907		
			退 職 分	0	—	—		
		高額療養費	一 般 分	710,070	700,006	679,957		
			退 職 分	0	—	—		
		高額介護合算療 養 費	一 般 分	752	982	1,300		
			退 職 分	0	—	—		
		審 査 支 払 手 数 料		14,927	13,927	14,879		
		出 産 育 児 一 時 金		5,488	6,174	7,500		
		葬 祭 費		7,150	6,600	7,350		
		傷 病 手 当 金		0	0	—		
		移 送 費		0	0	100		
		小 計		5,002,782	4,909,271	4,824,557		
		国民健康保険事業費納付金		1,538,952	1,370,552	1,423,762		
		保 健 事 業 費		60,042	63,509	64,014		
		そ の 他		49,896	174,343	96,075		
		計		6,651,672	6,517,675	6,408,408		
被保険者状況	世 帯 数	国保世帯数	8,681	8,355	8,097			
		全 世 帯 比	27.98 %	27.21 %	26.37 %			
	被保険者数	一般被保数	12,127	11,538	11,046			
		退職被保数	0	—	—			
		計	12,127	11,538	11,046			
		全 人 口 比	18.71 %	18.22 %	17.45 %			
保険税の状況	1世帯当たり調定額(現年分)		111,718 円	131,850 円	— 円			
	1人当たり調定額(現年分)		79,972 円	95,476 円	— 円			
	所得割税率 (介護分を除く)		10.78 %	10.78 %	— %			
	均等割額 (介護分を除く)		27,000 円	27,000 円	— 円			
	平等割額 (介護分を除く)		24,000 円	24,000 円	— 円			
	現年分収納率 (一般分)		97.73 %	95.84 %	—			

※被保険者の状況は年度平均数値で、構成比は年度末世帯・人口に対する比率。

※退職者医療制度経過措置終了により、令和7年度から退職分の項目は「一」表記（「保険税の状況」欄以外）。

6 福祉医療

区分 \ 年度		令和 6 年度実績	令和 7 年度実績見込	令和 8 年度当初予算
乳幼児及び 小中高生等	受給者数	6,280 人	5,999 人	5,900 人
	件数	80,520 件	90,143 件	89,505 件
	給付額	112,663 千円	129,722 千円	128,900 千円
	一人当たり給付額	19,137 円	21,624 円	21,847 円
重度心身 障害(児)者	受給者数	831 人	791 人	825 人
	件数	21,966 件	21,521 件	21,176 件
	給付額	129,213 千円	123,370 千円	121,000 千円
	一人当たり給付額	149,552 円	155,967 円	146,667 円
重度心身障 害者の後期 高齢者医療 適用者	受給者数	1,339 人	1,284 人	1,325 人
	件数	37,682 件	34,961 件	36,439 件
	給付額	104,784 千円	99,752 千円	98,900 千円
	一人当たり給付額	78,022 円	77,688 円	74,642 円
高齢身体 障害者	受給者数	137 人	136 人	140 人
	件数	3,975 件	3,545 件	3,729 件
	給付額	17,853 千円	16,797 千円	16,700 千円
	一人当たり給付額	130,312 円	123,507 円	119,286 円
高齢身体障 害者の後期 高齢者医療 適用者	受給者数	720 人	724 人	730 人
	件数	21,247 件	20,218 件	20,996 件
	給付額	47,290 千円	45,670 千円	44,700 千円
	一人当たり給付額	65,681 円	63,080 円	61,233 円
母子家庭 の児童	受給者数	690 人	631 人	689 人
	件数	9,053 件	8,965 件	9,378 件
	給付額	20,287 千円	19,928 千円	20,500 千円
	一人当たり給付額	27,943 円	31,582 円	29,753 円
父子家庭 の児童	受給者数	70 人	61 人	65 人
	件数	440 件	675 件	559 件
	給付額	1,090 千円	1,952 千円	1,700 千円
	一人当たり給付額	17,304 円	32,000 円	26,154 円
所得制限 対象者	受給者数	244 人	253 人	235 人
	件数	7,785 件	3,226 件	3,082 件
	給付額	17,351 千円	7,161 千円	6,800 千円
	一人当たり給付額	79,228 円	28,304 円	28,936 円
合 計	受給者数	10,311 人	9,879 人	9,909 人
	件数	182,668 件	183,254 件	184,864 件
	給付額	450,531 千円	444,352 千円	439,200 千円
	一人当たり給付額	45,238 円	44,979 円	44,323 円

※受給者数は各年度の平均。

7 後期高齢者医療

(単位：人)

		令和 6 年 4 月 1 日	令和 7 年 4 月 1 日	令和 8 年 4 月 1 日
秋田県	被保険者数	195,261	199,191	202,364
	うち75歳未満	2,655	2,393	2,147
大館市	被保険者数	15,193	15,415	15,522
	うち75歳未満	157	135	117

8 保健衛生

(1) 関係事業負担金補助等

(単位：千円)

区 分	2年度 最終予算	3年度 最終予算	4年度 最終予算	5年度 最終予算	6年度 最終予算	7年度 最終予算	8年度 当初予算
市立総合病院 負担金・補助金 等	1,563,083	1,582,721	1,677,863	1,628,460	1,714,151	1,907,698	1,451,129
市立扇田病院 負担金・補助金等	205,957	227,794	236,831	229,222	212,335	194,198	173,373
医師会補助金	1,529	1,529	1,433	1,433	1,433	1,433	1,370

(2) 保健活動保健活動(保健師18人・栄養士3人 8年度は当初予算ベース)

① 成人保健事業

(単位：人)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
健 康 教 育	1,930	2,565	2,553	3,851	3,095	2,486	2,500
健 康 相 談	353	192	174	313	236	210	220
健康診査及び がん検診等	7,716	13,644	13,803	12,866	13,227	13,728	13,762
訪 問 指 導	33	50	30	57	43	39	40

② 母子保健事業

(単位：件)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
健 康 教 育	2,204	2,267	1,811	1,710	1,978	1,602	2,449
健 康 相 談 (子育て世代包括支援 センター相談 再掲)	2,880 (1,273)	2,629 (1,288)	2,630 (1,376)	2,138 (1,080)	1,886 (861)	1,917 (980)	2,175 (1,058)
健 康 診 査	6,079	6,609	5,920	5,049	4,989	4,698	5,184
訪 問 指 導	786	795	610	565	437	421	443

③ 予防接種事業

(単位：件)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
乳幼児予防接種	17,739	15,251	13,836	12,848	12,428	10,117	12,026
高齢者予防接種	18,089	14,943	13,753	15,146	16,313	15,883	16,402
風しん予防接種費用助成 (妊婦に係る人)	26	23	16	20	22	28	35
風しんの抗体検査 (風しんの追加的対策)	1,328	353	293	189	69	—	—
風しん5期予防接種	252	93	60	40	10	0	0

(3) 保健衛生関係事業

区分	項 目	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
接予 種 費防	最 終 予 算 (8年度は当初予算)	360,839千円	118,121千円	132,660千円	119,324千円	173,542千円	153,493千円	162,010千円
	各 種 予 防 接 種 延 べ 人 数	37,434人	30,663人	27,958人	28,243人	28,842人	26,028人	28,463人
結 核 予 防 費	最 終 予 算 (8年度は当初予算)	380千円	380千円	380千円	380千円	380千円	380千円	380千円
	間 接 撮 影	肺がん検診に含む	肺がん検診に含む	肺がん検診に含む	肺がん検診に含む	肺がん検診に含む	肺がん検診に含む	肺がん検診に含む
	B C G	予防接種費 に含まれる	予防接種費 に含まれる	予防接種費 に含まれる	予防接種費 に含まれる	予防接種費 に含まれる	予防接種費 に含まれる	予防接種費 に含まれる
成 人 保 健 事 業 費	最 終 予 算 (8年度は当初予算)	52,527千円	76,365千円	72,561千円	69,127千円	72,203千円	71,287千円	67,697千円
	胃 が ん 検 診	237人	2,043人	1,780人	1,500人	1,576人	1,532人	1,550人
	子宮頸がん検診	1,298人	1,447人	1,415人	1,488人	1,372人	1,384人	1,245人
	乳 が ん 検 診	1,003人	1,347人	1,501人	1,517人	1,583人	1,595人	1,584人
	大腸がん検診	4,098人	4,590人	4,624人	4,265人	4,275人	4,246人	4,300人
	肺 が ん 検 診	0人	3,072人	3,288人	3,197人	3,460人	3,402人	3,450人
	前立腺がん検診	63人	99人	117人	116人	106人	96人	100人
	肝炎ウイルス検診	206人	290人	245人	192人	215人	341人	300人
	生保等の健康診査	6人	11人	20人	21人	27人	19人	33人
	歯周疾患検診	571人	520人	574人	570人	613人	597人	600人
	骨粗しょう症検診	—	—	—	—	—	516人	600人
	計	7,716人	13,644人	13,803人	12,866人	13,227人	13,728人	13,762人
母 子 保 健 事 業 費	最 終 予 算 (8年度は当初予算)	74,058千円	74,656千円	79,221千円	90,263千円	74,132千円	81,817千円	77,296千円
	妊産婦健診等	4,744人	5,360人	4,625人	3,910人	3,776人	3,489人	3,851人
	4 か月・10か月 児 健 診	620人	595人	611人	527人	453人	441人	457人
	1歳6か月児健診	383人	288人	300人	309人	253人	227人	212人
	3 歳 児 健 診	393人	342人	364人	283人	304人	300人	236人

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止、安全確保のため検診車による胃がん検診、肺がん検診を中止



9 介護保険

区分			年度	6年度(決算)	7年度(最終予算)	8年度(当初予算)
年度別 予算・決算	入	歳入	保険料	1,969,778 千円	1,967,460 千円	1,996,243 千円
			国庫支出金	2,775,351	2,663,329	2,654,298
			支払基金交付金	2,818,531	2,806,335	2,799,070
			県支出金	1,508,272	1,515,475	1,509,967
			一般会計繰入金	1,506,235	1,496,404	1,541,143
			その他の繰入金	0	0	0
			繰越金	317,909	277,382	1
			その他	2,107	1,275	169
			計	10,898,183	10,727,660	10,500,891
	出	歳出	総務費	77,002	90,195	82,425
			保険給付費	介護サービス等諸費	9,151,280	9,234,395
				介護予防サービス等諸費	153,162	174,500
				高額介護サービス等費	241,919	245,150
				高額医療合算介護サービス等費	24,484	24,005
				特定入所者介護サービス等費	327,094	324,500
				審査支払手数料	11,138	11,300
				小計	9,909,077	10,013,850
			地域支援事業費	介護予防事業	—	—
				介護予防・生活支援サービス事業	340,783	344,475
				一般介護予防事業	30,056	30,745
				包括的支援事業・任意事業	17,366	19,006
				審査支払手数料	1,677	1,700
				小計	389,882	395,926
			基金積立金	57,617	96,407	1
			一般会計繰出金	70,810	64,461	34,098
			その他	116,413	66,821	2,104
			計	10,620,801	10,727,660	10,500,891

※介護保険事業状況報告（令和6年度）、令和7・8年度予算書より

<第1号被保険者の状況>

		令和6年3月31日	令和7年3月31日	令和8年3月31日
被保険者数	65歳以上75歳未満	11,421 人	10,920 人	10,530 人
	75歳以上	15,278	15,508	15,659
	計	26,699	26,428	26,189
要介護（要支援）認定者数		5,592	5,570	5,573
サービス受給者数	居宅介護サービス受給者数	3,250	3,264	3,266
	地域密着型サービス受給者数	542	527	537
	施設介護サービス受給者数	1,024	1,017	1,031
	計	4,816	4,808	4,834

※介護保険事業状況報告（各年3月分）より

7 農 林 業

1 農 業

(1) 農 家 戸 数

資料：農林業センサス

年	区分	農 家 戸 数 (戸)	農 家 人 口 (人)	専・兼 業 区 分		出 稼 ぎ 者 (人)
				専 業 (戸)	兼 業 (戸)	
平 7		3,472	15,248	383	3,089	107
平 1 2		3,065	13,331	333	2,732	38
平17大館・比内・田代計		4,473	18,508	560	3,913	—
平 2 2		3,718	4,397	576	3,142	—
平 2 7		2,787	2,620	457	2,330	—
令 2		1,955	—	—	—	—

・農家人口は平22より農業就業人口、令2は農家戸数のみ調査、兼業には自給的農家を含む

(2) 農 業 経 営 体 数

資料：農林業センサス

年	区分	経営体数 (経営体)	団体経営体 (経営体)	個人経営体 (経営体)		
				主業	準主業	副業的
令 2		1,297	49	236	198	814

(3) 耕 地 面 積

資料：秋田県農林水産業累年統計表(単位:ha)

年	区分	総 面 積	内 容		備 考
			田	畑	
平 2 4		7,810	6,550	1,260	
平 2 5		7,730	6,550	1,190	
平 2 6		7,730	6,550	1,190	
平 2 7		7,690	6,520	1,170	
平 2 8		7,680	6,520	1,160	
平 2 9		7,660	6,510	1,150	
平 3 0		7,640	6,510	1,130	
令 元		7,640	6,510	1,130	
令 2		7,640	6,510	1,130	
令 3		7,630	6,500	1,130	
令 4		7,630	6,500	1,130	
令 5		7,610	6,490	1,120	
令 6		7,590	6,470	1,120	
令 7		7,630	6,500	1,130	

(4) 経営耕地面積規模別農家数

資料：農林業センサス (単位：戸)

年	区分	総数	0.1ha ～0.5ha	0.5ha ～1.0ha	1.0ha ～1.5ha	1.5ha ～2.0ha	2.0ha ～3.0ha	3.0ha 以上	その他
平 7		3,472	1,157	834	527	352	320	282	—
平 1 2		3,065	1,020	698	451	323	294	279	—
平17大館・比内・田代計		3,488	491	930	619	453	471	524	—
平 2 2		2,690	322	664	471	346	372	501	14
平 2 7		1,976	200	441	338	244	268	463	22
令 2		1,278	144	274	358		138	364	

・平17以降は販売農家のみの集計

(5) 主要農産物の生産・販売状況

資料：(水稻)農林水産統計、(その他)JAあきた北生産者大会資料

種別 年度	水 稻		アスパラガス		山の芋		枝 豆	
	収穫量(t)	生産額(千円)	販売量(t)	販売額(千円)	販売量(t)	販売額(千円)	販売量(t)	販売額(千円)
平28	19,300	3,795,000	101.7	114,229	205.5	89,150	524.5	238,746
平29	18,200	3,882,000	84.0	97,589	148.2	54,940	614.2	254,653
平30	19,500	4,095,000	85.6	114,190	160.3	65,740	497.9	219,877
令元	21,500	4,586,000	82.4	89,002	181.1	57,709	510.2	187,737
令2	21,800	4,396,000	88.9	105,753	132.8	31,924	295.5	160,463
令3	20,400	3,434,000	68.4	84,714	96.4	33,674	244.9	106,744
令4	17,100	3,163,000	71.6	87,873	63.2	34,834	152.7	66,536
令5	16,700	3,340,000	60.8	72,416	67.7	32,800	116.2	59,658
令6	21,500	8,600,000	58.0	79,308	65.7	39,612	121.4	76,207
令7	22,900	11,450,000	56.1	76,740	53.4	27,816	71.9	43,000

・水稻生産額は各年度の60kg当たりの概算金を乗じて算出

(6) 家 畜

「畜産基本調査」による

種別 年度	乳 牛 (頭)	肉 牛 (頭)	豚 (頭)	鶏 (羽)	比内地鶏 (羽)
平28	166	415	11,050	606,036	257,059
平29	168	357	14,049	585,100	244,014
平30	152	375	15,030	685,783	261,317
令元	135	395	14,206	573,940	262,496
令2	122	409	13,968	535,820	215,222
令3	127	389	14,631	598,782	189,591
令4	108	381	11,137	561,366	170,345
令5	120	372	11,552	659,044	189,120
令6	76	353	10,954	616,479	203,116
令7	60	326	14,892	569,877	209,097

2 農地の移動

区分 年度			令3		令4		令5		令6		令7	
			件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)	件数	面積(㎡)
3 条 (権利移動)	所有権移転	田	62	174,177.00	58	123,426.00	60	129,441.04	60	220,572.00	73	158,587.30
		畑		24,904.00		58,164.00		12,221.00		13,815.00		71,826.00
		果樹園		0.00		0.00		0.00		4,729.00		0.00
		計		199,081.00		181,590.00		141,662.04		239,116.00		230,413.30
	賃借権設定 (使用賃借含む)	田	6	23,136.00	4	9,255.00	4	7,589.00	31	279,941.28	234	1,501,097.06
		畑		1,872.00		3,991.00		3,774.00		8,138.00		62,949.00
		果樹園		0.00		0.00		5,053.00		0.00		3,052.00
		計		25,008.00		13,246.00		16,416.00		288,079.28		1,567,098.06
農業経営基盤強化促進法	所有権移転	田	2	19,488.00	10	66,657.00	10	48,729.00	4	52,393.00	0	0
		畑		0.00		0.00		0.00		0.00		0
		果樹園		0.00		0.00		0.00		0.00		0
		計		19,488.00		66,657.00		48,729.00		52,393.00		0
	利用権設定	田	927	5,694,191.24	1107	6,972,726.15	1,157	7,127,796.86	1,012	5,532,692.69	0	0
		畑		147,880.48		263,104.00		159,755.09		276,561.00		0
		果樹園		6,019.00		10,288.00		4,504.00		0.00		0
		計		5,848,090.72		7,246,118.15		7,292,055.95		5,809,253.69		0

農地中間管理事業法（促進計画）	所有権移転	田	0	0.00	0	0.00	0	0.00	9	84,286.00	11	38,154.00
		畑		0.00		0.00		0.00		1,140.00		0.00
		果樹園		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
		計		0.00		0.00		0.00		85,426.00		38,154.00
	利用権設定	田	0	0.00	0	0.00	0	0.00	248	2,652,129.78	393	4,473,128.46
		畑		0.00		0.00		0.00		57,994.24		137,920.00
		果樹園		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
		計		0.00		0.00		0.00		2,710,124.02		4,611,048.46
	権利の移転	田	0	0.00	0	0.00	31	255,765.20	31	200,161.94	13	65,797.00
		畑		0.00		0.00		2,855.00		6,879.00		201.00
		果樹園		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
		計		0.00		0.00		258,620.20		207,040.94		65,998.00
	再配分	田	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	17,234.00
		畑		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
		果樹園		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
		計		0.00		0.00		0.00		0.00		17,234.00
4 条（転用）	田	2	1,732.92	2	0.00	2	0.00		0.00	3	0.00	
	畑		0.00		1,638.00		969.00		0.00		440.68	
	果樹園		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
	計		1,732.92		1,638.00		969.00		499.00		440.68	
5 条（転用の権利移動）	所有権移転	田	23	19,345.87	27	22,279.76	22	14,030.00	11	11,988.00	8	1,844.00
		畑		5,658.00		9,271.00		4,736.00		1,044.00		4,461.00
		果樹園		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
		計		25,003.87		31,550.76		18,766.00		13,032.00		6,345.00
	賃借権設定 （使用賃借含む）	田	4	3,297.00	3	155.00	5	1,560.00	3	703.00	3	582.00
		畑		473.00		1,375.00		1,791.00		788.00		1,222.00
		果樹園		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
		計		3,770.00		1,530.00		3,351.00		1,491.00		1,804.00
転用の用途別	住 宅 敷 地	19	22,789.87	25	27,187.76	22	18,274.00	11	11,518.00	7	3,723.68	
	鉱 工 業 用 地	3	3,751.00	5	6,370.00	0	0.00	1	1,400.00	3	2,225.00	
	その他施設用地	7	3,965.92	1	648.00	7	4,812.00	2	1,051.00	0	0.00	
	砂 利 採 取 地	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	植 林	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	鉄道・道路・水路	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	そ の 他	0	0.00	1	513.00	0	0.00	1	1,053.00	4	1,641.00	
合 計	29	30,506.79	32	34,718.76	29	23,086.00	15	15,022.00	1,006	8,124,204.99		

3 農業関係事業

（令和8年度当初予算）

事業名		対 象	事業費 （千円）	財 源（千 円）		付 記
				国県支出金	市費（助成金）	
農業振興事業	夢ある園芸産地創造事業	3 経営体	13,075	9,785	3,290	
	夢ある畜産ステップアップ支援事業	3 経営体	15,787	11,787	4,000	
	環境保全型農業直接支払交付金	1 経営体	1,572	1,178	394	
	新規就農者育成総合対策事業	就農者 7 人	9,750	9,750		対象最長3年

	乾燥調製施設利用促進対策支援事業		10,000		10,000	
	大館市農業再生協議会負担金		600		600	農業指導事業
農業団体育成事業	秋田県産米改良協会負担金		80		80	
	JAあきた北生産者団体等補助金		800		800	あきた北農業協同組合
	大館市漁業協同組合活動費補助金		70		70	
	田代漁業協同組合活動費補助金		70		70	
活性化事業 農業村	多面的機能支払交付金事業	75組織	191,232	143,423	47,809	
	中山間地域等直接支払交付金	7協定	10,641	7,980	2,661	
	最適土地利用総合対策事業	1地域	10,000	10,000		
対策事業 農業金融	農業経営基盤強化資金利子助成費補助金	全域	174	87	87	
	農業・漁業経営フォローアップ資金利子補給費補助金	〃	267	178	89	
市民菜園		有浦南ヶ丘	364		364	

4 米の生産の目安

令和7年度

	生産の目安	水稻作付面積換算値	水稻作付面積
大館市	22,361 t	4,050ha	3,837ha

5 市民菜園

休耕する水田を市が借り受けて、ふだん土に親しむ機会の少ない市民に、栽培する喜びと農業に対する理解を深めてもらうため、昭和56年から開設し利用されている。

- ・有浦菜園 5,000㎡ 88区画 (1区画 35㎡)
- ・南ヶ丘菜園 2,000㎡ 27区画 (1区画 35㎡～50㎡)

※両菜園とも物置(プレハブ)、トイレを設置。肥料や苗代は利用者負担となっており、主な作物としてナス、キュウリ、トマトなどがあげられる。

※1区画当たり貸付料：2,000円

6 農業関係団体

(1) あきた北農業協同組合

- ・昭和39. 3. 31 旧町村単位の9農協合併
- ・昭和46. 6. 10 花矢農協吸収合併

・平成8. 6. 1 市町農協広域合併（大館・比内・田代）

（令和8. 3. 31現在）

組合員数（人）	組合員戸数（戸）		役 職 員			出 資 額		
	正組合員	准組合員	理事 （人）	監事 （人）	職員 （人）	総額 （千円）	1組合員当たり （円）	<u>出資総額</u> <u>正組合員戸数</u> （円）
7, 394	3, 172	3, 169	19	6	156	1, 668, 565	225, 664	510, 246
	計 6, 341							

*事業所施設…事業所（経済部、米穀部、営農経営支援部、販売営農部、農業機械部、J Aグリーン部）、5支店

(2) 秋田県農業共済組合

- ・昭和53. 4. 1 大館・比内・田代の行政区域を越えた広域合併により発足
- ・平成9. 6. 16 鹿角・大館地方農業共済組合広域合併
- ・平成25. 6. 3 北鹿・北秋田・山本・中央・若美・平鹿・雄勝農業共済組合広域合併
- ・平成29. 6. 1 秋田広域、仙北農業共済組合合併
- ・令和2. 6. 1 秋田県、由利農業共済組合合併（秋田県1組合化）

（令和8. 3. 31現在）

組合員数 （人）	役 職 員			総代 （人）	損害評価 会委員 （人）	評価員 （人）	事業所等	7年度 予算 （千円）
	理事 （人）	監事 （人）	職員 （人）					
49,790 (4,872)	23 (2)	3 (0)	218 (15)	206 (21)	490 (52)	3,581 (368)	本所 1 支所 7 立寄所 2 出張所 1	2,574,838
事業概要	・水田引受面積 3,881,442.9a (273,814.5a) ・引受数量 175,514,682kg (12,028,237kg) ・水稻共済掛金 164,932千円 (8,741千円) ・水稻共済金額 33,065,283千円 (2,200,500千円)							

*秋田県農業共済組合（北鹿支所）

(3) 土 地 改 良 区

（令和8. 3. 31現在）

区分 改良区名	組合員数 （人）	役 職 員			管理面積(ha)
		理事（人）	監事（人）	職員（人）	
大館市土地改良区	2,698	19	3	8	2,941
二井田真中土地改良区	441	6	2	2	578
田代町土地改良区	662	14	3	2	840
計	3,801	39	8	12	4,359

7 畜産企業の誘致

平成20年9月に「大館市畜産農業施設等設置促進条例」を制定し、畜産企業の誘致を行い、畜産業の振興による地域活性化と地域雇用の創出による地域振興に取り組んでいる。

・大館市畜産農業施設等設置促進条例による指定畜産農業施設 (令和7年4月1日現在)

No.	企 業 名	施 設 名	敷地面積 (㎡)	施 設 の 概 要
1	有限会社大館ファーム	清水川農場	17,560.93	鶏舎(4棟) 管理棟 GP棟
		新堆肥生産施設	15,791.98	鶏糞置場及び強制発酵棟 堆肥保管棟

生 産 計 画	従業員数	条例指定年月日	所 在 地	電話番号
鶏卵 5,140 t	操業時24人	平成21年5月29日	粕田字清水川209-1ほか	59-4916
堆肥 1,600 t	現在 50人		本宮字上ミ野148-2ほか	

No.	企 業 名	施 設 名	敷地面積 (㎡)	施 設 の 概 要
2	株式会社シムコ	大館育種改良センター	201,956.00	豚舎(8棟) 事務所等(4棟) 複合ラグーン

生産計画(年間)	従業員数	条例指定年月日	所 在 地	電話番号
原種豚 1,500頭 肉 豚 5,500頭	操業時5人 現在 14人	平成24年10月1日	早口字菅谷地34-2	57-8831

8 林 業

日本三大美林の一つに数えられる「秋田杉」の産地であり、かつて豊臣秀吉が伏見城築城の際に取り寄せた記録が残っている。

市全体面積の約8割を森林が占め、豊富な森林資源を有しており、「大館曲げわっぱ」を代表とする伝統工芸品から集成材まで幅広い加工技術が集積した地域である。近年は未利用間伐材等の木質ペレット・チップ燃料化の促進など木質バイオマスの活用による木材産業の活性化に取り組んでいる。

また、平成29年4月に林野庁より川上から川下までの事業者がバリューチェーンでつながり、収益性の高い経営を実現することを目的とした「林業成長産業化地域」に大館市を中心とする「大館北秋田地域」が選定を受けたことを契機に、産学官連携による地域の豊富な森林資源の効率的な循環利用や林業を軸とした地域産業の成長の実現に向けた取り組みを推進している。

(1) 林野面積（令6.3.31現在）

資料：秋田県林業統計（単位：ha）

林 野 区 分	国 有 林	公 有 林	私 有 林	計
森 林 面 積	42,125	3,335	26,911	72,371

・蓄 積 量（令6.3.31現在） 資料：秋田県林業統計

民 有 林 (人工林) 6,480.696m³
 (天然林) 1,800,308m³

(2) 造林面積の推移

資料：伐採造林管理簿（単位：ha）

区 分	平 29年度	30年度	令 元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
財政調整基金造林 (私有林造林含む)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
財産区有造林	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私 有 造 林	5.93	10.72	9.58	8.05	10.84	3.81	10.35	35.70	25.82
公 団 造 林	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県営治山造林	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5.93	10.72	9.58	8.05	10.84	3.81	10.35	35.70	25.82

8 商 工 観 光

1 商 業 の 概 略

令和3年経済センサスー活動調査（調査日 R3.6.1 数値：令和2年実績）

区 分		事業所数	従業員数(人)	売上(収入)金額(百万円)
卸 売 業		231	1,582	
小 売 業	各 種 商 品 小 売 業	1	175	
	織物、衣服、身の回りの品 小 売 業	52	225	
	飲 食 料 品 小 売 業	153	1,601	
	機 械 器 具 小 売 業	95	547	
	そ の 他 小 売 業	269	1,638	
	無 店 舗 小 売 業	25	194	
	計	596	4,385	
合 計		827	5,967	192,613 (※)

※調査結果は807事業所（従業員数5,874人）の合計

2 工 業 の 概 略

2023年経済構造実態調査（調査日：令和6年6月1日 数値：令和5年実績）

工 業 区 分	事業所数（カ所）	従業員数（人）	製造品出荷額（万円）
食 料 品	32	884	1,299,628
飲料・たばこ・飼料	1	59	※
織 維	22	421	158,168
木 材 ・ 木 製 品	19	343	814,987
家 具 ・ 装 備 品	2	215	※
パルプ・紙・紙加工品	3	29	45,140
印 刷 ・ 同 関 連 業	7	66	30,024
化 学	3	1,224	4,134,413
石 油 ・ 石 炭 製 品	5	16	68,526
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	3	172	193,685
窯 業 ・ 土 石 製 品	10	162	360,395
鉄 鋼	4	77	122,734
金 属 製 品	14	533	1,160,351
は ん 用 機 械 器 具	6	113	220,779
生 産 用 機 械 器 具	7	408	1,237,143
業 務 用 機 械 器 具	2	1,728	※
電子部品・デバイス・電子回路	2	72	※
電 気 機 械 器 具	3	339	720,951
輸 送 用 機 械 器 具	1	12	※
そ の 他	3	62	50,380
計	149	6,935	16,866,203

※は統計法により公表を控えたもの

3 大館市工場等設置促進条例による指定工場の現況

No.	企 業 名	誘致年	操業開始	条例適用 指定年月 (直近3回)	資本金 (千円)	工場敷地 (㎡)	従業員数 (人)	営 業 品 目	所 在 地	電話番号等
1	日本アンホ火薬製造(株) 大館工場	S 39年	S 39年12月	S 39年11月	91, 140	16, 897	男 10 女 4 計 14	産業用火薬類の製造販売	十二所字上太沢1番地	TEL 52-3347 FAX 52-2382
2	(株)カワサキ大館工場	S 49年	S 49年10月	S 49年 4 月	10, 000	3, 044	男 0 女 12 計 12	衣服縫製加工業、紳士用婦人用シャツ、ブラウス他	釈迦内字清水27番地	TEL 48-4696 FAX 48-3429
3	ニューロング工業(株)大館工場	S 50年	S 50年 9 月	S 62年12月 S 63年 7 月 H 8 年11月	10, 000	90, 120	男 77 女 14 計 91	一般機械器具製造業、印刷機、製袋機	二井田字羽貫谷地8番地8	TEL 49-5201 FAX 49-0759
4	ニプロ(株)大館工場	S 55年	S 56年 4 月	H 26年11月 H 28年 9 月 R 5 年12月	84, 398, 000	285, 848	男 1,269 女 526 計 1,795	医療機器及び医薬品の製造業、人工腎臓用透析器、注射針・筒、カテーテル、輸液セット、医療用ゴム栓他	二井田字羽貫谷地8番地7	TEL 49-5111 FAX 49-3944
5	(株)プラスチック・ホンダ 大館工場	S 56年	S 56年 7 月	S 63年 2 月 H 15年11月 R 3 年 6 月	40, 000	25, 635	男 58 女 13 計 71	プラスチック製造業、医療部品、カメラ、事務機、コネクター	二井田字羽貫谷地1番地13	TEL 49-3671 FAX 49-4130
6	(株)光輪技研 大館センタ	S 59年	S 59年12月	S 59年 7 月	73, 100	3, 615	男 19 女 24 計 43	電気通信器及び電子機器の製造・販売	下代野字下代野38番地1	TEL 48-3671 FAX 48-4791
7	(株)E & T A M A G O		S 63年2月	S 63年10月	14, 400	6, 744	男 7 女 5 計 12	食品製造業（鶏卵加工製造、きりたんぼ製造、比内地鶏スープ）	二井田字前田野105番地4	TEL 43-0081 FAX 43-0083
8	エコシステム秋田(株)	S 61年	S 63年 4 月 H 2 年11月	S 63年 6 月 H 27年12月	50, 000	105, 496	男 72 女 5 計 77	産業廃棄物処理業、一般廃棄物処理業	花岡町字堤沢42番地	TEL 46-1436 FAX 46-3628
9	(株)リーダーズ	S 62年	S 63年 4 月	S 63年 1 月	6, 000	3, 241	男 0 女 4 計 4	婦人服製造業	釈迦内字上袋 5 番地 7	TEL 48-3470 FAX 48-3473
10	エヌピーエス(株)	S 62年12月	S 63年 8 月	S 63年12月	80, 000	9, 212	男 12 女 12 計 24	医療機器の開発・設計・製造	花岡町字前田40番地16	TEL 46-3131 FAX 46-2890
11	第一日昭工業(株)		H 1 年3月	H 1 年 3 月 H 27年12月	10, 000	20, 318	男 41 女 5 計 46	金属製品の製造及び加工業、プラント設備、各種製缶、配管、各種排水処理設備設計施工	釈迦内字長者森 4 1 番地	TEL 48-2354 FAX 48-2386
12	東光鉄工(株)花岡工場		H 1 年10月	H 1 年 4 月	85, 000	14, 324	男 23 女 9 計 32	建築鉄骨・建築一式工事	花岡町字前田40番地21	TEL 48-3234 FAX 48-5922
13	(株)フレックス	H 1 年 4 月	H 1 年12月	H 1 年 5 月 H 25年 2 月 H 28年 7 月	45, 000	10, 143	男 67 女 29 計 96	木材木製品製造業、大型施設向け室内ドア及び各種木製建具	花岡町字前田40番地28	TEL 46-2161 FAX 46-2170
14	藤嶋鉄工(株)		H 2 年 8 月	H 2 年10月	10, 000	26, 607	男 33 女 10 計 43	建築工事業、鋼構造物工事業、レーザー加工、クレーン作業	餅田字向田1番地	TEL 49-2288 FAX 49-3627
15	(株)ホクエツ秋田大館工場		H 2 年10月	H 2 年 4 月	100, 000	46, 660	男 15 女 4 計 19	コンクリート二次製品製造	二井田字前田野37番地1	TEL 42-4935 FAX 42-4933
16	(株)伊藤技研		H 3 年 9 月	H 15年12月 H 21年 3 月 H 28年 5 月	10, 000	8, 524	男 50 女 7 計 57	精密金属板金加工業、医療機械、レーザー加工、配電盤設計製作など	二井田字上四ノ羽出75番地1	TEL 49-0705 FAX 43-9370
17	東北キャスティング(株)	H 2 年 7 月	H 3 年11月	H 3 年 3 月	50, 000	17, 486	男 19 女 1 計 20	鋳鉄铸件製造業、上・下水道用部品	二井田字前田野94番地3	TEL 42-8701 FAX 42-8702
18	テック大洋工業(株)秋田事業所	H 2 年10月	H 4 年10月	H 4 年 4 月	50, 000	13, 412	男 9 女 2 計 11	街路灯、公園施設製品ほか	二井田字前田野94番地15	TEL 42-5318 FAX 42-8318
19	青森昭和産業(株)大館作業所		H 5 年11月	H 5 年 4 月	47, 250	1, 995	男 3 女 0 計 3	溶接金網製造	二井田字前田野104番地50	TEL 43-6080 FAX 43-6123
20	(株)キーテック大館工場	H 7 年2月	H 7 年 6 月	H 7 年 6 月 H 10年 2 月	268, 400	26, 787	男 22 女 3 計 25	構造用集成材の製造、販売	花岡町字七ツ館1番地	TEL 46-1100 FAX 46-1105
21	(株)大館製作所		H 9 年 4 月	H 9 年 4 月 R 7 年 10 月	80, 000	30, 000	男 65 女 10 計 75	一般機械器具製造業、信号保安用品、機械信号、電気信号、下水処理施設処理関連機器	大茂内字中瘤之木台49番地1	TEL 48-3321 FAX 48-3328

No.	企 業 名	誘致年	操業開始	条例適用 指定年月 (直近3回)	資本金 (千円)	工場敷地 (㎡)	従業員数 (人)	営 業 品 目	所 在 地	電話番号等
22	東 光 鉄 工 (株) 本 宮 工 場		H 9 年 7 月	H 9 年 7 月 H17年 7 月 R7年 10 月	85,000	35,437	男 77 女 13 計 90	橋梁、水門、クレーン、タンク、プラント、耐震補強、東光ドーム、カーポート	本宮字上野8番地	TEL 48-3234 FAX 48-5922
23	佐 藤 商 事 (株) 大 館 支 店		H 9 年10月	H 9 年10月	1,321,368	5,508	男 6 女 3 計 9	鉄鋼、非鉄金属、機械、工具、雑貨、貴金属宝飾品、電子部品、建設資材等の国内販売他	二井田字前田野37番地6	TEL 49-4804 FAX 49-4151
24	(株) 秋 田 エ ス エ ス 商 運 大 館 営 業 所		H10年 2 月	H10年 2 月	1,240	3,636	男 5 女 2 計 7	一般貨物、雑貨等運送業	二井田字前田野37番地26	TEL 49-4005 FAX 49-4006
25	(有) け ん ぼ く		H11年 5 月	H11年 5 月 H15年 5 月	10,000	11,958	男 52 女 2 計 54	一般貨物自動車運送業、倉庫業、食品販売	二井田字前田野104番地52	TEL 49-3175 FAX 42-3246
26	(株) エ コ リ サ イ ク ル		H13年 4 月	H13年 4 月 R 6 年10月	150,000	30,798	男 56 女 11 計 67	廃棄物処理業（使用済み家電及び情報機器等リサイクル）	花岡町字堤沢42番地	TEL 47-1001 FAX 47-1002
27	(株) テーエムシー大館工場	H12年	H13年 4 月	H13年 4 月	10,000	9,286	男 10 女 31 計 41	電気通信機部品製造、アイソレーター、サーキュレーター等	字沼館道上102番地	TEL 44-8251 FAX 44-8253
28	(株) 丸 祐 運 送 秋 北 営 業 所		H13年 8 月	H13年 8 月	20,000	4,388	男 20 女 1 計 21	一般貨物運送業	二井田字前田野37番地25	TEL 43-5028 FAX 43-5038
29	ニプロファーマ(株)大館工場		H14年 4 月	H26年4月 R1年 9 月 R6年10月	8,669,470	242,692	男 622 女 303 計 925	医薬品製造業、ろ過型人工腎臓補液、用時溶解型抗生物質キット等	二井田字前田野5番地7	TEL 44-8650 FAX 44-8690
30	(株) 木村食品工業大館工場	H14年	H15年 4 月	H15年 4 月 H17年 1 月 H24年 6 月	90,000	13,187	男 0 女 0 計 0	食料品製造業（カットフルーツ、カット野菜、りんご加工）	二井田字前田野37番地28	TEL 49-8650 FAX 49-8641
31	(有) サ ガ ク 工 業		H15年 4 月	H15年 4 月	3,000	1,961	男 3 女 1 計 4	製缶製作、機械器具設置、プラント工事、各種溶接・配管工事	釈迦内字塚ノ台14番地10	TEL 45-2087 FAX 45-2088
32	秋 田 ウ ッ ド (株)		H15年12月	H15年12月	85,000	8,954	男 25 女 2 計 27	プラスチック製品製造業、木材・プラスチック再生複合材の製造販売（エクステリア部材）	白沢字松原570番地	TEL 47-2230 FAX 47-2231
33	(株) 伊徳いとくデリカセンター		H17年 9 月	H17年 9 月	50,000	10,000	男 37 女 76 計 113	食品製造業、弁当、惣菜、キリタンボ等	二井田字前田野37番地29	TEL 49-3232 FAX 49-7302
34	秋 田 丸 善 織 維 (株)	S 44年	S 44年11月	S 44年	15,000	4,272	男 8 女 46 計 54	婦人服製造業、ブラウス、ジャケット、コート、スカート	比内町扇田字本道端5番地1	TEL 55-1205 FAX 55-1206
35	比 内 時 計 工 業 (株)		S49年3月	S63年	10,000	11,684	男 45 女 32 計 77	光ファイバー応用製品設計製造、電装回路設計組立、腕時計ムーブメント組立	比内町新館字野開69番地	TEL 55-1313 FAX 55-1220
36	(株) 小 滝 電 機 製 作 所		S 54年10月	H28年 6 月 H29年 4 月 H31年 4 月	10,000	11,327	男 112 女 157 計 269	車載（ライト）、センサー製造	釈迦内字上袋6番地6	TEL 59-7131 FAX 59-7132
37	(株) ア オ キ 秋 田 工 場	S 61年	S 62年 4 月	H 1 年	85,000	1,617	男 1 女 16 計 17	縫製業（パジャマ、カットソー等）	比内町扇田字中島本道端36番地5	TEL 55-1331 FAX 55-3537
38	(株) 東 北 セ ン バ 大 館 工 場	H 2 年 H23年	H 2 年11月 H24年11月	H 2 年 9 月 H24年11月 R 5 年 8 月	75,000	31,860	男 49 女 54 計 103	冷凍食品製造業、冷凍山芋、冷凍菓子ほか	二井田字前田野5番地5	TEL 42-1008 FAX 42-1019
39	(株) ティアンドティ比内	H 9 年	H 9 年 4 月	H 9 年 7 月	10,000	3,884	男 3 女 4 計 7	繊維（カットソー等）製造業	比内町新館字野開73番地47	TEL 55-3700 FAX 55-3701
40	大 館 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	S 43年	S 45年 5 月	S 43年 4 月	97,000	11,175	男 11 女 16 計 27	乳製品、清涼飲料、麺類、化粧品等の卸小売業	岩瀬字谷地の平4番地52	TEL 54-3551 FAX 54-6102
41	藤 島 木 材 工 業 (株) 田 代 広 葉 樹 工 場	S 45年	S 52年 3 月	S 43年 4 月	20,000	14,000	男 2 女 1 計 3	製材業（家具材、フローリング材、チップ材）	岩瀬字赤川中野5番地2	TEL 54-2208 FAX 54-2208
42	東北森永乳業(株)物流部大館デポ	S 55年	S 26年 2 月	H10年12月	470,135	31,963	男 6 女 7 計 13	食料品（乳製品）製造業	岩瀬字上軽石野38番地1	TEL 54-6111 FAX 54-6113
43	(株) サンテックス本社工場	S 59年	S 59年 9 月	S 58年 5 月	60,000	10,847	男 6 女 21 計 27	教育資材・木工品製造販売	岩瀬字羽貫谷地20番地	TEL 54-0050 FAX 54-6832

No.	企 業 名	誘致年	操業開始	条例適用 指定年月 (直近3回)	資本金 (千円)	工場敷地 (㎡)	従業員数 (人)	営 業 品 目	所 在 地	電話番号等
44	㈱ 田 代 製 作 所	S63年	S63年10月	S63年4月	15,000	26,468	男 76 女 50 計 126	木製品建具製造、木製ユニットドア・フラス シュドア、収納扉、間仕切りパネル等	岩瀬宇大柳上野28番地1	TEL 47-3333 FAX 47-3000
45	フリージア・オート技研㈱ 秋 田 工 場	H11年	H3年1月	H2年1月	100,000	30,286	男 17 女 7 計 24	多層プリント配線板用シールド板の製造	岩瀬宇羽貫谷地山下1番地1	TEL 54-3371 FAX 54-3170
46	ニ ュ ー ロ ン グ 秋 田 ㈱	H9年	H10年2月	H9年7月 H30年12月 R4年12月	100,000	37,378	男 113 女 23 計 136	印刷機、製袋機、スリット等の紙工機械及び 銅箔製造装置のドラム、アノード製造	岩瀬宇羽貫谷地山下66番地	TEL 54-0667 FAX 54-0669
47	みちのくコカ・コーラボトリング㈱ 秋 北 支 店	H9年	H10年7月	H9年6月	98,000	21,553	男 26 女 7 計 33	清涼飲料水販売	岩瀬宇羽貫谷地山下10番地1	TEL 54-0006 FAX 54-0008
48	㈱ 京 都 商 興 大 館 営 業 所	H16年6月	H16年6月	H18年12月	707	5,367	男 8 女 2 計 10	機械器具設置、倉庫管理、一般貨物運送業	二井田字前田野5番地62	TEL 49-7611 FAX 49-7613
49	北 秋 容 器 ㈱ ガ ラ ス リ サ イ ク ル 工 場		H19年3月	H19年3月	22,000	4,950	男 5 女 0 計 5	軽量盛土材(スーパーソル)(ガラスリサイクル ル製品)	道目木字下谷地57番地14	TEL 47-7010 本社49-1675
50	戸 田 鉄 工 ㈱ 本 社 工 場		S41年4月	H19年4月	14,000	16,680	男 42 女 7 計 49	一般機械器具製造業、各種プラント産業機 械、設計・製作・据付	餌釣字前田45番地	TEL 49-2525 FAX 49-2522
51	石 垣 鐵 工 ㈱		H19年10月	H19年10月 H26年11月 H31年4月	10,000	19,025	男 54 女 9 計 63	金属製品製造業(鋼構造物工事業) 鋼製階段・手摺り製作据付	二井田字前田野5番地2	TEL 59-8102 FAX 59-8103
52	㈱ 木 村 食 品 工 業 第 4 工 場	H19年7月	H19年12月	H19年12月	90,000	8,543	男 0 女 0 計 0	カット果物・野菜、冷凍食品製造、惣菜製造	二井田字前田野104番地49	TEL 44-5127 FAX 44-5128
53	白 金 運 輸 ㈱ 大 館 営 業 所 ・ 大 館 配 送 セ ン タ ー	H20年3月	H20年11月	H20年11月	86,250	7,586	男 24 女 6 計 30	一般貨物運送業、倉庫業、通運業	二井田字前田野37番地15	TEL 050-3536- 9124 FAX 44-6106
54	北 秋 容 器 ㈱ 木 質 ベ レ ッ ト 製 造 工 場		H20年12月	H20年12月	22,000	4,038	男 5 女 0 計 5	木質ベレット製造	道目木字下谷地53番地	TEL 47-7010 本社49-1675
55	㈱ フ ァ ー マ イ ン ド ー 大 館 セ ン タ ー	H20年1月	H21年3月	H21年3月	7,028,000	11,659	男 16 女 14 計 30	食品製造業 (バナナの熟成加工)	二井田字前田野5番地64	TEL 44-6181 FAX 44-6185
56	遠 藤 林 業 ㈱ 大 館 工 場	H21年4月	H21年4月	H21年10月 H26年11月	10,000	56,112	男 30 女 4 計 34	製材加工業(板類)	早口字丸谷地26番地6	TEL 54-3111 FAX 54-2333
57	昭 和 木 材 ㈱ 東 北 支 店 東 北 プ レ カ ッ ト 工 場	H25年1月	H24年11月	H24年11月 H26年9月 R2年4月	48,000	25,344	男 30 女 4 計 34	木材製品、加工及び販売	字松木境4番地2	TEL 50-6555 FAX 50-6557
58	㈱ サ ン テ ッ ク ス ー 比 内 フ ァ ク ト リ ー	H23年9月	H24年11月	H24年11月	60,000	8,520	男 0 女 5 計 5	学用品紙類製造業	比内町新館字野開85番地1	TEL 45-4555 FAX 55-0077
59	北東北福山通運㈱大館営業所		H25年4月	H25年4月	10,000	4,369	男 16 女 1 計 17	貨物自動車運送事業	二井田字前田野5番地65	TEL 49-0292 FAX 49-0295
60	㈱ グ リ ー ン パ ッ ケ ー ジ 秋 田 工 場	H25年1月	H25年10月	H25年10月 R5年12月	40,000	20,099	男 8 女 1 計 9	ダンボール箱製造	二井田字前田野5番地6	TEL 59-4940 FAX 59-4939
61	秋 田 原 木 市 場 ㈱ 大 館 木 材 流 通 セ ン タ ー		H26年10月	H26年10月	9,000	33,124	男 4 女 1 計 5	木材卸売業	釈迦内字野崎5番地1	TEL 48-7318 FAX 48-7319
62	北 秋 容 器 ㈱ 木 質 チ ッ プ 製 造 工 場		H26年12月	H26年12月	22,000	22,887	男 9 女 1 計 10	バイオマスボイラー燃料用木質チップ製造業	釈迦内字野崎5番地2	TEL 49-1675 FAX 49-1676
63	プレシジョン・システム・サイ エンス㈱大館試薬センター	H25年	H26年11月	H26年11月 R5年11月	100,000	14,778	男 14 女 14 計 28	核酸自動抽出装置用試薬及びプラスチック成 型品の製造	花岡町字前田40番地16	TEL 59-6262 FAX 59-6260
64	戸 田 精 工 ㈱		H27年7月	H27年7月	20,000	13,583	男 33 女 7 計 40	治工具、金型、自動機・省力機器の設計・製 作	比内町新館字野開73番地42	TEL 59-4955 FAX 59-4956

No.	企 業 名	誘致年	操業開始	条例適用 指定年月 (直近3回)	資本金 (千円)	工場敷地 (㎡)	従業員数 (人)	営 業 品 目	所 在 地	電話番号等
65	秋 田 比 内 や ㈱		H27年11月	H27年11月	70,000	2,996	男 14 女 23 計 37	比内地鶏の加工製造	葛原字洞喰向11番地15	TEL 52-3886 FAX 52-3888
66	㈱エス・トランスポートサービス		H28年4月	H28年4月	10,000	8,096	男 22 女 0 計 22	貨物自動車運送業	釈迦内字上大留64番地1	TEL 59-6511 FAX 59-6512
67	新 和 産 業 ㈱ 金 属 資 源 リ サ イ ク ル 工 場		H28年6月	H28年6月	20,000	1,606	男 47 女 2 計 49	プラント設備、金属資源リサイクル	花岡町字猫鼻6番地1	TEL 46-1292 FAX 46-1298
68	㈱バイテックファーム大館		H28年4月	H28年4月	20,000	11,300	男 0 女 0 計 0	リーフレタス、低カリウムレタス、業務用 リーフレタス等の生産・加工・販売	釈迦内字野崎86番地	TEL 59-8531 FAX 59-8534
69	㈱キータック釈迦内工場		H29年4月	H29年4月	268,400	29,623	男 7 女 2 計 9	構造用集成材のプレカット、建築設計業務、 躯体工事	釈迦内字野崎5番地5	TEL 59-6230 FAX 48-5360
70	㈱ 杓 澤 製 材 所		H31年2月	H31年2月	70,000	46,000	男 36 女 10 計 46	製材業、木材木製品製造業	釈迦内字街道上154番地	TEL 48-3141 FAX 48-3142
71	㈱大館マルスイ 大館物流冷蔵倉庫		H31年4月	H31年4月	69,800	20,832	男 6 女 0 計 6	物流事業受託、営業冷凍倉庫業	二井田字前田野5番地53	TEL 42-6226 FAX 43-3690
72	エコシステム花岡㈱ 第2最終処分場		R3年4月	R3年4月	300,000	60,516	男 20 女 6 計 26	産業廃棄物処理業、一般廃棄物処理業	花岡町字滝ノ沢82番地1	TEL 46-2311 FAX 46-1651
73	㈱オオダテソーイング ファクトリー	R3年11月	R3年11月	R3年11月	61,000	6,801	男 6 女 37 計 43	ジーンズ製造	釈迦内獅子ヶ森1番地23	TEL 59-6767 FAX 59-5169
74	白金運輸㈱ 大館物流センター		R4年1月	R4年1月	86,250	5,537	男 2 女 1 計 3	一般貨物運送業、倉庫業、通運業	比内町扇田字山崎32番地	TEL 59-6767 FAX 44-6106
75	東光鉄工㈱釈迦内工場		R5年8月	R5年12月	85,000	20,581	男 83 女 18 計 101	鉄鋼、非鉄金属、機械、工具、建設資材等の国 内販売他	釈迦内字稲荷山下9番地	TEL 48-3234 FAX 48-5922
76	㈱石田運輸商会		R5年12月	R5年12月	25,000	1,125	男 30 女 3 計 33	一般貨物運送業	釈迦内字下大留84番地	TEL 48-2662 FAX 48-5318
77	大館バイオ㈱		R5年12月	R5年12月	12,000	5,752	男 12 女 0 計 12	バイオマス発電事業	釈迦内字野崎5番地2	TEL 48-2522 FAX 59-4155
78	東洋紡㈱大館透析膜工場	R4年3月	R6年12月	R6年12月	51,730,000	11,616	男 29 女 2 計 31	フィルム、ライフサイエンス、環境・機能材 等	二井田字羽貫谷地8番地7 (ニプロ㈱大館工場内)	TEL 59-6580 FAX 59-6581

	男	女	計
条例指定企業での従業員数 (R8. 4. 1)	3,871	1,765	5,636
うち花岡工業団地	138	67	205
うち二井田地区工業団地	2,409	1,041	3,450
うち新館工業団地	81	48	129
うち羽貫谷地工業団地	162	58	220
うち岩瀬工業団地	76	50	126
うち釈迦内産業団地	54	4	58
そ の 他	951	497	1,448

4 商工関係事業

○関係事業補助金等	21,810 千円
・大館市企業誘致促進協議会負担金	800 千円
・大館市シルバー人材センター補助金	8,300 千円
・大館市勤労者共済会補助金	1,200 千円
・商業活性化総合支援事業費補助金	10 千円(7年度実績1件30千円)
・空き店舗再生推進事業費補助金	5,000 千円(7年度実績3件5,242千円)
・創業支援事業費補助金	3,000 千円(7年度実績15件5,958千円)
・新技術・新商品開発等支援事業費補助金	3,500 千円(7年度実績6件2,792千円)
○地域人材確保事業	14,000 千円
・資格取得支援事業費補助金	7,000 千円(7年度実績196件9,181千円)
・奨学金返還助成金	6,500 千円(7年度実績54件6,691千円)
・地域産業担い手確保支援事業費補助金	100 千円(7年度実績5件342千円)
・ものづくり力向上支援事業費補助金	100 千円(7年度実績6件100千円)
・インターンシップ支援事業費補助金	300 千円(7年度実績6件260千円)
○中小企業金融対策預託金	500,000 千円(7年度融資実績156件 1,168,824千円)
○中小企業融資あっせん保証料補給金 (中小企業創業資金融資保証制度含む)	36,934 千円(7年度実績37,686千円)
○中小企業融資利子補給金	37,103 千円(7年度実績42,557千円)
○中小企業機械類設備資金融資あっせん保証料補給金	285 千円(7年度実績244千円)
○中小企業機械類設備資金融資利子補給金	531 千円(7年度実績405千円)
○小規模企業融資あっせん保証料補給金	5,754 千円(7年度実績4,738千円)
○小規模企業融資利子補給金	783 千円(7年度実績655千円)
○小規模事業者経営改善資金融資利子補給金	2,719 千円(7年度実績1,622千円)
○中小事業者経営強化・革新事業	85,600 千円(7年度実績千円)
・グリーントランスフォーメーション推進事業費補助金	26,000 千円(7年度実績60件22,079千円)
・デジタルトランスフォーメーション推進事業費補助金	38,500 千円(7年度実績21件23,031千円)
・地域ブランド創出・拡大事業費補助金	15,000 千円(7年度実績10件11,571千円)
・物流事業者支援事業費補助金	6,100 千円(7年度実績36件5,625千円)

(1) 大館市工場等設置促進条例(昭和61年6月27日条例第17号)(最終改正 令和5年9月29日)

目 的:本市に工場、先端技術開発研究施設、規則で定める事業を行う施設を立地する者に対し、便宜供与、奨励措置を講ずることにより、工業の振興を促進し、雇用機会の増大を図る。

指定の基準:① 次のいずれにも該当

ア 土地を除く固定資産(建物・設備など)の取得価額 1,900万円超

イ 新規常用雇用 5人以上(地元企業は3人以上)

② 土地を除く固定資産の取得価額が次のいずれかに該当

ア 大企業(みなし大企業を含む) 10億円超

イ 中小企業5億円超

ウ イのうち、立地済み企業3億円超

エ イのうち、市内に本社がある企業1億円超

③ 県が誘致企業として認定したもの

奨 励 措 置:① 操業開始時支援金(操業開始時、従業員1人につき10万円、限度額500万円)

② 固定資産税の課税免除(指定後、最初に賦課されるべき賦課期日「基準日」における固定資産税を3カ年度、及び基準日後2年以内に取得した固定資産にかかる固定資産税)

③ 雇用奨励金の交付(地元従業員10人を超える者1人につき10万円)

④ 障害者雇用奨励金の交付(地元従業員1人につき10万円、2年以上継続して雇用している場合)

⑤ 福利厚生施設・除雪設備等助成金の交付(体育・休憩施設、食堂、送迎用バス・除雪車などのほか、市長が特に認めた設備に要する経費の3分の1、限度額1,000万円)

⑥ 緑地等環境保全施設助成金の交付(工場敷地の25%以上の面積に対しての当該施設の設置経費の3分の1、限度額200万円)

(2) 中小企業融資あっせん制度(昭和43年5月)

目 的:市内に居住する中小企業者で、事業資金を必要とするものに対して融資のあっせんを図り、業界の振興発展に資する。

対 象:市内において中小企業信用保険法に該当する同一事業を1年以上営む者で、市税等の完納者であること。

貸付限度額:2,000万円(新型コロナウイルス感染症対策特別枠は別枠で1,000万円)

貸付期間:10年以内

貸付利率:年率1.75%以内(令和8年4月1日現在)

利子補給:資金使途が設備資金の場合、貸付利率の2分の1または年率0.9%のうち、いずれか低い率分を貸付日から3年間、補給。ただし、新型コロナウイルス感染症対策特別枠の場合、貸付日から全期間、全額を補給。

保証料:年率1.90%以内(一部市負担)

(3) 中小企業機械類設備資金融資あっせん制度（昭和63年11月）

目 的：生産または業務を営むために使用する機械器具及び装置を購入するために設備資金を必要とする市内の中小企業者に対し、融資のあっせんを図るとともに融資にかかわる保証料の全額と利子の一部を補給することにより中小企業の振興発展を図る。

対 象：市内において中小企業信用保険法に該当する同一事業を1年以上営む者で、市税等の完納者であること。

貸付限度額：500万円

貸付期間：5年以内

貸付利率：年率1.75%以内（令和8年4月1日現在）実質利率0.5%

利子補給：上記のうち4%を市で補給。ただし、貸付利息が4.5%未満の場合、その率から0.5%を減じて得た利率とする。

保証料：年率1.90%以内（一部市負担）

(4) 小規模企業融資あっせん制度（平成20年4月）

目 的：大館市内に住所または事業所を有する小規模企業者で事業資金を必要とするものに対し、融資のあっせん等を行うことにより、小規模企業者の経営の安定及び地域産業の振興発展を図ることを目的とする。

対 象：市内において同一事業を1年以上営む中小企業信用保険法第2条第2項各号に定める小規模企業者であって、市税等の完納者であること。

貸付限度額：1,250万円（新型コロナウイルス感染症対策特別枠は別枠で500万円）

貸付期間：10年以内

貸付利率：年率1.55%以内（令和8年4月1日現在）

利子補給：資金用途が設備資金の場合、貸付利率の2分の1または年率0.9%のうち、いずれか低い率分を貸付日から3年間、補給。ただし、新型コロナウイルス感染症対策特別枠の場合、貸付日から全期間、全額を補給。

保証料年率：年率1.90%以内（一部市負担）

(5) 中小企業創業資金融資保証制度（令和2年4月）

目 的：大館市内での創業者及び創業して間もない事業者の資金調達を支援することで、地域の活性化に資することを目的とする。

対 象：中小企業基本法第2条第1項の各号いずれかに該当する大館市民であり、以下のいずれかに該当すること。

イ 事業を営んでない個人であって、1月以内（産業競争力強化法第2条第24項1号に規定する認定特定創業支援等事業により支援を受けて創業を行おうとする者にあつては6月以内）に新たに事業を開始する具体的計画を有するもの。

ロ 事業を営んでいない個人であって、2月以内（認定特定創業支援等事業により支援を受けて創業を行おうとするものにあつては、6月以内）に新たに会社を設立し、当該会社が事業を開始する具体的な計画を有するもの

ハ 事業を営んでいない個人が事業を開始した日以後5年を経過していない者

ニ 事業を営んでいない個人により設立された会社であって、その設立の日以後5年を経過していない者

貸付限度額：1,000万円

貸付期間：10年以内

貸付利率：年率1.55%以内（令和8年4月1日現在）

保証料年率：年率0.88%以内（全額市負担）

(6) 中小企業スタートアップ創出促進資金融資保証制度（令和5年4月）

目的：創業5年以内の創業者へ経営者の個人保証なしで融資を行うことにより経営基盤の強化を図ることを目的とする。

対象：中小企業基本法第2条第1項の各号いずれかに該当する大館市民であり、以下のいずれかに該当すること。

イ 事業を営んでない個人であって、2月以内（産業競争力強化法第2条第29項3号に規定に規定する認定特定創業支援等事業により支援を受けて創業を行おうとする者にあつては6月以内）に新たに事業を開始する具体的計画を有する者

ロ 創業を行おうとする会社であって、当該創業を行う具体的な計画を有する者

ハ 事業を営んでいない個人により設立された会社であって、その設立の日以後5年を経過していない者

ニ ロに規定する創業により設立された会社であって、その設立の日以後5年を経過していない者

貸付限度額：1,000万円

貸付期間：10年以内

貸付利率：年率1.55%以内（令和8年4月1日現在）

保証料年率：年率1.08%以内（全額市負担）

(7) 小規模事業者経営改善資金融資利子補給金

目的：大館市内に住所または事業所を有し、商工会議所等の推薦で小規模事業者経営改善資金融資を受けたものに対し、その融資に係わる利子の一部を補給することにより、小規模企業者の経営の安定及び地域産業の振興発展を図ることを目的とする。

貸付対象：大館市内の商工会議所、商工会の推薦で小規模事業者経営改善資金融資を受けた小規模企業者で、市内において1年以上同一事業を営み、市税等の完納者であること。

利子補給：小規模事業者経営改善資金融資の支払い利子の2分の1を貸付日から4年間、補給。

(8) 空き店舗再生推進事業

目的：中心市街地の空き店舗等の不動産購入費と改修工事費の経費の一部を補助することによって、中心市街地活性化の推進と地域産業の振興に寄与することを目的とする。

対象：中心市街地の空き店舗等を活用し、地域活性化を図る者。

対象事業：1年以上にわたり入居者がいない空き店舗等（住宅・店舗等）を不特定数の方が利用するサービス施設としてリノベーションするもの（不動産購入費及び建物の改修

工事費)

補 助 率：空き家 1 棟利活用の場合2/3（限度額200万円）

空き室利活用の場合2/3（限度額100万円）

(9) 資格取得支援事業補助金

目 的：仕事に役立つ資格の取得に要する経費の一部を市が補助することにより、就職を目指す市民及び市内就業者の資質向上を促進し、雇用機会の拡大や市民の所得向上と市内企業の負担軽減や人材育成に資することを目的とする。

対 象 者：市民で資格取得年度当初における満年齢が70歳未満の下記のかた

中小企業の事業所に勤務しているかた

ハローワークに求職登録をしている無職のかた

高等学校に在籍している生徒 ※申請者は生徒の保護者

県内の職業能力開発短期大学校及び職業能力開発校に在籍している生徒

補 助 額：資格取得に必ず要する費用の2分の1で最大10万円 ※千円未満切り捨て

(10) 創業支援事業費補助金

目 的：市内で新たに創業したもの（第二創業者含む）に対し、事業開始に要した経費の一部を補助することにより、新規創業者の輩出を促し、また、事業の円滑な進捗を支援することで、商工業の振興に寄与することを目的とする。

対 象 者：市内に居住する個人、または市民を代表者とする市内に所在する法人であり大館商工会議所または大館北秋商工会が行う個別経営指導である特定創業支援事業を受講した者。

補 助 額：事業拠点費、設備等導入費、宣伝広告費の2分の1で基礎上限30万円。ただし、下記の場合補助率及び補助上限額を加算し、最大で100万円。※千円未満切り捨て

① 県外から移住し、移住後1年以内に創業：加算20万、補助率2/3

② 法人を設立したうえで創業：加算20万、補助率2/3

③ 女性の創業：加算10万、補助率1/2

④ 大館市の地域資源を活用した創業：加算20万、補助率2/3

⑤ 40歳未満の者による創業：加算10万、補助率1/2

(11) 新技術・新商品開発等支援事業費補助金

目 的：市内事業者等が行う新技術や新商品の開発に要する経費に対し、予算の範囲内で補助することにより、本市における地域産業の振興を図ることを目的とする。

対 象 者：① 市内で事業を1年以上継続していて、次のいずれかに該当する者

ア 市内に主たる事業所または住所を有する中小企業者

イ 市内に主たる事業所または住所を有する者を主な構成員とする組合または任意団体

ウ 市内に事業所及び住所を有する個人事業主

② 個社事業または連携事業に取り組む者

③ 市税等の未納がない者

補 助 額：補助金の額及び補助率は、下記のとおり。ただし、当該事業において国、県等からの補助金を受ける場合には、国、県等の補助金額を差し引いた額。

- ① 個社事業 単独の事業者が自らの技術開発及び商品開発のために行う事業について、補助率2/3、補助上限20万円。
- ② 個社連携事業 複数の事業者等が連携し、共通の技術・商品開発に取り組む事業について、補助率2/3、補助上限30万円。
- ③ ふるさと納税返礼品開発事業
新たなふるさと納税返礼品の開発に取り組む事業について、補助率2/3、補助上限70万円。
- ④ 地元食材活用事業 ふるさと納税返礼品開発事業のうち、地元食材を主要原材料とした返礼品の開発に取り組む事業について、補助率2/3、補助上限100万円。

(12) 奨学金返還助成金

目 的：大館市に居住する就労者のうち、高等学校や大学などの在学中に借り入れた奨学金を返還する者に対し、返還金の一部を助成することにより、人材の確保と定住促進を図ることを目的とする。

対 象 者：奨学金等を返還予定または返還中の者で市税等の未納がない者であり、次のいずれかに該当する者

- ① 奨学金の貸与を受けた高校・大学等を卒業または中途退学してから5年を経過しない者であって、上記の高校・大学等を卒業または中途退学後に就労等する者
- ② 奨学金の貸与を受けた高校・大学等を卒業または中途退学してから5年を経過した者であって、卒業または中途退学後に通算1年間以上大館市外に居住した後大館市に転入し、転入後5年を経過しない就労等する者

補 助 額：奨学金の当初約定に基づく1年間の返還実績額（国・県等他の制度による奨学金等の返還支援を受けている場合は、これを除いた金額）の3分の2で上限20万円。
助成期間は修学年数と等しい期間。さらに、本制度の賛同企業に就職した者には助成金を加算。

(13) 地域産業担い手確保支援事業費補助金

目 的：市内の事業者が、県外で従業員を募集する費用の一部を補助することにより、事業者の労働力確保を促進し、もって、本市の産業振興を図ることを目的とする。

対 象 者：① 本事業の認定申請日において本市に事業所等を有すること。

② 申請日において市税等に未納がないこと。

補 助 額：県外在住者を対象に市内で勤務する従業員を募集する活動に要する費用
補助率 1/2、補助上限 25万円（1事業者あたり）

(14) ものづくり力向上支援事業費補助金

目 的：市内事業者の従業員が業務に必要な技術、技能又は知識の習得のための訓練等に要する費用の一部を補助することにより、ものづくりに携わる人材の育成を促進し、事業の生産性を高め、もって、本市の産業振興を図ることを目的とする。

対 象 者：① 本事業の認定申請日において本市に事業所等を有すること。

② 申請日において市税等に滞納がないこと。

補 助 額：補助対象事業者の従業員が受講する在職者向けの能力開発セミナーの受講料

補助率 1/2、補助上限5万円（1事業者あたり）

(15) インターンシップ支援事業費補助金

目 的：市内事業所等がインターンシップの実施に要する費用の一部を補助することで、若者の市内就職の促進、人材確保につなげることを目的とする。

対 象 者：① インターンシップを実施した、市内で1年以上事業を営む市内事業者等

② 申請日において市税等に未納がないこと

補 助 額：インターンシップ1日あたり1万円、5万円上限

5 雇用状況・出稼ぎ対策

(1) 雇用状況の推移（大館管内）

※有効求人倍率は年度平均の数値

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
有効求人倍率 常用（倍）	パートを含む	1.39	1.56	1.48	1.40	1.32
	パートを含まない	1.56	1.84	1.80	1.81	1.85
新規高卒者就職数 （人）	県 内	116	112	119	95	76
	県 外	37	45	34	34	48

(2) 出稼ぎ者の推移

年 度	元	2	3	4	5	6	7
出稼ぎ者数（人）	4	0	0	2	2	2	2

(3) 出稼ぎ者支援事業

① 出稼ぎ労働者指導資料の作成及び送付

② 市広報の希望者への送付

③ 障害総合保険への加入手続き

・出稼ぎ者掛け金 1人年額500円

・市拠出金 1人年額1,000円

6 工 業 団 地

(1) 釈迦内産業団地（分譲中）

所 在	大館市釈迦内	総 面 積	約28.3ha
工場用地面積	約 26.2ha	分譲可能面積	約 2.8ha（2区画）
立 地 企 業	11事業所 秋田原木市場(株)大館木材流通センター、北秋容器(株)木質チップ製造工場、(株)エス・トランスポートサービス 物流センター、(株)バイテックファーム大館、秋田丸ごと開発(株)釈迦内太陽光発電所、(株)キーテック釈迦内工場、タクミ電機工業(株)、(同)takumi solar Japan、(同)タクミエナジー、(同)タクミエネルギー開発、大館バイオ(株)		

(2) 大館工業団地（分譲中）

所在地	大館市二井田	総面積	約54.9ha
工場用地面積	42.0ha	分譲可能面積	3.7ha（2区画）
立地企業	5事業所 ニプロ(株)大館工場、ニューロング工業(株)大館工場 (株)プラスチック・ホンダ大館工場、(株)E&TAMAGO、東洋紡(株)		

(3) 二井田工業団地（完売）

所在地	大館市二井田	総面積	約19.2ha
工場用地面積	約16.1ha	立地企業	14事業所
東北キャスティング(株)、テック大洋工業(株)秋田事業所、青森昭和産業(株)大館作業所 (株)ホクエツ秋田 県北営業所、佐藤商事(株)大館支店、(株)秋田エスエス商運大館営業所、 (有)けんぼく、(株)丸祐運送秋北営業所、(株)木村食品工業大館工場・第四工場、 いとくデリカセンター、白金運輸(株)大館営業所、羽後運送(株)大館支店、北秋容器(株)			

(4) 大館第二工業団地（完売）

所在地	大館市二井田	総面積	約48.2ha
工場用地面積	約37.3ha	立地企業	10事業所
ニプロファーマ(株)大館工場、(株)プラスチック・ホンダ大館工場、(株)京都商興大館営業所、石垣 鐵工(株)、(株)ファーマインド大館センター、国分東北(株)いとく大館物流センター、(株)東北セン バ大館工場、東北福山通運(株)、(株)グリーンパッケージ秋田工場、(株)大館マルスイ			

(5) 花岡工業団地（分譲中 拡張事業実施中）

所 在	大館市花岡町	総面積	約13.4ha
工場用地面積	約9.7ha	分譲可能面積	2.6ha （1区画）
立 地 企 業	4事業所 エヌピーエス(株)、(株)フレックス、東光鉄工(株)花岡工場、 プレジジョン・システム・サイエンス(株)大館試薬センター		

(6) 花岡第2工業団地（完売）

所在地	大館市花岡町	総面積	約2.7ha
工場用地面積	約2.7ha	立地企業	1事業所
(株)キーテック大館工場			

(7) 新館工業団地（完売）

所在地	大館市比内町新館	総面積	約6.0ha
工場用地面積	約4.4ha	立地企業	5事業所
比内時計工業(株)、(株)ティアンドティ比内、戸田精工(株)、 (株)サンテックス比内ファクトリー、(有)桜工業			

(8) 羽貫谷地工業団地（完売）

所在地	大館市岩瀬	総面積	約11.3ha
工場用地面積	約10.6ha	立地企業	6事業所
(株)サンテックス、フリージア・オート技研工業(株)秋田工場、ニューロング秋田(株)、 みちのくコカ・コーラボトリング(株)秋北支店、(株)町田アンド町田商会田代営業所、トヨタL & F 秋田(株)大館店			

(9) 岩瀬工業団地（完売）

所在地	大館市岩瀬	総面積	約4.4ha
工場用地面積	約4.0ha	立地企業	2事業所
(株)田代製作所、(株)タクミ電機工業 太陽光発電所			

(10) 小森山ミニ工業団地（完売）

所在地	大館市比内町笹館	総面積	約1.3ha
工場用地面積	約1.0ha	立地企業	4事業所
米代電機工業(株)、アイスエイジ(株)、秋田試錐(株)、(株)羽沢建材			

7 観 光

(1) 概 要

令和6年4月に策定された「おおだて未来づくりプラン」で設定された観光戦略に基づき、「地域の宝を活かす観光振興」実現のため、次の施策に取り組んでいきます。

施策

- 自然を軸に地域資源を組み合わせたキャンピングフィールドの整備
- ハチ公生誕100年事業が紡いだ縁を次世代へつなぐ取り組みの促進
- 秋田犬・忠犬ハチ公のふるさと大館の積極的なPRと・広域的な交流促進
- 北秋田エリアの自治体と連携した観光の促進
- 観光施設における観光客受入体制の整備
- 観光資源・観光施設のブランド力向上と磨き上げ

目標値（令和9年度）

- 観光入込客数 300万人
- 1人1回当たりの観光消費額 42千円

(2) 主な観光地

自 然	田代岳、長木溪流、竜ヶ森、矢立遊歩道、長走風穴、芝谷地湿原、達子森、鳳凰山
温 泉	大滝温泉郷、矢立温泉郷、雪沢温泉郷、大葛温泉郷、たしろ温泉
資 料 館	郷土博物館、秋田犬会館、民舞伝習館、大葛金山ふるさと館、小畑勇二郎記念館、秋田三鶏記念館
史 跡	桂城公園、独鈷城跡、鳥潟会館、石田ローズガーデン、櫻櫓館、忠犬ハチ公銅像、忠犬ハチ公生家、北鹿ハリストス正教会曲田聖堂、安藤昌益の墓
寺 社 仏 閣	大館神明社、大館八幡神社、独鈷大日神社、錦神社、西木戸神社、扇田神明社、老犬神社、松峰神社
その他施設	ニプロハチ公ドーム（樹海ドーム）、タクミアリーナ（樹海体育館）、高館テニスコート、長根山運動公園、グリアス田代（田代体育館）、市民の森、レールバイク、松下村塾、秋田犬の里

(3) 主な催事

4月	ジャジャシコ祭り、桜まつり、山田記念ロードレース、老犬神社例大祭
5月	秋田犬保存会本部展覧会、市日まつり
6月	バラまつり、たけのこ祭り、ONSENガストロノミーウォーキング
7月	田代山神社例大祭、独鈷大日神社例大祭
8月	蛭沢獅子踊り、中野七夕、金山七夕、山田獅子踊り、大文字まつり、扇田盆踊り、山コチンチコ、大鮎の里ふるさとまつり
9月	大館神明社例祭
10月	バラまつり、本場大館きりたんぽまつり、五色湖まつり、圏域産業祭
11月	秋田犬保存会支部展覧会
12月	山田地蔵祭、シャイニングストリート
1月	代野番楽、比内とりの市

2月	アメッコ市、十二所かまくらやき
----	-----------------

(4) 温 泉

当市は豊富な温泉源に恵まれており、市が所管する源泉は7カ所に及ぶ。民間温泉も相当数所在し、あわせて市民の保養の場として活用されているほか、観光資源としての可能性も有している。

温 泉 名	源泉所在地	泉 質 等	浴用の適応症	温泉供給状況
大 滝 温 泉	十二所字後田	ナトリウム・カルシウム硫酸塩・塩化物泉 65.5℃	きりきず、末梢循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症	87カ所 湯夢湯夢の里ほか
雪 沢 温 泉	雪 沢 字 大 滝	カルシウム・ナトリウム硫酸塩泉 50.4℃	きりきず、末梢循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症	3カ所
軽 井 沢 温 泉	軽井沢字五輪岱	ナトリウム・カルシウム硫酸塩・塩化物泉 50.7℃	きりきず、末梢循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症	1カ所
二 井 田 温 泉	二井田字田子森	ナトリウム・カルシウム硫酸塩・塩化物泉 31.7℃	きりきず、末梢循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症	1カ所 二井田市民集会所「ハチ公荘」 (令和8年3月31日廃止)
大葛温泉3号井	比 内 町 大 葛	カルシウム・ナトリウム硫酸塩泉 42.7℃	きりきず、末梢循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症	1カ所 比内ベニヤマ荘 (休業中)
田 代 温 泉	岩 瀬	ナトリウム・カルシウム塩化物泉 45.5℃	きりきず、末梢循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症	1カ所 たしろ温泉ユップラ
新 矢 立 温 泉	長 走	ナトリウム・カルシウム塩化物泉 47.6℃	きりきず、末梢循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症	1カ所 矢立ハイツ

8 移 住 交 流

(1) 移住相談者数と移住者数

年度	相談件数	移住者数
R 2	40	8
R 3	51	33
R 4	61	14
R 5	100	29
R 6	51	25
R 7	103	62

(2) 大館市空き家バンク制度実績

年度	新規登録数	物件成約数	年度末登録数
R 2	42	30	50
R 3	36	39	42
R 4	41	29	48
R 5	50	31	62
R 6	72	39	87
R 7	56	48	88

(3) 教育旅行実績

年度	受入実数	受入校数
H31 (R元)	853	6
R 2	556	10
R 3	1, 463	22
R 4	1, 043	13
R 5	1, 219	11
R 6	1, 936	14
R 7	1, 396	12

(4) 大館能代空港利用実績

年度	実績 (人)	搭乗率 (%)	運航率 (%)
R 2	24, 170	26. 4	95. 9
R 3	45, 346	31. 6	97. 9
R 4	145, 617	44. 1	98. 8
R 5	173, 057	51. 0	98. 9
R 6	194, 655	58. 0	99. 1
R 7	198, 483	59. 8	98. 4

9 教 育 文 化

1 学 校 教 育（教職員数には、講師、事務職員、学校栄養職員等も含む）

(1) 教育施設

(令 8. 5. 1 現在)

区 分		施設数	学 級 数 学 科 数	児 童 ・ 生 徒 数 等	教職員数 (臨時講師含む)	備 考	
市 立	小 学 校	17	146	2,167	272		
	中 学 校	8	61	1,181	168		
県 立	中 学 校	1	6	132	15		
	高校 (全日制)	3	47	1,455	191		
	高校 (定時制)	1	8	97	24		
	特別支援学校	1	26	113	102		
厚生労働省所管		短期大学校	1	3	65	30	
私 立	大 学	1	2	267	40		
	幼 稚 園	1	3	22	9		
計		34	302	5,499	851		

(2) 市立小学校

(令 8. 5. 1 現在)

区分 校名	学級数	児童数			教職員数 (臨時講師含む)	市職員数 (臨時職員含む)	開校日
		男	女	計			
桂 城	12	114	98	212	24	15	明 7. 4. 24
城 南	13	132	120	252	23	16	明 7. 4. 24
城 西	12	128	118	246	20	8	昭33. 9. 30
有 浦	18	209	220	429	31	10	昭17. 6. 15
釈 迦 内	8	73	69	142	20	5	明 7. 6. 26
長 木	9	84	70	154	17	6	明10. 1. 15
川 口	9	44	40	84	15	3	明 7. 10. 21
上 川 沿	8	50	48	98	15	4	明12. 11. 2
成 章	8	32	26	58	15	4	明 7. 5. 27
花 岡	5	9	16	25	9	3	明 7. 10. 7
矢 立	4	13	10	23	9	5	明 7. 12. 24
南	8	32	39	71	15	3	昭51. 4. 1
扇 田	8	84	71	155	18	5	明 7. 11. 5
西 館	6	27	31	58	10	4	明 7. 11. 18
東 館	6	22	13	35	10	6	明 7. 10. 25
早 口	5	19	16	35	9	3	明 8. 10. 5
山 瀬	7	40	50	90	12	5	昭37. 4. 1
計	146	1,112	1,055	2,167	272	105	

(3) 中 学 校

(令 8. 5. 1 現在)

校名		学区	学級数	生徒数			教職員数 (臨時講師含む)	市職員数 (臨時講師含む)	開校日
				男	女	計			
市立	第一		15	193	187	380	37	7	昭 22. 5. 1
	北陽		6	55	52	107	19	3	平 27. 4. 1
	下川沿		5	19	15	34	16	3	昭 22. 4. 1
	南		5	26	16	42	16	4	昭 40. 4. 1
	成章		3	15	19	34	14	3	昭 22. 5. 1
	東		16	186	176	362	32	7	昭 45. 5. 1
	比内		8	80	58	138	23	4	昭 45. 5. 1
	田代		3	44	40	84	11	3	昭 43. 4. 1
	計		61	618	563	1,181	168	34	
県立	大館国際情報学院		6	47	85	132	15	—	平 17. 4. 1
計			67	665	648	1,313	183	34	

(4) 年度別小・中学校費

区 分	6年度当初予算(千円)		7年度当初予算(千円)		8年度当初予算(千円)	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
学 校 管 理 費	360,732	262,993	365,471	266,114	372,463	249,799
教 育 振 興 費	107,022	71,710	104,258	73,088	150,194	88,608
施設維持及び改良費	98,430	41,338	61,421	35,862	99,372	49,242
計	566,184	376,041	531,150	375,064	622,029	387,649

(5) 高 等 学 校

(令 8. 5. 1 現在)

学校名			学区	学級数	生徒数			教職員数	創立年月日
					男	女	計		
県立	全日制	大館鳳鳴		18	282	280	562	64	明31. 3. 21
		大館桂桜		17	296	217	513	71	平28. 4. 1 (大館桂、大館工業、大館高校が統合)
		大館国際情報学院		12	166	214	380	56	平17. 4. 1 (大館商業高校を母体校として改編)
		計		47	744	711	1,455	191	
	定時制	大館鳳鳴		8	39	58	97	24	平28. 4. 1
合 計				55	783	769	1,552	215	

(6) 特別支援学校

(令 8. 5. 1 現在)

学校名		学区	学級数	生徒数			教職員数	創立年月日
				男	女	計		
県立	比内支援学校		26	85	28	113	102	昭49. 4. 1

(7) 大 学

(令 8. 5. 1 現在)

学校名		学区	学科数	学生数			教職員数	創立年月日
				男	女	計		
県立	秋田職業能力開発短期大学校		3	55	10	65	30	平 5. 4. 1
私立	秋田看護福祉大学		2	74	193	267	40	平17. 4. 1
合 計			5	129	203	332	70	

(8) 幼稚園

(令 8. 5. 1 現在)

名	区 分園	学級数	園 児 数 (人)			教職員数 (人)	備考
			男	女	計		
私立	大 館	1	12	10	22	9	

(9) 大館市学校給食センター設置状況

センター名	所 在 地	供給対象学校	建物面積 調 理 室	敷地面積
開設年月日	電話番号／FAX	1 日当たり給食供給食数	事務室等	施設構造
城西地区学校給食センター	大館市北神明町10-2	城西小・第一中	297. 17㎡	1, 179. 62㎡
平成14年 4 月 1 日	0186-49-2195/0186-49-2195	715食	50. 00㎡	鉄骨造 2 階建
西地区学校給食センター	大館市川口字隼人岱108-69	川口小・南小・下川沿中・南中	173. 82㎡	1, 456. 00㎡
平成9年 4 月 1 日	0186-42-9551/0186-42-9551	323食	202. 02㎡	鉄骨平家建
成章学校給食センター	大館市十二所字大平190	成章小・上川沿小・成章中	155. 52㎡	314. 52㎡
平成 7 年 4 月 1 日	0186-52-2430/0186-52-2430	272食	74. 84㎡	鉄骨平家建
比内学校給食センター	大館市比内町扇田字新館野中岱12	扇田小・西館小・東館小・比内中	323. 00㎡	68, 328. 00㎡
平成16年 4 月 1 日	0186-45-4300/0186-45-4301	486食	242. 00㎡	鉄骨造一部2階建
田代学校給食センター	大館市岩瀬字下軽石野2-2	早口小・山瀬小・田代中	142. 09㎡	2, 991. 00㎡
昭和56年4月1日 (平成17年4月移転)	0186-54-3310/0186-54-3310	292食	516. 19㎡	鉄骨造一部2階建
北地区学校給食センター	大館市釈迦内字上大留60	有浦小・釈迦内小・長木小・花園小・矢立小・北陽中・東中	1, 119. 54㎡	9, 967. 79㎡
平成20年 4 月 1 日	0186-45-2370/0186-45-2371	1, 518食	252. 33㎡	鉄骨造一部2階建

※平成20年度より市立小学校・中学校給食完全実施

2 秋田職業能力開発短期大学校（東北職業能力開発大学校附属）

高度な技術的知識と実践的技能をあわせ持った「ものづくり」ができる「テクニシャンエンジニア」の育成を目的として平成5年開学した。

(1) 設置科及び定員

設 置 科	定 員 (人)		
	1 年	2 年	計
生 産 技 術 科	20	20	40
電子情報技術科	20	20	40
住 居 環 境 科	20	20	40
計	60	60	120

- (2) 敷地・建物概要
- | | | | |
|------------|---------|---------|--------|
| 敷地面積 | 55,500㎡ | 本館棟（4階） | 4,082㎡ |
| 実践・実習棟（2階） | 1,859㎡ | 学生寮棟 | 2,889㎡ |
| 体育館棟 | 1,061㎡ | 学生ホール | 282㎡ |
- (3) 学 生 寮 2階建、全室個室（男子寮 79室、女子寮 20室）
- (4) 所 在 地 大館市字扇田道下6-1
- (5) 設 置 ・ 運 営 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

3 秋田看護福祉大学

本学は、これからの保健・医療・福祉分野で活躍できる人材を育成する教育機関であるとともに、高度で先進的な研究を行う研究機関です。また、幅広い教育研究の成果を地域社会へ還元する窓口の役割をもち、地域に開かれた大学として社会に積極的に発信していくことを重視し、多彩な活動を展開しています。

(1) 設置科及び定員

設 置 科	定 員 (人)			
	1 年	2 年	3 年	4 年
看 護	50	50	50	50
医 療 福 祉	40	40	40	40
計	90	90	90	90

(2) 敷地・建物概要

敷 地 面 積	40,669.00 m ²	
建 築 面 積	13,125.96 m ²	
校 舎	鉄筋コンクリート造3階建（一部2階建）	11,740.73 m ²
体育館（2階）	鉄筋コンクリート造一部2階建	1,000.67 m ²
クラブハウス棟	鉄筋コンクリート造	384.56 m ²

- (3) 設 置 ・ 運 営 学校法人 ノースアジア大学

4 公 民 館

公 民 館	設 立	施 設 概 要	職 員	備 考
中 央 公 民 館	昭21	敷地 16,648㎡ ・延床面積 4,433.95㎡ (1階)第1・2研修室、展示会、美術工作室 調理室、多目的室、音楽室、教養 文化室、体育室、市民ホールほか (2階)第3・4・5・6研修室、視聴覚ホール、 視聴覚制作室ほか	専 任 5人 会 計 年 度 任 用 職 員 3人	昭21.11御大典記念公会堂 「公民館」として設置 昭30.3.1衆楽園跡に移転、 「中央公民館」と改称 昭49.6.1桂高校跡に移転、 スポーツ館が併設 昭61.1.29改築、サン・アビ リティーズ大館を併設 平15年にサン・アビリテ ィーズ大館を中央公民館の施 設として統合 平24・12エレベーター設置
釈迦内公民館	昭26	敷地 14,023㎡ ・延床面積 1,199.81㎡ (1階)事務室、管理人室、図書室、 調理室、講堂	併 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非常勤 1人	平4.3.31移転改築 令6.2改修
長 木 公 民 館	昭28	敷地 3,221㎡ ・延床面積 775.33㎡ 事務室、調理実習室、会議室、講堂、 研修室(2)、研修室(和室)ほか	併 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非常勤 1人	昭55.10.31移転改築 平成28.12改築
長 木 公 民 館 雪 沢 分 館	昭30	敷地 1,279㎡ ・延床面積 441.30㎡ 事務室、調理室、講堂、研修室、会議室ほか	非常勤 1人	昭56.10移転改築
上川沿公民館 (旧交流センター)	昭28	敷地 8,789.4㎡ ・延床面積 2,835.39㎡ 事務室、研修室(2)、研修室(和室)、会議室、 調理実習室、美術工作室	併 任 2人 非常勤 1人	昭54.10移転改築 平25.12旧交流センターへ移 転
下川沿公民館	昭28	敷地 3,300.9㎡ ・延床面積 757.29㎡ 事務室、研修室(2)、会議室、調理室、講堂	併 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非常勤 1人	昭53.9.10移転改築 平27.1改築
真 中 公 民 館	昭32	敷地 6,614㎡ ・延床面積 1,131.79㎡ 事務室、会議室、図書室、研修室(3)、 調理室、倉庫、管理人室ほか	併 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非常勤 1人	昭58.11移転改築 農林業多目的研修集会 施設(714.73㎡)を含む
二井田公民館	昭30	敷地 3,465㎡ ・延床面積 636.98㎡ 事務室、調理室、会議室、研修室(2)(24畳 (2))、講堂ほか	併 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非常勤 1人	昭51.11二井田小学校跡地 に移転改築 平19.2改修
二井田公民館 麓 西 分 館	昭62	床面積 708.49㎡ 研修室(2)(21畳(2))、調理室ほか	非常勤 1人	昭62.4.1 旧麓西振興会館に設置 平12改築 平26麓西体育館が移管
十二所公民館	昭27	敷地 7,563㎡ ・延床面積 622.29㎡ 事務室、調理室、研修室(2)、図書室、講堂	併 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非常勤 1人	昭48.11改築 平24.2成章小学校跡地に 移転改築
花 岡 公 民 館	昭30	敷地 3,926㎡ ・延床面積 1,002.52㎡ 事務室、研修室、講堂、調理室、会議室、 図書室、ほか	併 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非常勤 1人	昭60.2.4移転改築 平10.1.7増築 令6.2改修
矢 立 公 民 館	昭41	敷地 32,840㎡(矢立小学校敷地を含む) 延床面積 2,314.71㎡ 事務室、会議室、展示室、研修室(和室)、 大会議室、談話室、調理室、体育館ほか	併 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非常勤 1人	昭52.11移転改築 平28.12旧矢立中学校へ移転

公 民 館	設立	施 設 概 要	職 員	備 考
比 内 公 民 館	昭30	敷地13,854.31㎡・延床面積3,161.49㎡ (1階)事務室、第1研修室、第2研修室、 ホール、図書館、調理実習室、 講堂、郷土民俗資料館 (2階)第3・4研修室、第5・6研修室(和室)、 第7研修室、第8研修室、 第9研修室、音楽研修室	専 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非 常 勤 1人	昭48.4廃校となった扇田中 学校校舎を比内町公民館 として設置 ・昭51.4旧中学校校舎を解 体し、福祉センター建設に 伴い公民館として活用 ・昭52.8就業改善センター を併設、公民館として活用 ・昭56.7就業改善センター の一部に図書室設置 ・平20.12改修。図書館、郷 土民俗資料館を増設
扇 田 分 館	昭30	敷地13,854.31㎡・延床面積3,161.49㎡ (比内公民館内) (1階)事務室、第1研修室、第2研修室、 ホール、図書館、調理実習室、 講堂、郷土民俗資料館 (2階)第3・4研修室、第5・6研修室(和室)、 第7研修室、第8研修室、 第9研修室、音楽研修室	非 常 勤 2人	・昭48.4廃校となった扇田 中学校校舎を比内町公民 館として設置 ・昭51.4旧中学校校舎を解 体し、福祉センター建設に 伴い公民館として活用 ・昭52.8就業改善センター を併設、公民館として活用 ・昭56.7就業改善センター の一部に図書室設置 ・平20.12改修。図書館、郷 土民俗資料館を増設
東 館 分 館	昭30	敷地 596.84㎡・延床面積 336.20㎡ (1階)事務室、保健室、集会室149.05㎡ 老人室(和室)、研修室(和室)、 小研修室(和室)	非 常 勤 2人	・昭51.4東館コミュニティ ーセンター新築
味 噌 内 分 館	昭30	敷地 1,447㎡・延床面積 223.90㎡ (1階)第1研修室、第2研修室(和室)、 調理室、事務室	非 常 勤 2人	・昭57.4東館小学校第1分 校廃校後味噌内分館とし て活用、同年改装 ・平18.7改築
八 木 橋 分 館	昭30	敷地 5,740㎡・延床面積 517.77㎡ (1階)体操場272.8㎡、音楽室、用具置 き場(八木橋地域福祉センターと併設)	非 常 勤 2人	・平14.5旧八木橋小学校校 舎の一部を分館施設とし て活用(平14.4八木橋地域 福祉センター建設に伴い、 学校施設の一部を分館施 設とする)
西 館 分 館	昭30	延床面積 490.00㎡(構造改善センター) (1階)多目的ホール、第1研修室、第2研 修室、調理実習室、談話室	非 常 勤 2人	・昭30.4旧西館村役場を西 館支所として活用、分館設 置 ・平3西館児童館新設 児童 館内に分館設置 ・平5構造改善センター新築 と同時に分館の活動の拠 点を移動
大 葛 分 館	昭30	敷地 1,000㎡・延床面積 299.481㎡ (大館市高齢者・若者センター) (1階)第1研修室、第2・3研修室(和室) 談話室、調理実習室	非 常 勤 2人	・平3.12旧大葛支所を高 齢者・若者センターとして新 築
三 岳 分 館	昭30	敷地 8,394㎡・延床面積 904.00㎡ (三岳小学校)第1研修室、第2研修室(和 室)、体育館	非 常 勤 2人	・昭30.4三岳小学校を分館 所在地とする。統廃合によ り平18.6校舎一部を地域 住民に開放、同年10月分館 として活用

公 民 館	設立	施 設 概 要	職 員	備 考
田 代 公 民 館	昭51	・敷地 6,127㎡ ・延床面積 2,059.90㎡ (1階) 会議室(4)、和室(2)、調理室、 ホール、管理人室、事務室 (2階) 多目的ホール、和室(2)、 附属体 育館	専 任 1人 会 計 年 度 任 用 職 員 1人 非 常 勤 1人	・昭51.8新設 総合開発センター ・平17.6改称 田代公民館
早 口 一 分 館	平17	・敷地 5,566㎡ ・延床面積 988.20㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室、展示 室管理人室 (2階) 多目的ホール、調理室	非 常 勤 2人	・昭51.8新設 早口営林署庁舎 ・平17.2購入 ・平17.6改修 早口一分館として開設
早 口 二 分 館	昭58	・敷地 2,355㎡ ・延床面積 473.90㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室、ホール、 管理人室	非 常 勤 2人	・昭59.1新設 田代西公民館 ・平17.6改称 早口二分館
本 郷 分 館	昭52	・敷地 654㎡ ・延床面積 284.00㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室、ホール 管理人室	非 常 勤 2人	・昭52.5新設 本郷児童館より転用 ・昭54.8改築 本郷公民館 ・平17.6改称 本郷分館
岩 野 目 分 館	昭49	・敷地 2,150㎡ ・延床面積 451.01㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室 (2階) ホール、和室(2)	非 常 勤 2人	・昭49.9新設 岩野目地域コミュニティー センター ・平17.6改称 岩野目分館
大 野 分 館	昭47	・延床面積 354㎡ ・延床面積 1,195.10㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室 (2階) ホール、和室(2)、体育館	非 常 勤 2人	・昭47.12新設 大野地域コミュニティー センター ・平17.6改称 大野分館 ・平26大野体育館が移管
岩 瀬 分 館	昭55	・敷地 3,294㎡ ・延床面積 407.79㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室、 ホール、管理人室	非 常 勤 2人	・昭56.3新設 岩瀬公民館 ・平17.6改称 岩瀬分館
谷 地 の 平 分 館	昭52	・敷地 1,932㎡ ・延床面積 457.02㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室、ホー ル、管理人室	非 常 勤 2人	・昭52.10新設 谷地の平公民館 ・平14.4改築 ・平17.6改称 谷地の平分館
赤 川 分 館	昭53	・敷地 7,230㎡ ・延床面積 595.00㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室、ホー ル、管理人室、体育館	非 常 勤 2人	・昭54.3新設赤川公民館 ・平17.6改称 赤川分館 ・平26赤川体育館が移管
越 山 分 館	昭48	・敷地 713㎡ ・延床面積 356.40㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室 (2階) ホール、和室(2)	非 常 勤 2人	・昭48.11新設 越山地域コミュニティー センター ・平17.6改称 越山分館
山 田 分 館	昭50	・敷地 1,004㎡ ・延床面積 599.47㎡ (1階) 会議室、和室(2)、調理室 (2階) ホール、和室(2)	非 常 勤 2人	・昭50.11新設 山田地域コミュニティー センター ・平17.6改称 山田分館

5 栗盛記念図書館

(1) 沿革概要

明	34.	4.	1	「秋田県北秋田郡立図書館」として創立
	35.	11.		大館町桂城へ独立館新築移転
大	12.	4.		県移管となり、「秋田県立秋田図書館大館分館」と称す
昭	7.	4.		大館町に移管され、「町立大館図書館」と改称
	26.	4.		市制施行により、「市立大館図書館」と改称
	26.	8.		大館市中町栗盛順吉氏より、「財団法人栗盛教育団」の敷地、建物、蔵書等の寄贈を受ける
	27.	12.		寄贈された旧栗盛教育団跡へ、一般閲覧室、児童室を増築し移転
	28.	8.	7	名称を「市立栗盛記念図書館」へと改称し、開館
	33.	2.		「真崎文庫」のうち管江真澄の著作が秋田県重要文化財に指定
	45.	12.		「真崎文庫」目録を刊行
	56.	10.	1	移動図書館車「おおとり号」により、巡回貸し出しサービスを実施
	57.	7.	22	図書館全面改築事業に着手
	58.	3.	25	新図書館完成
	58.	4.	1	名称を「大館市立中央図書館」と改称(9. 1 開館)
平	元.	3.	31	「真崎コレクション・考古学資料」分類整理完了
	8.	3.		移動図書館車「おおとり号」更新
	8.	11.		村本文庫開設
	13.	4.	1	創立100周年
	15.	2.	28	図書館情報システム運用開始
	17.	9.	1	「真崎文庫(管江真澄著作を除く)」が大館市有形文化財に指定
	22.	3.		移動図書館車「おおとり号」更新
	24.	3.	31	「真崎文庫」のデジタル・データ化完了
	25.	4.	1	指定管理者制度導入
	25.	4.	1	ホームページ開設
	26.	4.	1	未就学児の図書館利用カード発行開始
	29.	4.	1	名称を「大館市立栗盛記念図書館」と改称
	29.	4.	1	貸出冊数の上限変更(図書・雑誌・紙芝居合わせて10点まで)
	29.	4.	4	多目的室・先人顕彰コーナー・ラウンジがオープン
	29.	4.	4	図書館の隣接地に大館市松下村塾(模築)を移設
	30.	3.	16	「真崎文庫」のうち手柄岡持(朋誠堂喜三二)自筆作品及び関係資料計3点が秋田県指定有形文化財に指定

(2) 施設の概要(施設の項を参照)

(3) 蔵書数(令8.3.31現在)

141,111冊(うち移動図書館車用蔵書17,414冊)

真崎文庫 2,099点(秋田県指定有形文化財管江真澄著作46点、手柄岡持自筆作品及び関係資料3点含む)

村本文庫 347点

雲松文庫 113点

江幡文庫 253点

(4) 利用状況(令和7年度)

・貸出冊数 110,419冊(1日平均 363冊)

・貸出人員 26,074人(1日平均 86人)

・入館者 102,790人

・開館日数 304日

(5) 開館時間

- ・火曜日～金曜日…午前9時30分～午後7時
- ・土・日・祝日……午前9時30分～午後5時
- ・休館日……………毎週月曜日、年末年始、蔵書点検期間(10月上旬)

(6) 移動図書館

昭和56年10月1日から、市内の30ステーション(令和7年度は43ステーション)で、ブックモビル「移動図書館おおとり号」の業務を開始した。平成22年3月に車両(3代目)を更新し、図書館の遠隔地へのサービスを展開している。

- ・おおとり号購入費(21年度更新分)……11,933千円(改造費含む)
- ・利用状況 (令和7年度)
- ・貸出人員 2,623人
- ・貸出冊数 21,131冊
- ・巡回日数 211日(8コース×24巡回及び団体貸出巡回24回)

(参考) 図書館後援会(旧大館読書会)

大正2年に第1次読書会を設立し、その後昭和25年12月27日第2次読書会として再発足。読書運動に尽くした功績は大きく、全国表彰に輝く全国有数の読書会として知られている。

この読書会が時勢に対応すべく、その組織、名称を全面的に改め、図書館事業全般にわたって直接的に後援することになり、昭和52年6月7日「図書館後援会」として新たに発足した。

- ・事務所……市立栗盛記念図書館内

6 花矢図書館

(1) 沿革概要

昭8.6.1	花岡町立図書館として、花岡町字根井下に創立
39.7.1	花矢公民館内に併設
40.1.1	同和鉱業(株)花岡鉱業所から、「鉱山文庫」を移管
60.4.1	花岡公民館の改築に伴い、花岡出張所2階に移転(花岡出張所は平10.1に移転)
平16.4.1	老朽化し、休館
17.11.1	花岡町字前田に開館
25.4.1	指定管理者制度導入
25.4.1	ホームページ開設
26.4.1	未就学児の図書館利用カード発行が可能となる

(2) 施設の概要(施設の項を参照)

(3) 蔵書数(令8.3.31現在)

14,313冊(うち鉱山文庫284冊)

(4) 利用状況(令和7年度)

- ・貸出冊数 12,019冊(1日平均 40冊)
- ・貸出人員 3,000人(1日平均 10人)
- ・入館者 4,358人
- ・開館日数 300日

(5) 開館時間

- ・火曜日～金曜日…午前9時～午後7時
- ・土・日曜日……午前9時～午後5時
- ・休館日……………毎週月曜日、祝日、年末年始

7 比内図書館

(1) 沿革概要

昭56. 7.	住民要望により比内町公民館内（就業改善センター内）に図書室設置
63. 10.	一般閲覧室増設
平17. 6. 20	合併により「大館市立比内図書館」と改称
17. 10. 25	図書館情報システム運用開始
平21. 1	比内公民館内、西側に移転開館
25. 4. 1	指定管理者制度導入
25. 4. 1	ホームページ開設
26. 4. 1	未就学児の図書館利用カード発行が可能となる

(2) 所在地

大館市比内町扇田字庚申岱8（大館市立比内公民館内）

(3) 面積

図書室 255㎡、その他63㎡

(4) 蔵書数（令8.3.31現在）

34,622冊

(5) 利用状況（令和7年度）

- ・貸出冊数 35,678冊（1日平均120冊）
- ・貸出人員 8,135人（1日平均 27人）
- ・入館者 15,872人
- ・開館日数 298日

(6) 開館時間

- ・火曜日～金曜日…午前9時～午後7時
- ・土・日曜日………午前9時～午後5時
- ・休館日………毎週月曜日、祝日、年末年始

8 田代図書館

(1) 沿革概要

昭52. 2.	総合開発センターに公民館図書室として開設
55. 1.	「田代町立図書館」として新築開館
63. 1.	秋田市小畑家より図書の寄贈を受け、「小畑勇二郎記念文庫」開設
平16. 4.	「子ども読書活動実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞
17. 6. 20	市町村合併により「大館市立田代図書館」と改称
25. 4. 1	指定管理者制度導入
25. 4. 1	ホームページ開設
26. 4. 1	未就学児の図書館利用カード発行が可能となる

(2) 施設の概要（施設の項を参照）

(3) 蔵書数（令8.3.31現在）

46,966冊（うち小畑勇二郎記念文庫449冊）

(4) 利用状況（令和7年度）

- ・貸出冊数 12,123冊（1日平均 41冊）
- ・貸出人員 3,100人（1日平均 10人）
- ・入館者 6,524人
- ・開館日数 299日

(5) 開館時間

- ・火曜日～金曜日…午前9時～午後7時
- ・土・日曜日………午前9時～午後5時 有形文化財
- ・休館日………毎週月曜日、祝日、年末年始

9 指定・登録文化財

種 別			名 称	指定年月日	所 在 地	管 理 者
国 指 定	有形 文化財	重要文化財 (建造物)	八幡神社 2 棟	平 2. 3. 19	大館市	(宗)八幡神社
	記念 物	名 勝	鳥潟会館庭園	令 6. 10. 11	大館市花岡町	大館市
		天然記念物	長走風穴高山植物群落 第1次指定 第2次指定	大15. 2. 24 昭 6. 10. 23	大館市長走	大館市
			芝谷地湿原植物群落	昭11. 9. 3	大館市釈迦内	大館市
			秋田犬	昭 6. 7. 31		秋田県
			ザリガニ生息地	昭 9. 1. 22	大館市	大館市
			声良鶏	昭12. 12. 21		秋田県
			比内鶏	昭17. 7. 21		秋田県
県 指 定	有形 文化財	建 造 物	北鹿ハリストス正教会聖堂 1 棟	昭41. 3. 22	大館市曲田	(宗)日本ハリストス正教会教団
			鳥潟会館 (旧鳥潟家住宅) 8 棟	平23. 3. 22	大館市花岡町	大館市
		絵 画	絹本阿弥陀来迎図	昭35. 12. 17	大館市比内町	個人
		工 芸	太刀 無銘伝一文字成宗	昭40. 2. 23	大館郷土博物館	大館市
			刀 銘大和太掾藤原正則	昭46. 7. 17	大館市十二所	個人
			脇差 銘栗田口一竿子入道忠綱彫同作	昭30. 1. 24	大館市	個人
			小柄金銀地杢目鍛 銘正阿弥伝兵衛	昭38. 2. 5	大館市十二所	個人
			鐔竹林猛虎の図 銘秋田住重具	昭38. 2. 5	大館市十二所	個人
			刀 無銘 伝直江志津	昭40. 2. 23	大館市	個人
		書跡・典籍	菅江真澄著作 46点	昭33. 2. 13	大館市立栗盛記念図書館	大館市
			手柄岡持自筆作品・関係資料22点のうち3点	平30. 3. 16		
		考 古 資 料	鋒形石器 2 個	平 5. 4. 9	大館郷土博物館	大館市
	塚ノ下遺跡出土土偶 1 点		平23. 3. 22	大館郷土博物館	大館市	
	歴 史 資 料	浄應寺方便法身尊形	令 6. 3. 22	大館市字大館	浄應寺	
	民俗 文化財	無形民俗文化財	田代岳の岳参り作占い行事	令 7. 3. 21	大館市早口	田代岳の岳参り 作占い行事保存協議会
	記念 物	史 跡	矢石館遺跡	昭28. 3. 10	大館市早口	個人
			矢立廃寺跡	昭34. 1. 7	大館市白沢	大館市
安藤昌益墓			平24. 3. 23	大館市二井田	個人	
天然記念物			金八鶏	昭34. 1. 7		大館市
市 指 定	有形 文化財	建 造 物	武家門	昭51. 1. 20	大館市比内町	個人
		絵 画	絵馬額 2 枚	昭48. 10. 11	大館市比内町	(宗)大日神社
			観経曼荼羅 1 幅	昭54. 7. 20	大館市比内町	(宗)正覚寺
			釈迦涅槃絵			
			花鳥 1 幅 佐竹義文	昭54. 7. 20	大館市比内町	個人
			花鳥 双幅 戸村後草園	昭54. 7. 20	大館市比内町	個人
			聖像画 (イコン) 19点	平 3. 9. 3	大館市曲田	(宗)北麓ハリストス正教会
			釈迦涅槃図 紙本彩色 1 軸	平 3. 9. 3	大館市十二所	(宗)長興寺
		彫 刻	大日如来像 木造 1 軀	昭48. 10. 11	大館市比内町	(宗)大日神社
			十一面千手観音菩薩像 木造 1 軀			
			四天王像 木造 4 軀			
			不動尊像 木造 1 軀			
			毘沙門十王像 木造 10軀	昭59. 12. 10	大館市	(宗)玉林寺
			延命地藏菩薩 木造 1 軀			
			虚空蔵菩薩 青銅造 1 軀			
		放光王地藏菩薩座像 青銅造 1 軀	平13. 3. 5	大館市	(宗)一心院	
		工 芸	脇差 銘出羽住忠秀	昭52. 3. 22	大館市	大館市
			刀 銘来国俊	昭52. 3. 22	大館市	個人
			太刀 銘京都住人菅原国長	昭52. 3. 22	大館市十二所	個人
			琵琶 1 基	昭54. 7. 20	大館市比内町	(宗)大日神社
鰐口 1 口						

種 別			名 称	指定年月日	所 在 地	管 理 者
市指定	有形文化財	工 芸	赤絵茶壺 1 個 長康亭道三	昭54. 7. 20	大館市比内町	個人
			刀 銘出羽住正近	昭55. 3. 4	大館市	個人
		書跡・典籍	十二所士族屋敷絵図 1 軸	昭54. 3. 29	大館郷土博物館	大館市
			鸞斎書「六曲一双屏風」 1 双	昭56. 3. 30		
			扁額「十二天」 1 面	平 3. 9. 3	大館市十二所	十二所神明社
			真崎文庫 2,078点	平17. 9. 1	大館市立栗盛記念図書館	大館市
	考古資料		大型ナイフ形石器 6 個	平 4. 6. 15	大館郷土博物館	大館市
			壺（珠洲焼） 3 個	平 4. 6. 15	大館郷土博物館	大館市
	民俗文化財	無形民俗文化財	山田獅子踊り	平 6. 5. 31	大館市山田	山田獅子踊り保存会
			蛭沢獅子踊り	平 6. 5. 31	大館市岩瀬	蛭沢獅子踊り保存会
			代野番楽	平 6. 5. 31	大館市岩瀬	代野番楽保存会
			独鈷囃子	平12. 12. 6	大館市比内町	独鈷囃子保存会
			大館囃子	平13. 8. 29	大館市	大館ばやし保存会
	記念物	史 跡	道標石 1 基 達子森下	昭53. 6. 15	大館市比内町	個人
			道標石 1 基 川久保	昭53. 6. 15	大館市比内町	個人
			道標石 1 基 味噌内	昭53. 6. 15	大館市比内町	個人
			板沢一里塚 1 対	平元. 3. 3	大館市板沢	大館市
			けら木森一里塚 1 基	平元. 3. 3	大館市二井田	大館市
			十二所城代茂木家墓地	平 3. 9. 3	大館市十二所	(宗)長興寺
			長坂一里塚	平15. 7. 7	大館市長坂	個人
			松峰山信仰遺跡群	平21. 5. 1	大館市松峰	松峰部落会外
		天然記念物	出川の櫟	昭53. 3. 13	大館市出川	出川集落
			ご神木の櫟、イチイ	平 7. 3. 17	大館市岩瀬	大館市

登録文化財

種 別			名 称	登録年月日	所 在 地	管 理 者
国登録	有形文化財	建造物	桜櫓館（旧櫻場家住宅）	平11. 7. 8	大館市	大館市
	民俗文化財	無形民俗文化財	大館のとんぶり製造技術	令 7. 3. 28	大館市	

10 名園・名木

庭園の部

番号	指 定 園	所 在	所 有 者 等
1	宗福寺庭園（雨香庭）	大館市豊町1－4	(宗)宗福寺
2	温泉寺庭園	大館市二井田字贅ノ里33	(宗)温泉寺
3	高橋家庭園	大館市字谷地町8	個人

樹木の部

番号	指 定 樹	所 在	所 有 者 等
1	浄応寺の枝垂桜	大館市字大館5	(宗)浄応寺
2	有浦観音堂の銀杏	大館市有浦四丁目131－4	(宗)大館神明社
3	信正寺の銀杏	大館市花岡町字七ツ館25	(宗)信正寺
4	大国主神社の杉	大館市花岡町字繫沢	繫沢集落
5	吉成家の榎	大館市十二所字上城7	個人

10 建設

1 土木

(1) 道路

区分	実延長 (m)	舗装延長 (m)	舗装率 (%)	
国道	81,245	81,245	100.0	(令6.4.1現在)
県道	110,911	109,494	98.7	(令6.4.1現在)
市道	898,296	710,129	79.1	(令7.4.1現在)
計	1,090,452	900,868	82.6	

(2) (市道) 橋梁 (令和7.4.1現在)

・永久橋 437 ・木橋 5 ・計 442

一般土木関係機械

・トラック 6台 ・グレーダ 6台 ・ショベルローダー 13台
 ・ステーションワゴン 4台 ・バン 2台 ・キャブオーバー 1台
 ・ロータリー除雪車 6台 ・融雪剤散布車 1台 ・軽自動車 3台
 ・路面清掃車 1台 ・振動ローラ 1台

2 区画整理事業

区分	御成町地区	大町地区	駅前地区	長里後地区
火災発生年月日	昭43.10.12	昭31.8.18	昭30.5.3	昭37.5.7
施行年度	昭43～昭59	昭31～昭57	昭30～昭51	昭38～昭51
総面積	218,816㎡	301,273㎡	117,286㎡	37,839㎡
道路用地	53,610㎡	63,904㎡	29,065㎡	9,242㎡
公園緑地用地	6,599㎡	8,923㎡	3,465㎡	—
駅前広場	—	1,880㎡	4,244㎡	—
総事業費	789,514千円	250,016千円	44,302千円	10,357千円
減歩率 (平均)	16.6%	11.87%	14.03%	9.29%

3 市 営 住 宅

構 造	戸 数
木 造	228
簡 耐	200
耐 火	324
計	752

◆市営住宅団地（※は改善住宅）

団 地 名	構 造	戸数	建設年数	月 額 家 賃 等	備 考
餅 田	ブロック平家	12	昭42	入居者の所得 により算定 〔敷金として家賃 の3か月分〕	4戸連続
	ブロック2階	6			6戸連続
	ブロック平家	6			6戸連続
	ブロック平家	1			※1戸連続
	ブロック平家	2			※2戸連続
	ブロック平家	6	〃 43		6戸連続
	ブロック平家	3			※3戸連続
	ブロック2階	6			6戸連続
	ブロック平家	14			4戸連続、2戸連続
	ブロック平家	4			※2戸連続
	ブロック平家	3	3戸連続		
	ブロック平家	12	〃 44		6戸連続
	ブロック2階	12			6戸連続
ブロック平家	4	2戸連続			
ブロック平家	2	※2戸連続			
	ブロック2階	24	〃 45	6戸連続	
	ブロック平家	4	〃 46	2戸連続	
	ブロック平家	2		※2戸連続	
	ブロック平家	2	〃 54	2戸連続（身体障害者向け）	
	計	125			
	片 山	R C 3 階	24	昭36	入居停止中
R C 4 階		12	〃 38	3戸連続	
計		36			
新 町	R C 4 階	15	平29	入居者の所得 により算定 〔敷金として家賃 の3か月分〕	15戸1棟
中 町	R C 4 階	18	平29		18戸1棟
向 町	R C 5 階	34	平27		34戸1棟

団 地 名	構 造	戸数	建設年数	月額家賃等	備 考	
水 門 前	R C 4 階	21	平 4	入居者の所得 により算定 〔敷金として家賃 の3カ月分〕	21戸 1 棟	
	R C 3 階	20	〃		20戸 1 棟	
	計	41				
御 成 町	R C 5 階	48	昭44	新規入居 停止中	併存 6 戸連続	
第 1 獅子ヶ森	ブロック平家	6	昭40	入居者の所得 により算定 〔敷金として家賃 の3カ月分〕	※ 2 戸連続 2 戸連続	
	ブロック平家	2				
	ブロック平家	12	〃 41		4 戸連続 2 戸連続 ※ 2 戸連続	
	ブロック平家	2				
	ブロック平家	2				
	ブロック平家	12	〃 50		4 戸連続	
	ブロック平家	12	〃 51		2 戸連続、 4 戸連続	
	ブロック平家	12	〃 52		6 戸連続	
ブロック平家	15	〃 53	3 戸連続、 4 戸連続、 5 戸連続			
計	75					
第 2 獅子ヶ森	R C 3 階	12	昭57			12戸 1 棟
	R C 3 階	18	〃 58		入居者の所得 により算定 〔敷金として家賃 の3カ月分〕	12戸 1 棟、 6 戸 1 棟
	R C 3 階	24	〃 59			12戸 2 棟
	計	54				
大 森 野	木 造 平 家	10	令元			
	木 造 平 家	4	令 2			2 戸連続
狐 台	R C 3 階	12	昭61			4 戸連続
	R C 3 階	18	〃 62			6 戸連続
	計	30				
前 田	木 造 平 家	12 12	平14			4 戸連続 3 戸連続
	計	24				
南 町	木 造 2 階	8	平17			4 戸連続
	木 造 平 家	4	平17			4 戸連続
	計	12				

団 地 名	構 造	戸数	建設年数	月額家賃等	備 考
み ど り	木 造 平 家	11	昭58	入居者の所得 により算定 〔敷金として家賃 の3か月分〕	1 戸
	木 造 平 家	14	昭59		1 戸
	計	25			
大 谷 地	木 造 2 階	26	平 3		2 戸連続
	木 造 2 階	24	平 4		2 戸連続
	木 造 平 家	16	平10		4 戸連続
	木 造 2 階	12	平11		2 戸連続
	木 造 平 家	11	平12		1 戸
	木 造 平 家	8			4 戸連続
	木 造 2 階	4			2 戸連続
	木 造 2 階	6	平13		2 戸連続
	計	107			
大 谷 地 (特公賃住宅)	木 造 2 階	2	平11	一律53,000円 〔敷金として家賃 の3か月分〕	1 戸
	木 造 2 階	2	平12		1 戸
	木 造 2 階	6	平13		1 戸
	計	10			
谷 地 の 平	R C 2 階	6	平10	入居者の所得 により算定 〔敷金として家賃 の3か月分〕	3 戸連続
	R C 2 階	4			2 戸連続
	R C 2 階	8	平13		4 戸連続
	計	18			
中 島	木 造 平 家	6	平元		1 戸
	木 造 平 家	6	平2		1 戸
	計	12			
早 口 (定住化住宅)	木 造 2 階	12	平14	1LDK 23,000円	2 戸連続
第 2 早 口 (定住化住宅)	木 造 2 階	12	平16	2LDK 34,000円	2 戸連続
合 計		722		〔敷金として家賃 の3か月分〕	

◆ 民間借上住宅

団 地 名	構 造	戸数	建築年数	月額家賃等	備 考
大町借上住宅	R C 6 階	30	平23	52,000円 ～ 73,000円 〔敷金として家賃 の3か月分〕	住居（借上）部分 2～6階

◆ その他の住宅

区 分	既 設 分	備 考
県 営 住 宅	132戸	(萩の台48戸) (獅子ヶ森54戸) (花岡改良30戸)

4 建築確認申請件数

大館市は、平成7年に限定特定行政庁を設置し、住宅等の小規模建物について建築確認業務を行うとともに、市内の建築確認申請件数を管理している。

(1) 限定特定行政庁の業務範囲における確認申請件数※（小規模建築物）

年度	件数	年度	件数	年度	件数	年度	件数	年度	件数	年度	件数
平7	774	13	490	19	401	25	401	31	374	令7	217
8	819	14	410	20	364	26	308	令2	271		
9	664	15	405	21	321	27	352	令3	311		
10	549	16	380	22	325	28	325	令4	259		
11	519	17	499	23	324	29	316	令5	278		
12	444	18	522	24	381	30	366	令6	243		

※市及び指定確認検査機関の受付件数の合計

(2) 特定行政庁の業務範囲における確認申請件数※（特殊建築物、大規模建築物等）

年度	件数	年度	件数	年度	件数	年度	件数	年度	件数	年度	件数
平7	167	13	92	19	84	25	52	31	51	令7	23
8	135	14	89	20	67	26	49	令2	32		
9	127	15	79	21	36	27	73	令3	55		
10	105	16	77	22	50	28	48	令4	40		
11	84	17	96	23	40	29	12	令5	36		
12	86	18	103	24	60	30	24	令6	20		

※県（北秋田地域振興局）及び指定確認検査機関の受付件数の合計

5 都市下水路事業

区 分	事業年度	事業費 (千円)	起 点	終 点	主たる 築造物	延長幅員	排水面積
御 成 町 都市下水路※1	S 26～51	N D	清水四丁目	御成町一丁目	・開渠 ・暗渠	L = 904m W = 2.4～3.0m	328ha
船 場 都市下水路※2	S 46～52	283,200	根下戸字長沼	幸町	樋門一式	L = 1,995m W = 1.7～2.9m	106ha
長木川第4 都市下水路	S 50～53	137,500	清水五丁目	中道二丁目	樋門一式	L = 812m W = 1.0～1.9m	40ha
長木川第7 都市下水路	S 53～57	235,000	片山字大通	字大館	・樋門1基 ・JR横断 1箇所	L = 1,835m W = 1.0～2.5m	51ha
長木川第3 都市下水路	S 54～62	531,000	御成町四丁目	観音堂	・樋門1基 ・暗渠2箇所	L = 1,882m W = 1.0～2.1m	80ha
柄 沢 川 都市下水路	S 55	19,800	字東台	字東台	・開渠 ・暗渠	L = 631m W = 0.6～1.2m	15ha
長木川第5 都市下水路※3	S 55～58	297,800	・沼館道南※3 ・御成町一丁目	・清水町四丁目※3 ・字下代野	樋門一式	L = 2,367m W = 1.5～3.2m	84ha
柄沢川第1 都市下水路	S 56	24,600	字東台	字東台	・開渠 ・暗渠	L = 696m W = 0.7～2.4m	9ha
中 神 明 町 都市下水路	S 57～59	28,000	根下戸字 坂 の 下	中神明町	・開渠 ・暗渠	L = 355m W = 1.0～1.2m	15ha
米代川第6 都市下水路	S 58～62	205,500	櫃崎字大中島	住吉町	・開渠 ・暗渠	L = 2,305m W = 1.0～2.8m	117ha
柄沢川第7 都市下水路	S 63～H6	1,046,000	根下戸字吉洲	・字相染沢中岱 ・扇田道下	・開渠 ・暗渠	L = 4,363m W = 1.0～4.4m	179ha
柄沢川第4 都市下水路	H4～6	137,500	柄沢字長橋	柄沢字狐台	・開渠 ・暗渠	L = 1,010m W = 1.4～2.6m	49ha
乱 川 第 5 都市下水路	H5～17	2,096,000	釈迦内字 四 方 石	字新綱	・開渠 ・暗渠	L = 3,236m W = 1.0～2.0m	315ha

※1 ※2 公共下水道雨水幹線へ全線移行している

※3 公共下水道雨水幹線へ2,367mのうち839m移行している

6 公 園

番号	公 園 名	種別	所 在	開設面積 (㎡)	総事業費 (千円)	施行年度	施設・その他
1	柳 町 児 童 公 園	街区	大館市字中町	2,900	1,200	昭39	スプリング遊具、ブランコ、複合遊具、砂場、東屋、とりの巣クライム
2	駅 前 児 童 公 園	〃	大館市御成町一丁目	1,100	1,200	昭40	鉄棒、砂場
3	清水堰児童公園	〃	大館市御成町一丁目	2,500	1,200	昭40	ブランコ、複合遊具、ザイルクライミング、鉄棒、砂場
4	昭 和 児 童 公 園	〃	大館市幸町	6,000	3,000	昭41～42	ブランコ、複合遊具、スライド遊具
5	中 道 児 童 公 園	〃	大館市中道一丁目	2,900	4,000	昭48～49	ブランコ、うんてい、複合遊具、砂場、鉄棒、スライド遊具
6	御 成 児 童 公 園	〃	大館市御成町二丁目	3,600	7,000	昭49～50	ブランコ、ザイルクライミング、木製複合遊具、砂場、スライド遊具、ベンチ
7	城 西 児 童 公 園	〃	大館市城西町	2,400	15,000	昭49～50	ブランコ、スライド遊具、うんてい、すべり台
8	狐 台 児 童 公 園	〃	大館市柄沢字狐台	1,700	8,200	昭55～56	ブランコ、うんてい、鉄棒、砂場
9	有 浦 児 童 公 園	〃	大館市有浦六丁目	2,300	59,570	昭56～57	ブランコ、うんてい、シーソー、鉄棒、すべり台、砂場、スライド遊具
10	水 門 児 童 公 園	〃	大館市水門町	2,700	18,200	昭56～58	ブランコ、製複合遊具、砂場、スライド遊具
11	中道南児童公園	〃	大館市中道二丁目	2,500	23,300	昭58～60	ブランコ、複合遊具、築山(すべり台あり)
12	片山三丁目児童公園	〃	大館市片山町三丁目	2,200	7,700	昭56～57	ブランコ、うんてい、鉄棒、砂場、すべり台
13	神 明 児 童 公 園	〃	大館市北神明町	2,064	10,773	昭59～60	ブランコ、複合遊具、砂場、スライド遊具
14	鉄砲場児童公園	〃	大館市字鉄砲場	2,800	9,400	昭60～61	ブランコ、鉄棒、複合遊具、砂場、スライド遊具
15	松 木 児 童 公 園	〃	大館市松木字伊勢堂下	2,000	6,829	昭61	ブランコ、複合遊具、鉄棒、砂場
16	前 田 児 童 公 園	〃	大館市花岡町字前田	2,345	10,300	平元	ブランコ、複合遊具、砂場
17	鳳 町 児 童 公 園	〃	大館市大茂内字清水田	1,100	10,702	平元	ブランコ、鉄棒、すべり台、砂場
18	釈迦内児童公園	〃	大館市釈迦内字上大留	9,600	32,106	平4～5	ブランコ、複合遊具、砂場
19	長 岡 児 童 公 園	〃	大館市比内町扇田字長岡	1,300	12,195	昭55～56	東屋
20	伊勢堂児童公園	〃	大館市比内町扇田字伊勢堂岱	500			ブランコ、シーソー、うんてい、鉄棒、砂場、とりの巣クライム
21	大森野街区公園	〃	大館市花岡町字大森野	2,022	4,969	平22	ブランコ、鉄棒、すべり台
22	古片山下街区公園	〃	大館市美園町	3,742	43,665	平23～25	複合遊具、ブランコ、ロッキング遊具、健康遊具
23	扇田ふれあい公園	近隣	大館市比内町扇田字南扇田	6,700	15,252	昭61～62 平21	ブランコ、複合遊具、鉄製複合遊具、スライド遊具、砂場、東屋、テニスコート、野外ステージ、とりの巣クライム
24	高 館 公 園	〃	大館市釈迦内字高館下	49,914	959,292	平13～17	管理棟、テニスコート、シェルター器具庫、東屋、遊具広場
25	桂 城 公 園	〃	大館市字中城	27,000	120,692	昭49～平21	スプリング遊具、複合遊具、鉄棒、ザイルクライミング、ブランコ、野外ステージ、健康遊具
26	樹 海 公 園	地区	大館市下代野字天下道下 上代野字八幡岱下	75,003	3,991,532	平13～17	芝生広場、体育館、遊具広場
27	達 子 森 公 園	〃	大館市比内町達子字前田野	50,000	1,235,151	昭63～平9	複合遊具、スライド遊具、バスケットリング、野球場、芝生広場、東屋
28	大 館 運 動 公 園	〃	大館市字土飛山下	18,191	—	—	野球場
29	田代スポーツ公園	特地	大館市岩瀬字上岩瀬塚の岱	189,000	3,058,788	平2～12	野球場、テニスコート(4面)、多目的運動広場、体育館
30	二ツ山総合公園	総合	大館市餅田一丁目	52,858	1,362,556	昭60～平12 平28～30	管理棟、テニスコート、多目的運動広場、水遊び施設、砂場、ターザンロープ、ブランコ、スライド遊具

番号	公 園 名	種別	所 在	開設面積 (㎡)	総事業費 (千円)	施行年度	施設・その他
31	長根山運動公園	運動	大館市字東台、字長根山	180,000	1,897,813	昭46～59	野球場、陸上競技場、テニスコート、東屋
32	長木川河川緑地	緑地	大館市片山字中通ほか	138,990	1,093,000	昭57～平10	管理棟、テニスコート、ゲートボール場、芝生広場、デイ・キャンプ場、おまつり広場、白鳥広場
33	扇田地区 米代川河川緑地	〃	大館市比内町扇田字押切	42,590	135,253	平19～21	芝生広場、運動広場
34	外川原地区 米代川河川緑地	〃	大館市外川原字前田	77,201	368,127	平4～8	ソフトボール場
35	根下戸地区 米代川河川緑地	〃	大館市根下戸字下袋家後ほか	38,168	110,000	平26～28	芝生広場
36	犬 都 記 念 公 園	〃	大館市釈迦内字上大留	4,976	—	平17	ドッグラン
37	犀 川 河 川 公 園	〃	大館市比内町新館字城下	35,244	40,000	平5	野球場、広場
38	小 柄 沢 墓 園	墓園	大館市柄沢字小柄沢	108,187	1,391,287	昭46～平24	東屋
39	十瀬野公園墓地	〃	大館市花岡町字長森	106,900	11,039	昭28～32 昭35	

公園の種類

種 類	種 別	内 容
住 区 基 幹 公 園	街 区 公 園	主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、誘致距離250mの範囲内で1カ所当たり面積0.25haを標準とする。
	近 隣 公 園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、近隣住区当たり、1カ所を誘致距離500mの範囲内で1カ所辺り面積2haを標準とする。
	地 区 公 園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で、誘致距離1kmの範囲内で1カ所当たり面積4haを標準とする。
	特定地区公園	都市計画区域外の一定の町村における、農山漁村の生活環境の改善を目的とする特定地区公園(カントリーパーク)は、面積4ha以上を標準とする。
郡 市 基 幹 公 園	総 合 公 園	郡市住民全般の休息、鑑賞、徒歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で、郡市規模に応じ1カ所当たり10～50ha以上を標準とする。
	運 動 公 園	郡市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で、郡市規模に応じ1カ所当たり面積15～75haを標準とする。

7 長木川河川緑地

「都市の身近な水と緑のふれあいの広場」として、スポーツや市民相互のコミュニケーションを高めるとともに、緑のマスタープランにおいて総合公園・運動公園等と有機的に結びつけ、市民の交流を図る場として、市街地中心部を貫流する長木川河川敷45.4ha(水面含)を利用し、総事業費約11億円で計画したものである。

(1) 施設の概要

区域名称	テーマ	対応施設	利用方法
第1区域 花輪線鉄橋 〃 西大橋 (1.1km)	はつらつ健康 スポーツ区	湿生植物園 (3,400㎡) 多目的芝生広場 (6,700㎡) テニスコート ゲートボールコート (12面) 冒険遊び場 (2,400㎡) 冒険コース (4,200㎡) 百花苑等	植物観察、運動会、 テニス等 各種スポーツ
第2区域 西大橋 〃 東大橋 (0.8km)	いきいきコミュニケーション区	おまつり広場 (5,100㎡) 野外ステージ (50㎡) 河原庭苑 (3,600㎡) 一万本つつじ園 (4,100㎡) シンボル花壇等	野外コンサート、 民俗、芸能、 野外演劇、各種 展示会、発表会
第3区域 東大橋 〃 下町橋上流 (1.1km)	のびのび自然区	じゃぶじゃぶ池 デイキャンプ場 (20,000㎡) ちびっこラグビー場 アスレチック広場	デイキャンプ、 野外料理教室等
全 域 14.2ha 全長2.9km	はつらつ・いき いき・のびのび	園路、休憩所、ジョギングコース、 サイクリングコース、駐車場、便所、 ベンチ、水飲場等	ジョギング、マラソン 大会、サイクリング、 歩くスキー大会

(2) 事業費（昭57～平10年度）

事業費		財源		内 訳
	千円		千円	・ 57年度 15,891千円 シンボル花壇等
				・ 58年度 113,719千円 ゲートボール場、おまつり広場 野外ステージ
				・ 59年度 132,167千円 ともだち広場、河原庭苑等
				・ 60年度 52,343千円 多目的広場（2,700m ² ）等
工事費	724,318	国庫補助金	422,000	・ 61年度 50,985千円 園路広場、修景施設等
付帯工事費	18,910	地方債	437,000	・ 62年度 76,270千円 冒険遊び場等
測量及び試験費	8,189	一般財源	234,000	・ 63年度 56,826千円 アプローチ広場 ゲートボールコート5面
用地買収費	243,947			・ 元年度 42,580千円 百花苑、園路等
事務費	97,636			・ 2年度 55,783千円 駐車場用地買収
				・ 3年度 114,443千円 駐車場用地買収、工事
				・ 4年度 97,909千円 駐車場工事
				・ 5年度 48,930千円 白鳥広場整備
				・ 6年度 25,313千円 多目的運動広場
				・ 7年度 31,422千円 多目的運動広場
				・ 8年度 48,128千円 デイキャンプ場
				・ 9年度 63,781千円 多目的広場
計	1,093,000	計	1,093,000	・ 10年度 67,281千円 デイキャンプ場 アスレチック広場

8 大館市歴史的風致維持向上計画の取り組み

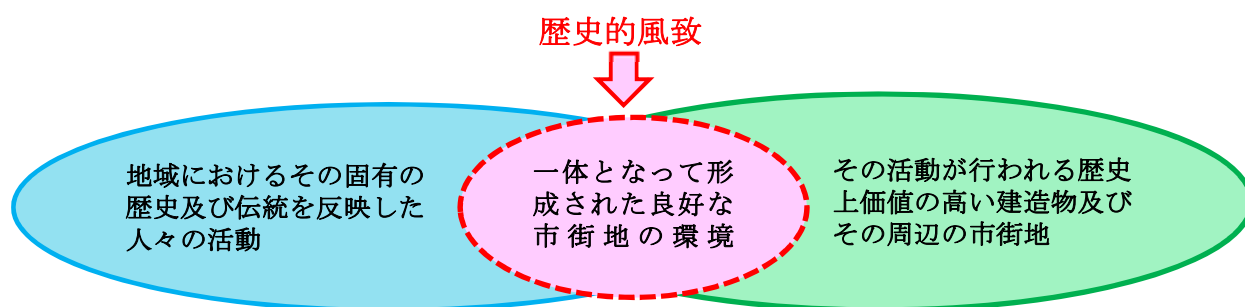
地域資源や伝統行事の伝承保存が次第に困難となっていく中で、未来へ繋ぐことが重要であると考え、歴史と文化や伝統を反映した人々の営みに光を当て、市民一人ひとりが、ふる里「おおだて」に「自信と誇り」を持って暮らしていただくことが何より大切であると考え、平成20年11月4日に施行された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（通称：歴史まちづくり法）に基づき、「大館市歴史的風致維持向上計画」を策定しました。

平成29年3月3日に国（文部科学省、農林水産省、国土交通省）へ認定申請

平成29年3月17日に認定

【歴史的風致とは】

歴史まちづくり法では、「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地環境」と定義（法第1条）されています。ソフトとしての人々の活動と、ハードとしての建造物、市街地とが一体となって古くから続き、現在も行われているものが「歴史的風致」の概念です。



【歴史的風致の維持向上に取り組む理由】

本市を含むこの地方は、古くは「火内」と言われ、平安時代は奥州藤原氏、鎌倉時代は浅利氏が治めていました。その後、秋田に国替えとなった佐竹義宣の家臣である小場義成が町割りを行い、大館佐竹氏の城下町が形成されました。

大館地方は、鉱山や秋田杉などの自然資源に恵まれ、米代川の舟運や羽州街道を通じて経済が発展し、市内には祭礼や民俗芸能、伝統文化が育まれてきました。また天然記念物秋田犬などの誇るべき財産が多数あります。

現在、社会環境や生活様式の変化、人口減少、少子高齢化などが進み、民俗芸能や伝統文化を継承していくことが難しい時代を迎えていますが、「市民が誇りを持てるようなまちづくり」を実現するために、先人から引き継いできた歴史的風致を維持向上する取り組みを進めます。

【大館市の維持向上すべき歴史的風致】

大館市には、長い歴史の中で育まれてきた地域固有の祭礼や民俗芸能などの伝統や文化があり、これらを反映した人々の活動は歴史的建造物とともに、様々な「歴史的風致」を形成しています。

本計画では、六つの歴史的風致を取り上げています。

おおだてじょうか まちわ

1. 大館城下の町割りに残る歴史的風致

大館市の中心部には、佐竹氏とともに国替で秋田入りし、慶長15年(1610)に大館城代となった小場義成(大館佐竹氏)が行った大館城下の町割りや地名が現在まで残っています。

大館城周辺に開かれた市を源流に大館の町が形成され、今も秋の大館神明社例祭と、冬の大館アメッコ市がふるさとの祭りとして多くの市民の手で受け継がれ、大館城下の市街地に良好な歴史的風致を形成しています。



大館神明社に
参拝する山車

おうぎたしんめいしゃ

2. 扇田神明社をめぐる歴史的風致

扇田は米代川の川港、近郷近在の物資の集散地として、また、商業地として発展してきました。

扇田地区の東にある扇田神明社には、江戸時代に佐竹宗家より拝領した御神輿があり、それが今も大切に保存されていて、扇田地区の人々により受け継がれ、戊辰戦争の後に建てられた寺社、商家などとともに良好な歴史的風致を形成しています。



扇田神明社例祭の神事

たしろだけ さくうらな

3. 田代岳の作占に見る歴史的風致

白神山地に属する田代岳(標高1,178m)は、青森県境近くに位置し、西方に連なる雷岳、烏帽子岳、茶臼岳とともに形成する四山の連峰です。

田代岳は山そのものが御神体で、豊作を祈る大事な文化として農民たちに共有されてきたことが、この地方特有の風土を育み、今では農業者に限らず、五穀豊穡や生活安寧を願う人々に、田代岳の作占いが受け継がれ、田代岳周辺に良好な歴史的風致が形成されています。



半夏生の参拝登山

あきたいぬ

4. 天然記念物「秋田犬」を守り育てる歴史的風致

秋田犬は、大館の先人たちが結成した秋田犬保存会の尽力により、日本犬で初めて天然記念物に指定されました。保存会は展覧会を開催するなど現在まで、その血脈を守り続けています。

現在では、大館アメッコ市、きりたんぼまつりなど大館を代表するイベントやお祭りに欠かせない存在で、市内のいたるところにみられる秋田犬の像やデザインは、秋田犬に対する大館市民の愛情が表れたものであり、これらが一体となって良好な歴史的風致を形成しています。



秋田犬本部展覧会

5. ^{ほうおうざん}鳳凰山周辺に見る歴史的風致

鳳凰山(標高520.6m)は、市中心部の東側に位置し、市民の暮らしが息づく大館盆地を見守っています。麓には岩^{いわがみ}神ふれあいの森、岩神貯水池、岩神沢の上流部にあたる鳳凰山と秋葉山^{あきばさん}の鞍部^{ぬまのくぼ}には沼窪神社があり、鳳凰山を背景に様々な伝統行事や市民の活動が続いています。鳳凰山周辺一帯は、自然散策や登山など大勢の人々が訪れ、自然と一体となって良好な歴史的風致を形成しています。



市街地からみる鳳凰山

6. ^{あさり}浅利氏ゆかり^{とっこ}の独鈷^{とっこじょう}の歴史的風致

永正15年(1518)大館地方に移った浅利則頼は十狐城^{とっこじょう}を築城し、ここを本拠地として大館地方各地に城館を築き、この地方に近世の礎^{いしずえ}を築いた。比内地域の独鈷には、大日堂^{だいにちどう}のほか、独鈷囃子^{ばやし}や諏訪八幡神社^{すわ}など浅利氏が残した歴史的資産があります。

独鈷囃子や浅利氏ゆかりの歴史的資産を守り続けてきた独鈷囃子保存会や独青团の活動は、良好な歴史的風致を形成しています。



大日神社に奉納される
独鈷囃子

【歴史的風致の維持向上に関する方針】

(1) 大館城跡と周辺の町なみの景観保全・形成に関する方針

- ・大館城跡の堀や土塁の保全、公園全体の修景にあたり地域住民や団体と連携して取り組む。
- ・市民や来訪者の回遊性を高め、歴史的な風致を感じることでできる道路環境を整備する。
- ・電線や電柱類の地中化を進め、良好な景観の形成を図る。

(2) 歴史的建造物の保存・活用に関する方針

- ・指定文化財や国登録有形文化財は、関係する法律や条例に基づき、適切に保存を図る。
- ・文化財未指定の歴史的建造物について、歴史的価値を把握する調査を行い、指定を検討する。
- ・本計画で定める歴史的風致形成建造物の指定要件に基づき、合致するものは指定を検討し保存・活用に努める。

(3) 歴史的風致の認識向上と情報発信に関する方針

- ・文化財の説明板や標柱の設置、まち歩きマップの作成や歴史まち歩きなどの行事を通じて歴史的風致への関心を高める。
- ・社会科副読本の作成により小中学生に地域の歴史や文化への理解を深める。
- ・デジタル媒体などを活用して情報を発信し、歴史案内人の育成を図る。

(4) 歴史と伝統を反映した人々の活動の継承に関する方針

- ・郷土芸能や伝統技術を伝承する団体と、活動継続のための方策を協議する。
- ・地域と学校との連携を進め、小中学生の保護者や住民の理解を深め、後継者の確保育成に取り組む。
- ・伝統行事や歴史関係の市民団体などに必要な支援を行う。
- ・秋田犬の会員数を維持拡大していく方策を協議する

【歴史的風致維持向上に資する事業】

（１）大館城跡と周辺の町なみの景観保全・形成に関する事業

①桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業

大館城本丸跡の桂城公園を、新庁舎建設事業と連携して、城址公園にふさわしい景観形成と賑わいの創出を目指す。

②一般国道 7 号(豊町・長倉・桂城・有浦地区)電線共同溝整備事業

③主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業

④主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業

⑤道路美装化整備事業

町割りに残る歴史的建造物周辺の道路を美装化し、まち歩き的回遊性と町なみ景観の向上を図る。

⑥大館城跡周辺の土居・緑地保全事業

（２）歴史的建造物の保存・活用に関する事業

大館八幡神社や桜櫓館、大館神明社などの歴史的建造物を保存補修し、後世へ継承する。

⑦大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業

⑧桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業

⑨大館神明社保存補修事業

⑩歴史的町なみ調査事業

（３）歴史的風致の認識向上と情報発信に関する事業

⑪秋田犬情報発信拠点整備事業

大館駅前に観光交流施設「秋田犬の里」の整備を行い、天然記念物(秋田犬)の歴史や文化を情報発信する。

⑫三ノ丸周辺歴史的資源拠点整備事業

⑬大館神明社周辺環境整備事業

⑭歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業

⑮大館城下の町名標柱整備事業

⑯まち歩きマップ作成事業

⑰趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業

⑱歴史案内人育成事業

市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察などの研修を実施する。

⑲小・中学校社会科副読本作成事業

（４）歴史と伝統を反映した人々の活動の継承に関する事業

⑳無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業

無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や郷土芸能保存会と課題を共有し、活動に必要な支援を行う。

㉑地域づくり協働推進支援事業

㉒天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業

㉓伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業

11 上下水道

1 上水道の沿革

本事業の創設は、昭和30年度から昭和32年度までに工事を完了した。完了当時の給水人口は1万2,829人で、計画給水人口2万4,000人に対し53%の普及率であったが、給水量は施設能力4,800m³に対し、1日最大給水量4,234m³と、すでに88%の給水量となった。

さらに昭和39年度に至って1日最大給水量が6,600m³となり、施設能力を大幅に超える給水量となったため、施設の拡張にせまれ、昭和41年度から46年度までの6カ年で、総事業費2億7,500万円を投じて第1次拡張事業を完工。これにより1人1日平均250ℓ、最大350ℓで、4万人に給水できる1万4,000m³を確保するに至った。しかし、生活様式の変化とともに給水量は増加し、加えて給水人口の増加に対処するには現施設で不可能なため、昭和50年度から米代川を水源とする第2次拡張事業に着手し、昭和53年3月取水施設、浄水施設、配水池等の主要施設を完成して、同年5月10日から新施設からの一部通水を開始し、昭和54年3月に事業を完成した。

さらに昭和63年7月から3カ年計画で、総事業費11億8,930万円を投じて、十二所地区への上水道拡張事業を実施し、平成2年9月に完成した。

平成9年、花岡地区に点在する簡易水道施設が老朽化していることから統合を計画し、5カ年計画で花岡地区統合簡易水道整備事業を実施し、平成13年3月に完成した。

同じく平成15年より5カ年計画で矢立地区統合簡易水道整備事業を実施し、平成20年3月に完成した。平成17年6月には比内町、田代町との合併により、両水道事業の統合をした。

平成17年10月から4カ年計画で横岩地区の未普及解消に向け事業を実施し、平成21年3月に完成した。また、平成22年9月から2カ年計画で橋桁地区の未普及解消事業を、平成23年7月から大子内地区の簡易水道拡張整備事業を実施し、ともに平成23年12月に完成した。

平成25年4月から3カ年計画で別所地区の未普及解消事業を実施し、平成28年3月に完成した。

また、平成25年4月から4カ年計画で田代地区統合簡易水道整備事業（早口・岩瀬、山田・赤川、本郷・岩野目地区）を実施し、平成29年3月に完成した。

平成29年6月から4カ年計画で、大館地区と比内地区で相互に供給可能とするための緊急時用連絡管整備事業を実施し、令和3年3月に完成した。

令和2年6月から5カ年計画で真中地区簡易水道整備事業を実施し、令和6年12月に完成した。

年	月	事 項
昭和29年	6月	上水道布設基本計画認可(厚生大臣、建設大臣) ・給水区域：旧大館町 ・計画給水人口：24,000人 ・計画給水量：1日4,800m ³
30年	10月	工事着工
31年	2月	一部給水開始
33年	3月	工事が完成し、本格的給水体制に入る ・総事業費 1億8,716万円 財 源 { 国庫補助金 150万円 起 債 1億8,322万円 一般会計(補助金) 244万円
34年	4月	上水道事業に地方公営企業法の一部(財務)適用
40年	12月	第1次拡張事業認可(厚生大臣) ・計画給水人口：35,000人 ・計画給水量：1日12,250m ³
41年	12月	第1次拡張事業変更認可(厚生大臣) ・計画給水人口：40,000人 ・計画給水量：1日14,000m ³

年	月	事	項
昭和42年	3月	赤字財政再建団体の指定（自治大臣） ・再建債発行総額：9,700万円 ・再建期間：41～48年度	
43年	3月	水道事業計画変更認可（厚生大臣） ・給水区域の拡大（釈迦内地区）	
46年	3月	第1次拡張事業完工（工期 S41.5～S46.3） ・総事業費 2億7,500万円 財 源 { 企 業 債 2億5,400万円 一般会計（繰入金） 2,100万円	
49年	3月	赤字財政再建団体の指定解除	
50年	3月	第2次拡張事業認可（厚生大臣） ・計画給水人口：54,000人 ・計画給水量・1日25,400m ³	
50年	10月	水利利用（変更）許可（建設大臣） ・最大取水量 米代川 22,600m ³ /日 長木川 4,800m ³ /日	
51年	7月	中山取水場完成	
53年	3月	山館浄水場、同管理本館、山館（基点）配水池、長根山・獅子ヶ森・二ツ山配水池完成	
53年	5月	第2次拡張事業による新施設からの通水開始	
54年	3月	第2次拡張事業完工（工期 S50.4～S54.3） ・総事業費 43億6,400万円 財 源 { 企 業 債 40億2,000万円 一般会計（出資金） 3億4,400万円	
63年	3月	水道事業計画変更認可（厚生大臣） ・給水区域の拡大（十二所地区）	
平成 2年	9月	十二所地区統合簡易水道整備事業完工（工期S63.7～H2.9） ・総事業費 11億8,930万円 財 源 { 企 業 債 5億7,310万円 国庫補助金 3億7,600万円 受益者負担金 1億 99万円 自 己 資 金 1億3,921万円	
7年	7月	水道事業計画変更認可（厚生大臣） ・給水区域の拡大（釈迦内、橋桁全部、葛原一部）	
8年	3月	白沢・寺ノ沢簡易水道拡張整備事業完工（工期 H6.7～H8.3） ・総事業費 4億9,300万円 財 源 { 企 業 債 2億6,970万円 国庫補助金 1億2,943万円 受益者負担金 265万円 出 資 金 8,395万円 自 己 資 金 727万円	
9年	2月	水道事業計画変更認可（厚生大臣） ・給水区域の拡大（花岡地区）	

年 月	事 項
平成9年 3月	真中地区簡易水道整備事業完工（工期 H6. 6～H9. 3） ・総事業費 9億4,636万円 財 源 { 企 業 債 3億 360万円 国庫補助金 4億6,248万円 県補助金 1億3,737万円 自己資金 4,291万円
11年 3月	葛原地区農村総合整備（上水道整備）事業完工（工期 H7.12～H11. 3） ・総事業費 5億5,245万円 財 源 { 企 業 債 1億7,290万円 国庫補助金 2億7,527万円 自己資金 1億 428万円
13年 3月	花岡地区統合簡易水道整備事業完工（工期 H9. 8～H13. 3） ・総事業費 18億3,430万円 財 源 { 企 業 債 5億1,310万円 国庫補助金 10億8,030万円 出 資 金 8,375万円 自己資金 1億5,715万円
14年 3月	商人留地区未普及地域解消事業（工期 H13. 8～H14. 3） ・総事業費 1億9,209万円 財 源 { 企 業 債 6,080万円 国庫補助金 6,125万円 出 資 金 6,080万円 自己資金 924万円
15年 3月	四羽出地区簡易水道整備事業完工〔真中簡水〕（工期 H11.11～H15. 3） ・総事業費 4億5,674万円 財 源 { 企 業 債 2億1,820万円 国庫補助金 2億1,149万円 自己資金 2,075万円
15年 7月	水道事業計画変更認可（厚生労働大臣） ・給水区域の拡大（矢立地区） ・未普及地域の解消（横岩地区）
17年 6月	市町村合併により、比内町・田代町の水道事業と統合
20年 3月	矢立地区統合簡易水道整備事業完工（工期 H15. 9～H20. 3） ・総事業費 14億4,513万円 財 源 { 企 業 債 9億9,650万円 国庫補助金 3億9,294万円 自己資金 5,569万円
21年 3月	横岩地区未普及地域解消事業（工期 H17.10～H21. 3） ・総事業費 2億6,934万円 財 源 { 企 業 債 1億2,680万円 国庫補助金 7,008万円 出 資 金 6,930万円 自己資金 316万円

年 月	事 項
平成23年 12月	橋桁地区未普及地域解消事業（工期 H22. 9～H23. 12） ・総事業費 8,583万円 財 源 { 企 業 債 2,230万円 国庫補助金 3,399万円 出 資 金 2,830万円 自 己 資 金 124万円 真中地区簡易水道拡張整備事業（大子内地区）（工期 H23. 7～H23. 12） ・総事業費 5,148万円 財 源 { 企 業 債 3,370万円 国庫補助金 1,704万円 自 己 資 金 74万円
25年 3月	田代地区上水道事業経営認可（秋田県） ・田代地域3簡易水道（早口・岩瀬、山田・赤川、本郷・岩野目）の統合
28年 3月	別所地区水道未普及地域解消事業（工期 H25. 4～H28. 3） ・総事業費 26,803万円 財 源 { 企 業 債 11,200万円 国庫補助金 7,774万円 出 資 金 7,760万円 自 己 資 金 69万円
29年 3月	田代地区統合簡易水道事業（工期 H25. 4～H29. 3） ・総事業費 15億8,121万円 財 源 { 企 業 債 11億5,690万円 国庫補助金 3億2,483万円 自 己 資 金 9,948万円
31年 3月	田代地区上水道、真中、森合、越山、蛭沢、森越地区簡易水道を大館市上水道事業に統合水道事業経営変更認可（厚生労働大臣） ・浄水方法変更（山館浄水場、真中、越山取水ポンプ場、森越配水池） ・水源変更（中山川原浄水場、森越）
令和3年 3月	緊急時用連絡管整備事業（工期 H29. 6～R3. 3） ・総事業費 2億5,831万円 財 源 { 企 業 債 1億0,090万円 国庫補助金 6,293万円 出 資 金 9,420万円 自 己 資 金 28万円
6年 12月	真中地区簡易水道整備事業（工期 R2. 6～R6. 12） ・総事業費 4億5,246万円 財 源 { 企 業 債 3億6,260万円 出 資 金 5,900万円 自 己 資 金 3,086万円

2 水道施設の概要

施設名		区 分	水 源	給 水 開始年	給 水 区域内 人 口	令和 7 年 3 月 31 日現在			
						給水人口	普及率	1 日最大 配 水 量	1 日平均 配 水 量
上 水 道			伏流水 地下水 表流水 湧 水	昭和31年	人 58, 937	人 53, 116	% 90. 12	m ³ 21, 746	m ³ 19, 745
旧 簡 易 水 道	真 中		地下水	平成 8 年	1, 673	1, 159	69. 28	586	399
	森 合		湧 水	昭和59年	92	65	70. 65	27	19
	越 山		伏流水	平成 2 年	184	148	80. 43	86	64
	蛭 沢		湧 水	平成 4 年	49	31	63. 27	22	14
	計				1, 998	1, 403	70. 22	721	496
合 計					60, 935	54, 519	89. 47	22, 467	20, 241

3 上水道施設の概要

大館地域

(1)中山取水場

中山地区の米代川右岸に建設され、取水ゲートから取水された表流水は、取水管で導水ポンプ井に導入され、水中ポンプで山館浄水場へ送っている(導水ポンプ井と沈砂池は併用構造)。

- ①取水ゲート : 2門
②取水管 : $\phi 600\text{mm}$ 50m 2本
③導水ポンプ : 水中ポンプ 3台
④導水管 : $\phi 500 \sim \phi 600\text{mm}$ 1,913.52m
⑤取水能力 : $22,600\text{m}^3$
⑥自家発電設備 : 非常時に備え自家発電機(400V 350KVA)を設置している。

(2)長根山浄水場

長木川の左岸、東字屋布下地内に築造された浅井戸から長木川伏流を取水し、同所の浄水場においてpH調整及び滅菌後に長根山No.2配水池に送水している。

- | | | | | | | |
|---------|---|-----------------------------------|----|----------------------|-------|----|
| ①薬品注入設備 | : | 苛性ソーダ | 貯槽 | 10m ³ ×1槽 | 注入ポンプ | 2台 |
| | | 次亜塩素酸ソーダ | 貯槽 | 2m ³ ×1槽 | 注入ポンプ | 2台 |
| ②自家発電設備 | : | 非常時に備え自家用発電機(400V 126KVA)を設置している。 | | | | |
| ③取水井 | : | R C 造 | … | 1井(φ6.0m×深さ12.7m) | | |
| | | H . P 管 | … | 1井(φ2.8m×深さ 6.0m) | | |
| | | 補助井 | … | 1井(φ2.8m×深さ 7.0m) | | |

- ④取水ポンプ : 水中ポンプ 2台
 ⑤取水量 : 4,800m³/日
 <送水施設>
 ⑥送水ポンプ : 陸上多段ポンプ 2台
 ⑦送水管 : φ350～φ400mm 1,725m

(3)山館浄水場……急速ろ過方式

- ①着水井 … 取水場から送られた原水に薬品を注入し、急速かくはんしながら沈澱池へ送る。(急速かくはん池と併用構造)
 ②沈澱池 … フロック形成池と横流式薬品沈澱池の併用構造で、ウノ式傾斜板を設置して沈澱効果を高め、原水のにごりを沈澱させ、上澄水をろ過池へ送り、沈澱、堆積した汚泥は自動的に排泥池へ送る。
 ③急速ろ過池 … 沈澱池から送られた上澄水は4池の急速ろ過池に流下してろ過し、沈澱池で沈みきれなかった微細な浮遊物や細菌などを取り除く。
 (ろ過速度120m³/日)
 ④塩素混合槽 … 急速ろ過池から流下した水に塩素を混合し、滅菌した後浄水池へ送る。
 ⑤浄水池 … ろ過、滅菌された浄水は、いったん浄水池に貯留し、ポンプで山館配水池へ送る。(浄水池容量 560m³×2池=1,120m³)
 ⑥排泥池 … 沈澱池での汚泥を排泥池へ送り、ここから天日乾燥ろ床へ送られる。
 (汚泥排水量 約250m³/日)
 ⑦排水池 … ろ過池の洗浄污水や沈澱池等のオーバーフローは排水池に送り、ここから天日乾燥ろ床へ送られる。(洗浄污水は、ろ過池1池につき約290m³/日)
 ⑧天日乾燥ろ床 … 排泥・排水池から出る污水・汚泥はポンプで天日乾燥ろ床に送り、上澄水は川へ放出する。汚泥は天日で乾燥され、固形状のものとなる。
 ⑨自家発電設備 … 非常時に備え自家発電機(400V 350KVA)を設置している。

<浄水施設>

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ①着水井: 1井 | ⑥塩素混合槽: 1槽 |
| ②急速かくはん池: 1池2つ割(かくはん機2基) | ⑦浄水池: 2池(中間隔壁による) |
| ③フロック形成池: 2池 | ⑧排泥池: 1池 |
| ④薬品沈澱池: 2池 | ⑨排水池: 1池 |
| ⑤急速ろ過池: 重力2床式4面 | ⑩天日乾燥ろ床: 4面 |

<送水施設> 最大送水量 20,900m³/日

- ⑪送水ポンプ: 水中ポンプ 3台
 ⑫送水管: φ250～φ700mm 5,508m

(4)配水池

山館配水池から送水を受けた長根山No.1配水池から、長根山高区配水区へ自然流下で配水すると共に、長根山No.2配水池及び二ツ山配水池へ自然流下で送水する。

長根山No.2配水池では、長根山浄水場系と山館浄水場系の2系統から送水を受け、自然流下で長根山低区配水区へ自然流下で配水する。山館配水池から送水を受けた獅子ヶ森配水池からは、ポンプ加圧して塞ノ神地区及び獅子ヶ森配水区と花岡地区へ自然流下で配水するとともに、前田送水ポンプ場へ送水する。また、商人留地区へは商人留配水ポンプ場からポンプ加圧で配水し、獅子ヶ森系の一部は小茂内配水ポンプ場を経由して配水する。前田送水ポンプ場から長森配水池へ送水し、長森配水池から花岡地区へ自然流下で配水する。

長根山No.1配水池から送水を受けた二ツ山配水池は、二ツ山配水区及び川口送水ポンプ場に自然流下で配水及び送水する。川口送水ポンプ場からは、川口配水池に送水し、川口配水池から自然流下で大館西地区に配水する。

同じく山館配水池から送水を受けた軽井沢配水池は、十二所地区、葛原送水ポンプ場及び別所送水ポンプ場に自然流下で配水及び送水する。また、葛原送水ポンプ場から葛原配水池に送水し、葛原配水池から葛原地区に自然流下で配水する。別所送水ポンプ場から別所配水池に送水し、別所配水池から自然流下で別所地区へ配水する。

〈配水池名〉	〈貯水容量〉	
①山館配水池	2,200 m^3	
②長根山No.1 配水池	2,510 m^3	(長根山高区配水区へ配水)
③長根山No.2 配水池 (2池)	4,100 m^3	(長根山低区配水区へ配水)
④獅子ヶ森配水池	1,550 m^3	
⑤二ツ山配水池	1,800 m^3	

(5)管理本館 (山館浄水場)

- ①中央管理室 … コンピューターによって浄水処理の工程管理、配水池への水量調節を遠隔制御操作している。
- ②水質試験室 … いつも安心して使える水を供給するため、たえず水質をチェックしている。
- ③薬品注入室 …
- | | | |
|-----------------|---|--|
| 苛性ソーダ貯槽 | : | 15 m^3 ×1槽 |
| ポリ塩化アルミニウム貯槽 | : | 8.2 m^3 ×2槽+15 m^3 ×1槽 |
| 次亜塩素酸ソーダ貯槽 | : | 10 m^3 ×2槽 |
| 苛性ソーダ注入ポンプ | : | 3台 |
| ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ | : | 2台 |
| 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ | : | 3台 |

(6)十二所地区統合簡易水道整備事業

- ①軽井沢配水池 貯水容量 600 m^3

(7)葛原地区農村総合(上水道)整備事業

- ①葛原送水ポンプ場
- ・ポンプ井容量 : 28 m^3
 - ・送水ポンプ : 陸上多段ポンプ 2台
 - ・薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 1台
 - ・自家発電設備 : 非常時に備え自家用発電機 (200V 20KVA) を設置している。
- ②葛原配水池 貯水容量 216 m^3

(8)花岡地区統合簡易水道整備事業

- ①前田送水ポンプ場
- ・ポンプ井容量 : 32 m^3
 - ・送水ポンプ : 陸上多段ポンプ 2台
 - ・薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2台
 - ・自家発電設備 : 非常時に備え自家用発電機 (200V 50KVA) を設置している。
- ②長森配水池 貯水容量 724 m^3

(9)商人留地区未普及地域解消事業

- ①商人留配水ポンプ場
- ・ポンプ井容量 : 38 m^3
 - ・送水ポンプ : 陸上多段ポンプ 2台
 - ・薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 1台

(10) 矢立地区統合簡易水道整備事業

矢立浄水場系は、陣場水源の湧水と、矢立水源の地下水を、矢立浄水場へそれぞれ導水する。矢立浄水場では、矢立水源の地下水を除マンガンろ過処理した後、陣場水源の湧水と原水池で混合し、膜ろ過処理及び塩素消毒を行い、矢立配水池へ送水する。矢立配水池からは、陣場・長走・松原地区及び白沢配水池へ自然流下で配水する。白沢配水池から白沢・寺の沢地区へは自然流下で配水するが、岩本地区へは中羽立配水ポンプ場からポンプ加圧で配水する。

① 矢立浄水場

- ・取水ポンプ : 水中ポンプ 2 台
- ・浄化設備 : 膜ろ過装置 処理能力 840m³/日
- ・薬品注入設備 : (前・後)次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 5 台
苛性ソーダ注入ポンプ 2 台
- ・送水ポンプ : 水中ポンプ 2 台
- ・自家発電設備 : 非常時に備え自家用発電機 (200V 70KVA) を設置している。

② 矢立配水池(ステンレス製) 貯水容量 282m³

(11) 横岩地区未普及地域解消事業

① 川口ポンプ場

- ・ポンプ井容量 : 13.2m³×2 池
- ・送水ポンプ : 陸上多段ポンプ 2 台
- ・薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2 台

② 川口配水池 貯水容量 515m³

(12) 別所地区未普及地域解消事業

① 別所送水ポンプ場

- ・ポンプ井容量 : 5.28m³×2 池
- ・送水ポンプ : 陸上多段ポンプ 2 台
- ・薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2 台
- ・自家発電設備 : 非常時に備え自家用発電機 (200V 37KVA) を設置している。

② 別所配水池(ステンレス製) 貯水容量 90m³

(13) 真中地区旧簡易水道

板沢地区の米代川沿いの圃場に築造した井戸から地下水を水中ポンプで取水し、エアレーション設備で浸食性遊離炭酸を除去した後、浄水池に貯留し、浄水池から送水する途中で紫外線処理、塩素消毒を行い、配水池に送水する。配水池から自然流下で真中・四羽出・麓西・二井田地区に配水する。

① 真中取水ポンプ場

- ・取水ポンプ : 水中ポンプ 2 台
- ・紫外線設備 : 紫外線装置 2 台
- ・薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2 台
- ・送水ポンプ : 水中ポンプ 2 台
- ・自家発電設備 : 非常時に備え自家用発電機 (200V 50KVA) を設置している。

② 配水池 2 池 貯水容量 696m³

(14) 緊急時用連絡管整備事業

大館地区と比内地区相互の(緊急時の給水を確保するために)緊急時用連絡管を布設して整備した。

- ・緊急時用連絡管: φ250 L=1,664.4m φ200 L= 241.6m (橋梁添架管含む)

弁類（電動弁ほか） 1 式, 計装設備（流量計ほか） 1 式

比 内 地 域

(1)本道端取水塔

- ①取水口：5口(常用2口)
②取水ポンプ：水中ポンプ 2台
③導水管： $\phi 200\text{mm}$ 1,039m
④取水能力：2,460 $\text{m}^3/\text{日}$

(2)中山川原浄水場……急速ろ過方式

〈浄水施設〉

- | | | | |
|----------|-------------------|------|----------------|
| ①着水井 | ： 1 池 | ⑥浄水池 | ： 2 池(中間隔壁による) |
| ②急速かくはん池 | ： 1 池 (かくはん機 1 基) | ⑦排泥池 | ： 2 池 |
| ③フロック形成池 | ： 2 池 | ⑧排水池 | ： 2 池 |
| ④薬品沈澱池 | ： 2 池 | | |
| ⑤急速ろ過池 | ： 密閉型半重力式 2 面 | | |

〈送水施設〉…… 最大送水量 2,250m³/日

- ⑨送 水 ポ ン プ : 陸上多段ポンプ 2 台
⑩送 水 管 : $\phi 200 \sim \phi 250\text{mm}$ 2,936m

(3)配水池

浄水池から扇田配水池に送水され、ここから扇田地区・新館配水ポンプ場からポンプ加圧で味噌内地区へ、また達子森送水ポンプ場へ送水される。達子森送水ポンプ場から達子森配水池に送水され、達子森配水池から自然流下で西館地区及び八木橋配水池に配水及び送水される。八木橋配水池から自然流下で八木橋地区に配水される。

〈配水池名〉

〈貯水容量〉

- | | |
|---------|-------------------|
| ①扇田配水池 | 686m ³ |
| ②達子森配水池 | 361m ³ |
| ③八木橋配水池 | 180m ³ |

(4)管理本館（中山川原浄水場）

- ①中央管理室 … コンピューターによって取水・浄水処理の工程管理、扇田配水池への水量調整を遠隔制御操作している。
- ②水質試験室 … いつも安定して使える水を供給するため、たえず水質をチェックしている。
- ③中継ポンプ室 … 沈澱池から送られた上澄水を急速ろ過池へ送っている。
- ④自家発電設備 … 非常時に備え自家用発電機（200V 125KVA）を設置している。
- ⑤薬品注入室 …
- | | | | |
|--------------|---|-----------------------|------------|
| 次亜塩素酸ソーダ貯槽 | : | 2 m ³ ×1 槽 | （注入ポンプ5 台） |
| ポリ塩化アルミニウム貯槽 | : | 2 m ³ ×1 槽 | （注入ポンプ2 台） |
| 苛性ソーダ貯槽 | : | 3 m ³ ×1 槽 | （注入ポンプ2 台） |
| | : | 6 m ³ ×1 槽 | |

(5) 森合地区旧簡易水道

森合地区の湧水を水源として、自然流下にて浄水場まで導水する。浄水場では、原水に含まれる懸濁物質を急速ろ過処理で除去した後浄水池に貯留し、配水池に送水する途中で塩素注入を行う。配水池から自然流下で森合地区に配水する。

① 森合浄水場

- ・急速ろ過池 : 重力式ろ過池 処理能力 65m³/日
- ・薬品注入設備 : (前・後)次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2台
ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ 1台
ソーダ灰注入ポンプ 1台
- ・送水ポンプ : 陸上多段ポンプ 2台
- ・自家発電設備 : 非常時に備え自家用発電機 (200V 16KVA) を設置している。

② 配水池 貯水容量 105m³

(6) 森越地区旧簡易水道

森越棚沢地内の湧水である第1水源、第2水源及び第3水源から取水しそれぞれ自然流下により着水井に貯留し、塩素消毒を行い配水池に貯留する。配水池から自然流下で森越地区へ配水する。

① 薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ (流下式)

② 配水池 貯水容量 21m³

田 代 地 域

田代地区上水道事業にて、平成25年3月に田代地域の3簡易水道 (早口・岩瀬、山田・赤川、本郷・岩野目) を統合した。

(1) 早口・岩瀬地区

岩瀬川右岸の浅井戸から取水した原水は、エアレーション設備で浸食性遊離炭酸を除去した後、浄水池に貯留し、浄水池から送水する途中で紫外線処理、塩素消毒を行い配水池に送水する。配水池から自然流下で早口・岩瀬地区に配水する。

① 早口・岩瀬第2取水ポンプ場

- ・取水ポンプ : 水中ポンプ 2台
- ・紫外線設備 : 紫外線装置 2台
- ・送水ポンプ : 水中ポンプ 2台
- ・薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2台
- ・自家発電設備 : 非常時に備え自家用発電機 (200V 125KVA) を設置している。

② 配水池 3池 貯水容量 1,586m³

(2) 山田・赤川地区

岩瀬川左岸に設置された浅井戸から取水した原水は、紫外線処理を行い、エアレーション設備で浸食性遊離炭酸を除去した後、浄水池から配水池に送水する。なお、送水する途中で塩素消毒を行う。配水池から山田・赤川地区と岩瀬地区に自然流下で配水する。

① 山田・赤川取水ポンプ場

- ・取水ポンプ : 水中ポンプ 2台
- ・紫外線設備 : 紫外線装置 2台
- ・送水ポンプ : 水中ポンプ 2台
- ・薬品注入設備 : 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2台
- ・自家発電設備 : 非常時に備え自家用発電機 (200V 50KVA) を設置している。

② 配水池 貯水容量 367m³

(3) 本郷・岩野目地区

浅井戸から取水した原水は、紫外線処理を行い、エアレーション設備で浸食性遊離炭酸を除去した後、浄水池から配水池に送水する。なお、送水する途中で塩素消毒を行う。配水池から本郷・岩野目地区に自然流下で配水する。

①本郷・岩野目取水ポンプ場

- ・取水ポンプ：水中ポンプ 2台 ・紫外線設備：紫外線装置 2台
- ・送水ポンプ：水中ポンプ 2台 ・薬品注入設備：次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2台
- ・自家発電設備：非常時に備え自家用発電機（200V 50KVA）を設置している。

②配水池 貯水容量 238m³

(4)越山地区旧簡易水道

岩瀬川右岸に設置された伏流水を岩瀬字大石渡地内の取水井から取水した原水は、エアレーション設備で浸食性遊離炭酸を除去した後、浄水池から配水池に送水する。配水池から自然流下で越山地区へ配水する。

①越山取水ポンプ場

- ・取水ポンプ：水中ポンプ 2台
- ・送水ポンプ：陸上多段ポンプ 2台
- ・薬品注入設備：次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 2台
- ・自家発電設備：非常時に備え自家用発電機（200V 18KVA）を設置している。

②配水池 貯水容量 124m³

(5)蛭沢地区旧簡易水道

蛭沢地区の湧水を取水し、導水管によつてろ過池まで導水し、緩速ろ過方式によるろ過処理を行い塩素消毒し配水池に貯留する。配水池から自然流下にて蛭沢地区へ配水する。

①蛭沢配水池

- ・薬品注入設備：次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 1台
- ・貯水容量：51m³

(参考) 水道給水量等の推移

年 度	給水人口 (人)		給 水 区 域 内 人 口 対 する 普 及 率 (%)	1日最大 配 水 量 (m ³)	年 間 総配水量 (m ³)	1日平均 有 収 水 量 (m ³)	年 間 有 収 水 量 (m ³)	有 収 率 (%)
元	上水	58,206	87.79	23,334	7,412,199	15,265	5,586,895	75.37
2	上水	57,625	87.96	23,892	7,553,817	15,332	5,596,225	74.08
3	上水	57,149	88.68	24,323	7,750,182	15,280	5,577,267	71.96
4	上水	56,434	89.00	22,480	7,313,664	15,008	5,477,964	74.90
5	上水	55,332	88.94	23,077	7,350,599	14,898	5,452,686	74.18
6	上水	54,519	89.47	22,467	7,387,937	14,759	5,387,114	72.92

(参考) 料金単価・施設利用率等

年度	有 収 水 量 1 m ³ 当 た り			1 日 配 水 能 力		
	給 水 原 価		供 給 単 価	能 力 (m ³)	施設利用率 (%)	最大稼働率 (%)
元	上水	213円15銭	219円76銭	32,169.00	62.96	72.54
2	上水	210 15	220 06	32,169.00	64.33	74.27
3	上水	204 49	220 82	32,169.00	66.00	75.61
4	上水	210 41	222 32	32,169.00	62.29	69.88
5	上水	204 92	222 40	32,169.00	62.43	71.74
6	上水	214 11	223 48	32,169.00	62.92	69.84

4 水道料金

給水装置区分	口径区分	料 金			
		基 本 料 金		使 用 量 料 金	
		上水道	(旧) 簡易水道	上 水 道	(旧) 簡易水道
第1号 専用給水装置 第2号 共用給水装置	1 3 mm	円 704.0	円 550.0	10 m ³ まで 1 m ³ につき154.00 10 m ³ を超え50 m ³ までは超えた 使用量 1 m ³ につき170.50円 50 m ³ を超える場合は超えた 使用量 1 m ³ につき187.00円	1 m ³ につき 110.00円
	1 6	1,210.0	880.0		
	2 0	1,925.0	1,320.0		
	2 5	3,190.0	2,530.0	50 m ³ までは1 m ³ につき170.50円 50 m ³ を超える場合は超えた 使用量 1 m ³ につき187.00円	
	3 0	4,400.0	3,300.0		
	4 0	9,790.0	7,535.0		
	5 0	14,410.0	11,550.0		
	7 5	35,750.0	28,600.0		
	7 5 超		管理者が別に 定める額		
	1 0 0	59,950.0			
	1 0 0 超	管理者が別に 定める額			
第3号 浴場用給水装置 第4号 プール用給水装置	第1号及び第2号に同じ			1 m ³ につき126.50円	1 m ³ につき 88.00円
第5号 臨時給水装置	第1号及び第2号に同じ			1 m ³ につき209.00円	1 m ³ につき 137.50円
第6号 私設屋外消火栓				1 m ³ につき209.00円	1 m ³ につき 137.50円
				消 防 用 に 使 用 す る 場 合 を 除 く	

※上記の額には、消費税及び地方消費税を含む。（令和8年4月1日現在）

5 水道加入金

(単位：mm、円)

給水管の口径	加入金の額
13	22,000
20	58,300
25	96,800
30	161,700
40	256,300
50	477,400
75	1,309,000
100	2,851,200
100超え	管理者が別に定める額

※上記の額には、消費税及び地方消費税を含む。(令和8年4月1日現在)

6 工業用水道事業

(1)事業概要

大館市の工業用水道事業は、市南部に位置する工業団地に立地した企業へ良質な工業用水を安定供給することを目的に、昭和63年から4カ年計画で総事業費3億705万円を投じ、給水能力日量2,100m³の第1工業用水道を建設し、市営二井田工業団地及び県営大館工業団地を給水区域として平成3年に供給を開始した。その後、多様なニーズに対応し工業団地区域外へも供給できるようにするため平成12年に給水区域を拡大している。また、隣接する県営大館第二工業団地への給水を担うため平成9年から5カ年計画で総事業費6億2,873万円を投じ、給水能力日量3,200m³の第2工業用水道を建設し、平成14年に供給を開始した。さらに、県営大館工業団地の拡張地への給水を担うため、平成25年から5カ年計画で総事業費11億1,697万円を投じ、給水能力日量2,000m³の拡張事業を行い、平成30年に供給を開始した。現在は第1と第2工業用水道を統合し、浅井戸から取水した極めて良質な地下水を原水のまま配水し、安価に、安定的に供給し続けることで地域経済をバックアップしている。

令和7年度に工場の増設や増産計画による使用水量の増加に対応するため、取水ポンプの給水能力を変更した。

(2)施設概要

①取水施設

第1取水井：RC造 1井 φ4.0m×H12.7m

第1取水ポンプ：φ100mm×45kw ×2台：給水能力 2,940m³/日

第2取水井：RC造 1井 φ6.0m×H12.7m

第2取水ポンプ：φ80mm×18.5kw ×3台：給水能力 3,200m³/日

第3取水井：RC造 1井 φ4.0m×H13.0m：L=174m（放射状集水井）

第3取水ポンプ：φ100mm×45kw ×2台：給水能力 3,360m³/日

②送水施設

第1送水管：DIP-K φ200mm

総延長 3,935.4m

第2送水管：DIP-K φ200mm 2,452.9m 橋梁添架管 φ200mm 118.5m 総延長 2,571.4m
 第3送水管：DIP-K φ150～200mm 3,006.6m 橋梁添架管 φ200mm 147.3m 総延長 3,153.9m

③配水設備

第1配水池：PC造 φ15.0m×H7.5m 容量 1,200m³
 配水管：RVPほか φ70mm～250mm 総延長 2,736.1m
 第2配水池：PC造 φ10.5m×H6.3m 容量 501m³
 配水管：RVPほか φ70mm～200mm 総延長 2,480.1m
 第3配水池：PC造 φ13.75m×H6.3m 容量 800m³
 配水管：RVPほか φ150mm～200mm 総延長 3,055.3m

(3)給水区域

名 称	給 水 区 域
大館市工業用水道	二井田（羽貫谷地、前田野、田子森、下野、上屋敷坂浜田、引欠川端） 、比内町片貝（家ノ下、伊勢堂袋）、比内町達子（中台）

(4)工業用水道料金

使用水量の区分	単 価
10,000m ³ までの分	44.0円／m ³
10,000m ³ を超え20,000m ³ までの分	33.0円／m ³
20,000m ³ を超える分	22.0円／m ³

給水管から量水器までの新設工事は市で負担し、工業用水道料金はユーザーに理解の得られやすい「従量制」を採用している。

さらに大口ユーザーの料金を下げることにより、施設稼働率の向上を促している。

※上記の額には、消費税及び地方消費税を含む。（令和8年4月1日現在）

(5)工業用水道利用状況

（単位：m³）

業 種	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般機械器具製造業	3,821	2,426	2,092	1,859	1,770
医療用機械器具製造業	973,777	1,041,542	1,007,391	1,072,471	1,478,457
精密機械器具製造業	10	4	0	0	1
プラスチック製品製造業	28,806	21,093	13,268	14,758	13,306
食料品製造業	182,594	189,252	168,977	169,622	158,871
窯業・土石製品製造業	2,338	2,317	2,341	2,250	2,551
銑鉄铸件製造業	876	952	1,976	1,058	896
金属製品製造業	175	225	255	239	373
鉱物・金属材料等卸売業	495	396	365	589	499
医薬品製造業	603,653	597,300	543,325	584,444	589,727
道路貨物運送業	21,207	21,302	21,656	21,451	21,103
温泉保養施設	5,955	6,298	6,054	5,583	325
鉄鋼業	199	207	147	168	133
パルプ・紙・紙加工品製造業	241	191	172	192	255
冷蔵倉庫業	288	271	301	315	316
合 計	1,824,435	1,883,776	1,768,320	1,874,999	2,268,583

7 下水道事業

公共下水道事業は、米代川流域関連公共下水道として基本計画を昭和60年度に定め、昭和62年度に事業着手し、平成4年度に供用開始しており、令和4年度に大館市生活排水処理整備構想の見直しを行い、令和8年度末までの公共下水道整備の概成と令和17年度末までの農業集落排水の統廃合（公共下水道への接続）を計画している。また、秋田県米代川流域下水道大館処理センター内に建設した大館市し尿受入センターでは、し尿・浄化槽汚泥・農業集落排水汚泥を受入れ、秋田県米代川流域下水道大館処理センターへ移送し、下水との共同処理を行う。令和2年度に事業着手し、令和6年度に竣工、供用を開始している。

(1) 全 体 計 画

	大 館 市	地 域 別 内 訳		
		大館地域	比内地域	田代地域
計 画 目 標 年 度	令和22年度	—	—	—
計 画 排 水 面 積	1,982.3ha	1,438.7ha	303.6ha	240.0ha
処 理 分 区 数	41処理分区	23処理分区	10処理分区	8処理分区
計 画 排 水 人 口	35,186人	27,432人	5,090人	2,664人
計 画 排 除 方 式	分流式	—	—	—
管路延長	污水管	462.4km	364.0km	49.3km
	雨水管	244.7km	243.4km	1.3km
概 算 事 業 費	51,187百万円	39,593百万円	5,804百万円	5,790百万円
備 考	全体計画の内容	昭和62年度事業着手 平成4年度供用開始	平成元年度事業着手 平成6年度供用開始	平成2年度事業着手 平成7年度供用開始

	大館市し尿受入センター
計 画 目 標 年 度	令和22年度
投 入 量	41.5KL/日
施 設 能 力	106KL/日
概 算 事 業 費	2,073百万円
備 考	令和2年度事業着手 令和6年度供用開始

(2) 事業計画

	大 館 市	地 域 別 内 訳		
		大館地域	比内地域	田代地域
計 画 目 標 年 度	令和8年度	—	—	—
計 画 排 水 面 積	1,933.7ha	1,412.6ha	281.1ha	240.0ha
計 画 排 水 人 口	40,961人	32,226人	5,241人	3,494人
管路延長	382.5km	284.1km	49.3km	49.1km
概 算 事 業 費	47,280百万円	35,686百万円	5,804百万円	5,790百万円

	大館市し尿受入センター
計画目標年度	令和8年度
投入量	86.1KL/日
施設能力	106KL/日
概算事業費	2,073百万円

(3) 令和7年度末実績

	大館市	地域別内訳		
		大館地域	比内地域	田代地域
供用面積	1,788.88ha	1,294.69ha	255.67ha	238.52ha
供用人口 (a)	41,324人	32,766人	5,133人	3,425人
普及率 (a/行政人口)	65.3%	65.0%	64.6%	68.7%
水洗化人口	36,285人	28,407人	4,574人	3,304人
水洗化率	87.2%	86.7%	89.1%	93.9%
管路延長 汚水管	347.35km	251.97km	44.78km	50.60km
事業費 累計	38,755百万円	28,052百万円	5,252百万円	5,451百万円

※供用面積、供用人口、普及率、管路延長は、令和8年4月1日現在

※水洗化人口、水洗化率は、令和8年3月31日現在

※大館地域の数値は、公共、特環を合算して算出した数値

(4) 受益者負担金(分担金)※旧田代町及び旧大館市の一部の区域は、法により分担金と読み替える。

◎負担金(分担金)の額

土地面積に、1㎡当たり次の額を乗じて得た額(10円未満の端数は切り捨て)

旧大館市の区域 420円/㎡

旧比内町の区域 390円/㎡

旧田代町の区域 350円/㎡

◎納付方法

- 分割納付 下水道を利用できるようになってから年4回、5年分割で納付
- 一括納付 納期が到来していない負担金(分担金)を一括で納付した場合、納付した時期に応じて納付額の5～1%を報奨金として交付する。
ただし、その額が1,000円未満の場合は交付しない。

1年目の6月末までに全額を一括納付 納付額の5%

2年目の6月末までに残4年分を一括納付 納付額の4%

3年目の6月末までに残3年分を一括納付 納付額の3%

4年目の6月末までに残2年分を一括納付 納付額の2%

5年目の6月末までに残1年分を一括納付 納付額の1%

3. 計算例 土地100坪(330.58㎡)に対する受益者負担金(分担金)

区 域	負担金(分担金) 額
旧大館市	$330.58\text{㎡} \times 420\text{円} = 138,843.6 \rightarrow 138,840\text{円}$
旧比内町	$330.58\text{㎡} \times 390\text{円} = 128,926.2 \rightarrow 128,920\text{円}$
旧田代町	$330.58\text{㎡} \times 350\text{円} = 115,703.0 \rightarrow 115,700\text{円}$

(5) 使 用 料 金

汚水の種別	基本使用料 (10m ³ まで)	従量使用料 (1m ³ につき)			
		10m ³ を超え 20m ³ までの分	20m ³ を超え 50m ³ までの分	50m ³ を超え 100m ³ までの分	100m ³ を 超える分
一般汚水	1,540円	165.0円	176.0円	209.0円	231.0円
公衆浴場 汚 水	1,540円	104.5円			

※上記の額には、消費税及び地方消費税（10％）を含む（令和８年４月１日現在）

※表に定める額により算定した額に１円未満の端数が生じたときは、その端数金額を切り捨てた額

※流した汚水量の決め方

- ・水 道 使 用 者 水道の使用水量
- ・自 家 水 使 用 者 １人１カ月６m³で計算（メーターのある場合はメーター）
- ・水道と自家水併用者 １人１カ月６m³で計算（水道の使用水量の方が多い場合は、水道の使用水量とする。ただし、メーターがあるときは、メーターと水道の使用水量との合計とする。）

(6) 融資あっせん制度

- ・融 資 額 １件80万円以内（くみ取り便所数が２カ所以上のときは150万円を限度とする。）
で無利子
- ・償 還 期 間 60カ月以内（毎月元金均等償還）
- ・対 象 工 事 トイレの水洗化工事ほか
- ・対 象 者 処理開始の公示の日から３年以内に工事を行い、受益者負担金および市税を滞
納していない人
- ・連帯保証人 融資額が80万円までは１人
融資額が80万円を超えるときは２人

8 農業集落排水事業

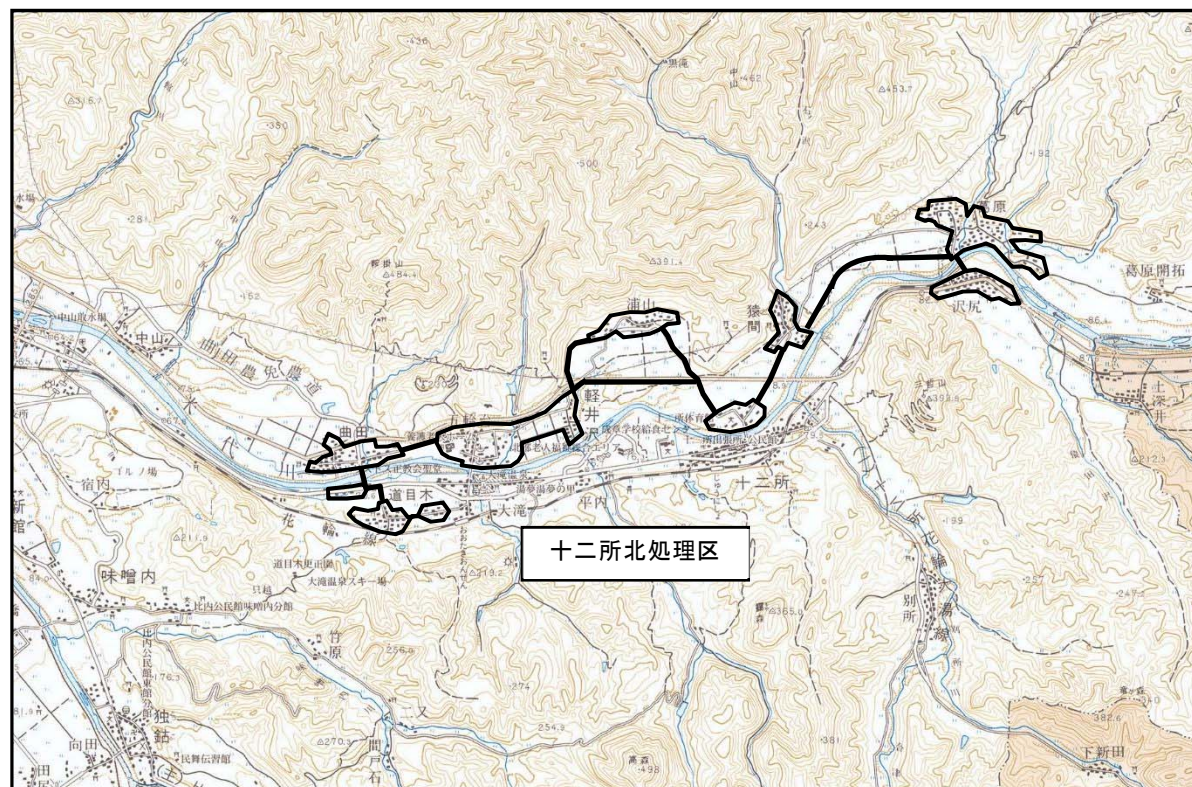
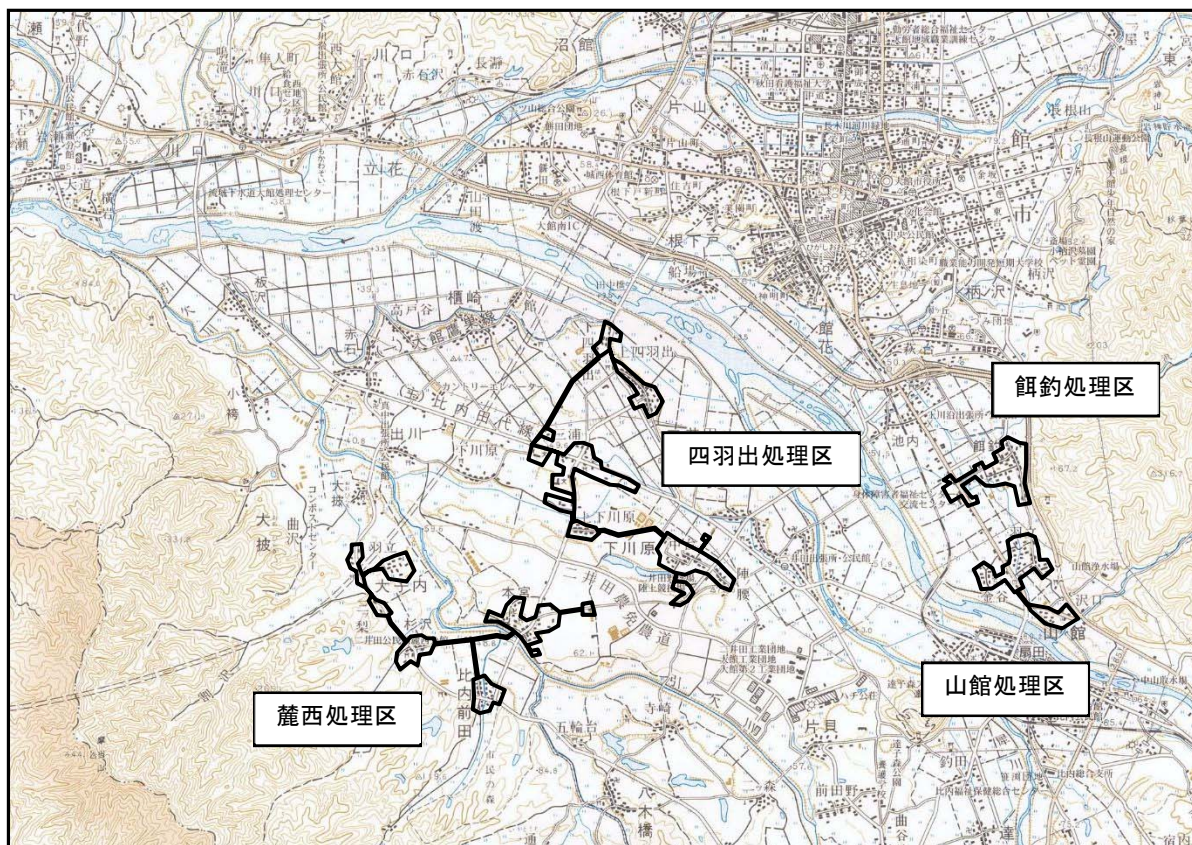
農業集落における農業用排水の水質保全及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、公共下水道の除外地区で農業集落排水事業に取り組んでいる。

農業集落排水事業概要（大館地域）

地区名 項目	餌 釣 地 区	山 館 地 区 (山館・羽立・金谷)	麓 西 地 区 (太子内・杉沢・比内前田・本宮)
事業年度	昭和62年度～平成元年度	平成3年度～平成5年度	平成9年度～平成13年度
供用開始年月日	平成2年4月1日	平成5年8月1日	平成12年4月1日
計画区域面積	8.2ha	24.0ha	47.2ha
計画処理人口	330人	520人	670人
計画戸数	84戸	121戸	173戸
総事業費	2億5,800万円	5億4,320万円	9億6,800万円
管路工	L=2,250m	L=3,975m	L=8,200m
雨水排水施設	L=557.5m	L=352m	L=200m
処理施設(処理方式)	JARUS V型(接触ばっ気方式)	JARUS III型(接触ばっ気方式)	JARUS III型(接触ばっ気方式)
計画汚水量	113m ³ /日	194m ³ /日	181m ³ /日

地区名 項目	四 羽 出 地 区 (上四羽出・下四羽出・三浦・下川原・中台)	十二所北地区 (曲田・軽井沢1区・軽井沢2区・中町・ 浦山・猿間・道目木・沢尻・葛原)
事業年度	平成10年度～平成14年度	平成15年度～平成20年度
供用開始年月日	平成15年4月1日	平成28・29年度 平成21年4月1日
計画区域面積	33.2ha	104.9ha
計画処理人口	1,120人	1,850人
計画戸数	223戸	570戸
総事業費	12億3,700万円	19億8,300万円
管路工	L=10,459m	L=25,548m
処理施設(処理方式)	JARUS III型(接触ばっ気方式)	JARUS XIVc型(連続流入間欠ばっ気方式)
計画汚水量	302m ³ /日	552m ³ /日

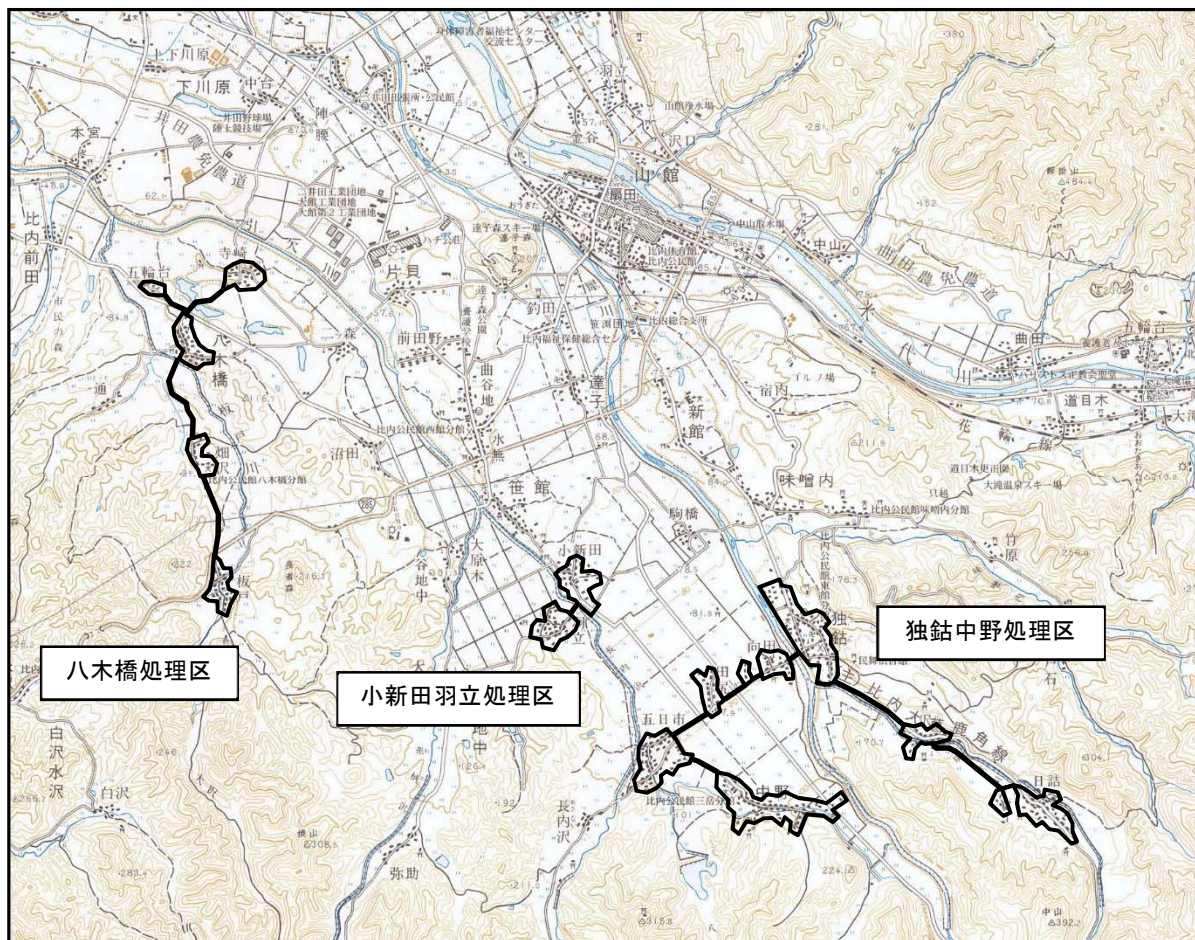
大館市農業集落排水事業地区（大館地域・供用開始）



農業集落排水事業概要（比内地域）

地区名 項目	小新田羽立地区 (小新田・羽立)	八木橋地区 (寺崎・八木橋・畑沢・板戸)	独鈷中野地区 (独鈷・沢・日詰・向田・ 中野・五日市・田尻)
事業年度	平成9年度～平成11年度	平成12年度～平成16年度	平成17年度～平成22年度
供用開始年月日	平成11年5月1日	平成15年5月1日	平成21年4月1日
計画区域面積	17.5ha	18.2ha	58.4ha
計画処理人口	330人	620人	2,080人
計画戸数	80戸	139戸	564戸
総事業費	6億772万円	9億2,860万円	18億9,749万円
管路工	L=2,900m	L=7,025m	L=16,416m
雨水排水施設	L=327m	L=399m	L=195m
処理施設(処理方式)	JARUS I型(接触ばっ気方式)	JARUS XIV ₉₆ 型(連続流入間欠ばっ気方式)	JARUS XIV _e 型(連続流入間欠ばっ気方式)
計画汚水量	89m ³ /日	167m ³ /日	562m ³ /日

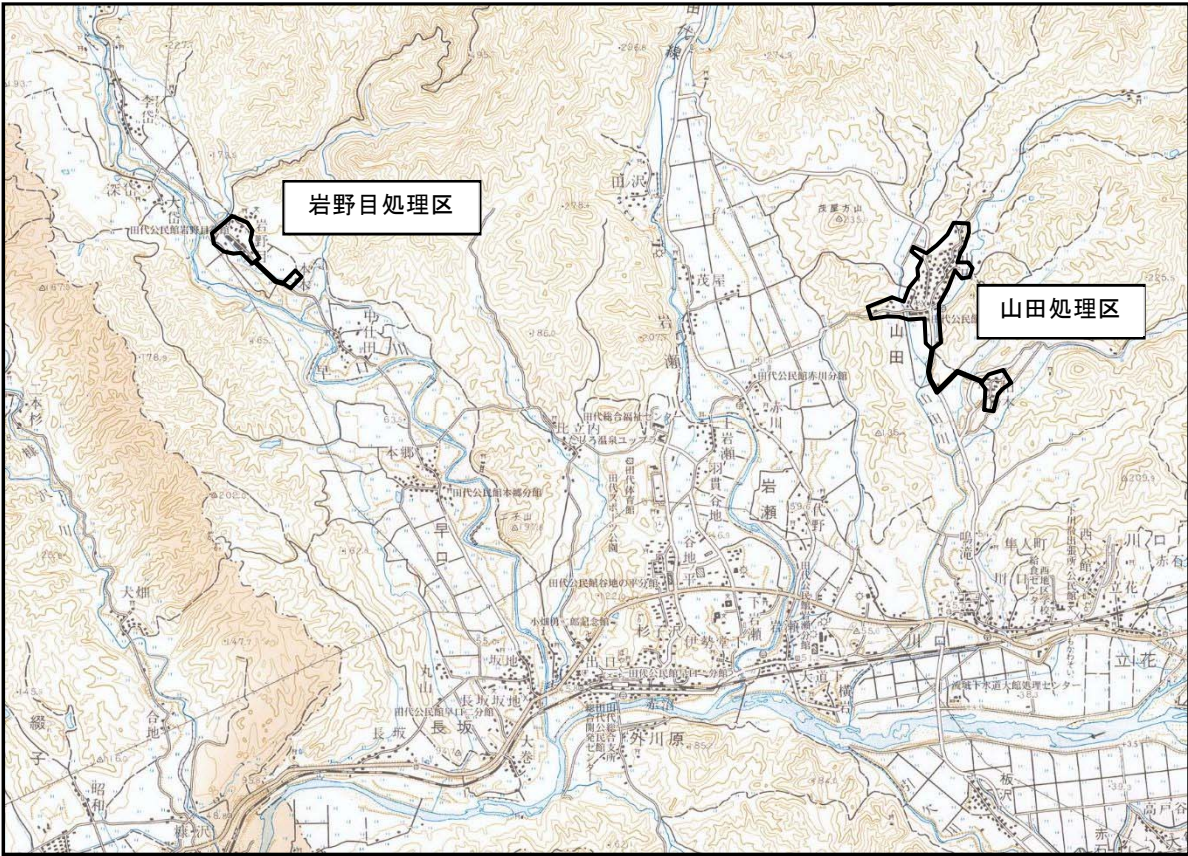
大館市農業集落排水事業地区（比内地域・供用開始）



農業集落排水事業概要（田代地域）

地区	山 田 地 区 (保滝沢・美杉・茂屋を除く)	岩 野 目 地 区
事業年度	平成9年度～平成11年度	平成13年度～平成15年度
供用開始年月日	平成11年7月1日	平成16年4月1日
計画区域面積	36.8ha	10.8ha
計画処理人口	930人	320人
計画戸数	221戸	72戸
総事業費	11億8,639万円	3億7,890万円
管路工	L=7,645m	L=2,370m
雨水排水施設	L=425m	L=169m
処理施設(処理方式)	JARUSⅢ 96型(流量調整、嫌気性ろ床及び接触ばっ気方式)	JARUSⅠ 96型(沈澱分離及び接触ばっ気方式)
計画汚水量	251m ³ /日	86m ³ /日

大館市農業集落排水事業地区（田代地域・供用開始）



使用料金

① 排除汚水量による使用料

	排除汚水量 (m ³)	料 金
基本使用料	10m ³ までの分	1,540円
従量使用料 (1m ³ につき)	10m ³ を超え 20m ³ までの分	165.0円
	20m ³ を超え 50m ³ までの分	176.0円
	50m ³ を超え 100m ³ までの分	209.0円
	100m ³ を超える分	231.0円

② 使用人数による使用料

使 用 人 数	料 金
1 人	1,540円
2 人	1,870円
3 人	2,860円
4 人	3,894円
5 人	4,950円
6 人	6,006円
7 人	7,062円
8 人	8,118円
9 人	9,306円
10 人	10,560円
11人以上	協議のうえ定める



排除汚水量による使用料早見表

水量 (m ³)	使用料	水量 (m ³)	使用料	水量 (m ³)	使用料
0～10	1,540円	**	*****	**	*****
11	1,705円	21	3,366円	31	5,126円
12	1,870円	22	3,542円	32	5,302円
13	2,035円	23	3,718円	33	5,478円
14	2,200円	24	3,894円	34	5,654円
15	2,365円	25	4,070円	35	5,830円
16	2,530円	26	4,246円	36	6,006円
17	2,695円	27	4,422円	37	6,182円
18	2,860円	28	4,598円	38	6,358円
19	3,025円	29	4,774円	39	6,534円
20	3,190円	30	4,950円	40	6,710円

※上記の額には、消費税及び地方消費税（10％）を含む。（令和8年4月1日現在）

※表の定める額により算定した額に1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てた額

※排除汚水量の決め方

- ・水道使用者～水道の使用水量
- ・自家水使用者～1人1か月6m³で計算（メーターのある場合はメーター）
- ・水道と自家水併用者～1人1か月6m³で計算（水道の使用水量の方が多い場合は水道の使用水量。ただし、メーターがあるときは、メーターと水道の使用水量との合計とする。）

12 市 立 病 院

1 市立総合病院

(1) 沿 革

明治12年に、木村謙斎、川瀬玄探ら8氏の主唱により字馬喰町地内に私立大館病院として創設され、その後、明治15年に50か町村連合による公立大館病院が成立。明治32年には字長倉地内に新築移転、更に、昭和2年字三ノ丸地内に新築移転した。昭和28年4月の大火により全施設を消失し、昭和30年2月までに現在地（豊町）に新築移転した。昭和39年からは公立大館総合病院となったが、財政事情の悪化により昭和41年2月12日に病院を運営する一部事務組合 公立大館総合病院事務組合（大館市、田代町、花矢町で組織）を解散し、翌13日に大館市が一切を継承した大館市立総合病院として発足した。

財政再建を進めながら、昭和45年5月には本館棟、昭和55年3月には放射線棟、昭和56年10月には神経精神科棟、昭和59年10月には新館棟、平成9年11月には新館棟屋上に教育実習棟が完成し、平成12年から平成21年にかけては高層棟などの大規模な増改築事業を行った。

また、地域の中核病院として医療の質の向上を図るため、平成24年度にDPC病院への移行と病院機能評価の認定、平成25年度に臨床研修評価の認定を受け、そして平成26年度には地域連携室の開設や電子カルテの導入などに取り組んできた。さらに、平成28年度の地域包括ケア病棟導入と認知症疾患医療センター設置、平成30年度には鹿角地域の産科機能の集約化から患者の受け入れ体制を強化した。令和3年度より、地域の中核医療機関として救急医療機能の体制整備を行い、24時間体制での緊急PCI受入れを開始、令和6年度には地域救命救急センターを整備し、重症患者の受け入れ拡大を図るなど一層の診療機能の充実に努めた。令和7年には同年認定された地域医療連携推進法人「北鹿ヘルスケアネット」に中心的立場として参画し、医療と介護の連携により将来にわたって必要な医療サービスの提供を目指している。

明治12年	「私立大館病院」として創設
15年	東大館町などの50カ町村連合による「公立大館病院」が発足
32年	字長倉地内へ新築移転
昭和 2年	字三ノ丸地内へ新築移転
28年 4月	風呂屋町から発生した大火によって全施設を消失
30年 2月	現在地（豊町）に新築移転 許可病床数 一般147床、結核268床の計415床
30年 4月 ～12月	伝染病棟及び精神病棟完成 許可病床数 一般207床、結核268床、伝染36床、精神50床の計561床
39年 4月	「公立大館総合病院」へ名称変更 許可病床数 一般219床、結核303床、精神180床、伝染28床 計730床
41年 2月	極度の財政事情悪化により「公立大館総合病院」を運営する一部事務組合は12日に解散。翌13日には大館市が一切を継承し「大館市立総合病院」として発足。許可病床数は、一般213床、結核207床、精神180床、伝染30床の計630床 一部事務組合より継承した不良債務は3億7,400万円に上り、その解消を図るため、向後9カ年の財政再建計画を策定し、自治省より再建団体の指定を受ける
昭和45年 5月	本館棟を改築（地下1階、地上6階、総事業費6億9,400万円） 許可病床数は、一般290床、結核150床、精神180床、伝染30床の計650床（昭和46年3月時点）

46年～	病床数の変更 昭和46年7月 646床、昭和47年1月 481床、昭和47年6月 一般325
47年	床、結核70床、精神80床、伝染26床の計501床
49年	再建団体の指定解除
55年 3月	放射線棟を増築(事業費10億500万円)
10月	病床数の変更 一般325床、結核70床、精神110床、伝染26床の計531床
56年10月	神経精神科棟を全面改築(事業費5億3,735万円)
58年 7月	病床数の変更 一般375床、結核10床、精神110床、伝染10床の計505床
59年10月	新館棟を増築(総事業費13億3,797万円)
63年11月	豊町に医師住宅を建築(総事業費4億867万円)
平成 6年 3月	放射線棟MR I 室の増築(総事業費2億1,423万円)
7年11月	昭和63年度頃から経営が悪化し、国の第四次病院事業経営健全化措置による病院健全化団体に指定される
9年 7月	積極的な経営健全化に努めた結果、病院健全化団体の指定解除
11月	新館棟屋上に教育実習棟を増築(総事業費2億2,926万円)
11年 4月	病床数の変更 一般375床、結核10床、精神110床、感染2床の計497床
12年～	地上11階建屋上ヘリポート設置の高層棟の増築(本館棟の解体)、管理棟(旧新
21年	館棟)及び放射線棟の一部改築などの増改築事業を実施(総事業費108億400万円)
	許可病床数 一般375床、結核6床、精神110床、感染2床 計493床
20年 4月	地方公営企業法の全部適用により病院事業管理者を設置
12月	平成19年12月に国が示した「公立病院改革ガイドライン」に基づき、「病院事業経営改革プラン」を策定
21年 5月	7対1入院基本料施設基準の取得(一般・結核)
11月	弘前大学との間で「専門医養成ネットワークに関する協定」を締結
22年 6月	病院ロゴマークの制定
8月	病院広報誌「おおだて病院だより」を発行
23年 1月	院内保育所を開設(事業費1,942万円)
12月	人工透析室を拡張(事業費9,520万円)
24年 2月	「病院事業経営改革プラン」の見直し
24年 4月	DPC対象病院となる
	病床数の変更 一般375床、結核6床、精神60床、感染2床 計443床
	診療科名の見直し(新設、廃止、名称変更により22科から24科へ)
10月	外来駐車場を50台分拡張(1,380㎡ 事業費1,282万円)
11月	売店をコンビニエンスストアとして新規開店
12月	看護師奨学金貸与条例を制定
平成25年 1月	病院機能評価(ver6.0)の認定を受ける
11月	「総合病院年報」第1号を発行
25年12月	高校生病院見学会開催
	弘前大学寄附講座(H25.10開設)によるフューチャードクターセミナー開催

26年 2月	臨床研修評価の認定を受ける
26年 5月	地域連携室を開設
26年 7月	あきたハートフルネット利用開始。県内参加医療機関との情報共有が可能となる
26年11月	電子カルテを含む新医療情報システムが稼働。患者一人1カルテ体制となる
27年 4月	呼吸器外科を新設。がん診療連携拠点病院として常勤医師2名の診療体制となる
28年 2月	臨床研修評価更新のため受審し、認定を受ける
	地域がん診療連携拠点病院として平成32年3月まで4年間の指定を受ける
28年 4月	地域包括ケア病棟を導入
10月	認知症疾患医療センターを設置
29年 3月	平成27年3月に国が示した「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、「病院事業経営改革プラン」を策定
5月	病院の理念・基本方針の見直しを行う
30年 1月	病院機能評価更新（精神科病院を含む3rdG:ver1.1）の認定を受ける
3月	臨床研修評価更新の認定を受ける
10月	鹿角地域の産科機能の集約化
10月	院内保育所で病児保育を開始
31年 4月	地域がん診療連携拠点病院として令和5年3月まで4年間の指定を受ける
令和元年10月	県より秋田D P A T病院の指定を受ける
2年	新型コロナウイルス対応重点医療機関としての体制整備を図る
3年10月	24時間体制での緊急P C I受入れを開始
11月	電子カルテ等の医療情報システムを更新
4年 4月	院内で初の診療看護師を配置する
5月	「患者さんの権利」の見直しを行う
5年 3月	地域がん診療病院として令和9年3月まで4年間の指定を受ける
6年 4月	既存救急室等を増改築し地域救命救急センターを開設
	訪問看護ステーションを開設
10月	「こども患者さんの権利」を制定する
7年 3月	病院機能評価更新（精神科病院を含む3rdG:ver1.1）の認定(更新)を受ける
4月	4法人で設立した北鹿ヘルスケアネットが地域医療連携推進法人の認定を受ける
4月	北秋田地域の分娩受け入れの一部と、鹿角地域の小児科入院機能の集約化
10月	入院セットサービスを開始
8年 4月	紹介受診重点医療機関の指定を受ける

(2) 施設の概要

①所在地	大館市豊町3—1 (TEL42-5370)		
②敷 地	病院敷地・・・	36,608m ²	公舎敷地・・・ 3,124m ²
③建 物	病 院 (R C 造 1 1 階 建 他)	43,862.63m ²	
	職員宿舎 (R C 造 3 階 建)	4 戸建 1 棟	431.81m ² (赤館)
	〃 (R C 造 4 階 建)	16戸建 1 棟	2,491.95m ² (豊町)
	〃 (木 造 モ ル タ ル 造)	2 戸	187.15m ² (桜町)
	計	46,973.54m ²	

④ 病院建物区分

病棟等	位置	面積(m ²)	備 考
高層棟	1 階	2,874.97	薬剤科、栄養科、剖検室、中央監視室、電気・機械室
	2 階	2,762.68	産婦人科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、内分泌・代謝・神経内科、共通処置室、歯科口腔外科・矯正歯科
	3 階	2,673.92	小児科、麻酔科、産婦人科、皮膚科、外科、臨床検査科、健診室
	4 階	2,386.29	手術室、中央材料室、臨床工学科、臨床工学器材保管庫
	M4 階	1,371.65	機械室、ビット
	5 病棟	5 階	1,826.07 産婦人科、小児科
	6 病棟	6 階	1,791.13 外科、HCU、循環器内科
	7 病棟	7 階	1,791.13 整形外科、外科、歯科口腔外科・矯正歯科、内分泌・代謝・神経内科
	8 病棟	8 階	1,791.13 脳神経外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
	9 病棟	9 階	1,791.13 消化器・血液・腫瘍内科、耳鼻咽喉科、感染症病室
	10病棟	10階	1,791.13 地域包括ケア病棟
	11病棟	11階	1,791.13 呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、結核病室
	PH 1 階	878.03	外調機置場
	PH 2 階	165.08	EVホール、ヘリポート
	PH 3 階	138.43	EV機械室、高架水槽
	計	25,823.90	
モジュール	1 階	547.05	SPD倉庫、備蓄倉庫
	2 階	1,196.55	受付ホール、正面玄関、患者サポートセンター相談室、入院案内ほか
	3 階	716.56	コンビニエンスストア、イートインスペース、ギャラリー、地域救命救急センター
	計	2,460.16	
管理棟	1 階	1,417.61	診療情報管理室(医療情報係)、寝具倉庫、消毒室、院内保育所、病児保育室
	2 階	1,386.94	整形外科、リハビリテーション科、会計窓口、医事課、患者サポートセンター、医師事務支援室、認知症疾患医療センター、緩和ケアセンター
	3 階	1,389.86	泌尿器科、人工透析室、管理者室、院長室、看護部長室、看護管理室、医療安全推進室、感染制御室、経営企画課、総務課、人事課
	4 階	1,389.80	医局、第一会議室、図書室
	5 階	867.19	教育実習室施設、第三会議室、第四会議室
	PH 1 階	416.21	EV機械室
	計	6,867.61	
放射線棟	1 階	1,254.16	カルテ・フィルム庫
	2 階	1,809.29	レントゲン室、MRI室、ライナック室、地域救命救急センター
	3 階	1,378.40	消化器・血液・腫瘍内科、放射線科、化学療法室、RI室、読影室、地域救命救急センター
	PH 1 階	343.53	EV機械室
	計	4,785.38	
神経精神科棟	1 階	1,516.97	神経精神科外来、訪問看護ステーション、認定看護師室、第五会議室
	2 階	1,811.66	神経精神科病棟
	PH 1 階	27.00	EV機械室
	計	3,355.63	
その他		569.95	旧独身寮、渡り廊下、塵芥保管庫 ほか
合 計		43,862.63	

⑤ 看護体制	一般病棟	7対1	(地域包括ケア病棟は13対1以上)
	結核病棟	7対1	
	神経精神病棟	13対1	

(3) 理念と基本方針（令和8年5月変更）

〔理念〕 私たちは、患者さんが安心と満足を得られる医療を展開します。

〔基本方針〕

1. 患者さん中心の「医療」

患者さんとの信頼関係を大切にし、病める人への配慮を常に忘れず、心のこもった患者さん中心の医療を提供します。

2. 地域の中核病院としての「医療」

地域中核病院としての役割を担い、二次医療を中心に業務を遂行します。
常に医療の安全と医療水準の向上をめざし、診療機能の充実を図ります。
地域の医療、保健、福祉との連携を緊密にし、地域住民の健康を守ります。

3. 全職員参加の「医療」

全職員は、自己の業務を十分に理解し、他の医療職種との連携を図ってチーム医療を推進し、自己に課せられた業務に意欲的に取り組み、病院機能の一層の充実を図ります。
全職員は、病院運営に参加しているという自覚を持ちます。

4. 地域医療を担う「人材の育成」

臨床研修指定病院・各学会認定研修施設・臨床実習病院として、教育・研修体制の充実強化を図り、次世代の地域医療を担う人材を育成します。

〔患者さんの権利〕

患者さんには次のような権利があります。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 公平かつ平等な医療を受ける権利 | 2. 尊厳を尊重される権利 |
| 3. 十分な説明を受ける権利 | 4. 自己決定の権利 |
| 5. 情報を知る権利 | 6. 他の医師の意見を聞く権利 |
| 7. 個人情報を守られる権利 | |

〔こども患者さんの権利〕

- あなたは、どのような病気にかかったときでも、ほかの人と同じようによい医療を受けることができます。
- あなたは、どのようなときでも、ひとりの人間として大切にされ、病院の人たちやご家族と力を合わせながら医療を受けることができます。
- あなたは、病気のことや病気を治していく方法を、あなたがわかることばや絵などを使って病院の人に教えてもらうことができます。
- あなたは、病気のことや病気を治す方法について、十分な説明を受けたうえで、自分の考えや気持ちを病院の人やご家族に伝えることができます。
- あなたは、わからないことや不安なことがあるときはいつでも、ご家族や病院の人たちに聞いたり、話したりすることができます。
- あなたは、入院しているときでも、できるかぎりご家族と一緒に過ごすことができます。
- あなたは、入院していても、勉強したり、遊んだりすることができます。
- あなたは、自分が大切にしたいこと、知られたくないことが守られる権利があります。他の人に伝える必要があるときは、その理由とともに伝えてよいかをあなたに確認します。
- あなたの病気がよくなるように、あなたのからだや気持ちのことをできるだけ詳しく病院の人たちに伝えるようにしてください。
- あなたとみんなが気持ちよく過ごすために、病院のやくそくをまもってください。

(4) 業 務 内 容

① 職員数

(令和8年5月1日現在)

区 分	職員(人)	区 分	職員(人)
管 理 者	1 (1)	医 療 安 全 推 進 室	1
診 療 局	153 (53)	臨 床 工 学 科	6
《診療局内訳》		神経精神科リハビリテーション室	4
院 長	1 (1)	認知症疾患医療センター	1
診 療 科 (詳 細 次 表)	91 (52)	N P 室	2
		臨 床 研 修 セ ン タ ー	1
		看 護 部	334
薬 剤 科	18	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	3
臨 床 検 査 科	21	事 務 局	37
栄 養 科	7	計	528 (54)

() 内は常勤医師数

② 外来患者及び診療科職員数

(令和8年5月1日現在)

診療科名等	外来1日平均患者数 (7年度実績)(人)	職員(人)	診療科名等	外来1日平均患者数 (7年度実績)(人)	職員(人)
呼 吸 器 内 科	30	3 (3)	脳 神 経 外 科	25	4 (4)
循 環 器 内 科	57	4 (4)	皮 膚 科	62	0 (0)
消化器・血液・腫瘍内科	123	6 (6)	泌 尿 器 科	142	3 (3)
内分泌・代謝・神経内科	100	3 (3)	産 婦 人 科	77	5 (5)
神 経 精 神 科	54	3 (3)	眼 科	34	2 (0)
小 児 科	54	4 (4)	耳 鼻 咽 喉 科	22	2 (2)
外 科	52	6 (6)	歯科口腔外科・矯正歯科	39	2 (2)
呼 吸 器 外 科	13	2 (2)	放 射 線 科	16	16 (0)
整 形 外 科	109	3 (3)	麻 酔 科	0	2 (2)
リハビリテーション科	※整形外科に含む	21 (0)	計	1,009	91 (52)

() 内は常勤医師数

③ 入 院 患 者

区 分	一般病床	結核病床	精神病床	感染症病床	計
許 可 病 床 数	375床	6床	60床	2床	443床
1日平均患者数(7年度実績)	268人	1人	23人	0人	292人

(5) 業務の推移

※令和8年度患者数及び診療収入は予算見込み。

※職員数は年度末時点（令和8年度は5月1日時点）

年度区分			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
病 床 数			443床	443床	443床	443床
患 者 数	外 来	1 日 平 均	975人	985人	1,009人	1,006人
		年 計	237,037人	239,360人	244,057人	242,446人
	入 院	1 日 平 均	267人	289人	292人	319人
		年 計	97,705人	105,621人	106,747人	116,435人
診 療 収 入	外 来	患者1人1日平均	16,527円	16,937円	18,109円	18,500円
		年 計	3,917,624千円	4,054,103千円	4,419,568千円	4,485,251千円
	入 院	患者1人1日平均	52,235円	53,143円	53,586円	55,089円
		年 計	5,103,646千円	5,613,058千円	5,720,106千円	6,414,327千円
	年 合 計		9,021,270千円	9,667,161千円	10,139,674千円	10,899,578千円
職 員 数	管 理 者		1 人	1 人	1 人	1 人
	医 師		50人	52人	52人	53人
	看護師（准看護含む）		333人	338人	339人	340人
	医 療 技 術 員		91人	93人	96人	96人
	事 務 職 員		32人	35人	35人	37人
	そ の 他 職 員		1 人	1 人	1 人	1 人
	計		508人	520人	524人	528人

※ 外来に訪問看護は含まない。

2 市立扇田病院

(1) 沿革

当院は明治40年11月、扇田町により内科、外科、眼科の3科からなる「公立扇田病院」として開設された。同42年には、地元資産家等の支援により施設が新築されたが、その施設も大正5年9月に火災に遭い、焼失。同8年に389㎡の新病院が再建された。

昭和2年には産婦人科、同3年には耳鼻咽喉科を増設。京都大学の鳥潟隆三博士（大館市花岡町出身）の協力を得て、内科、産婦人科、外科に同大学より医学博士を招聘し、診療体制の充実を図り、県内外より患者が殺到し、経営も好調であった。同7年には東館村独鈷と錦村毛馬内に出張所を開設した。

昭和30年合併により比内町が町制施行されたのを機に病院整備事業に着手し、5棟延べ面積3,000㎡を超える充実した施設に改築された。また同33年には、医局が京都大学系から弘前大学系へと交替した。39年に患者送迎バスの運行を開始し、住民の受診の利便性向上を図った。41年には附属准看護婦学院を開設し、49年までの8年間にわたり看護職員の人材育成に努めた。

昭和58年12月には比内町の長年の懸案であった移転新築工事が終了し、現在地での診療を開始。内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、小児科、皮膚泌尿器科、産婦人科の診療科8科、一般病床110床の近代的な設備に一新した。翌年には病床数を150床に増床し、同60年には総合病院の認可を受けている。

平成5年には予防医療の充実を図るため、ドック棟（591㎡）を増築。同13年には院外処方による医薬分業を実施。また疾病の早期発見と高精度化のため、MR Iを導入した。同15年には高齢化社会の到来に対応するために、一般病床の一部を療養病床に転換した（一般病床94床、療養病床42床）。平成18年8月には産婦人科医師の大学からの派遣が中止されたため、県内有数の分娩数を誇った産婦人科病棟が廃止された。一方で、「オープンベッド」や「夕やけ診療」などの新規事業にも積極的に取り組んでいる。平成20年4月1日には小児科、皮膚科、産婦人科の3科を廃止し、内科、外科を総合診療科に統合した。令和7年4月には経営状況を踏まえ、大館市病院事業経営強化プランに基づき一般病床62床、療養病床42床を療養病床40床に縮小した。令和9年4月に無床診療所となるが、地域に必要な医療を継続して提供できるよう効率的な経営基盤の確立を目指している。

(2) 施設の概要

- ① 所在地 大館市比内町扇田字本道端7番地1（TEL 55-1255）
- ② 敷地 病院敷地……………16,643㎡
- ③ 建物 病院（RC造）……………9,305㎡
- ④ 病院建物区分

病棟等	位置	面積(㎡)	備考
管理部門	S 階	1,189	機械室、電気室、中央監視室、栄養科事務室、厨房、食品庫、リネン室、洗濯室、霊安室、書庫、その他
	1 階	1,473	正面玄関、事務室、診療情報管理室、当直室、更衣室、地域連携室、ホール、売店、守衛室、倉庫、その他
	2 階	609	医局、院長室、副院長室、看護部長室、図書室、小会議室、デイルーム、その他
	3 階	947	機械室、倉庫、多目的室
	4 階	890	機械室、倉庫
	5 階	44	ポンプ室
	P H	117	ポンプ室、機械室
	計	5,269	

病 棟 等		位 置	面積(㎡)	備 考
診 療 部 門		S 階	66	解剖室、準備室
		1 階	2,189	総合診療科（内科、外科）、中央処置室、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、発熱外来、救急処置室、検診室、心エコー室、特診室、内視鏡室、X線撮影室、CT室、一般検査室、生理検査室、機能訓練室、電気治療室、薬局、薬品庫、外来待合室、その他
		2 階	615	人間ドック診察室、手術室、準備室、更衣室、消毒室、サブライセンダー
		3 階	151	救急処置室
		計	3,021	
病 棟 部 門	第2病棟	2 階	872	療養病床
		3 階	0	—
		4 階	0	—
		5 階	143	サンルーム、浴室
		P H	0	—
		計	1,015	

(3) 理念と目標

〔理 念〕 地域の皆様の「心の支えとなる病院」をめざします

- 〔基本方針〕
- 1 地域の皆様の健康と福祉の増進に貢献します
 - 2 地域の皆様の健康な生活を支える役割を果たします
 - 3 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します
 - 4 地域の医療機関との連携を保ち、信頼される医療活動に努めます

(4) 業 務 内 容

① 1日平均患者数

(令和7年度実績)

診療科名	外 来	入 院	備 考
総合診療科(内科、外科)	84.1人	0.0人	
整 形 外 科	6.3人	0.0人	
眼 科	0.0人	0.0人	
耳 鼻 咽 喉 科	0.0人	0.0人	
療 養 病 床	—	34.7人	
合 計	90.4人	34.7人	

(5) 業 務 推 移

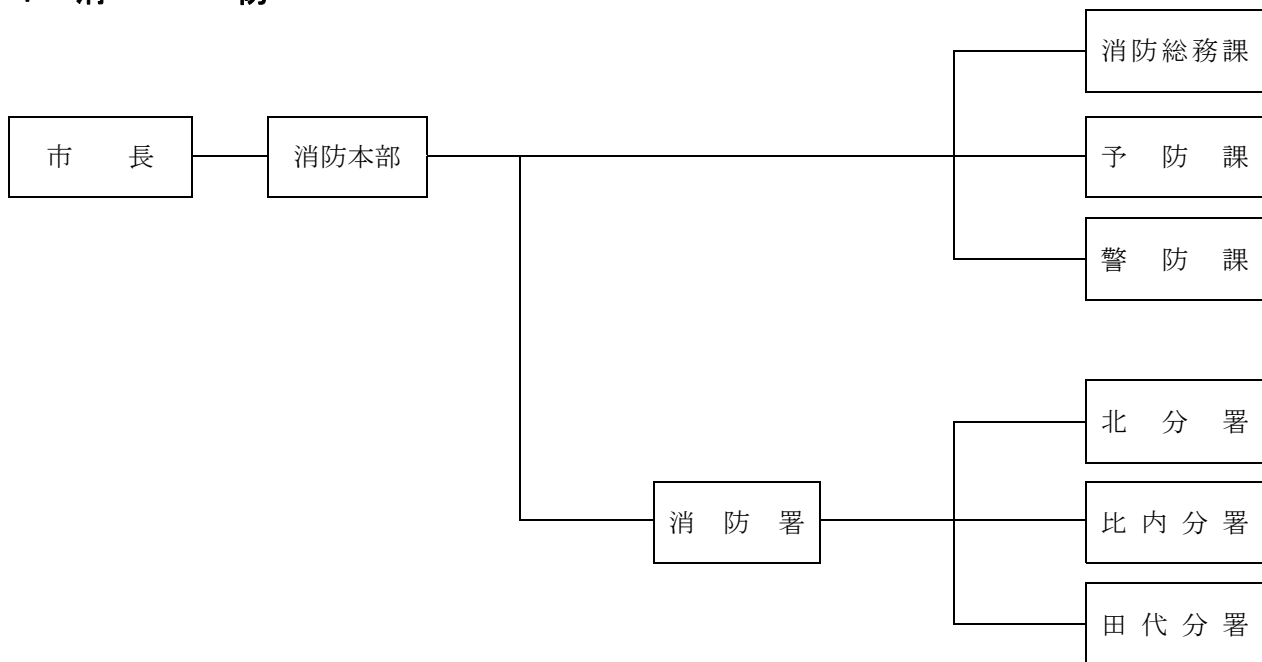
年 度 区 分			令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
病 床 数			104床	104床	40床	40床
患 者 数	外 来	1 日 平 均	97.8人	92.7人	90.4人	110.0人
		年 計	23,742人	22,519人	21,870人	26,510人
	入 院	1 日 平 均	68.3人	49.4人	34.7人	38.0人
		年 計	25,015人	18,043人	12,674人	13,870人
診 療 収 入	外 来	患 者 1 人 1 日 平 均	10,885円	11,223円	10,675円	11,000円
		年 計	258,442千円	252,734千円	233,473千円	291,610千円
	入 院	患 者 1 人 1 日 平 均	27,028円	29,148円	32,311円	34,000円
		年 計	676,094千円	525,918千円	409,508千円	471,580千円
	年 合 計		934,536千円	778,652千円	642,981千円	748,730千円
職 員	医 師		3 人	3 人	1 人	1 人
	看 護 師 (含 准 看)		46人	40人	30人	31人
	医 療 技 術 員		10人	10人	9 人	8 人
	事 務 職 員		10人	9 人	9 人	9 人
	計		69人	62人	49人	49人

※ 令和 8 年度患者数及び診療収入は予算見込み。

※ 職員数は年度末時点(令和 8 年度は 4 月 1 日時点)

13 消 防

1 消 防



(2) 消 防 庁 舎

区分 名称	所 在 地	建 物 構 造	建築延面積	建築年月日	本部からの 距離(km)
消防本部(署)	大館市根下戸新町1-1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2 階 建	1,889.05㎡	昭和48年12月	—
北 分 署	大館市釈迦内字稲荷山下202	鉄筋コンクリート造 2 階 建	935.42㎡	令和6年10月	5.4
比 内 分 署	大館市比内町扇田字新大堤 下93-6(比内総合支所内)	鉄筋コンクリート造 3 階 建	5,385.83㎡ (212.01㎡)	平成9年4月	8.3
田 代 分 署	大館市早口字深沢岱36-51	鉄筋コンクリート 一部スチール造 2 階 建	277.87㎡	昭和48年12月	8.0

(3) 人 的 消 防 力

(令和8年4月1日現在)

区分 名称	配 置 職 員	人 員	摘 要
消 防 本 部	消 防 長	1	
	消 防 吏 員	24	次長1、消防総務課6、予防課4、警防課13
	事 務 職 員	3	消防総務課3
消 防 署	消 防 吏 員	53	署長1、副署長(兼務)、毎日勤務1
北 分 署	〃	16	
比 内 分 署	〃	16	
田 代 分 署	〃	16	
計		129	

(4) 消 防 機 械 力

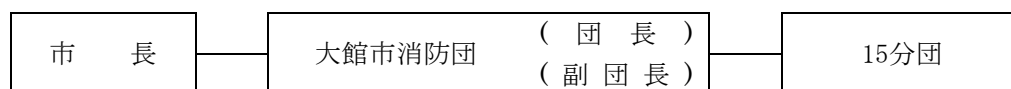
(令和 8 年 4 月 1 日 : 配置数)

配置別 機械の種類		本 署	北 分 署	比 内 分 署	田 代 分 署	計
消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	1	2	1	5
高 規 格 救 急 自 動 車		1	1	1	1	4
広 報 車		2		1	1	4
水槽付消防ポンプ自動車		1			1	2
化学消防ポンプ自動車			1			1
小型動力ポンプ付水槽車		1				1
指 令 車		1				1
はしご付消防自動車		1				1
小 型 動 力 ポ ン プ		1	1	1	1	4
救 助 工 作 車		1				1
連 絡 車		2				2
資 機 材 搬 送 車		1				1
非常用消防用自動車		1				1
非常用救急自動車		1				1
重機及び重機搬送車		1				1
計		16	4	5	5	30
消防通信指令システム (離島型)		1				1
消 防 専 用 無 線 電 話	デジタル260MHz帯	基地 1 移動 40	移動 8	移動 8	移動 8	基地 1 移動 64
	アナログ460MHz帯	移動 25	移動 7	移動 7	移動 7	移動 46
	その他の基地局	十二所基地局・雪沢基地局・陣場基地局 大葛基地局・越山基地局・深岱基地局 大茂内トンネル第1基地局・大茂内トンネル第2基地局 雪沢トンネル第1基地局・雪沢トンネル第2基地局				10

(5) 消防費(8年度) 1,346,149 千円

2 消 防 団

(1) 組 織



(2) 人 的 消 防 力

大館市消防団

(令和8年4月1日現在：人)

区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定 員	1	5	16	41	105	106	526	800
実 員	1	5	15	39	103	105	479	747

(3) 消防機械力及び水利

大館市消防団

(令和8年4月1日現在：配置数)

区 分		配置数	備 考
団 連 絡 車		1	
防 災 活 動 車		2	
消 防 ポ ン プ 自 動 車		16	
小型動力ポンプ付水槽車		1	
救 助 資 機 材 積 載 車		1	
小 型 動 力 ポ ン プ		127	
軽 可 搬 消 防 ポ ン プ		19	
小型動力ポンプ積載車		21	うち軽自動車 12台
デジタル携帯用無線機		73	出力5W 351MHz帯
デジタル車載用無線機		17	出力5W 351MHz帯
水 利	防 火 水 槽	496	40m³以上 445基 20～40m³ 48基 20m³未満 3基
	打 込 式 消 火 栓	26	
	公 設 水 道 消 火 栓	1,517	

(4) 消防団員報酬等

(単位：円)

区 分	年報酬額	区 分	年報酬額	費用弁償
団 長	82,500	団 員	36,500	・ 水火災出場費用弁償 4時間未満1日につき 3,000 4時間以上1日につき 5,000 ・ 山岳捜索 1日につき 7,000 ・ 訓練 1日につき 2,500 ・ 警戒 1日につき 2,500
副 団 長	69,000	機 能 別 団 員	6,000	
分 団 長	50,500	技 術 報 酬	消防ポンプ 自 動 車	
副 分 団 長	45,500		小 型 動 力 ポ ン プ	
部 長	37,000			
班 長	37,000			

3 消防関係予算（当初）の推移

（単位：千円）

年度	一般会計総額	消防予算	構成比率(%)	備 考
30	33,188,785	1,184,998	3.57	令和8年度予算の内訳 ・常備消防費 1,212,243 ・非常備消防費 85,254 ・施設維持及び改良費 2,814 ・水防費 397 ・災害対策費 45,441
元	32,406,908	1,189,287	3.66	
2	36,578,299	1,268,069	3.46	
3	34,107,894	1,267,531	3.71	
4	34,887,745	1,216,085	3.48	
5	34,763,132	1,349,298	3.88	
6	36,305,716	1,713,014	4.71	
7	37,364,882	1,523,672	4.07	
8	35,888,804	1,346,149	3.75	

4 火災件数と損害額

年 \ 区分	件数(件)	損害見積額(千円)	1世帯当たり 損害額(円)	人口1人当たり 損害額(円)	人口(人) (基準日1月1日)
28	26	65,878	2,085	882	74,705
29	19	20,498	652	278	73,632
30	21	37,325	1,182	513	72,623
元	22	62,715	1,990	885	70,902
2	22	68,191	2,156	968	70,423
3	17	35,642	1,130	514	69,293
4	30	13,610	432	200	68,083
5	24	737,985	23,537	11,047	66,807
6	36	91,623	2,943	1,399	65,492
7	15	77,929	2,519	1,215	64,164

(参考) 市制後の大火

区分 年月日(時)	損害見積額	焼失面積	焼失戸数	備 考
昭28. 4. 29 (午前4時)	千円 733, 094	m ² 5, 389	戸 137	公立病院、電電公社、郵便局、 商工会議所等焼失
昭30. 5. 3 (午後1時25分)	710, 572	38, 237	508	大館駅を含め駅前一带焼失
昭31. 8. 18 (午後11時45分)	4, 022, 000	156, 967	1, 392	東大館駅前から中心商店街焼失
昭37. 5. 7 (午後3時2分)	20, 340	3, 415	50	川口集落(長里)の農家密集地帯焼失
昭37. 6. 16 (午後5時5分)	12, 124	2, 953	36	沼館集落一带焼失
昭43. 10. 12 (午前11時16分)	1, 203, 268	37, 790	290	御成町二丁目一带焼失

(参考)中高層建築物

(令和 8 年 3 月31日現在)

階層	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	計
棟	230	52	21	7	2	2	2	2	0	1	319

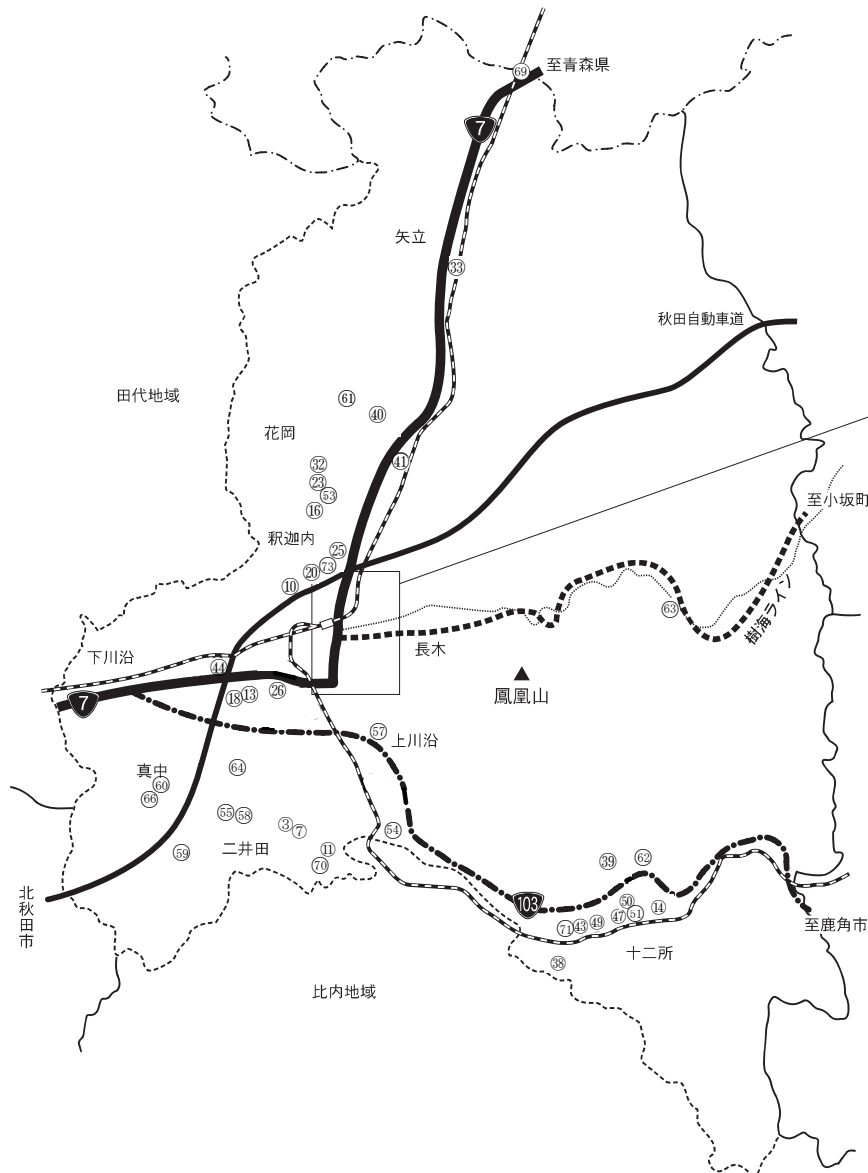
5 救 急 活 動

(単位：件)

事故 種別 年	救 急 事 故 種 別											合 計
	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病 人	そ の 他	
平成28年	33	1	2	188	21	12	380	8	20	1, 763	177	2, 605
平成29年	30		1	189	31	14	426	4	23	1, 799	194	2, 711
平成30年	16		1	175	29	10	433	5	22	1, 953	211	2, 855
令和元年	22		1	147	20	12	454	6	17	2, 011	190	2, 880
令和 2 年	26		3	162	25	3	472	1	20	1, 878	178	2, 768
令和 3 年	19		1	125	42	4	504	2	22	1, 979	188	2, 886
令和 4 年	20		1	164	38	1	556	7	27	2, 387	158	3, 359
令和 5 年	32		2	147	33	11	574	4	24	2, 458	196	3, 481
令和 6 年	34		0	116	21	4	614	6	27	2, 467	202	3, 491
令和 7 年	13	3	0	148	27	4	645	5	18	2, 504	160	3, 527

14 施設の概要

大館地域配置図



1 スポーツ施設

①	大館樹海ドームパーク	164
②	大館野球場	170
③	二井田野球場	170
④	花岡野球場	170
⑤	長根山運動公園野球場	171
⑥	長根山運動公園陸上競技場	173
⑦	二井田陸上競技場	174
⑧	長根山運動公園テニスコート	174
⑨	ニツ山テニスコート	175
⑩	高館公園テニスコート	175
⑪	達子森スキー場	177
⑫	釈迦内体育館	178
⑬	城西体育館	179
⑭	十二所体育館	179
⑮	タクミアリーナ「大館市樹海体育館」	184
⑯	花岡総合スポーツ公園	186

2 教育・文化施設

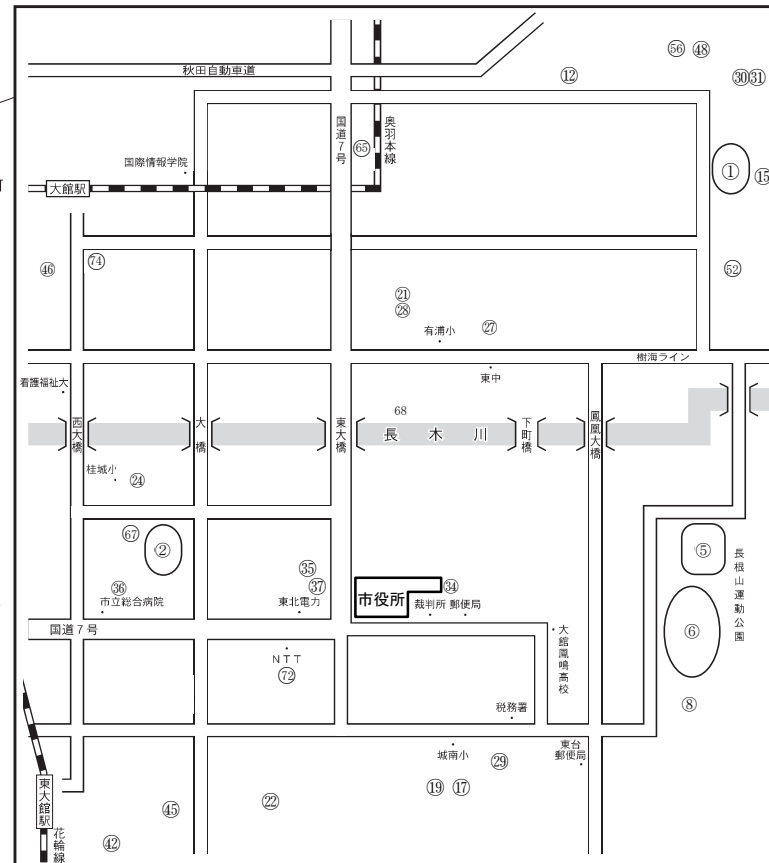
⑰	ほくしか鹿鳴ホール「市民文化会館」	189
⑱	大館市民交流センター	192
⑲	中央公民館	193
⑳	あやめ苑	194
㉑	北地区コミュニティセンター	195
㉒	栗盛記念図書館	197
〃	松下村塾	198
㉓	花矢図書館	199
㉔	桂城児童センター	200
㉕	釈迦内児童センター	200
㉖	城西児童センター	200
㉗	有浦児童会館	201
㉘	有浦児童会館分館	201
㉙	城南児童会館	201
㉚	大館郷土博物館	202
㉛	秋田三鶏記念館	203
㉜	鳥湯会館	204
㉝	長走風穴館	205
㉞	桜櫓館	208

3 福祉・厚生施設

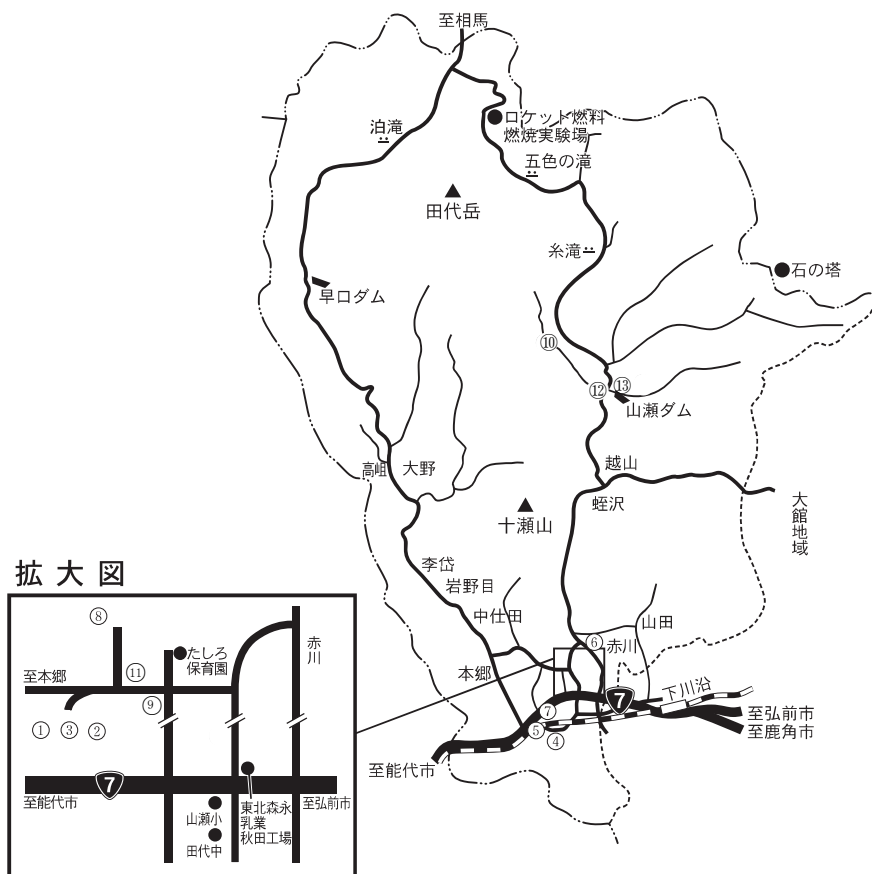
㉟	保健センター	209
㊱	休日夜間急患センター	210
㊲	総合福祉センター	211
㊳	道目木更生園	213
㊴	軽井沢福祉園	214
㊵	矢立育成園	216
㊶	白沢通園センター	218
㊷	おおだて障害者相談支援センター	220
㊸	基幹相談支援センター	221
〃	大館市地域活動支援センター	222
㊹	日中活動事業所とむとむ	222
㊺	友生	226
〃	指定一般・特定相談支援事業所 友生	226
㊻	地域生活支援拠点おおだて	227
〃	プラットフォームおおだて	227
〃	ケアワークおおだて	227
〃	グループホーム シオン	228
〃	グループホーム ミズキ	228
〃	グループホーム スミレ	228
㊼	多機能型事業所 ばすてる	229
〃	相談支援事業所 ばれっと	229
〃	生活介護事業所 ばすてる	229
〃	放課後等デイサービス ばすてる	230
〃	共同生活援助事業所きゅんばす	230
㊽	ふれあいセンター「やまびこ」	231
㊾	老人いこいの家「清和荘」	236
㊿	養護老人ホーム「成草園」	237
㊱	ケアハウス「ほうおう」	238
㊲	特別養護老人ホーム「つくし苑」	239
㊳	特別養護老人ホーム「水交苑」	239
㊴	特別養護老人ホーム「神山荘」	240
㊵	特別養護老人ホーム「山館苑」	240
㊶	特別養護老人ホーム「大館南ガーデン」	242
㊷	地域密着型介護老人福祉施設Club City	243
㊸	デイサービスセンターかつら	244
㊹	デイサービスセンター大滝	244
㊺	水交苑デイサービスセンターのぎく	244
㊻	デイサービスセンターかみやま	245
㊼	介護サービスセンター山王台デイサービス	245
㊽	デイサービスセンター大館南	246
㊾	デイサービスセンターいずみ	246
㊿	地域包括支援センター	247

4 その他の施設

㊱	市民の森	248
㊲	真中農林業多目的研修集会施設	250
㊳	粕田沢農林業多目的研修集会施設	250
㊴	十二所地区農村総合管理施設	251
㊵	樹海の里ゆきさわ館	251
㊶	四羽出地区コミュニティセンター	251
㊷	公設総合地方卸売市場	255
㊸	コンポストセンター	257
㊹	大館労働福祉会館「アボックセンター」	260
㊺	技能センター	261
㊻	大館矢立ハイッ・道の駅「やたて峠」	262
㊼	二井田市民集会所（ハチ公荘）	263
㊽	湯夢湯夢の湯	264
㊾	大館スカイバーキング	272
㊿	大館記念公園 ドッグラン	272
㊱	観光交流施設「秋田犬の里」	273



田代地域配置図



1 スポーツ施設

- ① 田代スポーツ公園田代野球場……………172
- ② 田代スポーツ公園田代テニスコート……………176
- ③ 田代体育館「グリアス田代」……………181

2 教育・文化施設

- ④ 田代図書館……………199
- ⑤ 小畑勇二郎記念館……………207

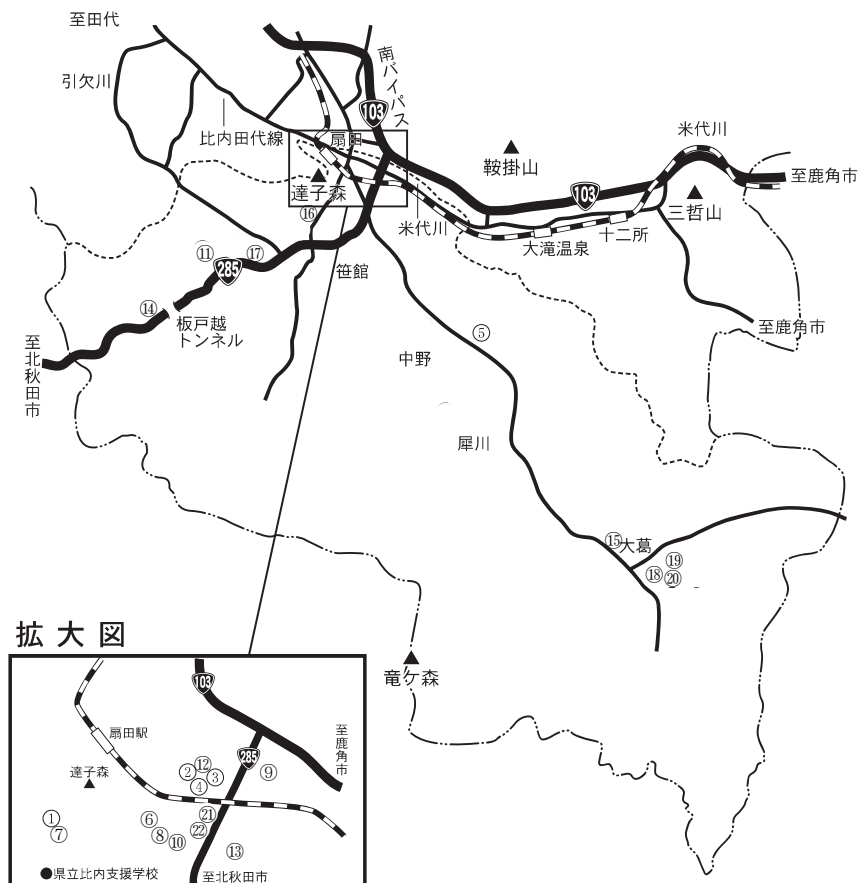
3 福祉・厚生施設

- ⑥ 障害者生活支援センター「たしろの里」……………212
- ⑦ 田代老人福祉センター……………233
- ⑧ 田代いきいきふれあいセンター「サンピア」……………234
- ⑨ 特別養護老人ホーム「長慶荘」……………241
- 〃 デイサービスセンターたしろ……………245

4 その他の施設

- ⑩ 市営牧場「雨池牧場」……………259
- ⑪ 大館市たしろ温泉ユップラ……………268
- ⑫ 大館市五色湖ロッジ……………268
- ⑬ 大館市五色湖緑地公園……………268

比内地域配置図



1 スポーツ施設

- ① 達子森公園達子森野球場……………172
- ② 扇田ふれあい公園テニスコート……………176
- ③ 比内体育館……………181

2 教育・文化施設

- ④ 比内町郷土民俗資料館……………206
- ⑤ 民舞伝習館……………207

3 福祉・厚生施設

- ⑥ とっと工房長岡事業所……………223
- ⑦ とっと工房前田野事業所……………224
- ⑧ NPO法人共生センターとっと工房
なかよしとっと……………225
- ⑨ NPO法人共生センターとっと工房
たのしいわが家Ⅰ・Ⅱ……………225
- ⑩ 比内福祉保健総合センター
「ハートビルとっと」……………232

- ⑩ 比内町福祉センターデイサービス……………246
- ⑪ 介護予防拠点施設八木橋地域福祉センター……………235
- ⑫ 高齢者生きがいセンター……………236
- ⑬ 特別養護老人ホーム「やまぼうし」……………241
- 〃 特別養護老人ホーム「はなみずき」……………242

4 その他の施設

- ⑭ 小泉交流センター……………252
- ⑮ 高齢者・若者センター……………253
- ⑯ 構造改善センター……………254
- ⑰ 比内地鶏鶏糞処理施設……………258
- ⑱ 大館市ベニヤマ自然パーク「比内ベニヤマ荘」……………265
- ⑲ 大館市ベニヤマ自然パーク「コテージ・公園」……………266
- ⑳ 大館市ベニヤマ自然パーク「大葛金山ふるさと館」……………267
- ㉑ 道の駅ひない「ブルミエ比内」……………269
- ㉒ 道の駅ひない
大館市比内軽食・直売コーナー「とっと館」……………271

1 スポーツ施設

大ー①

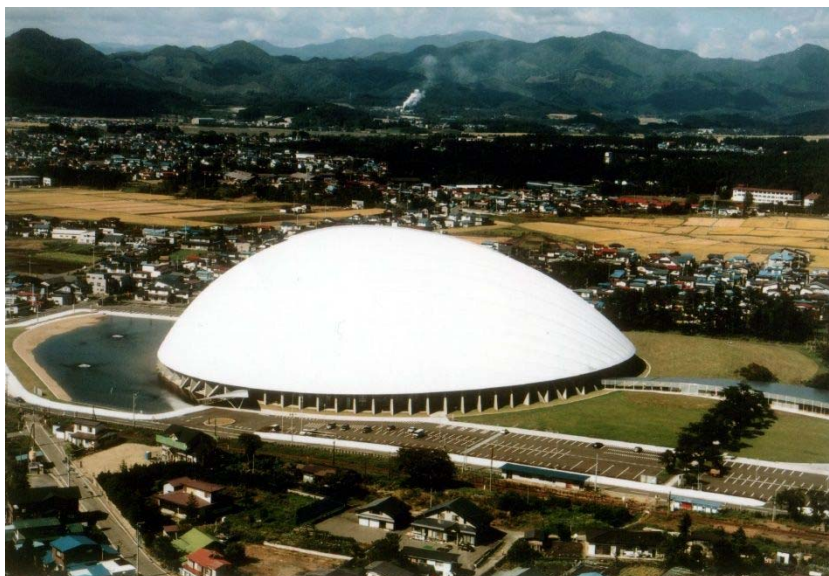
大館樹海ドームパーク

大館樹海ドームパークは、スポーツ・文化・レクリエーション・イベント等を通じて、技術の向上、地域活性化や情報発信、広域交流等の拠点施設として秋田県が建設したものである。

その中心となるドームは、地場産秋田杉を25,000本使用した木造ドームでは世界最大級の大きさで、平成29年度にネーミングライツ（命名権）を導入し「ニプロハチ公ドーム」と愛称が付けられた。

雪国秋田でも天候に左右されず、年間を通じてスポーツや大規模な催事等に使用されており、パークの核施設である。

- (1) 名 称 **大館樹海ドームパーク**
(TEL45－2500・FAX45－2220)
- (2) 所 在 地 大館市上代野字稻荷台1－1
- (3) 工 期 平7.7.6～9.6.30
- (4) 開 館 平9.8.1
- (5) 設 計 (株)伊東豊雄建築設計事務所・(株)竹中工務店設計共同企業体
- (6) 事業主体、施工者
- ①秋田県（ドーム本体、調整池、駐車場、イベント広場等）
 - ・ドーム建築工事：(株)竹中工務店
 - ・外 構 工 事：(株)竹中工務店、(株)イトウ、花岡土建(株)ほか
 - ②大館市（パークセンター、語らいの森、コミュニティ広場、駐車場、アクセス道路等）
 - ・パークセンター建築工事：(株)イトウ
 - ・パークセンター電気設備工事：同和工営(株)
 - ・パークセンター機械設備工事：アンゼン設備(株)
 - ・ドームパーク外構工事：花岡土建(株)、(有)佐久組、(有)三政建設
- (7) 敷地面積 129,376.57㎡
- (8) 延床面積
- ① ド ー ム 棟 22,349㎡
 - ② 付 属 棟 869㎡
 - ③ パークセンター棟 1,454㎡



- (9) 建物構造 ① ドーム棟 下部構造：鉄筋コンクリート
 屋根架構：秋田杉大断面集成材アーチ構造
 屋根膜：四フッ化エチレン樹脂コーティングガラス繊維布
 (テフロン膜)
- ② パークセンター棟：鉄骨造
- (10) 特徴 ① ニプロハチ公ドームは木造では世界最大級
 ② 樹齢60年生以上の地元産秋田杉を25,000本使用
 ③ 大館の自然に解け合うような、柔らかで優美な曲線を持つデザイン
 (平成9年度 芸術選奨文部大臣賞〔美術部門〕受賞)(平成11年 日本芸術院賞)
 ④ 透光率の高い屋根膜で、内部が明るい
 ⑤ 吸音性に優れ、高い音響効果が得られる
- (11) 総事業費 10,007,923千円

① 秋田県工事 8,193,336千円

総事業費 (千円)		財 源 (千円)	
ドーム本体工事費	7,477,843	地 方 債	7,372,000
外構工事費	450,000	一 般 財 源	821,336
委託料、事務費等	265,493		
計	8,193,336	計	8,193,336

② 大館市工事 1,814,587千円

総事業費 (千円)		財 源 (千円)	
パークセンター本体工事費	429,407	地 方 債	1,556,500
電気設備工事費	64,684	一 般 財 源	258,087
機械設備工事費	90,228		
外構工事費	177,748		
道路整備費	780,838		
案内標識、信号柱等	21,243		
用地取得費	192,000		
委託料、事務費等	58,439		
計	1,814,587	計	1,814,587

(12) 施設の概要

〈ドーム建物〉

- ① 外形寸法 卵形 178m×157m
- ② 最高高さ 52m (有効高さ46.2m)
- ③ アリーナ 面 積：12,915.36㎡
 最大収容人員：15,000人 (アリーナ内使用時)
 アリーナ仕上：人工芝敷込み 各ベース部 土
 マウンド部 土 (撤去可能)
 外野フェンス：H=1.8～2.4m
 表 示 設 備：スコアボード (3色LED式フリーボード)
- ④ 利用形態 (主) 野球 (両翼90m、センター120m)
 (その他) サッカー (64m×100mまたは64m×90m)、フットサル (6面)
 陸上競技 (周回300m、又は周回200m)、ゲートボール (20面)
 テニス (最大10面)、ミニテニス・バドミントン (10面)
- ⑤ 観客席 内野席 3,520席 (固定2,104、可動式1,400、貴賓席10、身障者席6)
 外野席 1,520席 (人工芝敷き) 計 5,040席

- ⑥ その他 多目的室1 (47㎡)、多目的室 2 (75㎡)、多目的室 3 (81㎡)、会議室(65㎡)、
審判室(22㎡)、大会役員室(28㎡)、売店スペース 2カ所、音響設備、
照明設備(1,500ルクスまで可能)、冷房(アリーナ・観客席以外)、暖房

〈屋外施設〉

- ・パークセンター
- ・コミュニティ広場 (天然芝約7,400㎡、サッカー等可能)
- ・イベント広場 (天然芝約5,300㎡)
- ・語らいの森 (広葉樹見本林約12,000㎡)
- ・駐車場 860台

- (13) 管理運営 指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団 (パークセンターを除く)

ネーミングライツ・パートナー：ニプロ株式会社

- (14) 職員 館長、職員9人(うち嘱託職員1人、臨時職員3人)

- (15) ※令和8年5月から適用の使用料金

使用料金

アリーナ使用料金

区 分			基本時間帯				特別時間帯
			(午 前)	(午 後)	(夜 間)	全 日	深夜・早朝1時間
			9時～12時	12時～17時	17時～21時30分	9時～21時30分	21時30分～9時
アマチュアスポーツ・文化等に使用する 場合	入場無料	高校生以下	1時間当たり 1,150円			14,400円	4,490円
		一 般	1時間当たり 3,450円			43,210円	
	入場有料	高校生以下	1時間当たり 4,600円			57,610円	11,980円
		一 般	1時間当たり 9,210円			115,230円	
式典・集会・祭 催事等に使用 する場合	非営利目的		37,710円	50,280円	52,800円	140,800円	18,100円
			45,250円	60,340円	63,360円	168,960円	21,720円
	営利目的		113,140円	150,850円	158,400円	422,400円	54,300円
			135,770円	181,020円	190,080円	506,880円	65,160円
見本市・展示会 等に使用する 場合	非営利目的		49,020円	65,370円	68,640円	183,040円	23,530円
			58,830円	78,440円	82,360円	219,640円	28,230円
	営利目的		143,310円	191,080円	200,640円	535,030円	68,780円
			171,970円	229,300円	240,760円	642,040円	82,540円

興業等に使用する場合	入場料	132,000円	175,990円	184,800円	492,790円	63,360円
	無 料	158,400円	211,200円	221,760円	591,360円	76,030円
	入場料	188,570円	251,420円	264,000円	703,990円	90,510円
	有 料	226,280円	301,710円	316,800円	844,800円	108,610円

【見本市・展示会】利用料金(1/2)

区 分		基本時間帯				特別時間帯
		(午 前)	(午 後)	(夜 間)	全 日	深夜・早朝1時間
		9時～12時	12時～17時	17時～21時30分	9時～21時30分	21時30分～9時
見本市・展示会等 に使用する 場合	非営利目的	24,510円	32,690円	34,320円	91,520円	11,770円
		29,420円	39,220円	41,180円	109,820円	14,120円
	営利目的	71,660円	95,540円	100,320円	267,520円	34,390円
		85,990円	114,650円	120,380円	321,020円	41,270円

【見本市・展示会】 利用料金（1/4）

区 分		基本時間帯				特別時間帯
		(午 前)	(午 後)	(夜 間)	全 日	深夜・早朝1時間
		9時～12時	12時～17時	17時～21時30分	9時～21時30分	21時30分～9時
見本市・展示会等 に使用する 場合	非営利目的	12,260円	16,350円	17,160円	45,760円	5,890円
		14,710円	19,610円	20,590円	54,910円	7,060円
	営利目的	35,830円	47,770円	50,160円	133,760円	17,200円
		43,000円	57,330円	60,190円	160,510円	20,640円

備考 1 使用料の上段は平日、下段は土・日・祝祭日の使用料金。

2 その他多目的室、会議室、冷暖房、備品等の使用料は別途となります。

照明料（消費税込み）

区 分	全照明	1/2照明	1/4照明
照明料(1時間)	18,060円	9,030円	4,510円

附属設備使用料(1) (消費税込み)

施設名	面積	人数	使用料		冷房料	暖房料
			非営利目的	営利目的		
多目的室1	47㎡	15名	220円	910円	140円	140円
多目的室2	75㎡	40名	280円	1,140円	170円	170円
多目的室3	85㎡	50名	340円	1,380円	200円	200円
会議室	75㎡	40名	280円	1,140円	170円	170円
応接室	—	10名	580円	2,340円	340円	340円

備考 スライドプロジェクター・スクリーン(一部有料)をご用意しております。

④ 冷・暖房料は1時間当たりの料金となります。

附属設備使用料(2) (消費税込み)

設 備 名	使用料	冷房料	暖房料	設 備 名	使用料	冷房料	暖房料
放 送 室	無 料	220円	220円	3塁側内野席	無 料	涼 房 990円	5,180円
大会役員室	無 料	220円	220円	3塁側可動席	無 料		5,180円
審 判 室	無 料	220円	220円	1塁側内野席	無 料		5,180円
スコアボード	1時間 2,370円			1塁側可動席	無 料		5,180円
ドーム本体放送設備	1時間1式 710円			バックネット裏席	無 料		5,180円
シ ャ ワ ー	1人1回 220円			外 野 席	無 料	—	5,180円
1・3塁ロッカー室	無 料	340円	340円	1・3塁ダッグアウト	無 料	—	340円

備考 1時間に満たないときは、1時間とみなします。

キャンセル料について

*アリーナ及び多目的室、会議室等それぞれの基本使用料に対して発生いたします。

区分	使用日の3ヶ月前	使用日の3ヶ月前から1ヶ月前	使用日の1ヶ月前から15日前	使用日の14日前から当日
2日以上連続 使用の場合	発生しません	アリーナ使用料の20%	アリーナ使用料の50%	アリーナ使用料の100%
1日以内 使用の場合	発生しません	発生しません	アリーナ使用料の50%	アリーナ使用料の100%

備考 上記のとおり、ご使用の変更又は取りやめ(キャンセル)の際、申し受けます。

(16) 令和7年度アリーナ使用状況

使用区分		件数(件)	人数(人)	人数割合(%)
アマチュア スポーツ ・ 文化等	野球	170	18,882	12.27
	ゲートボール	0	0	0.00
	陸上競技	74	12,141	7.89
	ソフトボール	1	40	0.03
	テニス	18	5,261	3.42
	サッカー	111	12,090	7.86
	T B G	16	610	0.40
	グラウンドゴルフ	57	3,464	2.25
	個人使用 その他	296 35	552 10,544	0.36 6.85
集会・式典・催事等		9	82,550	53.63
展示会・博覧会		6	1,100	0.71
興行		29	6,660	4.33
計		822	153,894	100.0
・開館日数 337日 ・使用日数 330日 ・アリーナ使用率 97.9% ・見学者数 643人				



大-②

大 館 野 球 場

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| (1) 名 称 | 大館市営大館野球場 |
| (2) 所 在 地 | 大館市字土飛山下3-1 |
| (3) 開 設 | 昭29 |
| (4) 面 積 | グラウンド 12,708㎡ (両翼 90m、センター 120m) |
| (5) 収容人員 | スタンド 約 500人 |
| (6) 使 用 料 | 無 料 (許可制) |
| (7) 利用状況 | (令和7年度)・利用人員 2,063人 ・利用日数 85日 |
| (8) 管理運営 | スポーツ振興課 |

大-③

二 井 田 野 球 場

- | | |
|------------|---------------------------------|
| (1) 名 称 | 大館市営二井田野球場 |
| (2) 所 在 地 | 大館市二井田字中台15-1の内 |
| (3) 開 設 | 昭53. 5. 1 |
| (4) 設 計 | 大館市 (都市開発課) |
| (5) 施 工 者 | (株)笹谷建設 |
| (6) 面 積 | グラウンド 9,663㎡ (両翼 80m、センター 104m) |
| (7) 建 設 費 | 12,715千円 |
| (8) 収容人員 | 内野スタンド 252人 |
| (9) 使 用 料 | 無 料 (許可制) |
| (10) 利用状況 | (令和7年度)・利用人員 1,780人 ・利用日数 69日 |
| (11) 管理運営 | スポーツ振興課 |
| (12) そ の 他 | 隣接地に300mトラック陸上競技場併設 (別項参照) |

大-④

花 岡 野 球 場

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| (1) 名 称 | 大館市営花岡野球場 |
| (2) 所 在 地 | 大館市花岡町字前田3の内 |
| (3) 開 設 | 平5.11. 1 |
| (4) 面 積 | グラウンド 12,960㎡ (両翼 97m、センター 120m) |
| (5) 使 用 料 | 無 料 (許可制) |
| (6) 利用状況 | (令和7年度)・利用人員 2,112人 ・利用日数 96日 |
| (7) 管理運営 | スポーツ振興課 |
| (8) 管 理 棟 | 更衣室 2 (6畳、7.5畳)、男女トイレ、ミーティングルーム、倉庫 |

大-⑤

長根山運動公園野球場

市民の体育の振興と心身の健全な発達に寄与する目的をもって、昭和54年3月末に竣工した。その概要は次のとおりである。

- (1) 名 称 **大館市営長根山運動公園野球場** (TEL49-0262)
- (2) 所 在 地 大館市字東台地内
- (3) 工 期 昭52.10.11～54.3.25
- (4) 開 設 昭54.7.1
- (5) 設 計 (株)北部カトー設計
- (6) 施 工 者 土木工事：花岡土建(株)、石垣建設 電気・水道工事：大館桂工業(株)
建築工事：丸山建設(株) 給排水設備工事：大進工機(株)
- (7) 敷地面積 16,789㎡ (球場 12,544㎡、スタンド 2,877㎡、その他 1,368㎡)
- (8) 施設の概要 球場 (両翼 91m、センター 120m、本塁後方 18.8m)
スタンド (メイン 893㎡、内野 1,104㎡、外野 880㎡)
その他 (本部席、本部控室、審判員室、記者室、放送記録室、会議室、医務室、事務室、管理人室、器具室 2、シャワー室 2、ロッカー室 2、トイレ 2、倉庫ほか)
- (9) 建設費 268,985千円
- (10) 収容人員 メインスタンド 1,600人 (イス席)
内野スタンド 1,870人 (イス席 1,370人、芝生 500人)
外野スタンド 1,250人 (芝生)
計 4,720人
- (11) 利用状況 (令和7年度)・利用人員 9,503人 ・利用日数 93日
- (12) 管理運営 指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団
- (13) 利用料金

区 分				1 時間につき
野 球 場	アマチュア スポーツに 使用する 場合	入場料を徴収しない場合	一 般	1,100円
			高 校 生 以 下	550円
		入場料を徴収する場合	一 般	2,750円
			高 校 生 以 下	1,430円
	アマチュア スポーツ以 外に使用す る場合	入場料を徴収しない場合		4,400円
		入場料を徴収する場合		8,800円
付 属 施 設	カ ウ ン ト シ グ ナ ル			1 日につき 330円
	放 送 設 備			1 時間につき 330円
	シ ャ ワ ー			1 人につき 110円

比一①

達子森公園達子森野球場

- (1) 名 称 達子森公園達子森野球場 (TEL55-1602)
 (2) 所 在 地 大館市比内町達子字前田野地内
 (3) 工 期 平3.11～6.4
 (4) 開 設 平6.5.2
 (5) 設 計 (株)緑設計
 (6) 施 工 者 大成建設(株)東北支店
 (7) 面 積 グラウンド 13,346㎡ (両翼 98m、センター 122m)
 (8) 建 設 費 700,000千円
 (9) 管理運営 指定管理者:スポーツクラブひない
 (10) 利用料金

区			分	1 時 間 に つ き
野 球 場	アマチュアス ポーツに使用 する場合	入場料を徴収 しない場合	一 般	960円
			高校生以下	480円
		入場料を徴収 する場合	一 般	2,550円
			高校生以下	1,280円
	アマチュアス ポーツ以外に 使用する場合	入場料を徴収しない場合		4,080円
		入場料を徴収する場合		8,150円

カウントシグナル・放送設備は1時間につき330円、シャワーは1時間につき110円

- (11) 利用状況 (令和7年度)・利用人員 12,163人 ・利用日数 84日

田一①

田代スポーツ公園田代野球場

- (1) 名 称 大館市営田代スポーツ公園田代野球場 (TEL54-0890)
 (2) 所 在 地 大館市早口字岩瀬越地内
 (3) 工 期 平6.12～8.10
 (4) 開 設 平9.4.1
 (5) 施 工 者 建物工事:秋田土建(株)ほか 電気設備工事:(株)ユアテック大館営業所
 機械設備工事:大館桂工業(株)
 (6) 面 積 球場内 13,510㎡ (両翼 98m、センター 122m)
 (7) 建 設 費 495,211千円
 (8) 管理運営 指定管理者:たしろスポーツクラブ
 (9) 利用料金

区 分				1 時 間 に つ き
野 球 場	アマチュアス ポーツに使用 する場合	入場料を徴収 しない場合	一 般	960円
			高校生以下	480円
		入場料を徴収 する場合	一 般	2,550円
			高校生以下	1,270円
	アマチュアス ポーツ以外に 使用する場合	入場料を徴収しない場合		4,080円
		入場料を徴収する場合		8,150円

スコアボードは1時間につき420円、

カウントシグナル・放送設備は1時間につき220円、シャワーは1時間につき100円

- (10) 利用状況 (令和7年度)・利用人員 9,204人 ・利用日数 66日

大⑥

長根山運動公園陸上競技場

- (1) 名 称 **大館市営長根山運動公園陸上競技場** (TEL49-6298)
- (2) 所 在 地 大館市字東台地内
- (3) 工 期 昭55. 7. 8～57. 9. 30
- (4) 開 設 昭58. 4. 1
- (5) 設 計 (株)北部カトー設計
- (6) 施 工 者 スタンド建設工事：丸山建設(株) 水道工事：(株)巽工業所
トラック築造工事：長谷川体育施設(株) 電気工事：秋北電業(株)
- (7) 敷地面積 23,400㎡
- (8) 建物面積 延べ3,093㎡
- (9) 建物構造 鉄筋コンクリート造3階建
- (10) 総事業費 617,232千円

総事業費 (千円)		財 源 (千円)	
本体工事費	583,368	国庫補助金	261,700
測量試験費	604	地方債	199,700
事務費	33,260	一般財源	155,832
計	617,232	計	617,232

(11) 施設の概要

〈グラウンド〉 1周400mトラック8レーン (第2種公認全天候型)、走り幅跳び・三段跳び 6、やり投げ 2、棒高跳び 4、障害池、走り高跳び 3、ハンマー・円盤投げ 2、砲丸投げ 2、フィールド (ラグビー場及びサッカー場兼用)

〈スタンド〉 メーンスタンド、サブスタンド、盛土スタンド

- ・ 1 F 本部席、放送室、記録室、器具庫 3、審判員控室、事務室 (湯沸付)
- ・ 2 F 控室
- ・ 3 F メーンスタンド (特別室あり)

(12) 管理運営 指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団

(13) 収容人員 6,000人 (盛土スタンド含む)

(14) 利用料金

区 分				金額(1時間につき)
陸 上 競 技 場	入場料を徴収しない 場合 (団体使用)	競技練習、講習に使用する場合	一 般	220円
			高校生以下	110円
		競技会等に使用する場合	一 般	550円
			高校生以下	270円
	入場料を徴収する 場合 (団体使用)	競技会等に使用する場合	一 般	1,100円
			高校生以下	550円
	競技会等以外に使用する場合			8,250円
	個人使用の場合	一般 (1人につき)		110円
		高校生以下 (1人につき)		60円
	放送設備			330円
シャワー			1人につき110円	

(15) 利用状況 (令和7年度)・利用人員 32,437人 ・利用日数 220日

大⑦

二井田陸上競技場

- (1) 名 称 **大館市営二井田陸上競技場**
 (2) 所 在 地 大館市二井田字中台11-1の内
 (3) 工 期 昭55. 8. 1～56. 6. 7
 (4) 設 計 大館市（都市開発課）
 (5) 施 工 者 ㈱笹谷建設
 (6) 敷地面積 14,718㎡
 (7) 総事業費 14,307千円

総事業費（千円）		財 源（千円）	
本体工事費	12,651	国庫補助金	10,720
排水工事費	1,469	一般財源	3,587
事務費	187		
計	14,307	計	14,307

- (8) 施設の概要
 〈グラウンド〉1周300mトラック7コース、跳躍場 5.0m×8.0m 2
 走り高跳び場 4.0m×5.0m、フィールド内芝生
 (9) 管理運営 スポーツ振興課
 (10) 利用状況 (令和7年度)・利用人員 943人 ・利用日数 69日

大⑧

長根山運動公園テニスコート

- (1) 名 称 **大館市営長根山運動公園テニスコート** (TEL49-6298)
 (2) 所 在 地 大館市字東台地内
 (3) 工 期 (第1期) 昭54. 6. 30～55. 3. 31 (第2期) 昭57. 6. 21～57. 12. 20
 (4) 開 設 (第1期) 昭55. 6. 1 (第2期) 昭58. 5. 1
 (5) 建設費 (第1期) 29,455千円 (第2期) 14,000千円 計 43,455千円
 (6) 施設の概要 クレーコート2面、平成21年度よりコート5面を駐車場にした。
 テニスハウス1棟、更衣室、トイレ、倉庫
 (7) 管理運営 指定管理者:一般財団法人 大館市文教振興事業団
 (8) 利用料金

区 分			金額(1面1時間)
テニスコート	アマチュアスポーツに 使用する場合	一 般	270円
		高校生以下	140円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合		1,430円

- 放送設備は1時間につき270円
 (9) 利用状況 (令和7年度)・利用人員 1,704人 ・利用日数 116日

大-⑨

ニツ山テニスコート

(1) 施設の概要 砂入人口芝 4面

区 分			使 用 料(1面1時間)
テニスコート	アマチュアスポーツに 使用する場合	一 般	330円
		高校生以下	170円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合		1,510円

(2) 利用状況 (令和7年度)・利用人員 1,964人 ・利用日数 147日

大-⑩

高館公園テニスコート

- (1) 名 称 大館市高館公園テニスコート (TEL48-6618)
 (2) 所 在 地 大館市釈迦内字高館下100-1
 (3) 工 期 平13.10.3~17.4.7
 (4) 開 設 平17.4.18
 (5) 総事業費 959,291千円 木工事費935,198千円 事務費24,093千円

財 源	補助(千円)	単独(千円)
国庫補助金	463,000	0
地 方 債	374,700	15,800
都道府県補助金	34,300	1,400
市町村振興資金	24,700	2,600
一 般 財 源	29,300	13,491

- (6) 施設の概要 管理棟327.65㎡、シェルター42㎡、事務室、会議室、更衣室・シャワー室、用具庫、砂入り人工芝コート16面、証明設備4面、放送設備一式、駐車場197台
 ※秋田わか杉国体に向けて開設した施設
 (7) 管理運営 指定管理者:一般財団法人 大館市文教振興事業団
 (8) 収容人員 2,418人(中央スタンド1,320人、芝生スタンド1,098人)
 (9) 利用料金

(単位:円)

(単位:円)

区 分	アマチュア スポーツ		アマチュ アスポー ツ以外
	入場料無	入場料有	
一 般	440円	880円	1,540円
高校生 以下	220円	440円	

施設名称	金額	備 考
放送設備	270円	1時間につき
シャワー	110円	1人につき
夜間照明	270円	1面1回1時間につき
会議室	270円	1時間につき
管理棟休憩室	270円	1時間につき

(10) 利用状況 (令和7年度)・利用人員 18,297人 ・利用日数 209日

比-②

扇田ふれあい公園テニスコート

- (1) 名 称 扇田ふれあい公園テニスコート (TEL55-0194)
 (2) 所 在 地 大館市比内町扇田字南扇田地内
 (3) 工 期 昭62.10.16~63.3.25
 (4) 開 設 昭63.4.1
 (5) 総事業費 10,800千円
 (6) 施設の概要 テニスコート2面 全天候型 (透水性)
 (7) 管理運営 指定管理者:スポーツクラブひない
 (8) 利用料金

区 分			金額(1面1時間)
テニスコート	アマチュアスポーツに 使用する場合	一 般	220円
		高校生以下	110円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合		1,430円

- (9) 利用状況 (令和7年度) ・利用人員 110人 ・利用日数 33日

田-②

田代スポーツ公園田代テニスコート

- (1) 名 称 大館市営田代スポーツ公園田代テニスコート (TEL54-6666)
 (2) 所 在 地 大館市岩瀬字上岩瀬塚の岱地内
 (3) 工 期 平11.7.20~12.3.15
 (4) 開 設 平12.4.1
 (5) 建設費 137,598千円
 (6) 施設の概要 砂入り人工芝コート4面
 ※秋田わか杉国体に向けて開設した施設
 (7) 管理運営 指定管理者:たしろスポーツクラブ
 (8) 利用料金

区 分				金額 (1面1時間につき)
テニスコート	アマチュアスポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	一 般	320円
			高 校 生 以 下	170円
		入場料を徴収する場合	一 般	630円
			高 校 生 以 下	330円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合			

施設の名称	単 位	金額
放送設備	1時間につき	220円
シャワー	1人につき	100円
夜間照明	1面1時間につき	260円
クラブハウス	1時間につき	210円
ラケット	1時間につき	210円

- (9) 利用状況 (令和7年度) ・利用人員 3,515人 ・利用日数 172日

大-⑪

大館市立スキー場（達子森）

広く市民がスポーツを通じて心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に寄与するために設置された。

(1) 名 称	達子森スキー場
(2) 所 在 地	大館市二井田字田子ノ森 1
(3) 工 期	(ロープトウ) 昭63. 12～平成. 1 (ヒュッテ) 平成. 2～平成. 3
(4) 開 設	平成. 1
(5) 設 計	大館市
(6) 施 工 者	同和工営(株)、(株)片山建設
(7) 敷地面積	37,699m ²
(8) 総事業費	34,492千円(一般財源 3,492千円、地方債 31,000千円)
(9) 施設の概要	・ヒュッテ 146m ² ・ロープトウ 第1 138m
(10) 管理運営	スポーツクラブひない
(11) 開場期間	1月上旬～2月下旬
(12) 利用状況 (令和7年度)	・利用日数 30日 ・利用人員 555人
(13) ロープトウ 利用料金	・1回券 50円 ・5回券210円 ・12回券420円 ・1日券840円 ・団体券1人310円(1日10人以上) ・スキー教室1人210円(1日10人以上)

大-⑫

市 立 体 育 館

(1) 名 称	大館市立釈迦内体育館 (TEL48-4461)	
(2) 所 在 地	大館市釈迦内字台野道上10-1の内	
(3) 工 期	昭56. 6. 20~56. 12. 19	
(4) 開 館	昭56. 12. 19	
(5) 設 計	(株)山本建築設計事務所	
(6) 施 工 者	建 築 工 事 : ダイユウハウス(株) 電 気 設 備 工 事 : 奥羽電気設備(株) 給排水衛生設備工事 : 巽工業所	
(7) 面 積	敷地 6,416㎡ 建物 1,598㎡	
(8) 建物構造	鉄骨造平家建	
(9) 総事業費	261,722千円	
	建設費(千円)	財 源(千円)
	本体工事費 191,250 電気設備工事費 18,700 給排水衛生設備工事 25,030 屋外附帯工事費 14,695 その他事務費 12,047	県補助金 35,800 地 方 債 100,000 一般財源 125,922
(10) 施 設 の 概 要	建 物	体育室 1,160.00㎡、器具室 54.72㎡、会議室 48.60㎡、事務室 12.96㎡、更衣室 51.03㎡、管理人室・湯沸室・玄関・ホール等 189.81㎡
	設 備	・バレーボール 2 面 ・バドミントン 6 面 ・バスケットボール 2 面・テニス 2 面
	器 具	・卓 球 台 10台 ・トランポリン 2台 ・マット 7枚
(11) 管理運営	スポーツ振興課	
(12) 使 用 料 利用料金	別表 1	
(13) 利用状況 (令和 7 年度)	利用日数 320日 ・利用人員 10,929人	

大-⑬、⑭

(1) 名 称		大館市立城西体育館 (TEL49－4661)		大館市立十二所体育館 (TEL52－3064)	
(2) 所 在 地		大館市根下戸新町6－20		大館市猿間字長漕61－2	
(3) 工 期		昭57.7.13～57.12.20		昭58.7.28～59.2.27	
(4) 開 館		昭57.12.20		昭59.4.1	
(5) 設 計		(株)恒谷汲川建築設計事務所		(株)佐藤士朗建築設計事務所	
(6) 施 工 者		建 築 工 事：(株)大成工務店 電 気 設 備 工 事：大館桂工業(株) 給排水衛生設備工事：大進工機(株)		建 築 工 事：(株)大成工務店 電 気 設 備 工 事：大館桂工業(株) 給排水衛生設備工事：(株)田中工業所 建築用地造成工事：(資)築館組	
(7) 面 積		敷地 2,302.00㎡ 建物 1,716.38㎡		敷地 7,829.08㎡ 建物 2,713㎡	
(8) 建物構造		鉄骨造平家建		鉄骨造平家建	
(9) 総事業費		266,754千円		312,915千円	
		建設費(千円)		財 源(千円)	
		国庫補助金 36,600 地方債 182,000 一般財源 48,154		建設費(千円)	
		県補助金 37,100 地方債 247,700 一般財源 28,115		財 源(千円)	
(10) 施設の概要		建 物		建 物	
		設 備		設 備	
		器 具		器 具	
(11) 管理運営		スポーツ振興課			
(12) 使用料 利用料金		別表1			
(13) 利用状況 (令和7年度)		・利用日数 326日 ・利用人員 20,909人		・利用日数 311日 ・利用人員 6,786人	

別表 1

区 分				金額 (1時間につき)
競技場	アマチュアスポーツに使用する 場合	入場料を徴収しない 場合 (中学生以下は無 料)	全フロア	2 2 0 円
			1 / 2 フロア	1 1 0 円
		入場料を徴収する場合		
	アマチュアスポーツ以外に 使用する 場合	入場料を徴収しない 場合	営利を目的としない場 合	6 6 0 円
			営利を目的とする場合	2 , 7 5 0 円
		入場料を徴収する 場合	営利を目的としない場 合	1 , 4 3 0 円
			営利を目的とする場合	3 , 3 0 0 円
	附属施設設備		会議室 (1 室につき)	
音響装置			3 3 0 円	
照明設備			1 1 0 円	

備考

- この表において「入場料」とは、使用者がいずれの名義であるかを問わず、体育館の入場者から徴収するその入場の対価をいう。
- 使用者が入場料を徴収しない場合であっても、使用者が入場者から会費等を徴収しているとき、又は営業の宣伝その他これに類する目的をもって使用するときは、入場料の徴収する場合の使用料を徴収する。
- 大会、行事等の準備及び後片付けで使用する場合の競技場の使用料の額は、当該使用料の金額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者福祉手帳の交付を受けた者の競技場の使用料の額は、当該使用料の金額に2分の1を乗じた額とする。
- 備考3及び4の規定による使用料の減額は、これを同時に受けることはできない。
- 1時間に満たない時間は、1時間とみなす。
- 電気料、暖房料、ガス料及び電話料については、別途実費を徴収する。
※アリーナストーブ1台につき150円／1時間、ブルーヒーターなど1台につき180円／1時間、ダルマストーブ1台につき90円／1時間

比③、田③

(1) 名 称		大館市立比内体育館 (TEL55－0194)		大館市立田代体育館 グリアス田代 (TEL54－0555)			
(2) 所 在 地		大館市比内町扇田字庚申岱8		大館市早口字岩瀬越6－1			
(3) 工 期		昭58. 8. 23～59. 2. 28		平4. 8. 1～6. 5. 11			
(4) 開 館		昭59. 4. 1		平6. 7. 10			
(5) 設 計		秋田県建築設計事業協同組合		小畑勇建築設計事務所			
(6) 施 工 者		秋田土建(株) (株)伊藤組建設協同企業体		(株)イトウ			
(7) 面 積		敷地 5,507.77㎡ 建物 2,377.50㎡		敷地 3,990.43㎡ 建物 4,298.04㎡			
(8) 建物構造		鉄骨造平家建一部二階建		鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建			
(9) 総事業費		392,142千円		1,354,287千円			
		建設費(千円)		財 源(千円)			
		財 源(千円)		建設費(千円)			
		本体工事費	350,000	町一般財源	260,400	本体工事費	1,015,465
		事 務 費	1,592	雇用促進事業団	89,600	舞台設備工事費	43,260
		設計監理費	11,550	補助金本体分	42,142	付帯設備工事費	32,857
		地質調査費	720			整地工事費	59,999
		備品購入費	27,760		備品購入費	164,689	
		そ の 他	520		設計監理費	35,442	
					事 務 費	2,575	
(10)	施設 の 概 要	体育室 1,045.60㎡、事務室、談話ホール、 男子・女子更衣室、男子・女子便所、 身体障害者専用便所、機械室、器具室、 休養室、表彰台		1階1072.16㎡、アリーナ1,760㎡、 ステージ135.00㎡、ミーティングルーム 30.00㎡、放送室8.648㎡、 トレーニングルーム117.75㎡、 会議室98.91㎡、事務室44.10㎡ 男子・女子更衣室45.52㎡、 男子・女子シャワー室19.98㎡、 救護室14.40㎡、湯沸室10.29㎡、 移動観覧室868席2階1,072.16㎡ 観覧席236.60㎡			
(11) 管理運営		スポーツクラブひない		たしろスポーツクラブ			
(12) 使用料 利用料金		別表2		次頁参照			
(13) 利用状況 (令和7年度)		・利用日数 336日 ・利用人員 31,374人		・利用日数 345日 ・利用人員 26,358人			

田代体育館（グリアス田代）利用料金（1時間当たり）

アリーナ	アマチュアスポーツ 使用する場合	入場料を徴収しない場合		半面220円
				全面440円
	アマチュアスポーツ以外に 使用する場合	入場料を徴収し ない場合	営利目的有	8,570円
			営利目的無	4,280円
		入場料を徴収す る場合	営利目的有	36,670円
			営利目的無	18,340円
会 議 室	アマチュアスポーツに使用する場合			110円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	営利目的有	1,020円	
		営利目的無	510円	
放 送 室	アマチュアスポーツに使用する場合			220円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	営利目的有	1,020円	
		営利目的無	510円	
ミーティング ルーム	アマチュアスポーツに使用する場合			150円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	営利目的有	1,020円	
		営利目的無	510円	
ステージ	アマチュアスポーツに使用する場合			210円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	営利目的有	2,200円	
		営利目的無	1,100円	
トレーニング ルーム	占有使用の場合			510円
	個人使用の場合	1人につき	110円	
ジョギングコース		1人につき	110円	
			ただし、中 学生以下は 無料とする	
移動観覧席	1式1日につき			1,020円



別表2

区分				金額 (1時間につき)
競技場	アマチュアスポーツ に使用する場合	入場料を徴収しない場合 (中学生以下無料)	全フロア	440 円
			1/2フロア	220 円
		入場料を徴収する場合		
	アマチュアスポーツ 以外に使用する場合	入場料を徴収しない場合	営利を目的としない場合	850 円
			営利を目的とする場合	3,080 円
		入場料を徴収する場合	営利を目的としない場合	1,760 円
			営利を目的とする場合	4,200 円
	付属施設 設備	会議室 (1室につき)		
音響装置			330 円	
照明設備		全フロア		400 円
		1/2フロア		200 円
ダルマストーブ (1台につき)			110 円	
ジェットストーブ (1台につき)			220 円	
ブルーヒーター (1台につき)			220 円	

大ー⑮

タクミアリーナ「大館市樹海体育館」

広く市民がスポーツを通じて心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に寄与する目的をもって、平成17年7月に開設され、平成19年には第62回国民体育大会成年男女6人制バレーボール競技会場として使用された。また、平成29年4月にネーミングライツ(命名権)を導入し「タクミアリーナ」と愛称が付けられた。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 名 称 | 大館市樹海体育館 (TEL43-7136・FAX48-7281) |
| (2) 所 在 地 | 大館市上代野字八幡岱29-4 (樹海ドーム隣) |
| (3) 工 期 | 平14.10.3～17.6.7 |
| (4) 開 館 | 平17.7.1 |
| (5) 設 計 | (株)石本建築事務所 |
| (6) 施 工 者 | 建 築 工 事：竹中・若築・イトウ 共同企業体
電 気 工 事：ユアテック・奥羽電気 共同企業体
機械設備工事：三晃・興盛・大館桂 共同企業体 |
| (7) 面 積 | 敷地 20,484.65㎡ 延床面積8,355.04㎡ |
| (8) 建 物 構 造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造・木造) 二階建 |
| (9) 総 事 業 費 | 3,958,103千円 (建築工事費 2,464,000千円、機械設備費 557,000千円、電気設備費 355,000千円、外 582,103千円)
財源内訳(国庫補助金 1,473,000千円、地方債 1,974,100千円、都道府県補助金 200,000千円、市町村振興資金 207,500千円、一般財源 103,503千円) |
| (10) 施設の概要 | 〈建 物〉メインアリーナ2,394㎡、サブアリーナ660㎡、観覧席 (1,600人)、事務室、会議室、研修室、放送室、幼児室、役員室、選手控室、救護室、更衣室・シャワー室
〈設 備〉放送音響設備一式、競技場照明設備、全館冷暖房設備、可動式観客席(500人) |
| (11) 管 理 運 営 | 指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団
ネーミングライツ パートナー：株式会社 タクミ電機工業 |
| (12) 収 容 人 員 | 2,100人 ・ 常設観覧席 1,600人 ・ 可動式観客席 500人 |



(13) 利用料金（1時間につき）

《メインアリーナ》

(単位：円)

区 分			使用料	区 分			使用料
アマチュア ス ポ ー ツ	入場料無	全 フ ロ ア	1,650円	照明設備	全 点 灯	全 フ ロ ア	5,500円
		2 / 3フロア	1,100円		2 / 3 点 灯	全 フ ロ ア	3,960円
		1 / 3フロア	550円			2 / 3フロア	2,640円
	入場料有	全 フ ロ ア	9,350円			1 / 3フロア	1,320円
アマチュア ス ポ ー ツ 以 外	入場料無	営利目的無	4,950円		1 / 2 点 灯	全 フ ロ ア	2,310円
		営利目的有	9,900円			2 / 3フロア	1,540円
	入場料有	営利目的無	19,800円			1 / 3フロア	770円
		営利目的有	39,600円		1 / 3 点 灯	全 フ ロ ア	1,650円
暖房設備		3,300円	2 / 3フロア			1,100円	
			1 / 3フロア			550円	
			冷房設備		3,630円	1 / 5 点 灯	全 フ ロ ア
2 / 3フロア	880円						
1 / 3フロア	440円						

《サブアリーナ》

アマチュア ス ポ ー ツ	入場料無		550円	暖房設備			1,100円
	入場料有		3,080円	冷房設備			1,210円
アマチュア ス ポ ー ツ 以 外	入 場 料 無	営利目的無	1,540円	照 明 設 備	全 点 灯	全 フ ロ ア	1,320円
		営利目的有	3,080円		1 / 2 点 灯		550円
	入 場 料 有	営利目的無	6,600円		1 / 3 点 灯		440円
		営利目的有	13,200円				

《研修室・会議室》

アマチュアスポーツ			270円	暖房設備		220円
上記以外	営利目的無		550円	冷房設備		220円
	営利目的有		1,100円			

《その他》

ジョギングコース	1人につき	110円
----------	-------	------

《設備料金表》

音 響 設 備（1式／時間）	330円	シャワー（1人）	110円
移動観覧席（1式／日）	1,100円	電光掲示板（1組／日）	550円
フロアシート（1枚／日）	110円		

(14) 利用状況（令和7年度） ・利用人員79,440人 ・利用日数 331日

大-①⑥

大館市花岡総合スポーツ公園

- (1) 名 称 大館市花岡総合スポーツ公園
 (2) 所 在 地 大館市花岡町字アセ石33番地他
 (3) 工 期 平成29年6月～
 (4) 開 館 平成29年7月15日
 (5) 設 計 株式会社昭建築設計室
 (6) 施 工 者 機械設備工事：株式会社巽工業
 電気設備工事：有限会社寺田電気工事
 建 設 工 事 ：株式会社大成工務店
 (7) 面 積 敷地 61,552㎡ (内プール施設 1,980㎡)
 (8) 総 事 業 費

○多目的プール改修費

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
機械設備工事	21,866	合併特例債	39,300
電気設備工事	4,327	一 般 財 源	11,018
建 築 工 事	24,125		
計	50,318	計	50,318

○体育館・武道場改修費

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
機械設備工事	12,284	過 疎 債	70,500
電気設備工事	44,300	一 般 財 源	3,937
建 築 工 事	17,853		
計	74,437	計	74,437

①多目的プール

○施設の概要

プール水槽 33.0m×25.0m (プールフロア設置箇所 5.0m×25.0m)

水 深 1.4m～1.6m (プールフロア設置箇所 1.0m)

管 理 棟 管理室、男子更衣室、男子トイレ (大1、小3)、シャワーブース1基
 女子更衣室、女子トイレ (大2)、シャワーブース1基、機械室

そ の 他 シャワーユニット1基、洗顔台2基

○使 用 料 高校生110円、一般220円 (1回につき)

○利 用 状 況 (令和7年度) ・利用日数 96日・利用人数 1,954人

②多目的運動広場

○施設の概要 野球場、陸上競技場、サッカー場

○使 用 料 無 料

○利 用 状 況 (令和7年度) ・利用日数 59日・利用人数 924人

③多目的室内運動場

- 施 設 の 概 要 野球の練習に最適
- 使 用 料 高校生110円、一般220円、照明設備110円（1時間につき）
- 利 用 状 況 （令和7年度） ・利用日数269日・利用人数4,125人

④体育館

- 使 用 期 間 4月1日～3月31日
- 使 用 時 間 午前9時から午後10時まで
- 使 用 料

区 分				1 時間当たり	
競 技 場	アマチュアスポーツに使用する場合	入 場 無		全 フ ロ ア	220円
				1 / 2 フ ロ ア	110円
		入 場 有			440円
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	入 場 無	営利を目的とする		2,750円
			営利を目的としない		660円
		入 場 有	営利を目的とする		3,300円
営利を目的としない			1,430円		
附 属 施 設 備	音 響 装 置			330円	
	照 明 設 備			110円	

備考

1. この表において「入場料」とは、使用者がいずれの名義であるかを問わず、体育館の入場者から徴収するその入場の対価をいう。
2. 使用者が入場料を徴収しない場合であっても、使用者が入場者から会費等を徴収しているとき、または営業の宣伝その他これに類する目的をもって使用するとき、入場料の徴収する場合の使用料を徴収する。
3. 大会、行事等の準備及び後片付けで使用する場合の競技場の使用料の額は、当該使用料の金額に2分の1を乗じて得た額とする。
4. 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けた者の競技場の使用料の額は、当該使用料の金額に2分の1を乗じた額とする。
5. 備考3及び4の規定による使用料の減額は、これを同時に受けることはできない。
6. 1時間に満たない時間は、1時間とみなして計算するものとする。
7. 電気料、暖房料及び電話料については、別途実費を徴収する。
 ※アリーナストーブ1台につき200円／1時間、ブルーヒーターなど1台につき180円／1時間、ダルマストーブ1台につき90円／1時間

○ 施 設 の 概 要

競 技 場 バスケット2面、バレーボール2面、ソフトテニス1面、
バトミントン4面、LED照明設備（22基）、暖房設備（4台）

付 帯 施 設 管理事務室、男子更衣室、男子トイレ（大2、小2）、女子更衣室、
女子トイレ（大4）

- 利 用 状 況 （令和7年度） ・利用日数352日・利用人数12,552人

⑤武道場

- 使 用 期 間 4月1日～3月31日
- 使 用 時 間 午前9時から午後10時まで
- 使 用 料 無料
- 施 設 の 概 要 柔道場（畳）、剣道場（フローリング）、男女更衣室、トイレ（大1、小1）
- 利 用 状 況 （令和7年度） ・利用日数116日・利用人数1,038人

2 教育・文化施設

大ー⑰ ほくしか鹿鳴ホール「市民文化会館」

昭和57年の開館以来、芸術文化を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献することを目指してきた大館市民文化会館は、平成31年度にネーミングライツ（命名権）を導入し、「ほくしか鹿鳴ホール」と愛称が付けられた。多彩で良質な鑑賞機会と参加機会の提供、子どもたちへの積極的な働きかけにより、文化芸術の普及と振興、次世代の文化の担い手育成に努める。

- (1) 名 称 **大館市民文化会館** (TEL49-7066・FAX49-7069)
- (2) 所 在 地 大館市字桜町南45-1
- (3) 工 期 昭55. 9. 24～57. 2. 25
- (4) 開 館 昭57. 6. 27
- (5) 設 計 (株)佐藤武夫設計事務所
- (6) 施 工 者 建 築 工 事：(株)間組・丸山建設(株)建設共同企業体
空 調 設 備 工 事：大阪電気暖房(株)・大館桂工業(株)建設共同企業体
電 気 設 備 工 事：(株)岡野・東北電気工事(株)建設共同企業体
給排水衛生設備工事：大進工機(株) 舞台機構設備工事：三精輸送機(株)
舞台照明設備工事：丸茂電気(株) 舞台音響設備工事：日本ビクター(株)
客席椅子設備工事：(株)間組 電波障害解消工事：東北電気工事(株)
- (7) 面 積 敷地 18,357㎡ 建物 5,074.8㎡ 建物延べ面積 6,381.7㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地下1階、地上3階、塔屋1階
- (9) 総事業費 2,424,218千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	1,745,600	国 庫 補 助 金	85,000
舞台等特殊工費費	363,700	県 補 助 金	85,000
外 構 工 事	104,700	基 金 繰 入 金	1,045,000
そ の 他	210,218	地 方 債	1,194,500
		一 般 財 源	14,718
計	2,424,218	計	2,424,218

(10) 施設の概要

- ① 大ホール
- ・収容人員 1,198人（ほかに車椅子用スペース 4、母子席 4）
 - ・舞 台 間口18m、奥行16.5m、高さ8.5m
 - ・吊 物 どん帳 1、変型絞りどん帳 1、音響反射板一式、その他吊物一式
 - ・そ の 他 花道、オーケストラピット、楽屋 3、ホワイエ、ピアノ 2
- ② 中ホール
- ・収容人員 414人（ほかに車椅子用スペース 2）
 - ・舞 台 間口9m、奥行9m、高さ5m
 - ・吊 物 どん帳 1、変型絞りどん帳 1、音響反射板一式、その他吊物一式
 - ・そ の 他 楽屋 2、ホワイエ、ピアノ 1

- ③ 会 議 室
- ・第1会議室 65㎡（洋室） ・第2会議室 30畳（和室）

- ④ 展 示 室 215㎡（スライディングウォール式）
- ・固定壁面 60m ・パネル壁面 82m

- ⑤ そ の 他 練習室 3、リハーサル室 1、シャワー室 1、エントランスホール、ピアノ 1、駐車場 215台収容、クーリングタワー、前庭、中庭、機械諸室、事務室ほか

- (11) 管理運営
- 指定管理者：一般財団法人 大館市文教振興事業団
ネーミングライツ・パートナー：株式会社 北鹿

(12) 職 員 館長、職員4人

(13) 基本利用料金（消費税込）（令和8年4月1日改正）

区 分			午 前	午 後	夜 間	全 日
			午前9時～ 午後0時30分	午後1時30分 ～午後5時	午後6時～ 午後9時30分	午前9時～ 午後9時30分
大 ホ ー ル	ホール	平 日	13,590円	18,520円	23,460円	50,620円
		土・日・祝日	17,290	23,460	28,400	62,960
	楽 屋 事 務 室		500	500	500	1,490
	第 1 楽 屋		870	870	870	2,600
	第 2 楽 屋		1,120	1,120	1,120	3,340
	第 3 楽 屋		1,120	1,120	1,120	3,340
	主 催 者 控 室		630	630	630	1,860
	シ ャ ワ ー 室		1,250	1,250	1,250	3,710
中 ホ ー ル	ホール	平 日	3,710	6,180	7,420	14,820
		土・日・祝日	4,940	7,420	8,650	19,760
	楽 屋 事 務 室		500	500	500	1,490
	第 4 楽 屋		870	870	870	2,600
	第 5 楽 屋		990	990	990	2,970
第 1 会 議 室（ 洋 室 ）			1,120	1,490	1,860	3,710
第 2 会 議 室（ 和 室 ）			1,490	1,980	2,480	4,940
第 1 練 習 室			630	870	1,120	2,360
第 2 練 習 室			630	870	1,120	2,360
第 3 練 習 室			750	990	1,250	2,480
リ ハ ー サ ル 室			1,120	1,490	1,860	3,710
展 示 室			1,490	1,980	2,480	4,940

〈備 考〉

- ① 午前及び午後、または午後及び夜間を引き続き使用する場合は、それぞれの区分の基本利用料金を加算した利用料金。
- ② 冷暖房料は、基本利用料金の6割6分の利用料金。
- ③ 仕込み、練習のため、ホールの舞台のみを使用する場合は、基本利用料金の5割の利用料金。

- ④ 使用者が入場料等を徴収する場合は、当該基本利用料金に次の区分に掲げる割増額を加算した利用料金。ただし、使用者が市内の学校、または市長が適当と認める市内の芸術文化団体で、営利を目的としない使用であると認められる場合は、割増額を加算しないことができる。(入場料等が2種類以上の場合は、最高の額を基準として算定する。)

入 場 料 等 の 額	割 増 額
(ア) 500円以上1,000円未満	5 割
(イ) 1,000円以上2,000円未満	8 割
(ウ) 2,000円以上	10 割
(エ) 徴収しないが、営利を目的としての使用の場合	10 割

- ⑤ 延長または繰り上げの場合は、次の区分による利用料金に3割を乗じて算定した利用料金

延 長 また は 繰 り 上 げ 区 分	使用料の区分 (冷暖房料を含む)
午前8時～午前9時までの使用	午前の利用料金
午後0時30分～午後1時30分までの使用	午後の利用料金
午後5時～午後6時の使用	夜間の利用料金
午後9時30分～午後10時30分までの使用	〃

(14) 利用状況 (令和7年度)

室 名	利用可能日数	利用日数	利用率	延べ利用人数
大 ホ ー ル	285	125	43.86%	38,228
中 ホ ー ル	287	92	32.06%	11,931
第 1 会 議 室	302	66	21.85%	796
第 2 会 議 室	302	40	13.24%	833
第 1 練 習 室	302	115	38.08%	1,492
第 2 練 習 室	302	174	57.62%	2,250
第 3 練 習 室	302	78	25.83%	1,815
リ ハ ー サ ル 室	302	133	44.04%	2,641
展 示 室	302	191	63.25%	13,273
全 館	2,686	1,014	37.75%	73,259

※利用率=小数点3位以下四捨五入

大-⑱

大館市民交流センター

- (1) 名 称 **大館市民交流センター** (TEL49-7028)
- (2) 所 在 地 大館市根下戸新町6-13
- (3) 工 期 昭56. 8. 13~57. 3. 15
- (4) 開 館 昭57. 4. 1
- (5) 設 計 (株)恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施 工 者 本 体 工 事 : (株)伊藤組
電 気 設 備 工 事 : 東北電気工事(株)
給排水衛生設備工事 : 大進工機(株)
- (7) 敷地面積 1,651.0m²
- (8) 建物面積 866.55m² (1階 440.85m²、2階 425.70m²)
- (9) 建物構造 鉄筋コンクリート2階建
- (10) 総事業費 173,050千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	108,200	国 庫 補 助 金	30,000
電 気 設 備 工 費 費	11,650	県 補 助 金	30,000
給排水設備工費費	41,310	地 方 債	98,000
附 帯 工 事 費	3,838	一 般 財 源	15,050
そ の 他 工 事 費	150		
委 託 料	6,513		
その他事務費等	1,389		
計	173,050	計	173,050

- (11) 施設の概要
 〈1 階〉 収容人員 270人
 休憩室、第3研修室、調理室、木育ひろば、木のぬくもりホールるるる、
 談話コーナー、図書コーナー、事務室、倉庫ほか
 〈2 階〉 第1研修室、第2研修室(和室)、会議室、多目的室、茶室ほか
- (12) 管理運営 大館市教育委員会(大館市民交流センター 会計年度任用職員4人)
- (13) 開館時間 月~金曜日…午前9時~午後9時、土曜日…午前9時~午後5時
- (14) 休館日 日曜日、祝日、12月29日~1月3日
- (15) 使用料 無 料
- (16) 利用状況 (令和7年度)
- ・利用件数 2,141件 (うち木育ひろば 492件)
 - ・利用人数 10,756人 (うち木育ひろば1,324人)
 - ・サークル数 35サークル
 - ・サークル会員数 283人

大-⑱

中 央 公 民 館

- (1) 名 称 **大館市立中央公民館** (TEL42-4369)
 (2) 所 在 地 大館市字桜町南45-1
 (3) 工 期 昭60. 6. 22~61. 1. 27
 (4) 竣 工 昭61. 1. 29
 (5) 設 計 (株)恒谷汲川建築設計事務所
 (6) 施 工 者 建 物 工 事：(株)伊藤組・ダイユウハウス(株)建設共同企業体
 電 気 設 備 工 事：秋北電設協業組合
 衛生冷房設備工事：古家燃料(株)
 (7) 面 積 敷地 16,648㎡ (ほくしか鹿鳴ホール (文化会館) 敷地も含む) 建物 2,793.50㎡
 (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
 (9) 総事業費 627,223千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
建 物 工 事 費	422,000	国 庫 補 助 金	96,000
衛 生 設 備 工 事 費	17,900	県 補 助 金	32,000
冷 暖 房 設 備 工 事 費	48,000	地 方 債	322,000
電 気 設 備 工 事 費	63,000	一 般 財 源	177,223
その他附帯工事費	76,323		
計	627,223	計	627,223

- (10) 施設の概要 1階 1,502㎡…第1研修室 81㎡、第2研修室 81㎡、児童室 81㎡、
 展示室 244㎡、美術工作室 90㎡、調理室 90㎡、
 市民ホールほか 835㎡
 2階 1,292㎡…第3研修室 83㎡、第4研修室 83㎡、第5研修室 46㎡、
 第6研修室 52㎡、視聴覚ホール 405㎡、
 視聴覚製作室 135㎡、視聴覚準備室 40㎡、
 視聴覚ホール前室 43㎡、その他 405㎡

<旧サン・アビリティーズ大館 (大館勤労身体障害者教養文化体育館施設) >

- (11) 工 期 昭60. 2. 28~60. 11. 10
 (12) 開 館 昭60. 11. 15
 (13) 設 計 小畑勇設計事務所
 (14) 施 工 者 丸山建設(株)・(株)伊藤組建設共同企業体
 (15) 面 積 建物 1,640.45㎡
 (16) 建物構造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平家建
 (17) 総事業費 357,129千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	280,000	雇用促進事業団補助金	280,000
附 帯 工 事 費	32,230	一 般 財 源	77,129
用 地 費	28,400		
そ の 他	16,499		
計	357,129	計	357,129

- (18) 施設の概要 多目的室 62㎡、音楽室 44㎡、教養文化室 81㎡、体育室 792㎡、その他
 ※ 平成15年度に雇用・能力開発機構から本市に譲渡されたことにより、中央公民館
 の施設として統合した。
 (19) 開館時間 午前9時~午後9時30分
 (20) 休館日 第3月曜日 (祝日に当たるときは翌平日)、12月29日~1月3日

(21) 利用状況利用状況（令和7年度）

- ・利用件数 6,691件 ・利用人員 75,952人（うち身体障害者 528人）
- ・サークル数 137団体 1,764人

大-20

あやめ苑

あやめ苑は釈迦内鉾山(株)の鉾山クラブであった施設で、同社から生涯学習に役立ててほしいと大館市に無償譲渡されたため、釈迦内公民館敷地内に移築復元したものである。内部には水屋があるため茶道の教室に利用でき、また釈迦内鉾山の資料も常設展示されているため鉾山の概要も学習できるようになっており、釈迦内公民館及びふれあい広場と合わせ、釈迦内地区はもとより全市民の生涯学習の場となっている。

- (1) 名称 **大館市立あやめ苑**（TEL43-7117）
- (2) 所在地 大館市釈迦内字上大留6（釈迦内公民館敷地内）
- (3) 工期 平4.3.7～4.3.30（解体工事）
平4.7.31～5.2.19（復元工事）
- (4) 開設 平5.4.1
- (5) 設計 大館市（都市開発課）
- (6) 施工者 解体工事：沓澤建設株式会社 復元工事：沓澤建設株式会社
- (7) 面積 建物 208.96㎡
- (8) 建物構造 木造平家建銅板葺
- (9) 事業費 46,071千円（解体工事費 5,798千円、復元工事費 40,273千円）
- (10) 施設の概要 和室5室（8畳1室、11.5畳1室、6畳2室、5畳1室）、洋室 21.53㎡、
鉾山資料室 16.56㎡、水屋、台所、納戸
- (11) 管理運営 大館市教育委員会（釈迦内公民館）
- (12) 利用時間 午前9時～午後9時
- (13) 休館日 祝日、年末年始
- (14) 利用料金

区 分	使 用 料
和 室	1室1時間につき110円
会議室	1時間につき110円
暖房料及び燃料費は、実費負担	

（市長が特別の理由があると認めるとき使用料を減免することができる）

(15) 利用状況（令和7年度）

- ・利用件数 20件
- ・利用人員126人

大-②①

大館市北地区コミュニティセンター

大館市北地区コミュニティセンターは、教養・文化・研修並びにスポーツ等の活動の場を提供することにより、市民の福祉の増進を図ることを目的に設置。

- (1) 名 称 **大館市北地区コミュニティセンター** (TEL45-0515・FAX45-0530)
- (2) 所 在 地 大館市有浦一丁目8-15
- (3) 開 設 平9.12.1
- (4) 面 積 敷地 6,632.98㎡
本館 (旧サンクレア大館部分) 建築 1,182.5㎡ 延床面積1092.5㎡
別館 (旧職訓センター部分) 延床面積 966.37㎡
- (5) 構 造 本館 (旧サンクレア大館部分) 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平家建
別館 (旧職訓センター部分) 鉄筋コンクリート造2階建
- (6) 施設の概要
本館 (旧サンクレア大館部分)
多目的ホール 240.00㎡、
和 室(水屋有) 56.025㎡(20畳) 24人収容、
創作実習室 90.00㎡ 30人収容、音楽室 56.00㎡ 20人収容、
研修室 86.40㎡ 44人収容、会議室 60.00㎡ 24人収容、調理室 39.30㎡ 12人収容
談話コーナー 42.00㎡ 全館冷暖房完備 駐車場30台
別館 (旧職訓センター部分1階)
玄関 19.64㎡、ホール・ロビー 111.20㎡、事務室 27.03㎡、
教官室 23.02㎡、機械室 23.20㎡、湯沸室 6.20㎡、有浦児童館分館 269.21㎡
別館 (旧職訓センター部分2階)
ホール 135.24㎡、多目的室 205.44㎡ 90人収容(椅子のみ120人)、
小会議室 26.35㎡ 10人収容、中会議室 51.700㎡ 21人収容、
倉庫 30.17㎡、湯沸室 30.17㎡、全館冷暖房完備 駐車場70台
- (7) 工 事 費
本館 (旧サンクレア大館部分)
建物工事 357,000,000円 (雇用促進事業団)
外溝工事 19,040,000円 (大館市)
別館 (旧職訓センター部分)
建物工事 270,890,000円 (雇用促進事業団)
外溝工事 25,045,480円 (大館市)
- (8) 管 理 運 営 指定管理者：株式会社 やたて

(9) 利用料金

室 名	室 料 (1時間につき)	冷暖房料 (1時間につき)
多 目 的 ホール	個人 110円	120円
	専用 330円	
会 議 室 研 修 室 創 作 実 習 室 音 楽 室 和 理 室 調 理 室	170円	
小 会 議 室 中 会 議 室	220円	
多 目 的 室	550円	240円

備考 ① 1時間に満たないときは、1時間とみなす。

② 営利を目的として使用する場合は、各室1時間につき各施設利用料金の5倍の額とする。

(10) 器具使用料

施 設 設 備 名	単 位	金 額
ピ ア ノ	1 時間	220円
プ ロ ジ ェ ク タ ー	1 時間	220円
放 送 機 材	1 時間	220円
フ ロ ア シ ー ト	1 回	550円
七 宝 電 気 炉	1 回	110円
電 磁 調 理 器	1 時間	60円
ガ ス コ ン ロ	1 時間	170円

備考 1時間に満たないときは、1時間とみなす。

(11) 開館時間 午前9時～午後9時

(12) 休館日 12月29日～翌年1月3日

上記のほか、臨時に休館する場合がある。

(13) 利用状況 (令和7年度)

・利用件数 2,246件 ・利用人員 64,884人
(うち別館 ・利用件数 252件 ・利用人員 16,745人)

大-②

栗 盛 記 念 図 書 館

- (1) 名 称 **大館市立栗盛記念図書館** (TEL42-2525・FAX42-3329)
- (2) 所 在 地 大館市字谷地町13
- (3) 工 期 昭57. 7. 22~58. 3. 25、(増築 平28. 8. 22~29. 3. 24)
- (4) 開 館 昭58. 9. 1
- (5) 設 計 (株)佐藤武夫設計事務所、(増築 (株)恒谷汲川建築設計事務所)
- (6) 施 工 者 建 物 工 事 : (株)大成工務店、(増築 丸山建設(株))
電 気 設 備 工 事 : 東北電気工事(株)、(増築 奥羽電気設備(株))
給排水衛生設備工事 : 大滝施設工業(株)
機 械 設 備 工 事 : (増築 アンゼン設備(株))
- (7) 面 積 敷地 4,426.78㎡ 建物 1,249.97㎡ 延床 2,242.58㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造3階建、地下1階
- (9) 総事業費 476,078千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	324,000	国 庫 補 助 金	75,000
電 気 設 備 工 事 費	59,000	県 補 助 金	22,000
給排水機械設備工事費	63,795	地 方 債	320,000
委 託 料	23,855	一 般 財 源	59,078
樹 木 移 転 工 事 費	3,063		
備 品 、 事 務 費	2,365		
計	476,078	計	476,078

増築 (松下村塾解体・新築工事含む) 187,977千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	103,680	地 方 債	152,000
電 気 設 備 工 事 費	11,880	一 般 財 源	35,977
機 械 設 備 工 事 費	25,726		
委 託 料	9,058		
そ の 他 経 費	37,633		
計	187,977	計	187,977

- (10) 施設の概要
- 1階……児童図書室 271.21㎡、成人図書室 381.90㎡、談話コーナー 79.24㎡、
移動図書館室 114.52㎡、多目的室 144.89㎡、先人コーナー 43.47㎡
その他 157.04㎡
- 2階……資料室 113.57㎡、参考図書館室 76.65㎡、会議室 40.75㎡、
視聴覚・録音室 57.79㎡、事務室 70.66㎡、資料保管室 51.75㎡、
閉架書庫 226.56㎡、その他 239.08㎡
- 3階……機械室 127.87㎡
- 地下……機械室 45.63㎡
- (11) 開館時間 午前9時30分~午後7時 (火曜日~金曜日)
午前9時30分~午後5時 (土・日・祝日)
- (12) 休館日 月曜日・年末年始・蔵書点検期間 (10月上旬)

大-②

松 下 村 塾

大館市松下村塾は、昭和59年に財団法人大館鳳鳴高等学校振興会により北神明町に竣工。当時の振興会顧問である竹村吉右衛門氏が、郷里から立派な教育者や、大きな志を持って世界に羽ばたく青少年を輩出したという願いから、自ら企画し私財を投じたもので、全国に7棟ある模築のうち4番目に完成。

その後、平成26年に松下村塾は財団法人大館鳳鳴高等学校振興会より大館市へ寄贈され、平成29年に竹村吉右衛門氏の志を受け継ぎつつ、学習の場として利用することを目的に、図書館敷地内に移設。

- | | |
|------------|---|
| (1) 名 称 | 大館市松下村塾（栗盛記念図書館 TEL42-2525・FAX42-3329） |
| (2) 所 在 地 | 大館市字谷地町12 |
| (3) 工 期 | 平28. 8. 22～29. 3. 24 |
| (4) 開 館 | 平29. 4. 4 |
| (5) 設 計 | (株)恒谷汲川建築設計事務所 |
| (6) 施 工 者 | 建 物 工 事：丸山建設(株)
電 気 設 備 工 事：奥羽電気設備(株)
機 械 設 備 工 事：アンゼン設備(株) |
| (7) 面 積 | 建物 60.29㎡ 延床 45.31㎡ |
| (8) 建物構造 | 木造平家建 |
| (9) 総事業費 | 15,414千円 |
| (10) 施設の概要 | 和室18.5帖、土間、押入れ、屋根裏部屋収納 |
| (11) 開館時間 | 午前9時～午後5時 |
| (12) 休 館 日 | 月曜日・年末年始・蔵書点検期間（10月上旬） |
| (13) 利用状況 | （令和7年度）
・利用件数 49件 ・利用人員 353人 |



大―②③

花 矢 図 書 館

- (1) 名 称 **大館市立花矢図書館** (TEL・FAX46―1557)
 (2) 所 在 地 大館市花岡町字前田162番地3
 (3) 面 積 敷地 1,575.3m² 床面積 154.9m²
 (4) 建 物 構 造 木造カラー鉄板葺平家建
 (5) 施設の概要 一般図書室、児童コーナー、参考図書コーナー、図書事務室
 (6) 開 館 時 間 午前9時～午後7時 (火曜日～金曜日)、午前9時～午後5時 (土・日曜日)
 (7) 休 館 日 月曜日・祝日・年末年始

田―④

田 代 図 書 館

- (1) 名 称 **大館市立田代図書館** (TEL43―7127)
 (2) 所 在 地 大館市字早口字上野34-1
 (3) 工 期 昭54. 6. 26～54. 12. 20
 (4) 開 館 昭55. 1
 (5) 設 計 小畑勇設計事務所
 (6) 施 工 者 建 物 工 事：(株)伊藤組
 衛生暖房設備工事：大館桂工業(株)
 電 気 設 備 工 事：(資)小畑電気商会
 (7) 建築延面積 720.74m²
 (8) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造地上3階、地下1階
 (9) 総 事 業 費 120,605千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	86,500	国 庫 補 助 金	21,000
衛生暖房設備工事費	11,700	地 方 債	68,000
電 気 設 備 工 事 費	8,000	一 般 財 源	31,605
附 帯 工 事 費	4,428		
設 計 管 理 費	3,985		
調 度 備 品 費	5,392		
事 務 費	600		
計	120,605	計	120,605

- (10) 施設の概要 1 階……事務室 29.413m²、児童閲覧室 40.788m²、
 幼児コーナー 14.788m²、玄関・ホール 44.125m²
 1・2階……便所・手洗 41.950m²
 2 階……一般閲覧室 141.593m²
 3 階……視聴覚室 75.075m²、研修室 61.255m²、物置 15.000m²
 廊下 12.500m²、
 地 下……書庫 149.375m²
 全館階段踊り場……94.878m²
 (11) 開 館 時 間 午前9時～午後7時 (火曜日～金曜日)
 午前9時～午後5時 (土・日曜日)
 (12) 休 館 日 月曜日・祝日・年末年始

大-②④、②⑤、②⑥ 児 童 セ ン タ ー

児童の健康増進及び情操を豊かにするため、運動に親しむ習慣の形成並びに地域との交流のため、留守家庭児童等を対象とする放課後児童クラブを推進するために設置。

(1) 名 称	大館市桂城児童センター (TEL49-4708)	大館市釈迦内児童センター (TEL48-4486)	大館市城西児童センター (TEL43-6153)
(2) 所 在 地	大館市水門町1-5	大館市釈迦内字相染台24	大館市城西町8-1
(3) 工 期	昭56. 8. 3～56.11.30	昭62. 9. 8～63. 2. 24	平14. 9. 19～15. 7. 25
(4) 開 館	昭56.12. 1	昭63. 4. 1	平15. 8. 1
(5) 設 計	(有)佐藤士郎建築設計事務所	(有)時代建築設計事務所	アーキテクト・21設計共同企業体
(6) 施 工 者	建 物 工 事：中央建設(株) 電気設備工事： 奥羽電気設備(株) 給排水衛生設備工事： 堺谷施設(株)	建 物 工 事：片岡・殿村JV (JV=特定建設工事共同企業体) 電気設備工事： (有)狩野電気工業所 機械設備工事：(有)多賀谷鉄工	建 物 工 事：丸山・大成・工藤JV 電気設備工事：大館桂・羽後・桂JV 給排水衛生設備工事：古家燃料・アンゼンJV 暖冷房設備工事：大館桂・巽JV 受変電設備：奥羽電気設備株式会社
(7) 面 積	敷地 989㎡ 建物 500㎡	敷地 5,742㎡ 建物 397㎡	敷地21,509㎡ 建物 407㎡
(8) 建 物 構 造	鉄骨平家建	鉄骨・ブロック造平家建	鉄筋コンクリート造
(9) 総 事 業 費	60,308千円	52,155千円	109,421千円
	建 設 費	本体工事費 49,880 給排水設備工事費 6,710 給排水衛生設備工事費 2,540 外構工事費 1,178	建物工事費 74,932 給排水衛生設備工事費 4,723 暖冷房設備工事費 9,135 電気設備工事費 10,142 受変電設備工事費 2,152 設備整備費・その他 8,337
	財 源	国庫補助金 9,740 県補助金 9,740 一般財源 40,828	国庫補助金 20,790 県補助金 20,790 地方債 50,400 一般財源 17,441
(10) 施設の概要	遊戯室 180㎡、集会室 81㎡、 図書室 67㎡、事務室 23㎡、 休憩室 16㎡、湯沸室 9㎡、 器具庫ほか 124㎡	遊 戯 室 182㎡、 集 会 室 66.5㎡、 図 書 室 31.5㎡、 事 務 室 27㎡、 器具庫ほか 90㎡	児童クラブ室 46㎡、遊戯室 137㎡、図書室 14㎡、職員 室 21㎡、子育て支援相談室 6㎡、地域交流スペース 16 ㎡、創作活動室 33㎡、集会 室 34㎡
(11) 管 理 運 営	大館市教育委員会 (生涯学習課)		
(12) 収 容 人 員	70人	70人	70人
(13) 利 用 状 況 (令和7年度)	児童育成クラブ 15,781人 体力増進クラブ 794人 書道・体操サークル等 1,472人	児童育成クラブ 11,457人 体力増進クラブ 750人	児童育成クラブ 15,010人 体力増進クラブ 1,699人 ユニカールサークル 976人

大―②⑦、②⑧、②⑨

児 童 会 館

留守家庭児童等を対象とする放課後児童クラブを推進するために設置。

(1)名 称		大館市有浦児童会館 (TEL49－4420)		大館市有浦児童会館分館(TEL42－3131)	
(2)所 在 地		大館市有浦 4丁目 6－4 3		大館市有浦 1丁目 8－3 3	
(3)開 館		平19. 11. 1		平24. 3. 21	
(4)面 積		敷地 1,432㎡ 建物 350.93㎡		敷地 269.21㎡ 建物 269.21㎡	
(5)建 物 構 造		鉄骨造一部木造		鉄筋コンクリート 2階建 1階部分の一部	
(6)施設の概要		遊戯室180.34㎡ 集いの広場57.96㎡ 事務室 16.56㎡		集会室(1) 123.30㎡ 集会室(2) 54.49㎡ 事務室 20.98㎡	
(7)管 理 運 営		大館市教育委員会 (生涯学習課)			
(8)収 容 人 員		70人		70人	
(9)利用状況・令和7年度	区 分	児童育成クラブ (月～土)	一般利用	児童育成クラブ (月～土)	市主催事業
	指 導 者	4人	－	4人	－
	登録者数	80人	－	75人	－
	開 催 数	287回	399回	301回	－
	利用者数	13,209人	2,416人	10,987人	－
	備 考		遊戯室の貸館		

(1)名 称		大館市城南児童会館(TEL42－8719)		
(2)所 在 地		大館市字桜町 7－2		
(3)開 館		平11. 4. 1 (平24. 3. 5改修)		
(4)面 積		敷地 1,470.12㎡ 建物 236.73㎡		
(5)建 物 構 造		木造平家建		
(6)施設の概要		集会室(1) 17.66㎡ 集会室(2) 111.79㎡ 事務室 10.97㎡ 図書室 14.90㎡		
(7)管 理 運 営		大館市教育委員会 (生涯学習課)		
(8)収 容 人 員		70人		
(9)利用状況・令和7年度	区 分	児童育成クラブ (月～土)	市主催事業	
	指 導 者	4人	－	
	登録者数	46人	－	
	開 催 数	289回	－	
	利用者数	7,916人	－	
備 考				

大館市有浦児童会館



大館市有浦児童会館

大-③

大 館 郷 土 博 物 館

大館の自然環境の中で先人たちがいかに歩んできたかを、自然・産業・歴史・民俗・美術工芸の分野から紹介するとともに、そこから生まれ育まれてきた風土・文化を多くの皆さんに伝え、郷土を理解していただくため、平成8年4月25日に開館した。平成9年には子どもたちの科学への興味を育む施設として「こども科学室」を開設した。同時に大館少年少女発明クラブを博物館活動の一環として運営。平成12年4月25日「曲げわっぱ展示室」を開設した。また、平成30年には耐震補強工事を実施した。

- (1) 名 称 **大館郷土博物館** (TEL43-7133・FAX48-2512)
- (2) 所 在 地 大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地
- (3) 工 期 平6.8.15～
- (4) 開 館 平8.4.25
- (5) 設 計 (有)時代建築設計事務所
- (6) 施 工 者 建 物 工 事：丸山建設(株)
電 気 設 備 工 事：(株)ユアテック・桂電気工事(有)
給排水衛生設備工事：(株)越国商舗・大館桂工業(株)
- (7) 面 積 敷地 30,345.00㎡ 建物 6,015.90㎡
- (8) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート3階建
- (9) 総 事 業 費 427,000千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	351,000	県 振 興 資 金	20,000
電 気 設 備 工 事 費	46,000	地 方 債	251,800
給排水衛生設備工事費	30,000	一 般 財 源	155,200
計	427,000	計	427,000

- (10) 施設の概要 展示館 1,453.95㎡、こども科学室 610.56㎡、美術展示室 456.22㎡、
曲げわっぱ展示室162.00㎡、貴重品収蔵庫 74.38㎡、収蔵庫 1,237.50㎡、
駐車場 50台 (秋田三鶏記念館と共用)
※旧県立大館東高等学校の校舎を平成5年2月1日に譲り受け、博物館施設として
建設
- (11) 開 館 時 間 午前9時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)
- (12) 休 館 日 毎週月曜日 (この日が祝休日の場合は翌日)、年末年始 (12/29～1/3)
- (13) 入 館 料

区 分	個人料金	団体料金
一 般	330円	1人につき 220円
高 校 生 ・ 大 学 生	220円	1人につき 110円
小 ・ 中 学 生	110円	1人につき 50円

※未就学児、市内の小・中学生は無料とする。ただし、特別展を除く。

団体料金は15人以上の団体に適用する。ただし、未就学児、市内の小・中学生は団体に含まない。

- (14) 利用状況 (令和7年度)
- ・入館者数 2,896人 (1日平均 9人)

大-③①

秋 田 三 鶏 記 念 館

国指定天然記念物「声良鶏」「比内鶏」と秋田県指定天然記念物「金八鶏」の三鶏を総称し「秋田三鶏」と呼ぶ。秋田三鶏は秋田県の県北地方、特に米代川中流域の大館地方で古くから飼われ、親しまれてきた家禽である。この秋田三鶏の増殖を図り、天然記念物としての血統を守り、多くの方々に秋田三鶏を知り親しんでもらうために建設された。

- | | |
|------------|--|
| (1) 名 称 | 秋田三鶏記念館 (TEL43-7133 郷土博物館) |
| (2) 所 在 地 | 大館市釈迦内字獅子ヶ森1番地 |
| (3) 工 期 | 平21. 7.24～ |
| (4) 開 館 | 平22. 4. 1 |
| (5) 設 計 | (有)アトリエ建築設計室 |
| (6) 施 工 者 | (有)成田組 |
| (7) 建物面積 | 142.43㎡ |
| (8) 建物構造 | 木造平家建 |
| (9) 総事業費 | 17,800千円 |
| (10) 施設の概要 | 選別検定作業室69.56㎡、ふ卵室6.98㎡、育雛室7.91㎡、
飼育室57.98㎡、駐車場50台（大館郷土博物館と共用） |
| (11) 管理運営 | 大館市教育委員会（歴史文化課） |
| (12) 開館期間 | 4月1日～11月30日（冬期間は閉館） |
| (13) 開館時間 | 午前9時～午後4時30分 |
| (14) 休 館 日 | 毎週月曜日（この日が祝休日の場合は翌日） |
| (15) 入 館 料 | 無料 |



大-③②

鳥 潟 会 館

鳥潟家は慶長年間から400年余の歴史をもつ旧家であり、旧花岡村で代々肝煎を務めてきた。8,000㎡を超える広大な敷地に建つ建物及び庭園は、京都帝国大学名誉教授（医学部長・日本外科学会会長）の鳥潟隆三博士によって京風の意匠を取り入れられ、現在のかたちに整備された。

主屋は昭和11年に増改築上棟式が行われ、新座敷、離れ、二階茶室などに京風の意匠が取り入れられた。旧屋部分には、ちょうな削りの柱が多数見られるなど当時の旧材がいたるところに使用されているのが特徴である。

庭園は同時期に京都の名門植治7代目小川治兵衛の門弟であった粕谷幸作が作庭している。庭園は回遊式庭園であり、池を中心とした地割がよく計画され、石組にも京風の手法が見られる。各地から吟味された良材が取り寄せられ、幅3mを超える鞍馬石や直径1mを超える伽藍石などが使用されている。

中門などの建造物には、京都を中心に活躍した成行兼太郎が大工棟梁として携わっている。

昭和26年に当時の花岡町へ寄贈され「鳥潟会館」として一般の使用に開放、昭和54年9月「郷土資料庫」を併設した。

平成23年3月には、鳥潟会館（旧鳥潟家住宅）の建造物8棟が秋田県指定文化財（有形文化財）に、庭園が秋田県指定名勝に指定された。

令和6年10月には、庭園が「鳥潟会館庭園」として国名勝に指定された。

- (1) 名 称 **大館市立鳥潟会館**（TEL46-1009）
- (2) 所 在 地 大館市花岡町字根井下156
- (3) 面 積 敷地 8,191.08㎡ 建物 791.00㎡
- (4) 建 物 構 造 木造一部二階建
- (5) 施設の概要 主屋（大広間、和室仏間、台所、茶室(2F)、離れ化粧室、ほか）、
四阿、茶室、茶室待合、社殿、表門、中門、郷土資料庫（土蔵）、
庭園
- (6) 管 理 運 営 大館市教育委員会（歴史文化課）
- (7) 開 館 時 間 午前9時～午後5時（11月～3月は午前9時～午後4時）
- (8) 休 館 日 毎週月曜日（この日が祝休日の場合は翌日）、年末年始（12/29～1/3）
- (9) 使用料金

区 分	使用料（1時間につき）
大 広 間	550円
和 室（大）	220円
和室（小）一室につき	110円
離 室	110円

暖房料は、実費相当額とする。

(10) 利用状況（令和7年度）

諸会議、研修会、お茶会等にも利用されている。

利用人員 3,343人（1日平均 12人）



大-③③

長 走 風 穴 館

長走風穴館は、風穴の不思議を体感できるエコミュージアムである。館内には、展示パネル、ミニシアター、情報コーナーなどがあり、夏季は、風穴から引き込んだ天然の冷気で全館を冷房している。3階から屋外の散策路に出ると、高山植物群落（国指定天然記念物）や風穴倉庫（跡）を見学できる。

平成7年度から3か年で文化庁の天然記念物整備活用補助事業で建設し、平成10年4月3日から公開している。平成29年度には観光庁の訪日外国人旅行者受入基盤整備事業費補助金で、建物の改修、展示替え（多言語化）を行い、平成30年4月1日リニューアルオープンした。

- | | |
|--------------|--|
| (1) 名 称 | 長走風穴館 （TEL51-2005） |
| (2) 所 在 地 | 大館市長走字長走362-6 |
| (3) 開 館 | 平10. 4. 3 |
| (4) 設 計 | (株)プレック研究所 |
| (5) 施 工 者 | 建 物 工 事：(株)花岡土建・沓澤建設
機械設備工事：(有)木次谷設備
展 示 工 事：(株)学研 |
| (6) 面 積 | 敷地 2,057㎡ 建物 404.55㎡ |
| (7) 建 物 構 造 | 木造一部鉄筋コンクリート二階建 |
| (8) 総 事 業 費 | 338,403千円 |
| (9) 施設の概要 | 風穴倉庫 85.12㎡、風のふしぎ（廊下）45.18㎡、1階展示室 173.34㎡、
2階情報コーナー 100.91㎡ |
| (10) 管 理 運 営 | 大館市教育委員会（歴史文化課） |
| (11) 開 館 期 間 | 4月1日～11月30日（冬期間は閉鎖） |
| (12) 開 館 時 間 | 午前9時30分～午後4時30分 |
| (13) 休 館 日 | 毎週月曜日（この日が祝休日の場合は翌日）ただし、6～8月は休館日なし |
| (14) 入 館 料 | 無料 |
| (15) 利 用 状 況 | (令和7年度)
入館者数 6,853人（1日平均 30人） |



比④

比内町郷土民俗資料館

秋田県でも有数の穀倉地帯である旧比内町にふさわしく、農具（万石・千歯こき・粃すり器・唐箕）など330点余りが展示されている。機械化が進んだ現在の農業と比較し、当時の農業がいかに重労働であったかが偲ばれる。民家コーナーには囲炉裏を囲む老夫婦の彫刻を配し、てどり・飯台・水がめ・タンス・衣類などを展示し、昔の農家を復元している。

- | | |
|-----------|--|
| (1) 名 称 | 大館市比内町郷土民俗資料館 (TEL43-7141 大館市立比内公民館) |
| (2) 所 在 地 | 大館市比内町扇田字庚申岱8 (大館市立比内公民館内) |
| (3) 開 館 | 昭和55年 (1980) 4月1日 平成21年 (2009) 4月1日 館内移転リニューアル |
| (4) 面 積 | 142.43㎡ |
| (5) 建物構造 | R C造 平家建 陸屋根 |
| (6) 施設の概要 | 展示室 142.43㎡ |
| (7) 管理運営 | 大館市教育委員会 (歴史文化課) |
| (8) 開館時間 | 午前9時～午後5時 |
| (9) 休 館 日 | 第3月曜日、年末年始 (12/29～1/3) |



比⑤

民舞伝習館

- (1) 名称 **大館市民舞伝習館** (TEL56-2312)
- (2) 所在地 大館市比内町独鈷字大日堂前10
- (3) 開館 昭和59年(1984) 4月
- (4) 面積 敷地 660m² 床面積 354.9m²
- (5) 建物構造 鉄骨造2階建
- (6) 施設の概要 1階…事務室、資料室 144.3m²
2階…研修室(舞台付)、控室、納戸 210.6m²
- (7) 開館時間 資料室 午前9時～午後4時
研修室 午前9時～午後9時
- (8) 休館日 月曜日(この日が祝休日の場合は翌日)、年末年始(12/28～1/3)
- (9) 使用料金

区分 / 時間	使用料(1時間につき)
研 修 室	550円

暖房料は、実費相当額とする。

- (10) 利用状況(令和7年度)
利用人数 124人

田⑤

小畑勇二郎記念館

- (1) 名称 **大館市小畑勇二郎記念館** (TEL54-2230)
- (2) 所在地 大館市早口字堤沢15-37
- (3) 開館 昭和56年(1980) 1月27日
- (4) 面積 敷地面積 1,167.5m² 床面積 279.54m²
- (5) 建物構造 木造一部2階建銅板葺
- (6) 施設の概要 展示室、ホール、研修室、事務室
- (7) 開館時間 午前9時～午後4時
- (8) 休館日 月曜日(この日が祝休日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)
- (9) 使用料金 18歳以下無料、一般100円(15人以上の団体 1人50円)

- (10) 利用状況(令和7年度)
利用人数 88人

大-③④

桜 櫓 館 (国登録有形文化財)

桜櫓館は、大館町長を務めた櫻場文蔵氏が昭和8年(1933)に建てたもので、たびたび大火に見舞われた大館旧市街地にあつて、奇跡的に残った昭和初期の貴重な木造建築である。櫻場文蔵氏は、秋田犬保存会の第3代と第6代の会長を通算14年務め、秋田犬保存会の礎を築き、秋田犬の発展に大きく寄与した。

建物は木造2階建、洋室を備えた和風住宅で、四方にガラス窓を配した展望台は、2階の屋根から突き出るように見える特徴を持ち、複雑で変化に富んだ外観である。内部は杉の良材をふんだんに使い、質の高い空間が創出され、建具や付書院に優れた技能が発揮されている。

現存する棟札によると設計者は石田常吉・小野熊蔵、大工棟梁は越後甚吉である。

平成11年(1999)7月に国登録有形文化財に登録された。

- (1) 名 称 **大館市桜櫓館** (都市計画課 TEL43-7135)
- (2) 所 在 地 大館市字中城13-3
- (3) 登録年月日 平成11年7月8日
- (4) 設 計 小野 熊蔵・石田 常吉
- (5) 棟 梁 越後 甚吉
- (6) 面 積 敷地 1,136.89㎡ 建物 310.26㎡
- (7) 建物構造 和風住宅 木造二階建(展望台付)
- (8) 施設の概要 大広間、洋室、和室(二階)、展望台、庭園
- (9) 管理運営 大館市(都市計画課)
- (10) 開館時間 4月～10月 午前10時～午後5時
11月～3月 午前10時～午後4時
- (11) 休 館 日 毎週月曜日(この日が祝休日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)
- (12) 入 館 料 無料
- (13) 使用料金

区 分	大広間(32.5帖)	和室(8.0帖)	洋室(7.0帖)	予備室(6.0帖)
使用料	440円(1時間)	110円(1時間)	110円(1時間)	110円(1時間)
暖房料	実費相当額			

- (14) 利用状況 (令和7年度) 来館者数 6,224人 (見学者、貸館使用者)



3 福祉・厚生施設

大-③⑤

保 健 セ ン タ ー

市民の健康の維持と増進を図るため、市民に密着した保健サービスを行うとともに市民の自主的な保健活動の場に資するため設置。

- (1) 名 称 **大館市保健センター** (TEL42-9055)
 (2) 所 在 地 大館市字三ノ丸55ほか
 (3) 工 期 昭55. 7. 8～56. 3. 17
 (4) 開 設 昭56. 4. 1
 (5) 建 物 面 積 延 1,154.4㎡ (建築面積 440.8㎡)
 1階 384.2㎡、2階 364.0㎡、3階 374.1㎡、塔屋 32.1㎡
 (6) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造3階建
 (7) 総 事 業 費 178,574千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	115,500	国 庫 補 助 金	28,960
電 気 設 備 工 事 費	13,600	県 補 助 金	28,960
給排水設備工事費	22,790	地 方 債	79,400
附 帯 工 事 費	5,680	一 般 財 源	41,254
そ の 他 事 務 費 等	21,004		
計	178,574	計	178,574

- (8) 施設の概要
 〈1 階〉 事務室、機能訓練室、応接室、健康相談室、記録保存室、休憩室
 〈2 階〉 検診室、集団指導及び小会議室、小会議室、待合室・展示室、測定及び検査室
 〈3 階〉 会議室、倉庫、調理実習室、栄養相談室、幼児用プレイルーム
 (9) 管 理 運 営 大館市 (健康課)
 (10) 事 業 の 概 要
 ・健康に関する思想の普及及び啓蒙
 ・健康相談及び健康教育
 ・保健指導及び栄養指導
 ・各種検診及び予防接種
 ・自主的な保健活動のための施設及び設備の提供
 ・公衆衛生に関すること
 (11) 事 業 費 (令和8年度) 2,090,487千円

大-36

休日夜間急患センター

休日、夜間における地域住民の医療を確保することを目的として建設。

- (1) 名 称 大館市休日夜間急患センター (TEL45-0223)
(2) 所 在 地 大館市豊町3-2
(3) 工 期 平9.9.8~10.2.27
(4) 開 設 平10.4.1
(5) 面 積 敷地 330.11㎡ 建物 186.10㎡
(6) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造平家建
(7) 総 事 業 費 85,584千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
建 物 工 事 費	61,600	県 補 助 金	12,220
医 療 機 器 整 備 費	17,768	地 方 債	66,600
備 品 費 等	6,216	一 般 財 源	6,754
計	85,584	計	85,584

- (8) 施設の概要 診察室、処置室、X線撮影室、暗室、待合ホール、医局、カルテ室、ナース室、事務室
(9) 医 療 機 器 X線撮影装置、X線フィルム自動現像機、血液（生化学）自動検査装置、自動血球計数機、解析装置付心電計、患者監視装置、超音波診断装置、オートクレーブ
(10) 管 理 運 営 大館市（健康課）
(11) 診 療 科 目 内科、小児科、外科、整形外科
(12) 診療日及び診療時間 診 療 日：夜間及び日曜日、休日、年末年始の日中
診療時間：日曜日・休日等（昼） 9:00~16:00
" （夜） 18:00~22:00
平日（土曜日以外） 19:00~22:00
" （土曜日） 18:00~22:00
(13) 職員の配置 医師1人（医師会、市病、労災病院、扇田病院より医師派遣…52人登録）、看護師2人（7人で交代勤務）、事務員1人（業務委託）
(14) 利 用 状 況（令和7年度）

診療科別	診 療 科	内 科	小児科	外科系	その他	合 計	1 日平均
	利 用 数	2,236人	1,124人	266人	376人	4,002人	11人
	利 用 率	55.9%	28.1%	6.6%	9.4%	100.0%	—
地域別	地 域	大 館 市		その他県内	県 外	合 計	
	利 用 数	3,686人		202人	114人	4,002人	
	利 用 率	92.1%		5.1%	2.8%	100.0%	

大-③⑦

総合福祉センター

大館市の社会福祉事業を総合的に推進し、市民の福祉の増進を図ることを目的として建設された総合福祉センターは、市の中心部に位置し立地条件がよいことから、高齢者及び身体障害者・知的障害者等社会的弱者に対する援護施設として活用されている。令和3年10月には、福祉まるごと相談室やひきこもり相談室、基幹相談支援センター、県北障害者就業・生活支援センター、子ども発達相談室などの福祉相談機能を集約し、併せてサロン併設型の地域活動支援センターを開設した。

令和7年4月、身体障害者福祉センターを総合福祉センターに機能移転した。

- (1) 名称 **大館市総合福祉センター**（福祉課 TEL42-8100）
 (2) 所在地 大館市字三ノ丸103番地4
 (3) 工期 平3.9.25～4.6.20
 (4) 開設 平4.6.29
 (5) 設計 (有)佐藤士郎建築設計事務所
 (6) 施工者 建物工事：(株)大成工務店 衛生設備工事：(株)成田工業所
 空調設備工事：同和工営(株) 電気設備工事：大館桂工業(株)
 (7) 面積 敷地 2,391.88㎡ 建物 947.33㎡（建物延面積 2,108.91㎡）
 (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造3階建
 (9) 総事業費 566,045千円

建設費（千円）		財源（千円）	
建物工事費	388,825	国庫補助金	105,256
衛生設備工事費	69,484	県補助金	52,628
空調設備工事費	45,969	地方債	191,600
電気設備工事費	41,767	一般財源	216,561
外構工事費	15,000		
備品購入費	5,000		
計	566,045	計	566,045

- (10) 施設の概要 日常生活訓練室 113.81㎡、機能回復訓練室 123.12㎡、浴室 56.16㎡、脱衣室 24.30㎡、厨房 22.14㎡、食堂 37.71㎡、休憩室 62.22㎡、相談室 29.16㎡、ボランティア室 22.88㎡、録音室 11.34㎡、言語訓練室 11.34㎡、作業室 94.48㎡、図書・展示室 64.76㎡、第1研修室 94.48㎡、第2研修室 111.87㎡、事務室 399.52㎡、コンピューター室 18.09㎡、ホールその他 811.53㎡
 計 2,108.91㎡
- (11) 事業内容 （老人・身体障害者・知的障害者等社会的弱者に対する支援事業）
 在宅老人デイサービス事業、在宅介護支援事業、創作軽作業、研修・養成事業、相談事業、機能回復訓練事業、日常生活訓練事業、幼児・児童健全育成事業、教養娯楽活動事業、基幹相談支援センター、地域活動支援センター、身体障害者福祉センター大館市社会福祉協議会事務所、権利擁護センター
 その他福祉の増進を図るため必要な事業
- (12) 管理運営 大館市（福祉課）
- (13) 利用状況（令和7年度）
 利用件数 568件 利用人数 10,706人（うち機能回復訓練室 921人）
 （研修室・図書室・作業室・日常生活及び機能回復訓練室・デイサービス）

田－⑥ 障 害 者 生 活 支 援 セ ン タ ー「たしろの里」

地域の実情に応じ、通所による創作活動、機能訓練または生活活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を図る

(1) 名 称	大館市障害者生活支援センター「たしろの里」(TEL54-2211)
(2) 所 在 地	大館市岩瀬字赤川20番地
(3) 工 期	平15. 3. 17～15. 4. 28
(4) 開 設	平14. 5. 1 (田代総合福祉センター内) 平15. 5. 9 (現在地へ移転)
(5) 事 業	心身障害者小規模作業所事業 (大館市社会福祉協議会へ委託)
(6) 主 な 作 業	学習教材の袋詰め、手作り石けん、農作物栽培(さつま芋)
(7) 面 積	床面積257.54㎡
(8) 建 物 構 造	木造平家建
(9) 施 設 の 概 要	木工作业室 29.81㎡、休憩室 24.84㎡、軽作業室 29.81㎡、 レクリエーション室 79.50㎡、事務室 16.56㎡、その他 77.02㎡
(10) 建 設 費	3,812千円 (旧赤川保育所改修)
(11) 設 置 主 体	大館市
(12) 開 館 時 間	午前9時～午後4時
(13) 休 館 日	毎週土・日曜日、祝日、年末年始
(14) 利 用 人 員	(令和7年4月1日現在) 5人 (通所登録者 男3人 女2人)

大-③⑧

道 目 木 更 生 園

障害者総合支援法に基づき、生活介護としての入浴、排泄及び食事の介助、日常生活上の助言や相談・支援、創作的活動や日常生活能力の維持・向上のための援助等を一体的に行うことを目的とした施設。

- (1) 名 称 **障害者支援施設 道目木更生園** (TEL52-2261)
 (2) 所 在 地 大館市道目木字陣場岱38番地
 (3) 工 期 (改築移転工事) 平15. 7. 3～平16. 3. 29
 (4) 開 設 昭49. 12. 1 改築移転 平16. 4. 1
 (5) 設 計 者 小畑勇設計事務所
 (6) 施 工 者 丸山建設㈱
 (7) 面 積 敷地 12,811㎡ 建物 3,763.02㎡ (1階2,355.07㎡、2階1,407.95㎡)
 (8) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
 (9) 総 事 業 費 833,620千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	791,867	国 県 補 助 金	598,561
調 弁 費	16,720	借 入 金	155,700
旧 施 設 解 体 撤 去 費	25,033	自 己 資 金	79,359
計	833,620	計	833,620

- (10) 施設の概要 2人部屋(46)、1人部屋(6)、ショートステイ2人部屋(3)、施設長室、指導員室、医務室、静養室、食堂談話ホール、多目的ホール、作業指導室、浴室、面会室兼相談室、あすなろ
 (11) 管 理 運 営 社会福祉法人 大館圏域ふくし会
 (12) 職 員 施設長(1人)、機能訓練指導員(1人※生活支援員兼務)、サービス管理責任者(3人)、生活支援員(37人、※サビ管兼務2人)、介助員(1人)、事務員(3人)、栄養士(1人)、調理員(4人)、看護師(4人、うちパート職員1人)、パート職員(8人) 計60人
 ほかに嘱託医師(1人)、産業医師(1人)
 (13) 入 所 定 員 生活介護(105人) 施設入所支援(98人)
 (14) 入所状況及び年齢別入所者数 (令和8年4月1日現在)

・大館市 55人 県内 41人 県外 0人 計 96人

年齢区分	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 以上	計
人員(人)	1	0	12	7	20	56	96

- (15) そ の 他 の 在 宅 事 業
 ・ショートステイ道目木更生園(6床)
 ・日中活動事業所とむとむ(就労継続支援B型)

大-③⑨

軽井沢福祉園

平成23年4月より障害者自立支援法に移行し、「生活介護」「施設入所支援」を実施。知的障害者・身体障害者・精神障害者を対象とし、障害の種別を超えて日常生活上の支援や身体機能または生活能力の向上を目的とした施設。

- (1) 名 称 **指定障害者支援施設 軽井沢福祉園** (TEL52-3353)
- (2) 所 在 地 大館市軽井沢字鳶ヶ長根1番地32
- (3) 工 期 (第1期) 昭54.9.21~55.3.31 (第2期) 昭55.7.25~55.11.30
(第3期) 昭57.4.1~57.5.31 (第4期) 昭62.11.25~63.3.20
(第5期) 平6.3.4~6.11.4 (第6期) 平10.6.16~10.10.28
- (4) 開 設 一般棟(女子) 昭55.5.1
増棟(女子) 昭56.2.1、増棟(男子) 平7.4.1
- (5) 設 計 者 小畑勇設計事務所
- (6) 施 工 者 (第1期) 丸山建設(株) (第2期) 三浦木材(株)
(第3期) 鈴木興業、巽工業所 (第4期) 丸山建設(株)
(第5期) 丸山建設(株)、渡辺工務店 (第6期) 丸山建設(株)
- (7) 面 積 敷地: 24,242.55㎡ (農地組合法人大館市軽井沢部落組合有地)
建物: 本館 2,351.29㎡、機能訓練棟 380.16㎡、作業棟 185.49㎡
- (8) 建 物 構 造 本館…鉄筋コンクリート造平家建、機能訓練棟…鉄骨造平家建、
作業棟…木造平家建
- (9) 総事業費 596,422千円

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	210,500	小型自動車振興会補助金	120,400
附 帯 工 事 費	23,400	県 補 助 金	69,380
調 弁 費	13,239	国 ・ 県 補 助 金	149,511
委託料及び事務費等(1期~2期)	7,825	1 市 2 町 補 助 金	76,553
冷 蔵 庫 室 工 事 費	3,500	借 入 金	90,000
機 能 訓 練 棟	23,052	寄 附 金	17,800
男 子 棟 ・ 作 業 棟	283,102	自 己 資 金	40,608
訓 練 棟 増 改 築	31,804	中 央 競 馬 会 補 助 金	17,280
		日 本 自 転 車 振 興 会 補 助 金	14,890
計	596,422	計	596,422

- (10) 施設の概要 2人用居室(29室)、事務室・相談室、厨房、配膳室、食堂、医務・静養室、洗濯・乾燥室、浴室(2室)、スタッフルーム、会議室、ショートステイ室、機械室(2室)、倉庫(3室)、用具庫、冷蔵庫室、ホール(3室)、機能訓練棟
- (11) 管理運営 社会福祉法人 大館圏域ふくし会
- (12) 職 員 施設長兼管理者(1人)、サービス管理責任者(2人)、生活支援員(29人※うちパート職員1人)、機能訓練指導員(1人※生活支援員兼務)、調理員(8人、うちパート職員3人)、栄養士(1人)、事務員(2人)、看護師(3人、)、パート職員(3人)、GH 軽井沢福祉園(5人、うちパート職員1人)、夜間支援員(1人) 計55人
ほかに嘱託医師(1人)
- (13) 入所定員 施設入所支援(58人: 男子29人 女子29人)、生活介護(60人)

(14) 入所状況及び年齢別入所者数（令和 8 年 4 月 1 日現在）

・大館市 26人 県内 27人 県外 4人 計 57人

年齢区分	19～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 以上	計
人員(人)	1	5	7	13	31	57

(15) その他の在宅事業

・ショートステイ(4床)

・日中一時支援事業

・グループホーム軽井沢福祉園 つくし (女子型：6人)

あかまつ(男子型：6人)

たんぽぽ(女子型：6人)

おおたき(男子型：6人)

・ショートステイグループホーム軽井沢福祉園 おおたき (男子：1人)

つくし (女子：1人)

大-④

矢 立 育 成 園（令和8年3月31日廃止）

平成22年4月より障害者自立支援法移行に伴い、「生活介護」と「施設入所支援」を実施する。それにより知的障害者はもとより、身体障害者・精神障害者の3障害の利用が可能となり、障害の種別にかかわらず一元的なサービスの充実を図りながら、利用者本位のサービスの提供に努めることを目的とする。

- (1) 名 称 指定障害者支援施設 矢立育成園（TEL46-3161）
 (2) 所 在 地 大館市白沢字白沢851番地
 (3) 工 期 昭57. 6. 26～昭57. 9. 25
 (4) 開 設 昭57. 10. 1
 (5) 設 計 (株)山本建築設計事務所
 (6) 施 工 者 丸山建設(株)
 (7) 面 積 敷地 17,578㎡ 建物 3,430㎡
 (8) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造平家建
 (9) 総 事 業 費 260,563千円

建 設 費 （千円）		財 源 （千円）	
本 体 工 事 費	220,675	日 本 船 舶 振 興 会 補 助 金	150,900
附 帯 工 事 費	19,825	県 補 助 金	75,450
調 弁 費	11,000	市 補 助 金	30,000
事 務 費	9,063	自 己 資 金	4,213
計	260,563	計	260,563

- (10) 施設の概要
- ・本館…居室（2人用、1人用 1人当たり居住面積9.9㎡以上）、食堂、相談室、医務室、静養室、デイルーム、浴室、洗濯場、作業室、厨房、リネン室、更衣室、洗面所、スタッフルーム、事務室、ショートステイ居室（1人用2室）、ボイラー室、体育館（鉄骨造平家建344㎡）、作業棟
 - ・グループホーム矢立育成園：男子用3軒（17人、ショートステイ1人、1人当たり居住面積10.35㎡以上）
女子用2軒（11人、ショートステイ1人）
- (11) 管理運営 社会福祉法人 大館圏域ふくし会
- (12) 職 員 施設長兼管理者（1人）、サービス管理責任者（2人）、看護職員（2人）、機能訓練指導員（1人）、生活支援員（11人）、事務員（2人）、栄養士（1人）、調理員（3人）、グループホーム世話人（10人）
計33人
ほかに嘱託医師（1人）
- (13) 利用定員 施設入所支援30人（男子20人、女子10人）、生活介護40人、ショートステイ（2人）
※H29.4定員変更
グループホーム矢立育成園28人（男子17人、女子11人）
ショートステイ（女子1人、男子1人）
※H22.7 定員変更、H30.4 ショートステイ新設

(14) 利用状況及び年齢別利用者数（令和7年4月1日現在）

矢立育成園＋グループホーム

大館市24人、県内19人、県外1人 計44人

年齢区分	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
人員(人)	0	1	3	8	13	19	44

(15) 生産活動

内 容	説 明
野菜栽培、花壇整備 ほか	施設自給用と販売
フルーツキャップ・箸セットの袋詰め ほか	外部委託作業

※日中活動（生活介護）の中で生産活動の機会を提供し、利用者の心身の状況や意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえ、当該生産活動収入から事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を本人支給金として支払う。もしくは、同等の物品を支給する。

大-④

白 沢 通 園 セ ン タ ー

現時点で雇用されるのが困難な障害のある方が通所し、作業の取り組みによる生産活動を通して社会適応能力を高めるとともに、社会生活に必要な知識・マナーを身につけるための支援により自立を促し、社会的就労の場及び一般就労に向けた訓練の場としての役割を果たしていくことを目的とする。令和8年3月、矢立育成園の閉鎖に伴いグループホーム矢立育成園を事業統合した。

- (1) 名 称 **指定障害福祉サービス事業所 白沢通園センター** (TEL46-3775)
- (2) 所 在 地 大館市白沢字白沢407番地9
- (3) 工 期 平10.11.11～平11.8.31
- (4) 開 設 平11.10.1
- (5) 設 計 (株)山本建築設計事務所
- (6) 施 工 者 丸山建設(株)
- (7) 面 積 敷地 6,044.51㎡ 建物 1,476.33㎡
- (8) 建 物 構 造 本 館：鉄骨造陸屋根平家建
作業棟：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 1棟
鉄骨亜鉛メッキ鋼板平家建 1棟
- (9) 建 設 費 298,888千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本館新築工事費 (補助対象事業)	254,739	国庫補助金	95,817
既存建物改修工事費他	44,149	県補助金	61,261
		大館市補助金	52,760
		比内町補助金	7,551
		田代町補助金	5,034
		借入金	22,000
		自己資金	54,465
計	298,888	計	298,888

- (10) 施設の概要 事務室、会議室、相談室、医務室、休憩室、食堂、食品庫、調理室、更衣室、便所、リネン室、ボイラー室、各科作業室
◎従たる事業所：名 称 レストランいずみ
所在地 大館市泉町9-19
- (11) 設置及び経営主体 社会福祉法人 大館圏域ふくし会
- (12) 職 員 施設長兼管理者(1人)、サービス管理責任者(3人)、生活支援員(8人)、目標工賃達成指導員(1人)、職業指導員(15人)、就労選択支援員(1人)、世話人(10人)、看護職員(1人)、事務員(3人)、栄養士(1人)、調理員(5人)、その他(3人) 計52人(他に嘱託医師1人)
- (13) 利 用 定 員 就労継続支援B型50人、生活介護10人、就労選択支援10人、グループホーム28人、グループホームショートステイ2人 計100人

(14) 生産活動

科 目	人数	内 容	協力事業所
業 務 委 託	29	ウレタンタンク再生作業 医療器具分別作業	ニプロ(株)
		産業家電金属分別作業	(株)エコリサイクル
		印刷作業	自主生産事業
食 品 製 造	5	豆腐製造販売・焙煎おから販売 こんにやく製造販売 スナック菓子の箱折り、包装、梱包	
飼 育 ・ 加 工	16	比内地鶏の飼育・鶏肉販売・鶏肉加工 品販売・比内地鶏スープ製造販売 きりたんぽセット、製菓製パン製造販売	
レ ス ト ラ ン	5	給食サービス、食事提供	

(15) 工賃の支給と通所方法

- ・工賃は、事業費収入から事業実施に関わる諸経費を差し引いた額を、利用者個々の作業能力や作業量、社会性に応じて支給している。
- ・送迎を事業所のマイクロバス等の車両で実施している。

(16) 利用状況及び年齢別利用者数（令和8年4月1日現在）

大館市53人 鹿角市1人、鹿角市1人 計55人

年齢区分	19歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
人員（人）	1	4	13	13	20	4	55

（平均年齢45.2歳）

(17) グループホーム

グループホーム矢立育成園：男子用3軒（17人、ショートステイ1人、
1人あたり居住面積10.35㎡以上）
女子用2軒（11人、ショートステイ1人）

(18) グループホームの利用状況及び年齢別利用者数（令和8年4月1日現在）

大館市19人、能代市2人、湯沢市1人、潟上市1人、鹿角市1人

三種町1人、五城目町1人 計26人

年齢区分	19歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
人員（人）	0	1	1	5	10	9	26

（平均年齢56.6歳）

大-④②

おおだて障害者相談支援センター

利用者がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、利用者の選択に基づき、心身の状況や置かれている環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が総合的かつ効率的に提供されるよう配慮しながら、サービス等利用計画の作成、障害福祉サービス事業所及び関係機関との連絡調整等支援を行うことを目的とする。

- | | |
|-------------|--|
| (1) 名 称 | おおだて障害者相談支援センター （TEL57-8212）
指定一般・特定・障害児相談支援事業所 |
| (2) 所 在 地 | 大館市泉町9番19号 泉町地域ふくしセンター1階 |
| (3) 開 設 | 平19.10.1 |
| (4) 面 積 | 敷地面積 2,534.10㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 耐火建物（4階建） |
| (6) 運 営 主 体 | 社会福祉法人 大館圏域ふくし会 |
| (7) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時30分まで
ただし、祝日及び年末年始を除く。 |
| (8) 職 員 | 専従常勤7人、管理者兼主任相談支援専門員（1人）、
相談支援専門員（6人）
社会福祉士（3人）、介護福祉士（7人）、精神保健福祉士（2人）、
保育士（1人）、介護支援専門員（2人）※重複計上あり |
| (9) 事 業 内 容 | 1. 指定特定・障害児相談支援
利用者・家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービス等の利用支援（アセスメント、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成、サービス担当者会議の開催、定期的なモニタリングによる見直し）、利用者や地域の状況を勘案したうえで、関係機関と連携して、日常生活・社会生活に関する支援等を行う。
2. 指定一般相談支援
地域移行支援：精神科病院または入所施設に入院、入所している方を対象に、地域生活への移行のための相談及び支援を行う。
地域定着支援：居宅において単身、その他家族の状況等により同居している家族による支援を受けられない方を対象に、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急事態等に相談、その他必要な支援を行う。 |

大③⑦

大館市基幹相談支援センター

地域の障害者・児の相談支援の中核的な機関として障害者・児またはその家族等に対し総合的、専門的な相談に応じ、また、市内の指定相談支援事業者を指導・助言する等により、大館市の相談支援ネットワークを円滑に機能させ、もって、障害者等が地域で自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とする。

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | 大館市基幹相談支援センター （TEL TEL59－7255）
（市が委託し、社会福祉法人大館圏域ふくし会が運営） |
| (2) 所 在 地 | 大館市字三ノ丸103番地4 大館市総合福祉センター 3階 |
| (3) 開 設 | 平26. 4. 1 |
| (4) 運 営 主 体 | 社会福祉法人 大館圏域ふくし会 |
| (5) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時30分まで
ただし、祝日及び年末年始を除く。 |
| (6) 職 員 | 専従常勤4人
管理者（1人）、社会福祉士（3人）、精神保健福祉士（3人）
相談支援専門員（4人）、介護福祉士（3人）、介護支援専門員（1人） |
| (7) 事 業 内 容 | ①総合的・専門的な相談支援の実施
②地域の相談支援体制の強化の取組み（相談支援事業者に対する専門的指導及び助言・相談支援専門員に対する研修の実施・相談支援機関等との連携強化）
③地域移行・地域定着の促進の取組み
④権利擁護・差別解消に関する取組み
⑤虐待防止の取組み（障害者虐待防止センター業務）
⑥成年後見人制度の普及・啓発活動
⑦大館市障害者自立・差別解消支援協議会の運営
⑧重層的支援体制整備事業を通じた支援体制構築へ向けた取組み
⑨地域生活支援拠点等事業に係るコーディネート及び体制整備に関する
こと
⑩障害者自立・差別解消支援協議会の運営
⑪その他、障害者や地域の状況に応じた取組み |

大-③⑦

大館市地域活動支援センター

障害のある方が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、創作活動の機会を提供し、社会との交流を図るとともに日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効果的に行う。地域において雇用・就労が困難な利用者に対し、機能訓練、社会適応訓練のサービスを実施する。また、利用者間の交流、余暇活動の質の向上、体力増強等に資するよう利用者の社会参加を促進し、日中安心して過ごすことのできる居場所の提供を行うことを目的とする。

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | 大館市地域活動支援センター （TEL 49-0104）
（市が委託し、社会福祉法人大館圏域ふくし会が運営） |
| (2) 所 在 地 | 大館市字三ノ丸103番地4 大館市総合福祉センター 2階 |
| (3) 開 設 | 令 4. 4. 1 |
| (4) 運 営 主 体 | 社会福祉法人 大館圏域ふくし会 |
| (5) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～土曜日（土曜日不定期開所）
午前10時から午後4時まで
ただし、祝日及び年末年始を除く。 |
| (6) 職 員 | 生活支援員（1人）、指導員（パート2人） 計 3人 |
| (7) 事 業 内 容 | ①基礎的事業
利用者に対し創作的活動の機会の提供等地域の実情に応じた支援を行う。
②機能強化事業（Ⅱ型）
地域において雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練、社会適応訓練等のサービスを実施する。
③サロン
利用者間の交流、余暇活動を行うための居場所の提供を行う。 |

大-④③

日中活動事業所とむとむ

就労が困難な障害者に対し、作業や交流活動を通して福祉並びに社会性の向上と、社会活動への参加を促進し、自立助長を図る。

- | | |
|-------------|--|
| (1) 名 称 | 日中活動事業所とむとむ （TEL52-2080） |
| (2) 所 在 地 | 大館市十二所字後田34番地 |
| (3) 開 設 | 平23. 4. 1 |
| (4) 面 積 | 土地 大館市市有地の一部 建物 1833.01㎡ |
| (5) 職 員 | 管理者1人（兼務）、サービス管理責任者1人、目標工賃達成指導員1人、生活支援員2人（パート1名含む）、職業指導員2人（パート1人含む）
計6人 |
| (6) 生 産 活 動 | ①クラフト科 学校教材の袋詰め
②クラフト科 紙器加工作業
③クラフト科 ペットボトルキャップリサイクル
④クラフト科 フルーツキャップ袋詰め |
| (7) 利 用 人 員 | （令和8年4月1日現在） 定員20人
契約登録者数24人（男17人、女7人） |

比-⑥

とっと工房 長岡事業所

一般企業への就労が困難な障害者に対し日中活動の場を提供し、作業を通して就労訓練や生活支援を行い、自立と社会適応能力を高める。併せて共生社会の実現を目指す。

- (1) 名 称 指定障害福祉サービス事業所
とっと工房 本部・長岡事業所 (TEL57-8825)
- (2) 所 在 地 大館市比内町扇田字長岡70番地 3
- (3) 開 設 平24. 7
平30. 4 単独型事業所へ変更、本部の移転
- (4) 面 積 敷地 3,829.00㎡ 建物 605.44㎡
- ㊦ 建 物 構 造 木造2階建
- ㊦ 施設の概要 本部事務所、作業室(2室)、多目的ホール、食堂、会議室、相談室、更衣室、トイレ、休憩室
- ㊦ 経 営 主 体 NPO法人 共生センターとっと工房
- ㊦ 職 員
(本部) 施設長(1人)、事務局長(1人)、事務局次長(1人)、事務員(2人)
(長岡事業所) 管理者(1人)、サービス管理責任者(1人)、目標工賃達成指導員(1人)、職業指導員(5人)、生活支援員(4人) ※重複計上あり
- ㊦ 事 業 内 容 ①就労継続支援B型 定員40人
②授産種目
・手芸・縫製班 各種袋物、刺し子花ふきん、小物入れ等
・受託作業 学校教材部品袋詰め等(サンテックス、東栄社)、検尿キット袋詰め(大館市)、ブックコート(市立図書館)、分別作業(ニプロ)他
・農園芸班 野菜栽培、花栽培、いぶりがっこ加工等
販売受託先 : 比内物産開発(株) とっと館、ひない温泉比内のゆ 他
③利用者数(令和8年4月1日現在)
男 25人 女 13人 計38人

比-⑦

とっと工房 前田野事業所

日常生活等に関する相談及び助言、日常生活上の支援、創作的活動及び生産活動の機会の提供、その他身体機能又は生活能力の向上のために必要な援助を行う。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 名 称 | 指定障害福祉サービス事業所
とっと工房 前田野事業所 (TEL55-2405) |
| (2) 所 在 地 | 大館市比内町達子字前田野14番地4 |
| Ⓜ 開 設 | 平13. 4 小規模作業所「比内町福祉作業所」として開設 (比内公民館)
平14. 2 現在地に新築
平18. 10 指定障害福祉サービス事業所 就労継続支援B型 (非雇用型)
平20. 2 作業棟増改築
平20. 7 日中一時支援事業開始 市委託事業
平23. 5 大館市精神障害者自立支援事業 (ひかり事業) 開始 市委託事業
平24. 4 多機能型事業所へ変更
平24. 7 長岡事業所開設
平25. 4 放課後等デイサービス事業開始 (長岡地内新築)
平29. 4 グループホーム開設
平30. 4 単独型事業所へ変更、本部の移転 |
| (4) 面 積 | 敷地1,714.58㎡ 建物382.57㎡ |
| Ⓜ 建 物 構 造 | 木造平家建 |
| Ⓜ 施設の概要 | 事務室、相談室、作業室 (2室)、多目的室、台所、更衣室、トイレ、
個別支援室 (4室)、テラス
農作業棟 2階建 (1棟)、資材庫、物置 |
| (7) 付属施設 | いぶりがっこ加工場、農作業棟 (2階建)、物置 |
| (8) 経 営 主 体 | NPO法人 共生センターとっと工房 |
| (9) 職 員 | 管理者 (1人)、サービス管理責任者 (1人)、看護師 (1人)
生活支援員 (9人) |
| (10) 事 業 内 容 | ①生活介護 定員20人
②活動内容
・創作活動
・手芸・縫製班 各種袋物、刺し子花ふきん、小物入れ等
・受託作業 学校教材部品袋詰め等 (サンテックス)、他
③利用者数 (令和8年4月1日現在)
男 16人 女 13人 計29人 |

比－⑧ NPO法人共生センターとっと工房 なかよしとっと

学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供する事により、学校教育と相まって障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを行う。

- (1) 名 称 指定障害児通所支援事業
放課後等デイサービス「なかよしとっと」 (TEL57－8171)
- (2) 所 在 地 大館市比内町扇田字長岡70番地 3
- (3) 開 設 平25. 4. 1
平20. 7. 1 日中一時支援事業開始 市委託事業
- (4) 面 積 敷地1,033.66㎡ 建物326.27㎡
- (5) 建 物 構 造 木造平家建
- (6) 施設の概要 事務室、指導訓練室、個別支援室(2室)、遊戯室、トイレ、多目的トイレ
- (7) 経 営 主 体 NPO法人 共生センターとっと工房
- (8) 職 員 管理者兼保育士(1人)、児童発達管理責任者(1人)、保育士(1人)、児童指導員(2人)、運転手(2人)、看護師(1人)
- (9) 障害児通所支援事業内容
 - ①放課後等デイサービス事業 (児童福祉法) 定員 10人
 - ②日中一時支援事業 (大館市地域生活支援事業委託) 定員 10人
 - ③サービス提供時間
平日は、授業終了から17時まで、土曜日及び学校休業日は、8時30分から17時まで、サービス提供時間の延長は相談に応ずる
 - ④利用者数(令和8年4月1日現在) 男 22人 女 3人 合計25人

比－⑨ NPO法人共生センターとっと工房 たのしいわが家Ⅰ・Ⅱ

主として夜間共同生活を営む住居において、入居している障害者への入浴、排せつ、食事の介護や相談、その他日常生活に必要な援助を行う。

- (1) 名 称 指定障害福祉サービス事業所
共同生活援助・短期入所事業 たのしいわが家Ⅰ (TEL57－8708)
共同生活援助事業 たのしいわが家Ⅱ (TEL59－5391)
- (2) 所 在 地 大館市比内町扇田字伊勢堂岱129番地 1
- (3) 開 設 平29. 4. 1 たのしいわが家Ⅰ 開所
令3. 4. 1 たのしいわが家Ⅱ 開所
- (4) 面 積 敷地1,392㎡ 建物Ⅰ 264.16㎡、建物Ⅱ 252.57㎡
- (5) 建 物 構 造 木造平家建
- (6) 施設の概要 Ⅰ 事務室、居室(9室)、ダイニングルーム、浴室、トイレ
Ⅱ 事務室、居室(7室)、ダイニングルーム、相談室、浴室、トイレ
- (7) 経 営 主 体 NPO法人 共生センターとっと工房
- (8) 職 員 Ⅰ・Ⅱ共通 管理者(1人)、サービス管理責任者(1人)、世話人(4人)
支援員(3人)、看護師(1人 ※他事業所兼務)
- (9) 定 員 Ⅰ 共同生活援助(7人)、短期入所(2人)
Ⅱ 共同生活援助(7人)

大-④

友 生

障害を持つ利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、概ね2年間にわたり、居室やその他の設備を供与し生活能力の維持、向上等のために必要な訓練、支援を行い、利用者の自立への促進を図ることを目的とする。

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | 自立訓練（生活訓練）事業所 友生（TEL43-6464） |
| (2) 所 在 地 | 大館市片山町三丁目11番12号 |
| (3) 開 設 | 平24. 4. 1 |
| (4) 面 積 | 土地1,068.19㎡ 建物367.68㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 鉄骨平家建 |
| (6) 運 営 主 体 | 医療法人 和成会 |
| (7) 職 員 | 管理者（1人）、サービス管理責任者（1人）、生活支援員（1人）、
地域移行支援員（1人） 計4人 |
| (8) 利 用 人 員 | （令和8年4月1日現在）
13人（大館市7人、北秋田市4人、鹿角市0人、能代市2人）
※13人（夜間：宿泊型自立訓練事業所） ※0人（ショートステイ） |

大-④

指定一般・特定相談支援事業所 友生

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | 医療法人和成会 指定一般・特定相談支援事業所 友生（TEL43-6464） |
| (2) 所 在 地 | 大館市片山町三丁目11番12号 |
| (3) 開 設 | 平27. 4. 1 |
| (4) 面 積 | 土地1,068.19㎡ 建物367.68㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 鉄骨平家建 |
| (6) 管 理 運 営 | 医療法人和成会 |
| (7) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～土曜日（水曜日除く）午前8時30分から午後5時30分まで
ただし、日曜日、祝日及び年末年始を除く。 |
| (8) 職 員 | 専従常勤1人
（管理者兼相談支援専門員1人） 計1人 |
| (9) 事 業 内 容 | ①障害者支援施設等に入所又は精神科病院に入院している精神障害者等
が地域移行するための相談その他の必要な支援を行う。
②居宅において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、
緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。
③サービス利用支援等を行い「サービス等利用計画」等を作成する。 |

大-④⑤

地域生活支援拠点おおだて

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え・居住支援のための機能（相談、体験の機会の場、緊急時の受入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を地域の実情に応じ、障害者の生活を地域全体で支えることを目的とする。

大-④⑤

プラットホームおおだて

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | 相談支援事業所 プラットホームおおだて (TEL59-4110) |
| (2) 所 在 地 | 大館市清水町一丁目1番20号 |
| (3) 開 設 | 平29.4.1 |
| (4) 面 積 | 敷地面積 476.74㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造二階建 |
| (6) 管 理 運 営 | 指定管理者：社会福祉法人 花輪ふくし会 |
| (7) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時30分まで
ただし、土曜、日曜、祝日及び年末年始を除く。 |
| (8) 職 員 | 常勤1人 相談支援専門員（管理者と兼務）、管理者1人 |
| (9) 事 業 内 容 | ①総合的・専門的な相談支援の実施
②一般・特定相談支援事業所の指導・助言支援
③障害者施設等からの地域移行・地域定着支援におけるコーディネート機能の発揮
④成年後見人制度の普及・啓発活動
⑤その他、障害者相談支援の充実に向けて必要と認める事業 |

大-④⑤

ケアワーク おおだて

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | 多機能型事業所 ケアワークおおだて (TEL59-4080) |
| (2) 所 在 地 | 大館市清水町一丁目1番20号 |
| (3) 開 設 | 平29.4.1 |
| (4) 面 積 | 敷地面積 476.74㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造二階建 |
| (6) 管 理 運 営 | 指定管理者：社会福祉法人 花輪ふくし会 |
| (7) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～金曜日 午前9時から午後4時まで |
| (8) 職 員 | 管理者（1人）、サービス管理責任者（管理者と兼務）（1人）、看護師（2人）、事務員（1人）、生活支援員（16人） 計20人 |
| (9) 定 員 | 生活介護 27人 自立訓練 6人 |

大-④⑤

グループホーム シオン

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | グループホームシオン
共同生活援助・短期入所事業 (TEL59-4080) |
| (2) 所 在 地 | 大館市清水一丁目 1 番20号 |
| (3) 開 設 | 平29. 4. 1 |
| (4) 面 積 | 敷地1,077.24㎡ 建物511.33㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造二階建 |
| (6) 施設の概要 | 事務室、居室(7室)、ダイニングルーム、浴室、トイレ |
| (7) 経 営 主 体 | 社会福祉法人花輪ふくし会 |
| (8) 職 員 | 管理者(1人)、サービス管理責任者(管理者と兼務)(1人)、世話人(3人)
支援員(3人)、宿直専門員(3人) 計10人 |
| (9) 定 員 | 共同生活援助 7人、短期入所 2人 |

大-④⑤

グループホーム ミズキ

- | | |
|-------------|--|
| (1) 名 称 | グループホームミズキ
共同生活援助・短期入所事業 (TEL59-4080) |
| (2) 所 在 地 | 大館市清水一丁目 1 番21号 |
| (3) 開 設 | 平29. 4. 1 |
| (4) 面 積 | 敷地642.17㎡ 建物333.50㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造平家造 |
| (6) 施設の概要 | 事務室、居室(12室)、短期入所居室(2室)、ダイニングルーム、
浴室(機械浴槽)、トイレ |
| (7) 経 営 主 体 | 社会福祉法人花輪ふくし会 |
| (8) 職 員 | 管理者(1人)、サービス管理責任者(管理者と兼務)(1人)、世話人(3人)、
支援員(7人)、計11人 |
| (9) 定 員 | 共同生活援助 10人、短期入所 2人 |

大-④⑤

グループホーム スミレ

- | | |
|-------------|--|
| (1) 名 称 | グループホームスミレ
共同生活援助・短期入所事業 (TEL59-4080) |
| (2) 所 在 地 | 大館市清水一丁目 1 番21号 |
| (3) 開 設 | 平29. 4. 1 |
| (4) 面 積 | 敷地716.52㎡ 建物337.78㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造平家建 |
| (6) 施設の概要 | 事務室、居室(10室)、短期入所居室(2室)、ダイニングルーム、
浴室(機械浴槽)、トイレ |
| (7) 経 営 主 体 | 社会福祉法人花輪ふくし会 |
| (8) 職 員 | 管理者(1人)、サービス管理責任者(管理者と兼務)(1人)、世話人(3人)、
支援員(6人)、計10人 |

大-④⑥

多機能型事業所 ぱすてる

障害児・者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え・居住支援のための機能（相談、体験の機会、緊急時の受入れ・対応、専門性、地域の体制づくり）を地域の実情に応じ、障害者の生活を地域全体で支えることを目的とする。

大-④⑥

相談支援事業所 ぱれっと

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | 相談支援事業所 ぱれっと (TEL59-4580) |
| (2) 所 在 地 | 大館市泉町5番5号 |
| (3) 開 設 | 令2.4.1 |
| (4) 面 積 | 敷地面積 835.72㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造二階建て |
| (6) 管 理 運 営 | 指定管理者:社会福祉法人花輪ふくし会 |
| (7) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分
ただし土曜、日曜、祝日及び年末年始を除く |
| (8) 職 員 | 常勤1人、管理者、相談支援専門員(管理者と兼務) 計1人 |
| (9) 事 業 内 容 | ①総合的・専門的な相談支援の実施
②障害児相談支援
③障害者相談支援 |

大-④⑥

生活介護事業所 ぱすてる

- | | |
|-------------|---|
| (1) 名 称 | 生活介護事業所 ぱすてる (TEL59-4580) |
| (2) 所 在 地 | 大館市泉町5番5号 |
| (3) 開 設 | 令2.4.1 |
| (4) 面 積 | 敷地面積 835.72㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造二階建て |
| (6) 管 理 運 営 | 指定管理者:社会福祉法人花輪ふくし会 |
| (7) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～金曜日 午前9時00分～午後4時00分
ただし土曜、日曜、祝日及び年末年始を除く |
| (8) 職 員 | 常勤兼務1人
管理者1人、サービス管理責任者(管理者と兼務)1人、生活支援員9人、
看護師1人 |
| (9) 定 員 | 生活介護9人 |

大-④⑥

放課後等デイサービス ぱすてる

- | | |
|-------------|--|
| (1) 名 称 | 放課後等デイサービス ぱすてる (TEL59-4580) |
| (2) 所 在 地 | 大館市泉町 5 番 5 号 |
| (3) 開 設 | 令 2. 4. 1 |
| (4) 面 積 | 敷地面積 835.72㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造二階建て |
| (6) 管 理 運 営 | 指定管理者:社会福祉法人花輪ふくし会 |
| (7) 開 所 時 間 | 毎週月曜日～金曜日 午前 9 時00分～午後 6 時00分
サービス提供時間 (平日) 午後 2 時00分～午後 5 時00分
(土曜祝日及び長期休暇期間) 午前 9 時00分～午後 4 時00分 |
| (8) 職 員 | 管理者 1 人、児童発達管理責任者 1 人、児童指導員 1 人、
看護師 1 人、理学療法士 (毎週金曜日) 1 人 |
| (9) 定 員 | 7 人 |

大-④⑥

日中サービス支援型指定共同生活援助事業所 きゃんばす

- | | |
|-------------|--|
| (1) 名 称 | 日中サービス支援型指定共同生活援助事業所 きゃんばす (TEL59-4580) |
| (2) 所 在 地 | 大館市泉町 5 番 5 号 |
| (3) 開 設 | 令 2. 4. 1 |
| (4) 面 積 | 敷地面積 835.72㎡ |
| (5) 建 物 構 造 | 木造二階建て |
| (6) 施設の概要 | 居室 (7 室)、短期入所居室 (2 室)、リビングダイニングルーム、
浴室 (機械浴槽)、トイレ、スタッフルーム |
| (7) 管 理 運 営 | 指定管理者:社会福祉法人花輪ふくし会 |
| (8) 職 員 | 管理者 1 人、サービス管理責任者 (管理者と兼務) 1 人、生活支援員 5 人、
世話人 3 人 |
| (10) 定 員 | 日中サービス支援型指定共同生活援助事業所 7 人 短期入所 2 人 |

大-④

ふれあいセンター「やまびこ」

大館市ふれあいセンターは、秋田県北部老人福祉総合エリアを利用する人々の多世代交流を促進する施設として平成9年度からの2カ年事業により新設され、大館の曲げわっぱをモチーフとし、3つの円で居住及び利用者の、過去・現在の生活への楽しみ・未来の幸福をあらわしている。多目的ホールの天井には大断面集成材を使用しており、木のぬくもりと暖かさが感じとれる。また、遊具や散策路を設置している附属公園は、余暇活動の拠点として広く一般住民に使用されている。

- (1) 名 称 大館市ふれあいセンターやまびこ (TEL47-7220)
- (2) 所 在 地 大館市十二所字大水口4-3
- (3) 工 期 平9.11.24~10.11.12 (施設) 平9.6.19~11.9.30 (附属公園)
- (4) 開設・認可 平11.4.1 (施設) 平11.10.1 (附属公園)
- (5) 設 計 監 理 秋田県建築設計事業協同組合 (施設)
社団法人秋田県建設技術センター (附属公園)
- (6) 施 工 者 建 物 工 事：大成・渡辺・工藤特定建設工事共同企業体
空 調 設 備 工 事：同和工営(株)
給排水衛生設備工事：(株)越国商舗
電 気 設 備 工 事：羽後電設工業(株)
受 変 電 設 備 工 事：(有)シューホクE・S
構 内 電 気 引 込 工 事：(株)ユアテック
外 構 工 事：(株)大成工務店
附 属 公 園 工 事：(株)イトウ
- (7) 面 積 敷地 68,728.00㎡ 建物 1,459.26㎡
- (8) 建 物 構 造 鉄骨造一部集成材平家建
- (9) 総 事 業 費 2,219,057千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
施 設 整 備 費	538,248	地 方 債	1,937,100
設 備 整 備 費	8,577	一 般 財 源	193,433
外 構 工 事 費	13,650	そ の 他	88,524
用地買収・敷地造成整備工事費	756,476		
そ の 他 事 務 費 等	68,115		
附属公園等工事費	833,991		
計	2,219,057	計	2,219,057

- (10) 施設の概要 保育室、遊戯室、保健室、相談室、図書室、クラブ室、作業室ほか
- (11) 設 置 主 体 大館市
- (12) 管 理 運 営 指定管理者：社会福祉法人 大館市社会福祉事業団
- (13) 職 員 管理者1人、厚生員4人(うち臨時2人) 計5人
- (14) 利 用 状 況(令和7年度) (単位：人)

にこにこ クラブ	幼児	小学	一 般 中学生含	子供広場 ふれあいの森	小計	見学	合計
6,479	2,226	347	2,589	3,284	14,925	52	14,977

比一⑩ 比内福祉保健総合センター「ハートヒルとっと」

市民の健康管理及び疾病予防並びに健康増進活動を通じ、地域住民の健康づくりを進めるとともに、高齢者の介護支援活動の拠点及び生きがいつくりの場として市民の福祉向上を図ることを目的とした施設。

- (1) 名 称 **大館市比内福祉保健総合センター** (TEL55-3100)
- (2) 所 在 地 大館市比内町新館字館下79-1
- (3) 工 期 平10. 7. 22~11. 9. 30
- (4) 開 設 平12. 4. 1
- (5) 設 計 (株)蔵王建築設計事務所
- (6) 施 工 者 造成工事：(株)羽沢建設 建 築 工 事：飛鳥・イトウ建設工事共同企業体
外構工事：(株)武田組 法面保護工事：(有)山重建設
環境整備工事：(有)平萬造園土木
- (7) 面 積 敷地12,417㎡ 床面積2,939㎡
- (8) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- (9) 総 事 業 費 1,241,150千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
用 地 費	99,181	国・県支出金	250,512
本 体 工 事 費	945,000	地 方 債	752,000
外 構 工 事 費	86,088	一 般 財 源	238,638
設 計 監 査 費	37,494		
備 品	73,387		
計	1,241,150	計	1,241,150

- (10) 施設の概要 保健センター 563㎡ 機能回復訓練・運動指導室90㎡、調理実習室72㎡、保健指導室54㎡、栄養指導室（和室）54㎡、プレイルーム・展示コーナー36㎡、その他181㎡
高齢者生活福祉センター（デイサービス分）880㎡
作業日常動作訓練室108㎡、食堂・厨房91㎡、デイルーム36㎡、休養室36㎡、教養娯楽室・介護者教育室（和室）70㎡、浴室・脱衣室124㎡、特別浴室34㎡、その他381㎡
居住棟（定員11人）524㎡ 単身居室（7室）157㎡、二人居室（2室）90㎡、集会室（和室）45㎡、生活援助員室14㎡、その他218㎡
包括支援センター 36㎡
居宅介護支援事業所 36㎡
大館市社会福祉協議会 比内事務所 24㎡
多目的ホール（108席）240㎡
共用部分 732㎡
- (11) 事 業 内 容 高齢者生活福祉センター デイサービス事業、居住部門（ミニケアハウス）事業、介護支援センター事業
- (12) 管 理 運 営 指定管理者：社会福祉法人比内ふくし会
- (13) 利 用 状 況 (7年度)
福祉センター 986件 13,197人
保健センター 267件 2,973人
多目的ホール 3件 113人
高齢者生活福祉センター ミニケアハウス 実人員9人

田-⑦

田代老人福祉センター

老人福祉の増進に資するため設置された施設であり、生きがいくりのための生産活動や、レクリエーション活動に利用されている。

- (1) 名 称 **大館市田代老人福祉センター** (TEL54-3448)
- (2) 所 在 地 大館市早口字堤沢4番地
- (3) 開 設 昭56.4.1
- (4) 面 積 敷地7,262.15㎡ 建物 681.37㎡ 床面積544.32㎡
- (5) 建 物 構 造 鉄骨造平家建
- (6) 建 設 費 65,393千円
国庫補助金 17,410千円、県補助金 17,410千円、過疎債 23,500千円、一般財源7,073千円
- (7) 施設の概要 集会室 113.40㎡、教養娯楽室 38.88㎡、生活相談室 31.59㎡、調理室 26.53㎡、健康相談室 48.60㎡、事務室 34.02㎡、ホール 52.79㎡、その他 198.51㎡
- (8) 管 理 運 営 指定管理者：株式会社 友愛ビルサービス
- (9) 開 館 時 間 午前9時～午後4時30分
- (10) 休 館 日 毎週月曜日、年末年始
- (11) 使用者の範囲 ① 市内に居住する60歳以上の者又は市内の老人クラブの会員
② 市内の社会福祉団体
- (12) 使 用 料 金 無料（ただし、次の場合は有料）

使用者	区分	使用料
・(11)以外の者が使用するとき。 ・営利を目的とする使用のとき。 ・その他市長が特別な理由があると認めるとき。	集 会 室	1時間につき 2,330円 (2,800円)
	教養娯楽室	1時間につき 930円 (1,120円)
	生活相談室	1時間につき 930円 (1,120円)
	調 理 室	1時間につき 700円 (840円)

備考 暖房を使用する場合は、上記使用料に100分の120を乗じた使用料とし、()内の金額とする。

- (13) 利 用 状 況 (令和7年度)
生産活動 5人、ゲートボール・ユニカール等 698人 計 703人

田－⑧ 田代いきいきふれあいセンター「サンピア」

各種の福祉サービス、保健指導の提供等を推進し、総合的な保健福祉の増進を図る目的で設置された施設であり、子供から老人まで幅広く利用されている。

- (1) 名 称 **大館市田代いきいきふれあいセンター** (TEL54－6300)
(旧名称「大館市田代総合福祉センター」 ～H23. 3. 31)
- (2) 所 在 地 大館市岩瀬字上岩瀬塚の岱16番地
- (3) 工 期 平8. 8. 9～9. 7. 31
- (4) 開 設 平10. 3
- (5) 設 計 (株)小畑勇設計事務所
- (6) 施 工 者 建 築 工 事：イトウ・伊藤建設共同企業体
機 械 設 備 工 事：大館桂工業(株)
電 気 設 備 工 事：奥羽電気設備(株)
- (7) 面 積 床面積2,097.39㎡
- (8) 建 物 構 造 鉄筋コンクリート造平家建
- (9) 総 事 業 費 770,272千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
設 計 ・ 監 理	23,486	地 方 債	525,000
建 築 工 事	438,780	一 般 財 源	245,272
機 械 設 備 工 事	174,070		
電 気 設 備 工 事	56,547		
備 品 購 入	33,485		
そ の 他	43,904		
計	770,272	計	770,272

- (10) 施設の概要 事務室158.04㎡、健康相談室203.77㎡、ボランティアルーム48.28㎡、
栄養指導室59.29㎡、会議室36.04㎡、児童館84.32㎡、
機能回復訓練室52.36㎡、運動指導室79.52㎡、浴室88.90㎡、
集会室112.32㎡、休憩室32.09㎡、調理室25.56㎡、食堂48.28㎡、
研修室96.56㎡、ロビー111.10㎡、その他860.96㎡
- (11) 事業内容 老人デイサービス事業、健康増進事業、保健福祉相談事業、介護支援事業
社会福祉事業、児童健全育成事業・児童館事業、教養娯楽活動事業
- (12) 管理運営 指定管理者：株式会社 友愛ビルサービス
- (13) 利用時間 午前8時30分～午後9時
- (14) 休館日 祝日、年末年始
- (15) 利用状況 (令和7年度)
利用人数
保健事業 812人、
社会福祉協議会事業 356人、児童館事業 864人、その他 2,264人
計4,296人

比－⑪ 介護予防拠点施設 八木橋地域福祉センター

地域の実情に応じて、高齢者が要介護状態になったり、状態が悪化したりすることを予防するための事業、高齢者の健康増進のための事業、または介護予防に関する知識・方法の普及を図るための拠点施設として建設された。

- | | |
|----------------------|---|
| (1) 名 称 | 大館市八木橋地域福祉センター (TEL55－1781) |
| (2) 所 在 地 | 大館市比内町八木橋字畠沢岱16 |
| (3) 工 期 | 平14. 9. 6～15. 3. 4 |
| (4) 開 設 | 平15. 4. 1 |
| (5) 事 業 | 高齢者の介護予防に関する事業、高齢者の食生活改善に関する事業、
高齢者の生きがい健康づくりに関する事業 |
| (6) 面 積 | 床面積298.68㎡ |
| (7) 建 物 構 造 | 木造平家建 |
| (8) 建 設 費 | 55,650千円 (国庫補助金54,574千円、一般財源1,076千円) |
| (9) 施設の概要 | 研修室124.21㎡、第1介護研修室18.63㎡、第2介護研修室18.63㎡、
調理実習室28.98㎡、ロビー・その他108.23㎡ |
| (10) 管 理 運 営 | 指定管理者：大館市社会福祉協議会 |
| (11) 開 館 時 間 | 午前9時～午後9時 |
| (12) 休 館 日 | 毎週月曜日、年末年始 |
| (13) 利 用 状 況 (令和7年度) | 利用人数 437人 |

大-④⑧

老人いこいの家「清和荘」

- (1) 名 称 **大館市老人いこいの家** (TEL48-4412)
 (2) 所 在 地 大館市釈迦内字獅子ヶ森1の1の内
 (3) 工 期 昭54. 6. 25～54. 11. 29
 (4) 開 設 昭54. 12. 1
 (5) 施 工 者 建 設 工 事：(株)大成工務店
 電 気 設 備 工 事：秋北電設協業組合
 給排水設備工事：(株)大館桂工業
 (6) 面 積 敷地 4,273.21㎡ 建物 636.21㎡
 (7) 建 物 構 造 木造一部鉄筋コンクリート造平家建
 (8) 総 事 業 費 76,758千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
本 体 工 事 費	45,600	県 補 助 金	3,000
電 気 設 備 工 事 費	5,840	地 方 債	40,700
給排水設備工事費	8,880	一 般 財 源	33,058
附 帯 工 事 費	4,600		
事 務 費 そ の 他	11,838		
計	76,758	計	76,758

- (9) 施設の概要 大広間 112.6㎡、ステージ 19.9㎡、和室（8畳4室、4.5畳1室）、
 作業所 66.2㎡、事務室、厨房
 (10) 管 理 運 営 指定管理者：大館市老人クラブ連合会
 (11) 開 館 時 間 午前9時～午後5時
 (12) 休 館 日 毎週日曜日、祝日、年末年始
 (13) 収 容 人 員 定員200人
 (14) 利 用 状 況 (令和7年度)
 ・利用件数453件 ・利用人員 3,372人

比-⑫

高 齢 者 生 き が い セ ン タ ー

高齢者の教養及び文化の向上並びにレクリエーション、研修会、交流会等を通じ社会福祉の増進を図る目的で設置。

- (1) 名 称 **大館市高齢者生きがいセンター**
 (2) 所 在 地 大館市比内町扇田字伊勢堂岱178
 (3) 竣工年月日 平4. 2. 17
 (4) 開 設 平4. 4. 1
 (5) 面 積 床面積254.44㎡
 (6) 建 物 構 造 木造平家建
 (7) 建 築 費 36,715千円（一般財源）
 (8) 施設の概要 展示・談話室64.82㎡、研修室77.01㎡、創作室28.98㎡、その他83.63㎡
 (9) 管 理 運 営 指定管理者：大館市社会福祉協議会
 (10) 開 館 時 間 午前9時～午後9時
 (11) 休 館 日 毎週月曜日、年末年始
 (12) 利 用 状 況 (令和7年度) 利用人数 172人

大-49

養護老人ホーム「成章園」

昭和63年度から2カ年事業で移転改築した大館市養護老人ホームは、その名称も養護老人ホーム「成章園」と改め、南側に米代川を臨み、隣接地には秋田労災病院を控え、風光明媚な医療体制の整った施設となっている。また、敷地内には運動場・観葉植物用ガラス温室を整備し、施設内には地域性を活用した温泉浴場も完備され、窓や明かり採りを効果的に取り入れ、杉を初め木材がふんだんに使われ、光と木のぬくもり、優しさにつつまれたつくりとなっている。

平成30年10月より、成章園一般型（介護予防）特定施設生活介護事業所を開始し、介護が必要な入居者への24時間介護サービス提供体制を整備している。また、令和3年度より、契約入所事業を開始し、冬期（11月～3月）は大館市冬期生活支援事業枠として6床を確保し事業を運営している。

- (1) 名 称 **大館市養護老人ホーム成章園** (TEL52-2525)
- (2) 所 在 地 大館市軽井沢字下岱20-20
- (3) 工 期 昭63. 8. 23～平元. 6. 30
- (4) 開設・認可
改 築 入 所 昭42. 4. 1
平元. 7. 1
- (5) 設 計 (株)恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施 工 者 建物及び外構工事：丸山建設(株)
給排水衛生設備工事：大館桂工業(株)
電気設備工事：大館桂工業(株)
暖房設備工事：同和工営(株)
- (7) 面 積 敷地 12,591.82㎡ 建物 2,759.91㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造平家
- (9) 総事業費 733,618千円

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
本体工事費	542,000	国庫補助金	161,501
外構工事費	52,633	県補助金	80,750
敷地造成工事費	22,857	地 方 債	371,200
旧施設解体工事費	8,652	一 般 財 源	120,167
給湯管付設工事費	3,778		
その他工事費	3,947		
用地買収費	63,812		
備品購入費	16,000		
その他事務費等	19,939		
計	733,618	計	733,618

- (10) 施設の概要 居室47室（6畳35室、4.5畳10室、ショートステイ用6畳2室）、
医務室、介護センター、静養室、食堂・集会室、浴室、調理室、仏間、面接室、
会議室、ガラス温室、ほか
- (11) 設置主体 大館市
- (12) 管理運営 指定管理者：社会福祉法人 大館市社会福祉事業団
- (13) 収容定員 入所80人、ショートステイ4人

大-⑤⑩

ケアハウス「ほうおう」

大館市ケアハウスは、平成9年度からの2カ年事業により新設され、その形を鳳凰山の「大」の字をイメージし、半円の食堂・集会娯楽室の天井を高くとり、カーテンウォールで採光も多くし、使用者に開放感を与えてくれる施設となっている。居室は全室南向きで、特に個人部屋は間仕切りを少なくし、居住スペースの確保を行っている。場所は大館市特別養護老人ホームつくし苑の北側に隣接し、米代川沿いの緑あふれる自然に囲まれている。平成24年4月より特定施設生活介護事業所（20床）を開始し、介護が必要な入居者への24時間介護サービス提供体制を整備している。

- (1) 名 称 **大館市ケアハウスほうおう** (TEL47-7210)
- (2) 所 在 地 大館市十二所字大水口4-4
- (3) 工 期 平9.11.24~10.11.12
- (4) 開設・認可 平11.1.29
- (5) 入所開始 平11.2.1
- (6) 設計監理 秋田県建築設計事業協同組合
- (7) 施 工 者 建物工事及び外構工事：㈱イトウ
空 調 設 備 工 事：古屋・タガヤ特定建設工事共同企業体
給排水衛生設備工事：田中・古沢特定建設工事共同企業体
電 気 設 備 工 事：大館桂・狩野特定建設工事共同企業体
受変電設備工事：同和工営㈱
構内電気引込工事：㈱ユアテック
- (8) 面 積 敷地 10,766.28㎡ 建物 3,467.38㎡
- (9) 建物構造 鉄筋コンクリート造二階建
- (10) 総事業費 1,373,330千円

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
施設整備費	1,207,918	国庫補助金	226,782
設備整備費	20,057	県補助金	113,393
外構工事費	30,870	地方債	854,500
用地買収・敷地造成整備工事費	96,464	一般財源	74,855
その他事務費等	18,021	その他	103,800
計	1,373,330	計	1,373,330

- (11) 収容人員 50人
- (12) 施設の概要 個人部屋34室、夫婦部屋8室、食堂・集会娯楽室、厨房、相談室、静養室、多目的室、浴室（男女）、小浴室、洗濯汚物室、会議室ほか
- (13) 設置主体 大館市
- (14) 管理運営 指定管理者：社会福祉法人 大館市社会福祉事業団

大ー⑤①、⑤②

介護老人福祉施設「つくし苑」・「水交苑」

(1) 名 称	特別養護老人ホーム つくし苑 (TEL47－7200)		特別養護老人ホーム 水交苑 (TEL48－3553)													
(2) 所 在 地	大館市十二所字大水口 4－5		大館市字下綱 2 2 番地 1													
(3) 工 期	平 9 . 11 . 24～平10. 11 . 12		①昭50. 11 . 27～51. 6 . 22 ②昭57. 7 . 8～57. 11 . 30 (増築工事) ②平 9 . 7 . 10～ 9 . 10 . 15 (拡張工事) ②平11. 8 . 20～12. 1 . 31 (新館増築工事) ③令 4 . 7 . 22～ 5 . 9 . 15 (移転改築工事)													
(4) 開 館	平11. 1 . 29		昭51. 7 . 1													
(5) 設 計	秋田県建築設計事業協同組合		①(株)恒谷汲川建築設計事務所 ②(有)佐藤士郎建築設計事務所 ③(有)アトリエ建築設計室													
(6) 施 工 者	丸山・花岡 J V (J V =特定建設工事共同企業体)		株式会社伊藤羽州建設 大館桂工業株式会社													
(7) 面 積	敷地9, 721. 94㎡ 建物4, 979. 15㎡		敷地16, 299. 09㎡ 建物 4, 062. 17㎡													
(8) 建 物 構 造	鉄筋コンクリート造平家建		木造合金メッキ鋼板葺平家建													
(9) 総 事 業 費	総事業費 2, 238, 619千円		総事業費 2, 141, 015千円													
	建設費	施設整備費 1, 798, 270千円	建設費	建物建築費 1, 171, 015千円												
		設備整備費 131, 041		機械工事費 258, 884												
		外構工事費 70, 665		電気設備工事費 199, 832												
		温泉工事費 61, 443		厨房設備工事費 30, 921												
用地買収・敷地造成整備工事費 144, 535		土地整備費 60, 082														
財源	その他事務費等 32, 665	財源	外構工事費 74, 933													
			設備費 80, 593													
			旧建物解体工事費 158, 224													
			工事事務費 35, 750													
			その他事務費 69, 908													
(10) 施設の概要	居室38室（4人部屋21室、2人部屋9室、個人部屋8室）ショート居室6室（4人部屋1室、2人部屋1室、個人部屋4室）、食堂・集会娯楽室、厨房、浴室、機能訓練室、診察室、談話面接室、サンルーム、会議室ほか	居室(4人部屋22室、2人部屋4室、個室4室)、事務室、事務局長室、施設長室、相談室、静養室、医務室、介護センター、ケアマネジャー室、浴室、食堂・機能訓練室、厨房、ボイラー室、洗濯室、休憩室、倉庫、外部員控室、理容室、地域交流スペース、打合せ室、車庫														

大ー⑤③、⑤④

介護老人福祉施設「神山荘」・「山館苑」

(1) 名 称	特別養護老人ホーム 神山荘 (TEL46-2210)	特別養護老人ホーム 山館苑 (TEL42-7557)
(2) 所 在 地	大館市花岡町字神山6-2	大館市山館字館ノ下12-1
(3) 工 期	昭60.9.17~61.7.30 元.8.1~元.11.20(拡張工事) ショートステイ専用室	平19.8.20~平20.3.10 平22.7.7~平22.11.30(増築工事)
(4) 開 館	昭61.8.1	平20.4.1
(5) 設 計	(株)山本建築設計事務所	(有)アトリエ建設設計室
(6) 施 工 者	丸山建設(株)	(株)イトウ
(7) 面 積	敷地7,360.065㎡ 建物2,134.65㎡、倉庫・車庫189.5㎡	敷地12,180.46㎡ 建物 3,657.85㎡
(8) 建 物 構 造	鉄筋コンクリート造平家建	鉄骨造合金メッキ鋼板葺二階建
(9) 総 事 業 費	当初総事業費 335,515千円	総事業費 717,375千円 うち既設分 524,074 増設分 193,301
	建 設 費	建 設 費
	本体工事費 276,000千円 外構工事費 18,814 調弁費 31,000 事務費その他 9,701	施設整備費 604,275千円 設計管理費 18,279 外構工事費 36,628 設計費(備品含) 58,193
	財 源	財 源
	国庫補助金 119,679千円 県補助金 103,836 市補助金 50,000 県整備資金借入 9,000 社会福祉事業振興会借入金 50,000 自己資金 3,000	県補助金 181,851千円 借入金 435,000 自己負担金 100,524
	増築工事費(ショートステイ専用室) 64,791千円	
	建 設 費	財 源
	本体工事費 52,736千円 調弁費 10,293 事務費 1,762	
	財 源	
	国庫補助金 25,245千円 県補助金 20,123 市補助金 14,754 自己資金 4,669	
(10) 施設の概要	居室(26室)、事務室、宿直室、施設長室 静養室(1室)、看護職員室、浴室、食堂、 調理室、ボイラー室、洗濯室、介護職員 室、倉庫、洗濯乾燥室、面会室、仮眠室、 談話室(2室)、役員室	居室(50室)、ショートステイ室(10室)、 苑長室、事務室、相談室、警備室、ボラ ンティア室、医務室、浴室・特殊浴室、 調理室、会議室、ボイラー室、洗濯室、 職員休憩室、霊安室、倉庫、 セミパブリックスペース、地域交流スペース
(11) 管 理 運 営	社会福祉法人 大館圏域ふくし会	社会福祉法人 水交苑
(12) 職 員	職員数55人(うち臨時職員11人)	職員数49人(うち准職員5人、嘱託職員 2人、パート職員6人)
(13) 入 所 定 員	入所60人、ショートステイ10人	入所50人、ショートステイ10人

比-⑬、田-⑨ 介護老人福祉施設「やまぼうし」・「長慶荘」

(1) 名 称	特別養護老人ホーム やまぼうし (TEL55-2020)	特別養護老人ホーム 長慶荘 (TEL54-6225)
(2) 所 在 地	大館市比内町新館字真館21-6	大館市岩瀬字羽貫谷地中島21-90
(3) 工 期	平31.4.26～令1.12.23	①昭58.6.1～58.10.30 ②平12.9.6～13.3.20
(4) 開 館	平3.4.1	昭58.11.1
(5) 設 計	(株)草階建築創作所	㈱山本建築設計事務所
(6) 施 工 者	中田建設(株)	丸山建設株式会社
(7) 面 積	敷地 6002.85㎡ 建物 2967.88㎡	敷地10,095.165㎡ 建物 2,189.51㎡
(8) 建 物 構 造	鉄骨造陸屋根二階建	鉄筋コンクリート造平家建
(9) 総 事 業 費	当初総事業費 1,050,618千円	当初総事業費 348,660千円
	建 設 費	建 設 費
	建築工事費 947,980千円	本体工事費 295,000千円
	設計監理費 38,000	外構工事費 21,000
	初度調弁費 35,338	調弁費 22,000
	外構工事費 28,655	事務費その他 10,660
	財 源	財 源
	県補助金 175,910千円	日本船舶振興会補助金 159,400千円
	市補助金 30,000	県補助金 61,760
	借入金 600,000	町補助金 40,000
	自己負担 244,708	借入金 77,500
		自己資金 10,000
		増築工事費 100,749千円
		建 設 費
		本体工事費 88,935千円 調弁費 7,943 事務費 3,871
		財 源
		国庫補助金 57,448千円
		借入金 39,000 自己資金 4,301
(10) 施設の概要	居室(特養:35室、短期:5室)、特別浴室、個別浴室、脱衣室、多目的トイレ、トイレ、汚物処理室、事務室、宿直室、更衣室、洗濯室、医務看護室、介護材料リネン室、食堂、機能回復訓練室、事務コーナーキッチン、静養室、相談室、倉庫、談話ホール、介護員休憩室、スプリングラップ室、エレベーター、パントリー、サービスヤード、会議室、自家発電室、パブリックスペース兼機能回復訓練室、家族室	居室(23室)、事務室、当直室、静養室、医務室、介護職員室、浴室、食堂、機能訓練室、調理室、ボイラー室、洗濯室、厨房職員休養室、霊安室、倉庫、面会室
(11) 管 理 運 営	社会福祉法人 比内ふくし会	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
(12) 職 員	職員数60人(うち臨時・パート職員7人)	職員数49人(うちパート職員12人)
(13) 入 所 定 員	入所70人、ショートステイ10人	入所60人、ショートステイ10人

比－⑬、大－⑤⑤ 介護老人福祉施設「はなみずき」・「大館南ガーデン」

(1) 名 称	特別養護老人ホーム はなみずき (TEL59－4536)	特別養護老人ホーム 大館南ガーデン (TEL59－6141)
(2) 所 在 地	大館市比内町新館字真館21－2	大館市下川原字向野 1 7 番地 1
(3) 工 期	平25. 9. 10～平26. 6. 10	平26. 8. 1～平27. 7. 15
(4) 開 館	平26. 7. 1	平27. 8. 1
(5) 設 計	(株)草階建築創作所	(株)小畑設計事務所
(6) 施 工 者	中田建設株式会社	丸山・花岡特定建設工事共同企業体
(7) 面 積	9,500.1㎡	敷地9,437.29㎡、建物4,349.26㎡
(8) 建 物 構 造	鉄骨造一部木造平家建	R C 造一部二階建て
(9) 総 事 業 費	総事業費 992,813千円	
	建	建設工事費 913,500千円
	設	設計管理費 34,125
	費	設備整備費 45,188
(10) 施設の概要	財	介護関連施設整備費補助金 213,698千円
	源	自己資金 579,115
		借入金 200,000
(11) 管 理 運 営	建	建設工事費 1,080,000千円
	設	設計・工事管理費 32,584
	費	設備整備費 50,874
(12) 職 員	財	介護関連施設整備費補助金 322,000千円
	源	自己資金 241,458
		借入金 600,000
(13) 入 所 定 員	居室 (60室)、事務室、相談室、会議室、ボランティア室、宿直室、倉庫、書庫、地域交流ホール、医務室、介護材料室、介護員室、汚物処理室、共同生活室、脱衣室、浴室、リネン室、洗濯室、特別浴室、洗浄室、配膳室、厨房、休憩室、更衣室	ユニット内設備 ・居室(個室)80室-ベッド・洗面化粧台等 ・共同生活室8室-イス・テーブル・テレビ等 ・浴室8室-ユニットバス5/個浴型介護浴槽3 ・脱衣室・洗濯室8室-洗濯機・乾燥機 ・トイレ32室-4×8ユニット ユニット外設備 ・地域交流スペース、医務・静養室、相談室兼ボランティアルーム、特殊浴室、トイレ5室(多目的トイレ1室)、機能訓練室、理美容室等
	社会福祉法人 比内ふくし会	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
	職員数56人(うち臨時・パート職員6人)	職員数63人(うち契約職員5人、パート職員7人)
	入居60人、ショートステイ(空床利用)	入居80人、ショートステイ(空床利用)

大ー⑤⑥ 地域密着型介護老人福祉施設 Club City

- (1) 名 称 地域密着型介護老人福祉施設 Club City (TEL59－8355)
 (2) 所 在 地 大館市釈迦内字獅子ヶ森 1－32
 (3) 工 期 令 2. 9. 5～3. 3. 10
 (4) 開 館 令 3. 4. 1
 (5) 設 計 (株)三浦建築アトリエ
 (6) 施 工 者 (株)伊藤羽州建設
 (7) 面 積 9,884㎡
 (8) 建 物 構 造 木造平家建
 (9) 総 事 業 費 459,946千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
建 設 工 事 費	384,450	介護関連施設整備費補助金	155,095
設 計 管 理 費	18,461	自 己 資 金	4,851
設 備 整 備 費	57,035	借 入 金	300,000
計	459,946	計	459,946

- (10) 施設の概要 居室(29室)、事務室、相談コーナー、理美容室、倉庫、応接室、医務室、介護材料室、共同生活コーナー、脱衣室、浴室、リネン室、洗濯室、特別浴室、配膳室、調理室、休憩室、更衣室
 (11) 管 理 運 営 社会福祉法人 成寿会
 (12) 職 員 職員数20人
 (13) 入 所 定 員 入居29人

大ー③⑦、⑤①、⑤②

デイサービスセンター

(1)名 称	デイサービスセンターかつら (TEL42－8107)	デイサービスセンター大滝 (TEL47－7201)	水交苑デイサービスセンターのぎく (TEL48－6600)	
(2)所 在 地	大館市字三ノ丸103－4 (大館市総合福祉センター内)	大館市十二所字大水口 4－5 (特別養護老人ホームつくし苑に併設)	大館市字下綱 2 2 番 地 1 (水交苑に併設)	
(3)工 期		特別養護老人ホームつくし苑 (239ページ) を参照	①平 3 . 7 . 20～ 3 . 11 . 30 ②令 4 . 7 . 22～ 5 . 9 . 15	
(4)開 館	平 4 . 8 . 24		平 3 . 12 . 16	
(5)設 計	大館市総合福祉センター (211ページ) を参照		①(有)佐藤士朗建築設計事務所 ②(有)アトリエ建築設計室	
(6)施 工 者			株式会社伊藤羽州建設	
(7)面 積			敷地 特養水交苑と同一敷地内 建物 491.51㎡	
(8)建物構造			木造合金メッキ鋼板葺平家建	
(9)総事業費			総事業費 192,254千円	
			建 設 費	建物建築費 137,112千円 機械工事費 28,095 電気設備工事費 15,768 設備費 11,279
			財 源	自己資金 192,254千円
(10)施設の概要			事務室、相談室、養護室、食 堂・機能訓練室、休憩室、 浴室、給湯室	
(11)管理運営	社会福祉法人 大館市社会福祉協議会	社会福祉法人 大館市社会福祉事業団	社会福祉法人 水交苑	
(12)職 員	職員数14人 (うちパート職員10人、非 常勤1人)	職員数12人 (うち運転員2人)	職員数24人 (うち准職員3人、嘱託職 員2人、パート職員3人)	

大-⑤③、田-⑨、大-⑤⑦

(1)名 称	デイサービスセンターかみやま (TEL46-2127)	デイサービスセンターたしろ (TEL54-2900)	介護サービスセンター山王台デイサービス (TEL42-1220)
(2)所 在 地	大館市花岡町字神山 6-2 (神山荘に併設)	大館市岩瀬字羽貫谷地中島 21-90 (長慶荘に併設)	大館市池内字上野 234-1
(3)工 期	平 5. 7. 15 ~ 5. 11. 30	平 7. 8. 5 ~ 8. 2. 29 平 11. 8. 27 ~ 11. 11. 30 (拡張工事)	平 21. 11. 20 ~ 22. 3. 15
(4)開 館	平 5. 12. 1	平 8. 3. 1	平 22. 4. 1
(5)設 計	(株)山本建築設計事務所	(株)山本建築設計事務所	(有)ミラ企画設計室
(6)施 工 者	丸山建設(株)	丸山建設(株)	平和建設(株)
(7)面 積	敷地 1,561.37㎡ 建物 568.70㎡	敷地 1,391.0㎡ 建物 578.7㎡	敷地 4,371.12㎡ 建物 557.31㎡
(8)建物構造	鉄骨造 1 階平家建	鉄筋コンクリート造平家建	木造・乾式防火サイディング張 金属板葺平家建
(9)総事業費	総事業費 154,838千円	総事業費 175,950千円	総事業費 129,780 千円
	建設費 本体工事費 116,024千円 暖房工事費 10,120 浄化槽工事費 6,736 外構工事費 3,904 初度調弁費 14,076 設計管理費 3,744 一般事務費 234	建設費 本体工事費 130,042千円 暖房工事費 16,857 浄化槽工事費 6,571 初度調弁費 17,000 設計管理費 5,480	建設費 建築工事一式 126,000 千円 設計監理 3,780
	財 源 日本自転車振興会 54,650千円 県補助金 22,294 市補助金 25,637 社会福祉・医療事業団 45,000 自己資金 7,257	財 源 国補助金 58,686千円 県補助金 46,949 町補助金 15,000 借入金 53,500 自己資金 1,815	財 源 自己資金 129,780 千円
(10)施設の概要	事務室、相談室(2 部屋)、 食堂、調理室、展示コーナ ー、洗濯室、日常動作訓練 室、浴室	事務室、相談室、食堂、 調理室、展示コーナー、 洗濯室、日常動作訓練室、 休養室、介護教室、浴室、脱 衣室	オール電化、床暖房設備、 無落雪構造、 機能訓練室兼食堂、 静養室、脱衣室 一般浴槽、特殊浴槽(2 台)、 相談室、厨房、事務室、 テラス
(11)管理運営	社会福祉法人 大館圏域ふくし会	社会福祉法人 大館圏域ふくし会	社会福祉法人 比内ふくし会
(12)職 員	職員数16人 (うちパート職員 5 人)	職員数13人 (うちパート職員 4 人)	職員数12人 (うち臨時・パート職員 5 人)

大ー⑤⑧、比ー⑩、大ー④②

(1)名 称	デイサービスセンター大館南 (TEL44-5988)	比内町福祉センターデイサービス (TEL55-1670) 介護サービスセンターひないデイサービス (TEL55-3100)	デイサービスセンターいずみ (TEL44-5301)
(2)所 在 地	大館市下川原字向野 17-4	大館市比内町新館字館下 79-1 (大館市比内福祉保健総合センター内)	大館市泉町 9-19 (泉町地域ふくしセンター内)
(3)工 期	平17. 9. 1～18. 3. 20	大館市比内福祉保健総合セ ンター (232ページ) を参照	平24. 11. 14～25. 9. 30
(4)開 館	平18. 4. 1		平25. 10. 15
(5)設 計	(株)恒谷汲川建築設計事務所		(有)アトリエ建築設計室
(6)施 工 者	花岡土建(株)		丸山建設株式会社
(7)面 積	敷地 2,500.13 m ² 建物 745.45 m ²		388.75 m ²
(8)建物構造	鉄骨造平家建		鉄筋コンクリート造
(9)総事業費	総事業費 190,000 千円		総事業費 600,678 千円
	建設費 建築工事 94,334 千円 機械設備 36,273 電気設備 16,053 外構設備等 15,040 初年度設備 23,373 設計監理 4,927		建設費 600,678 千円
	財 源 自己資金 142,500 千円 借入金 47,500		財 源 自己資金 336,223 千円 借入金 200,000 補助金 64,455
(10)施設の概要	事務室、相談室(面談室)、 食堂兼機能訓練室、静養室、 浴室(一般浴・機械浴)、 脱衣室、和室、厨房、 機械室、テラス		事務室、相談室、食堂、静養 室、浴室(一般浴、機械浴)、 和室、脱衣室、機能訓練コー ナー
(11)管理運営	社会福祉法人 大館圏域ふくし会	社会福祉法人 比内ふくし会	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
(12)職 員	職員数12人 (うちパート職員 5人)	比内町福祉センターデイサービス 職員数21人(うち嘱託職員 1人、 パート職員11人) 介護サービスセンターひないデイ サービス 職員数 8人(うちパート職員 5人)	職員数17人 (うち契約職員 2人、パー ト職員 6人)

地域包括支援センター

〔地域包括支援センター〕 地域の高齢者やその家族の相談に応じる機関である。その主な業務の内容は、総合相談支援、権利擁護業務、包括的・継続的マネジメント業務、介護予防マネジメント業務などであり、大館市内には地域毎に7か所設置されている。

(1)名 称	地域包括支援センター かつら	地域包括支援センター 水交苑	地域包括支援センター 神山荘
(2)所 在 地	大館市字三ノ丸103-4 (大館市総合福祉センター内)	大館市字下綱123 (ケアハウス樹海の里内)	大館市花岡町字姥沢34-1 (花岡町コミュニティさろん内)
(3)開 設	平成 21 . 4 . 1	平成 18 . 4 . 1	平成 18 . 4 . 1
(4)地域包括 支援センター 担当地区	旧大館地区(第一中学区) 下川沿地区	旧大館地区(東中学区) 長木地区	釈迦内、花岡、矢立地区
(5)管理運営	社会福祉法人 大館市社会福祉協議会	社会福祉法人 水交苑	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
(6)職 員	管理者(主任介護支援専門員)、主任介護支援専門員、社会福祉士(2人)、保健師(2人) 計6人	管理者(社会福祉士)、主任介護支援専門員、社会福祉士(2人)、看護師 計5人	管理者(主任介護支援専門員/社会福祉士)、社会福祉士(2人)、看護師、主任介護支援専門員 計4人

(1)名 称	地域包括支援センター おおたき	地域包括支援センター ひない	地域包括支援センター 長慶荘
(2)所 在 地	大館市十二所字大水口 4-5(特別養護老人ホーム おたき苑併設)	大館市扇田字上扇田49-1 (いきいきシルバーサポートひない内)	大館市岩瀬字上岩瀬塚の岱16 (田代いきいきふれあいセンター内)
(3)開 設	平成 18 . 4 . 1	平成 18 . 4 . 1	平成 18 . 4 . 1
(4)地域包括 支援センター 担当地区	上川沿、十二所地区	比内地域	田代地域
(5)管理運営	社会福祉法人 大館市社会福祉事業団	社会福祉法人 比内ふくし会	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
(6)職 員	管理者(社会福祉士/主任介護支援専門員)、主任介護支援専門員、保健師 計3人	管理者(社会福祉士)、主任介護支援専門員、社会福祉士、看護師 計4人	管理者(看護師)、主任介護支援専門員(社会福祉士) 計2人

(1)名 称	地域包括支援センター 大館南		
(2)所 在 地	大館市下川原字向野17-1 (特別養護老人ホーム 大館南ガーデン内)		
(3)開 設	平成 31 . 4 . 1		
(4)地域包括 支援センター 担当地区	真中、二井田地区		
(5)管理運営	社会福祉法人 大館圏域ふくし会		
(6)職 員	管理者(主任介護支援専門員)、看護師 計2人		

4 その他の施設

大ー⑤9

市 民 の 森

急速な都市化現象とともに、公害、自然観境の破壊が広がりつつある中、自然を保護し、豊かな心と健全な身体をつくり、緑の中で人間性をとりもどすため、老若男女が四季を通じて広く利用できる施設として、市中心部より西南に約10kmの位置に設置された。昭和46年度から着手し、昭和48年10月6日にオープン。昭和49～52年度には広域市町村圏組合事業により野外運動施設等を設置し、さらに昭和55年度には新林構実験事業により花木園・樹木園など修景施設の施工を行うとともに、平成元年度にはまちづくり事業として大型のあずまや、公衆トイレ、遊歩道、釣場の諸施設を併設し、平成23年度には木材公共施設整備事業により管理棟を改築し、市民の憩いの場として整備されている。

- (1) 名 称 **大館市市民の森**
 (2) 所 在 地 大館市比内前田字平馬下段78ほか
 (3) 交 通 乗用車利用 市中心部から約20分
 コミュニティバス利用 「さわやかみなみ号」比内前田停留所下車
 (4) 面 積 総 面 積：70ha
 建物面積：休憩所(107.66㎡)
 (5) 総事業費 131,850千円(昭和46年度～平成23年度)

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
遊 歩 道 造 成	7,416	国 補 助 金	6,916
駐 車 場 造 成	2,865	県 補 助 金	23,096
展示修景施設工事	9,233	地 方 債	35,400
休 憩 所 新 築	7,316	寄 附 金	2,200
森 の 家 新 築	1,500	一 般 財 源	64,238
林 間 研 修 所 新 築	10,841		
野外運動施設工事	26,551		
休 憩 施 設 新 築	4,880		
管 理 施 設 新 築	1,914		
衛生施設工事ほか	4,153		
用地購入、補償費	30,856		
管 理 棟 改 築	24,325		
計	131,850	計	131,850

- (6) 管 理 費 (令和7年度)
 3,470千円
 (7) 使 用 料 無 料
 (8) 管理運営 大館市(林政課)
 (9) 施設の概要

- ・道 路 幹線道路(幅員1～3m、延長3,420m)
 遊歩道(幅員1m、延長7,710m)
- ・駐 車 場 6,400㎡(収容台数300台)
- ・休 憩 施 設 東屋

- ・管理施設 管理棟、倉庫ほか
- ・水車小屋 水車、あずまや風建物
- ・広 場 4,000㎡、運動広場、集会広場、藤棚
- ・魚 釣 池 駐車場隣接地貯水池
- ・花 木 園 ライラック、花モモ、花アカシヤ、サクラ、花スオウ、サルスベリ、ネムノキほか
- ・梅 林 1,200本（主として豊後梅）
- ・樹 木 園 シラカバ林、カエデ、ナナカマド、イチョウ、ドイツトウヒ、エゾマツ、ダイオウショウ、リギダマツほか
- ・果樹見本園 グミ、クリ（70本）
- ・草原、ススキヶ原 広々とした草原とススキの群生地
- ・湿原植物 ミズバショウ、ノハナショウブ、ヒツジグサ、ジュンサイ、モウセンゴケほか
- ・鳥獣保護区、保健休養保安林（昭和48年指定）
- ・駐車場より頂上まで……3,100m
- ・駐車場と頂上との標高差……250m



大ー⑥0、⑥1

農林業多目的研修集会施設

林業構造改善村落特別対策事業の一環として、農林業従事者の心身の健全な発達と技能研修、並びに文化の向上を図るため設置された施設である。

(1) 名 称	真中農林業多目的研修集会施設		粕田沢農林業多目的研修集会施設				
(2) 所 在 地	大館市出川字上野30		大館市粕田字中羽立156、157－1				
(3) 工 期	昭55. 11. 1～56. 3. 14		昭58. 11. 15～59. 3. 16				
(4) 開 設	昭56. 4. 1		昭59. 4. 1				
(5) 設 計	(有)佐藤士朗建築設計事務所		石田建築設計事務所				
(6) 施 工 者	建 築 工 事：(株)協和建設 電気設備工事：(有)狩野電気工業所		建築工事：三浦木材(株)、 (株)岩建工務店共同企業体 電気設備工事：(有)太田電業社 機械工事：堺谷施設工業(株)				
(7) 面 積	建築面積 761. 57㎡ 床面積 714. 37㎡		建築面積 458. 73㎡ 床面積 435. 06㎡				
(8) 建 物 構 造	鉄骨及び木造平家建		鉄骨及び木造平家建				
(9) 総 事 業 費	75, 190千円		56, 390千円				
	建設費 (千円)	財 源 (千円)	建設費 (千円)	財 源 (千円)			
	建築工事費 69, 570 電気設備工事費 5, 620	国庫補助金 28, 451 地 方 債 28, 100 一 般 財 源 18, 639	建築工事費 50, 570 電気設備工事費 3, 740 備品購入費 2, 080	国庫補助金 25, 955 地 方 債 18, 200 一 般 財 源 12, 235			
(10) 施設の概要	多目的ホール 544㎡、ステージ、 ミーティングルーム 2室、器具庫 2、 ロッカー、ホール		多目的ホール 242. 16㎡、器具庫 1、 農林業研修室49. 6㎡、調理実習室24. 8㎡、 ホール、ステージ 33. 08㎡				
(11) 管 理 運 営	大館市教育委員会 (中央公民館)		粕田沢多目的研修集会施設運営委員会				
(12) 利 用 者	農林業従事者その他の市民						
(13) 使用料金	無料 (ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり)						
	区 分	8～12時	12～17時	8～17時	17～22時	12～22時	8～22時
	ミーティングルーム 農林業研修室	360円	470円	710円	590円	1, 060円	1, 410円
	多目的ホール	7, 010円	8, 180円	14, 020円	11, 690円	21, 030円	29, 210円
	調理実習室	1, 170円	1, 170円	1, 410円	1, 170円	2, 340円	3, 510円
	燃 料 費	実費負担とする。					
(14) 利用状況 (令和7年度)	1, 947人			697人			

大-⑥②、⑥③、⑥④

(1) 名 称	十 二 所 地 区 農 村 総 合 管 理 施 設		雪沢地区農村活性化集会施設 (樹海の里ゆきさわ館)		四羽出地区農村交流施設 (四羽出地区 コミュニティセンター)		
(2) 所 在 地	大館市軽井沢字浦山39－2		大館市雪沢字雪沢33－2		大館市二井田字上四羽出20-1		
(3) 工 期	平7.10.6～8.3.10		平8.3.26～8.8.30		平14.7.29～15.3.20		
(4) 開 設	平8.7.1		平8.10.1		平15.4.1		
(5) 設 計	(株)恒谷汲川建築設計事務所		(株)山本建築設計事務所		(有)アトリエ建築設計室		
(6) 施 工 者	建築工事：(有)工藤工務店		建 築 工 事：協働建設 電気設備工事：昭和電気設備		建 築 工 事：(株)片山建設 機械・電気設備工事：(株)タガヤ 外 溝 工 事：佐藤吉(株)		
(7) 面 積	建築面積 266㎡ 床 面 積 255㎡		建築面積 326㎡ 床 面 積 321㎡		建築面積 265㎡ 床 面 積 248㎡		
(8) 建 物 構 造	鉄骨及び木造平家建		鉄骨及び木造平家建		木造平家建		
(9) 総 事 業 費	32,909千円		53,642千円		56,267千円		
	建設費(千円)	財 源(千円)	建設費(千円)	財 源(千円)	建設費(千円)	財 源(千円)	
	建築工事費 32,909	国庫補助金 16,454 一般財源 16,455	建築工事費 42,951 電気設備工事費 10,691	国庫補助金 29,503 地方債 16,000 一般財源 8,139	建築工事費 42,951 機械・電気設備工事費 6,300 外溝工事費 6,376 その他 640	国庫補助金 25,558 一般財源 30,709	
(10)施設の概要	活性化ホール 113㎡、 調理実習室、 研修室（和室）、器具室		集会室（ホール） 141㎡、 調理実習室、 研修室（和室）、倉庫		集会室（ホール） 181㎡、 調理実習室、倉庫、 研修室（和室）（2）		
(11) 管 理 運 営	浦山自治会		新沢町内会		四羽出地区コミュニティー セ ン タ ー 管 理 組 合		
(12) 利 用 者	農林業従事者その他の市民						
(13) 使用料金	無料（ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり）						
	区 分	8～12時	12～17時	8～17時	17～22時	12～22時	8～22時
	研 修 室	360円	470円	710円	590円	1,060円	1,410円
	多目的ホール	7,010円	8,180円	14,020円	11,690円	21,030円	29,210円
	調理実習室	1,170円	1,170円	1,410円	1,170円	2,340円	3,510円
	燃 料 費	実費負担とする。					
(14) 利用状況 (令和7年度)	660人		3,764人		921人		

比―⑭

(1)名 称	小泉交流センター				
(2)所 在 地	大館市比内町白沢水沢字水沢25番地 2				
(3)工 期	平成20年11月13日～平成21年 3 月23日				
(4)開 設	平成21年 4 月 1 日				
(5)設 計	田中建築設計事務所				
(6)施 工 者	扇建設㈱				
(7)面 積	建築面積 187.56㎡ 床面積 142.84㎡				
(8)建 物 構 造	木造平家建				
(9)総 事 業 費	24,057千円				
	建 設 費 (千円)		財 源 (千円)		
	建築工事費 22,347		国庫補助金 11,944		
	委 託 費 1,457		一 般 財 源 12,113		
	そ の 他 253				
(10)施設の概要	集会室 (49.5帖)、小会議室 (7.5帖)、調理室 (9.5帖)、トイレ				
(11)管 理 運 営	小泉まちづくり協議会に委託				
(12)利 用 者	農林業従事者その他の市民				
(13)使 用 料 金	無料 (ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり)				
	区 分	8～12時	12～17時	17～22時	8～22時
	集 会 室	2,340円	2,340円	2,930円	5,850円
	会 議 室	1,170円	1,170円	1,410円	2,930円
	調 理 室	1,760円	1,760円	2,110円	4,090円
	燃 料 費	実費負担とする			
(14)利 用 状 況 (令和7年度)	396人				

比ー⑮

(1)名 称	大館市高齢者・若者センター			
(2)所 在 地	大館市比内町大葛字大葛家後74－3			
(3)工 期	平3. 9. 13～平3. 11. 30			
(4)開 設	平4. 1. 9			
(5)設 計	昭建築設計室			
(6)施 工 者	建築工事：(有)成田工務店（電気設備、給排水、衛生工事込み） 外構工事：(有)羽賀興業			
(7)面 積	建築面積：343.246㎡ 床面積：299.481㎡			
(8)建 物 構 造	木造平家建			
(9)総 事 業 費	建設費（千円）		財源（千円）	
	建 築 工 事 費	31,901	国 庫 補 助 金	19,052
	備 品 費 等	5,685	地 方 債	16,800
	外 壁 工 事 費	519	一 般 財 源	2,253
(10)施設の概要	第1研修室122.850㎡、第2研修室16.562㎡、第3研修室16.562㎡、 談話室26.085㎡、調理実習室24.843㎡、ロビー、ホール			
(11)管 理 運 営	大館市比内総合支所 地域振興係			
(12)利 用 者	農村高齢者及び若者・その他の市民			
(13)使用料金	無料（ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり）（単位：円）			
	区 分	9：00～13：00	13：00～17：00	17：00～22：00
	第1研修室	2,340	2,340	2,930
	第2研修室	1,170	1,170	1,410
	第3研修室	1,170	1,170	1,410
	第2・第3研修室通し	1,760	1,760	2,110
	調理実習室	1,760	1,760	2,110
	談 話 室	1,170	1,170	1,410
	備考			
	1 暖房を使用した場合における使用料の額は、上記に定める使用料の額に100分の120を乗じて得た額とする。 2 使用時間を超えて使用する場合においては、1時間当たり120円（冬期間は180円）。を使用料の額に加算する。この場合において、30分未満の時間は切り捨てることとし、30分を超え1時間に満たない場合は1時間とみなすものとする。			
(14)利用状況 (令和7年度)	1,711人			

比-①⑥

(1) 名 称	大館市構造改善センター				
(2) 所 在 地	大館市比内町達子字曲谷地62番地 7				
(3) 工 期	平4. 8. 24～4. 12. 14				
(4) 開 設	平5. 1. 19				
(5) 設 計	昭建築設計室				
(6) 施 工 者	建物本体工事：(株)イトウ 用 地 造 成：(有)菅原組 機械設備工事：(株)田中工業所 表土入れ替え：(有)菅原組 電気設備工事：米代電気工業(株) 駐 車 場 造 成：(有)三浦建設 外 構 工 事：(有)菅原組				
(7) 面 積	建築面積 524.778㎡ 床面積 490.631㎡				
(8) 建 物 構 造	木造平家建				
(9) 総 事 業 費	81,103千円				
	建設費 (千円)		財 源 (千円)		
	建物本体工事費	54,497	国 庫 補 助 金	35,333	
	機械設備工事費	7,158	地 方 債	45,000	
	電気設備工事費	4,614	一 般 財 源	770	
	その他工事費	14,834			
(10) 施設の概要	多目的ホール 154.700㎡、研修室 45.546㎡、調理実習室 39.749㎡、 談話室 51.135㎡、ホール、談話コーナー				
(11) 管 理 運 営	大館市比内総合支所 地域振興係				
(12) 利 用 者	農林業従事者・その他の市民				
(13) 使 用 料 金	無料 (ただし営利を目的とする場合は、下表のとおり) (単位：円)				
	区 分	9:00～13:00	13:00～17:00	17:00～22:00	全 日
	多 目 的 ホ ー ル	2,340	2,340	2,930	5,850
	第 1 研 修 室	1,170	1,170	1,410	2,930
	第 2 研 修 室	1,170	1,170	1,410	2,930
	第1・第2研修室通し	1,760	1,760	2,110	4,090
	調 理 実 習 室	1,760	1,760	2,110	4,090
	談 話 室	無料			
	備考				
	1 暖房を使用した場合における使用料の額は、上記に定める使用料の額に100分の120を乗じて得た額とする。				
	2 使用時間を超えて使用する場合においては、1時間当たり120円 (冬期間は180円)。を使用料の額に加算する。この場合において、30分未満の時間は切り捨てることとし、30分を超え1時間に満たない場合は1時間とみなすものとする。				
(14) 利 用 状 況 (令和7年度)	2,081人				

大⑥

公設総合地方卸売市場

大館市経済圏（県北2市2郡供給対象人口）の日常生活の安定と向上を図るため、秋田県卸売市場整備計画に基づき、流通機構の中核としての「公設総合地方卸売市場」を計画、約3億8,000万円で昭和45年10月着工、翌46年8月に完成した。事業開始は昭和46年8月27日だが、公設卸売市場としての流通圏は県北一帯はもちろん岩手・青森両県にまで及んでおり、生産者の利益を守り、消費者への安定供給を行う市場の役目は大きく、公正な取引とともに消費生活と物価の安定に寄与している。

- (1) 名 称 **大館市公設総合地方卸売市場** (TEL48-6760)
- (2) 所 在 地 大館市釈迦内字街道上1ほか
- (3) 工 期 昭45.10.15～46.8.20
- (4) 開 設 昭46.8.27
- (5) 設 計 (株)公共建築設計事務所
- (6) 施 工 者 (株)伊藤組
- (7) 面 積 敷地 24,897.8㎡ 建物 4,500㎡
- (8) 建物構造 卸 売 場…鉄骨造、屋根長尺カラー鉄板瓦棒葺、
外壁大波スレート葺一部二階建、
床コンクリート叩き一部大理石貼り
冷 蔵 庫…鉄筋コンクリート造、屋根アスファルト防水内部放熱加工
管理事務所…コンクリートブロック造平家建
- (9) 総事業費 378,406千円

建 設 費 (千円)				財 源 (千円)	
卸 売 場 建 物	93,863	電 気 通 信 設 備	14,000	県 補 助 金	80,000
仲 買 人 売 場 建 物	12,091	管 理 事 務 所	3,997	地 方 債	277,800
倉 庫	3,910	構 内 整 備 舗 装	57,347	一 般 財 源	20,606
買 荷 保 管 所	4,411	用 地 費	62,611		
冷 蔵 庫 建 物	14,241	暖 房 設 備	369		
冷 蔵 庫 機 械	19,340	業 者 事 務 室	8,160		
衛 生 設 備	1,190	廊 下	2,452		
給 排 水 設 備	51,494	事 務 費 そ の 他	28,930		
計		378,406		計	378,406

- (10) 施設の概要 卸売場 3,352.5㎡、冷蔵庫 442.7㎡、パッケージセンター 308㎡、仲買売場 434.8㎡、業者事務所(2階) 466.4㎡、倉庫 127.5㎡、買荷保管所 882㎡、駐車場 約20,000㎡

- (11) 取 扱 高 (令和7年度)

区 分	取 扱 高		平均取扱高 (1カ月当たり)		備 考
	金 額(千円)	数 量(t)	金 額(千円)	数 量(t)	
青 果 物	940,881	2,302	78,407	192	金額は、消費税及び地方消費税を含まない。
水 産 物	1,619,885	1,515	134,991	127	
計	2,560,766	3,817	213,398	319	

(12) 市場使用料

区 分		使 用 料	令和7年度使用料
卸売業者市場使用料		売上金額の1000分の0.75	2,074千円
卸売業者売場使用料	青 果	1㎡につき月額 27円	施設使用料 2,718千円
	水 産	〃 40.5	
仲卸業者売場使用料		〃 135	
倉 庫 使 用 料		〃 27	
業 者 事 務 室 使 用 料		〃 81	
冷 蔵 庫 使 用 料		〃 135	
パッケージセンター使用料		〃 62	

(13) 管 理 運 営

大館市（農政課）

(14) そ の 他

卸売市場特別会計予算(令和8年度当初)

歳入 売上使用料 1,882千円

施設使用料 2,718千円



大⑥

コンポストセンター

生ごみと畜産廃棄物を原料にして良質な堆肥を生産し、これを土壌に還元することにより農薬や化学肥料の投入を極力抑えた農業生産を目指し、安全で新鮮な農産物を市民に供給する循環システムを消費者・生産者の連携の下に確立させるために建設された堆肥生産施設。

- (1) 名 称 **大館市コンポストセンター** (TEL49-3935)
 (2) 所 在 地 大館市大披字向台10番地
 (3) 工 期 平12. 7. 4～13. 3. 16
 (4) 開 設 平13. 4
 (5) 設 計 設計総括：(株)大建設計

建 物：秋田県建築設計事業協同組合
 プラント：(株)荏原製作所

- (6) 施 工 者 外 構 工 事：(有)佐久組
 機械設備工事：古家燃料(株)
 処理棟建築工事：花岡土建(株)
 電気設備工事：(株)大東電設
 脱臭棟、管理棟：沓澤建設(株)
 プラント工事：(株)荏原製作所東北支店

- (7) 面 積 敷地面積：9,600㎡
 施設面積：管理棟積36.48㎡、処理棟1,841.83㎡、脱臭棟330.00㎡、倉庫81.15㎡

- (8) 建 物 構 造 処理棟・・・鉄骨造、屋根折版、外壁波形ストレート横張
 管理棟・・・木造、屋根長尺カラー鉄板、腰壁杉板、壁不燃外装材
 脱臭棟・・・鉄骨造、屋根FRP板、外壁鉄骨材表わし

- (9) 総事業費 460,000千円

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
プラント工事	240,000	国庫補助金	220,339
建設工事	190,000	地 方 債	162,100
外構工事	20,000	一 般 財 源	77,561
施設機械	10,000		
計	460,000	計	460,000

- (10) 施設の概要 処理方式：高速堆肥方式
 処理能力：16 t/日、4,000 t/年
 原 材 料：事業系生ごみ600 t/年、鶏糞3,100 t/年、もみ殻300 t/年
 生産能力：10 t/日、1,100 t/年

- (11) 管理運営 大館市（農政課）

- (12) 製品販売 堆肥「土っ恋しよ」

- ・粉堆肥 ばら製品：4,600円/t (税抜)、5,700円/t (配達込み) (税抜)
 ばら製品：1,610円/350kg (税抜)、袋詰製品：230円/15kg (税抜)

- ・ペレット堆肥
 ばら製品：3,100円/500kg (フルコン込み) (税抜)：バラ散布事業のみ
 袋詰製品：250円/15kg (税抜)

主な販売先：あきた北農業協同組合（経済部） TEL0186-45-1400
 ホームセンタージャンボグリーン TEL0186-49-2828

比一①⑦

比内地鶏鶏糞処理施設

比内地鶏鶏糞等を一元的に堆肥化処理し、生産された良質堆肥の原料が全国ブランドの比内地鶏の鶏糞であることを前面に押し出す形でブランド化することで普及させ、本市の資源循環型農業の更なる発展を目指すために建設された堆肥生産施設。

- (1) 名 称 **大館市比内地鶏鶏糞処理施設** (TEL55-1004)
愛称：ヒナイドリームセンター
- (2) 所 在 地 大館市比内町八木橋字鎌谷地沢26番地29
- (3) 工 期 平23. 7. 1～25. 9. 13
- (4) 開 設 平25. 4. 1
- (5) 設 計 実 施 設 計：(株)恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施 工 者 処理棟・管理棟建築工事：平和建設(株)
造成工事：扇建設(株)
電気設備工事：(株)ユアテック大館営業所
発酵処理装置設置工事：中部エコテック(株)
堆肥後処理装置設置工事：東光鉄工(株)
ペレット製造装置：(株)アースエンジニアリング
- (7) 面 積 敷地面積：7,039㎡
施設面積：処理棟1230.66㎡、管理棟33.12㎡
- (8) 建物構造 処理棟……木造平家建
管理棟……木造平家建
- (9) 総事業費 251,616千円

建設費 (千円)		財 源 (千円)	
建築工事費	106,586	国庫補助金	97,059
造成工事費	13,044	地方債	134,600
電気設備工事費	16,695	一般財源	19,957
機械設備費	76,356		
車両等購入費	17,201		
実施設計費	2,674		
用地測量費	1,732		
外構工事費	9,994		
その他経費	7,334		
計	251,616	計	251,616

- (10) 施設の概要 処理方式：高速堆肥方式
処理能力：5.2 t/日、1,163 t/年
原材料：鶏糞及びもみ殻1,467 t/年
生産能力：3.6 t/日、1,093 t/年
- (11) 管理運営 大館市（農政課）
- (12) 製品販売 堆肥「ヒナイドリーム」
・ペレット堆肥
ばら製品：1,750円/350kg(税抜)、2,500円/500kg(税抜)
フルコン製品：3,100円/500kg(税抜)、3,650円/500kg(配達込み)(税抜)
袋詰製品：250円/15kg(税抜)
主な販売先：あきた北農業協同組合（経済部） TEL0186-45-1400
ホームセンタージャンボグリーン TEL0186-49-2828

田一⑩

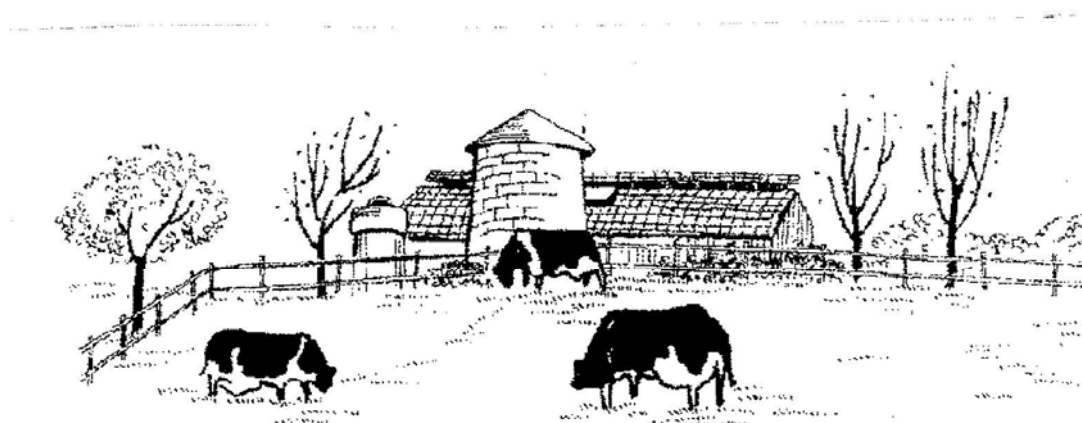
大館市営牧場「雨池牧場」

団体営草地改良事業の一環として畜産振興の基盤の確立を図り、農業経営の安定に資するため設置された施設。

- (1) 名 称 **大館雨池牧場**
- (2) 所 在 地 大館市岩瀬字大川目元渡337ほか
- (3) 開 設 昭46. 4. 1
- (4) 面 積 敷地 487,192m²
- (5) 改良工事
 - ① 事業名 北鹿地域畜産基地建設事業（昭和61年度～平成2年度）
 - ② 施工者 農用地技研株
 - ③ 総事業費 71,167千円

建設費（千円）		財 源（千円）	
基本施設整備費	47,272	国庫補助金	42,701
農業用施設整備費	19,514	県補助金	14,233
農機具等購入費	4,381	一般財源	14,233
計	71,167	計	71,167

- (6) 施設の概要 看視舎1棟 22.8m²、農具舎1棟 29.0m²、給水所 5カ所、トラクター1台 ほか
- (7) 管理運営 指定管理者：あきた北農業協同組合
- (8) 利用者 畜産従事者
- (9) 使用料金 子牛55円、成牛 231円 （1日1頭当たり放牧料）
- (10) 利用状況 1日平均頭数 17 頭（子牛 6 頭、成牛 11 頭）
- (令和7年度実績) 放牧延べ頭数 2,976 頭（子牛 1,056 頭、成牛 1,920 頭）



大ー⑥7

大館労働福祉会館「アポックセンター」

- (1) 名 称 大館労働福祉会館 (TEL42-6539 FAX43-1302)
- (2) 所 在 地 大館市豊町2-37
- (3) 工 期 平2.6.22～2.12.10
- (4) 開 設 平3.1.1
- (5) 設 計 (株)恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施 工 者 建 物 工 事 : (株)大成工務店
機械設備工事 : 同和工営(株)
電気設備工事 : 羽後電設工業(株)
- (7) 面 積 敷地 747.00㎡ 建築 514.73㎡ 延床 971.90㎡
- (8) 建 物 構 造 鉄骨造二階建
- (9) 総 事 業 費 204,238千円

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
建 築 工 事 費	161,040	県 補 助 金	30,000
機 械 設 備 工 事 費	23,628	労 働 団 体 負 担 金	20,000
電 気 設 備 工 事 費	19,570	一 般 財 源	154,238
計	204,238	計	204,238

- (10) 施設の概要 1階…事務室 47.61㎡、管理人室 37.85㎡、中会議室 69.96㎡、
第1会議室 34.65㎡、第2会議室 24.84㎡、
研修室(和室) 26.77㎡、印刷室ほか 217.30㎡
2階…大会議室 289.84㎡、和室 63.88㎡、湯沸室 19.38㎡、
トイレほか 139.82㎡

- (11) 管理運営 指定管理者 : 大館労働福祉会館運営協議会

- (12) 利用料金

区 分	利用料金の上限額
大会議室	1室につき1時間当たり1,760円 (商品の宣伝、展示即売等営利又は営業を目的として使用する場合は、 3,510円)
和 室	1室につき1時間当たり1,170円 (商品の宣伝、展示即売等営利又は営業を目的として使用する場合は、 2,340円)

- 備考 1 使用時間が1時間に満たない部分は、これを1時間とみなす。
2 暖房料、燃料、持込みする電気器具に係る電気料等は、実費負担とする。

- (13) 利用状況
(令和7年度)

区 分	大 会 議 室		和 室		計	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人数
労 働 団 体	20件	1,230人	2件	40人	22件	1,270人
一 般	40	5,780	32	5,500	72	11,280
営 利	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	140	0	0	1	140
計	61	7,150	34	5,540	95	12,690

大-⑥8

技 能 セ ン タ ー

職業訓練法による認定団体及び中小企業の事業主等が行う技術労働者の養成並びに技能訓練に利用されている。

- (1) 名 称 **大館総合技能センター** (TEL43-2610)
- (2) 所 在 地 大館市有浦三丁目 6-22
- (3) 工 期 昭42. 2. 22~42. 3. 31 昭54. 7. 7~55. 9. 29 (増築)
- (4) 開 設 昭42. 4. 1
- (5) 設 計 (既設分) 恒谷一級建築士設計事務所
(増築分) ㈱恒谷汲川建築設計事務所
- (6) 施 工 者 (既設分) ㈱伊藤組
(増築分) ㈱岩建工務店
- (7) 面 積 敷地 462.80㎡ 建物 延622㎡ (1階 202㎡、2階 222㎡、3階 198㎡)
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート3階建
- (9) 総事業費 37,923千円 (既設分 8,098千円、増築分 29,825千円)
(財源内訳)

区 分	既 設 分 (千円)	増 築 分 (千円)
国 庫 補 助 金	2,000	9,000
県 補 助 金	2,000	9,000
寄 附 金	2,600	—
一 般 財 源	1,498	11,825
小 計	8,098	29,825
合 計	37,923	

- (10) 施設の概要 管理室その他 180.57㎡、教室 132.42㎡、実習場 309.01㎡
- (11) 管理運営 指定管理者：職業訓練法人 大館北鹿職業訓練協会
- (12) 利用状況 (令和7年度)

区 分	1 年 生	2 年 生	計
木造建築科	0 人	3 人	3 人

- ・成人訓練 (技能向上訓練=受講者数) 221人
- ・その他 (研修会等) 544人
- (13) 利用料金 認定団体が行う職業訓練は無料だが、その他の使用については次の使用料による。

区 分	利用料金の上限
小 教 室 (1室につき)	1 時間当たり120円
大 教 室 (1室につき)	1 時間当たり190円

※暖房料、燃料費等は実費負担とする。

大ー⑥9

大 館 矢 立 ハ イ ツ

平成12年度に宿泊棟・本館棟の改修によりリニューアルオープンした大館矢立ハイツは、温泉と山並みと清流に囲まれた自然の中、勤労者と市民の保養の場として利用されている。

平成19年には、新たな温泉井を掘削、源泉掛け流しの温泉は湯量も豊富で「たいへん温まる」と好評を得ている。

- (1) 名 称 **大館矢立ハイツ** (TEL51-2311 FAX51-2314)
- (2) 所 在 地 大館市長走字陣場311
- (3) 再 開 設 平7. 6. 1
- (4) 面 積 敷地 63,186.18㎡
建築 3,417.91㎡ (本館棟・宿泊棟及び浴場棟 2,982.41㎡、渡り廊下・機械室棟 435.50㎡)
- (5) 構 造 RC造4階建
- (6) 施設の概要 客室 12(定員52人)、レストラン (90人収容)、大広間 80畳、カラオケルーム 3室、男女浴場、露天風呂、売店
- (7) 管理運営 指定管理者：株式会社やたて
- (8) 利用状況 入浴42,831人、宿泊3,495人 (令和7年度)
- (9) 利用料金 (R8. 5. 1～)

区 分	単 位	利用料金の上限額	適 用
宿 泊 料 金	1人1泊 (食事を除く。)	6,500円	繁忙期に関しては金額の変更があり
入 湯 料 金	1人1回	500円	
会議室利用料金	1時間	1,500円	
カラオケルーム 利 用 料 金	1室 1時間	7人用	午前10時から 午後6時まで は、2分の1 の額とする。
		15人用	
		20人用	

大ー⑥9

道の駅「やたて峠」

平成7年度に、駐車場およびトイレ休憩施設を整備した矢立峠駐車場は、国道7号線の秋田県と青森県の県境に位置し、自動車交通の要所であることから、大館矢立ハイツを含めた泊まれる道の駅として市民および道路通行車の憩いの場として知られている。

- (1) 名 称 **道の駅「やたて峠」**
- (2) 所 在 地 大館市長走字陣場420
- (3) 開 設 平8. 2. 29
- (4) 面 積 敷地 67,000㎡ 建築 109.70㎡ (トイレ休憩施設)

大ー⑦⑩

二井田市民集会所（ハチ公荘）（令和8年3月31日廃止）

- | | |
|--------------|---|
| (1) 名 称 | 大館市二井田市民集会所 |
| (2) 所 在 地 | 大館市二井田字田子森1番地1 |
| (3) 工 期 | 昭62. 9. 8～63. 3. 15 |
| (4) 開 設 | 昭63. 7 |
| (5) 設 計 | 石田建築設計事務所 |
| (6) 施 工 者 | 建 物 工 事：才信・片山建設共同企業体
電気設備工事：(有)藤電機工業
衛生設備工事：同和工営(株)大館支店
暖房設備工事：(株)田中工業所 |
| (7) 面 積 | 敷地 34,609.32㎡ 建物 559.48㎡ |
| (8) 建 物 構 造 | 木造平家一部鉄筋コンクリート造 |
| (9) 総 事 業 費 | 116,116千円（62年度 110,616千円、63年度 5,500千円）
（国庫補助金 26,000千円〔工配法補助〕、起債 76,600千円、
一般財源 13,516千円） |
| (10) 施設の概要 | 会議室 69.56㎡、浴室2室115.67㎡、研修室3室59.61㎡、
調理室・倉庫・その他 294.77㎡、事務室 19.87㎡ |
| (11) 管 理 運 営 | 指定管理者：(株)友愛ビルサービス |
| (12) 収 容 人 員 | 会議室 60人、研修室 10人×3室 |
| (13) 利 用 状 況 | 0人（令和7年度） ※令和6年4月5日から休業中 |

大-⑦①

とむとむの湯 湯夢湯夢の里

- (1) 名 称 **湯夢湯夢の湯** (TEL52-2502)
- (2) 所 在 地 大館市十二所字後田34
- (3) 工 期 平2. 3. 17～6. 3. 15
- (4) 開 設 平2. 10. 6
- (5) 設 計 (有)佐藤総合企画
- (6) 施 工 者 建物工事・外溝工事：(株)イトウ
電気設備工事：同和工営(株)、(株)ユアテック
機械設備工事：大館桂工業(株)
空調設備工事：大館桂工業(株)、(株)巽工業所
給排水衛生設備工事：大館桂工業(株)
- (7) 面 積 敷地 19, 134. 44㎡ 建物 458. 44㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造
- (9) 総事業費 1, 207, 649千円 ※温水プール(平24. 3. 31閉館)含む
(地方債 890, 400千円、基金 20, 000千円、一般財源 297, 249千円)
- (10) 施設の概要 公衆浴場 226. 76㎡ (建築面積)
露天風呂 41. 92㎡ (建築面積)
倉庫・休憩室・渡り廊下 157. 01㎡ (建築面積)
観覧席 83. 05㎡
公衆トイレ 32. 75㎡
イベント広場 30m (円直径)
滝 高さ5m×幅10m
カリヨン(1基) 高さ15m
- (11) 管理運営 指定管理者：(株)友愛ビルサービス
- (12) 利用状況 39, 294人 (令和7年度)
- (13) 開館時間 4月～10月 午前6時～午後10時
11月～3月 午前6時～午後9時
- (14) 休 館 日 毎月第1、第3月曜日(祝日、振替休日に当たるときは翌日)
- (15) 料 金 (利用料金の上限額) (R8. 5. 1～)

区 分	公衆浴場	回数券 (11枚綴)	休 憩 室
大 人 (中学生以上)	400円	4, 000円	300円 (高校生以上)
子 供 (小学生)	250円	販売なし	200円 (中学生含む)

比ー⑱

大館市ベニヤマ自然パーク「比内ベニヤマ荘」

新林業構造改善促進対策実験事業、労働環境施設整備事業により、緑豊かな自然環境を利用し休養と健康増進及び研修に寄与するために宿泊施設、屋内温泉プール、リハビリテーションの複合施設として設置。

(1)名 称	比内ベニヤマ荘 (TEL57-2324)	
(2)所 在 地	大館市比内町大葛字金山沢口 5	
(3)工 期	管理休養施設	トレーニング施設
	昭55. 7. 18～56. 6. 30 昭62. 9. 25～63. 1. 19 (増築)	昭54. 11. 8～56. 7. 30 昭57. 7. 1～57. 8. 29 (増築)
(4)開 設	昭56. 6. 5	
(5)設 計	(株)山本建築設計事務所	
(6)施 工 者	建物本体工事：平和建設(株) 整 地 工 事：(有)菅原組 水 道 工 事：(有)羽沢組 給排水暖房工事：(株)大進工機	揚 湯 工 事：大手興産(株) 電気設備工事：(有)菅良電設 給 排 水 工 事：(有)明祝商事
(7)面 積	建築面積 1,187.405m ²	建築面積 1,019.880m ²
(8)建物構造	鉄筋コンクリート造二階建	鉄骨造一部木造平家建
(9)総事業費	381,458千円	
	建設費 (千円)	財 源 (千円)
	建築工事費等 301,829	国庫補助金 112,528
	管理休養施設増築工事費 49,635	地 方 債 88,500
	トレーニング施設増築工事費 29,994	一 般 財 源 180,430
(10)施設の概要	研修室 (和室 40人収容)：8畳3室・10畳4室・12畳1室、 大研修室 (大広間)：90畳・ステージ付 (40畳と50畳に間仕切り可)、 食堂：30人収容、談話コーナー、洗面所、トイレ、リハビリ室 (休憩室)、 浴室：男女各1、屋内プール：25m・7コース、幼児用プール	
(11)管 理 運 営	休止中	
(12)使 用 状 況	休業中	

比ー①⑨

大館市ベニヤマ自然パーク「コテージ・公園」

山村振興等農林漁業特別対策事業の一環として、都市農村交流の促進による交流により、山村振興地域農畜産物の販路拡大、生産者の所得の増大並びに就業所得機会創出に資するために設置。

- (1) 名 称 **自然資源等活用型簡易宿泊施設（コテージ）・自然資源等活用型公園**
(TEL57-2324)
- (2) 所 在 地 大館市比内町大葛字ホッパ沢 8、金山沢口 1
- (3) 工 期 平11. 8. 5～12. 1. 10
- (4) 開 設 平12. 1. 19
- (5) 設 計 (株)ウヌマ地域総研
- (6) 施 工 者 建物本体工事（コテージ 3 棟、便所 1 棟）：平和建設(株)
建物本体工事（コテージ 3 棟）：(株)ヤナギヤ
機械設備工事：扇建設(株) 電気設備工事：米代電気工業(株)
公園設備工事（広場・管理道路・炊事棟 1 棟）：(株)武田組
設計業務委託：(株)ウヌマ地域総研
工事監督業務委託：(株)ウヌマ地域総研
設計積算電算処理業務委託：秋田県土地改良事業団体連合会
- (7) 面 積 コテージ 6 棟 271.44㎡ 広場：15,000㎡
- (8) 建物構造 木造平家建
- (9) 事業費 253,135千円

建設費（千円）		財 源（千円）	
建物本体工事費	63,788	国庫補助金	109,787
機械設備工事費	29,400	地 方 債	137,000
電気設備工事費	16,855	一 般 財 源	6,348
公園設備工事費	121,351		
その他工事費	21,741		

- (10) 施設の概要 コテージ 6 棟：271.44㎡（1 棟 45.24㎡）、広場 15,000㎡、
便所棟：19.36㎡、炊事棟 51.84㎡、遊具
- (11) 管理運営 委託事業者：大館市ベニヤマ自然パーク管理会
- (12) 使用料金 1 自然資源等活用型簡易宿泊施設（コテージ）使用料金

区 分	時 間	金 額
休 憩 料	午前11時～午後3時	6,200円
宿 泊 料	午後4時～翌日午前10時	15,200円

- ・規定時間を超えた使用を認められたときの当該超えた時間の利用料金は、当該超えた使用時間（1時間未満であるときは、1時間として計算するものとする。）に、1時間当たり1,350円を乗じて得た額とする。
- ・2泊以上継続して使用する場合の滞在期間中の休憩料は、徴収しない。

2 公園使用料金

区 分	時 間	金 額
キャンプサイト	午後4時～翌日午前11時	1,550円

- (13) 使用状況 (令和7年度)
- ・利用人数：635人（コテージ 631人 公園 4人）

比一②〇 大館市ベニヤマ自然パーク「大葛金山ふるさと館」

山村振興等農林漁業特別対策事業の一環として、大葛金山歴史資料や民俗資料の展示保存並びに伝統芸能の伝習保存を通じ、地域住民の歴史文化の理解を深めるとともに都市生活者との交流を促進し、地域活性化を図るための施設である。

- (1) 名 称 自然資源等活用型交流促進施設（大葛金山ふるさと館）（TEL57—2324）
- (2) 所 在 地 大館市比内町大葛字金山沢口5－2
- (3) 工 期 平10.10.19～11.2.22
- (4) 開 設 平11.3.5
- (5) 設 計 昭建築設計室
- (6) 施 工 者 建物本体工事：平和建設(株)
機械設備工事：扇建設(株)
電気設備工事：(有)安藤電気工事所
- (7) 面 積 建築面積 256.71㎡ 床面積 233.52㎡
- (8) 建物構造 木造平家建
- (9) 総事業費 70,000千円



建設費（千円）		財 源（千円）	
建物本体工事費	44,257	国庫補助金	35,000
機械設備工事	10,321	地方債	34,000
電気設備工事費	5,869	一般財源	1,000
その他工事費	9,553		
計	70,000	計	70,000

- (10) 施設の概要 資料展示コーナー（金山史跡、金山墓地の写真等、金山太鼓、からめ節など伝統芸能の資料展示）、多目的ホール（金山太鼓、金山からめ節の伝統芸能の伝承活動）、更衣室、事務室、物品庫
- (11) 開館時間 午前9時～午後4時
多目的ホールは、午前9時～午後9時
- (12) 管理運営 委託事業者：大館市ベニヤマ自然パーク管理会
- (13) 使用料金上限 大葛金山ふるさと館 使用料金

区分	使用の単位	利用料金
多目的ホール	1時間につき	650円

備考

- 1 小学校に就学する前の者は、無料とする。
- 2 使用時間が1時間未満であるときまたは使用時間に1時間未満の端数があるときの当該端数は、1時間として計算するものとする。

- (14) 使用状況（令和7年度） 15人

田一⑪、⑫、⑬

多目的研修集会施設

(1) 名 称	大館市たしろ温泉ユップラ		大館市五色湖 ロ ッ ジ	大館市五色湖 緑 地 公 園
	〔大館市温泉 保養施設〕	〔大館市交流 促進施設〕		
(2) 所 在 地	大館市岩瀬字上岩瀬塚の岱43-1		大館市岩瀬字大川目 元渡28-14	大館市岩瀬字大川目 元渡148
(3) 工 期	平9. 2. 14～9. 12. 10	平10. 10. 21～11. 7. 30	平7. 11. 14～8. 3. 19	平5. 9. 3～7. 2. 28
(4) 開 設	平10. 4. 1	平11. 8. 1	平8. 4. 1	平7. 4. 1
(5) 設 計	㈱小畑勇設計事務所	㈱小畑勇設計事務所	佐藤士朗建設設計	佐藤士朗建設設計ほか
(6) 施 工 者	イトウ・山久建設 共同企業体	イトウ・山久建設 共同企業体	大成・古家建設 共同企業体	㈱田代建設ほか
(7) 面 積	建築面積1, 479. 44㎡	建築面積：683. 21㎡	建築面積：651. 45㎡	敷地面積：25, 000㎡
(8) 建 物 構 造	R C造一部2階建	R C造2階建	木造2階建	木造一部R C 2階建 (休憩棟)
(9) 総 事 業 費	721, 364千円	324, 675千円	62, 766千円	290, 222千円
建 設 費 (千円)	工事費 634, 252	工事費 289, 499	工事費 60, 337	工事費 274, 650
	委託料 26, 881	委託料 12, 621	委託料 2, 163	委託料 14, 255
	備品購入費 60, 231	備品購入費 22, 555	その他 266	その他 1, 317
財 源 (千円)	地 方 債 592, 000	国 庫 139, 072	国 庫 31, 383	国 庫 143, 869
	一般財源 129, 364	地 方 債 162, 500 一般財源 23, 103	一般財源 31, 383	一般財源 146, 353
(10) 施設の概要	浴室・大広間・ レストラン等	研修室・宿泊室等	宿泊室・食堂・ドッグプ レイルーム等	休憩棟・炊事棟 ・トイレ等
(11) 管理運営	指定管理者：㈱タクト		大館市（田代総合支所地域振興係）	
(12) 使用料金	入浴料金 大人 450円 子供 250円	宿泊料(R8. 6. 1～) 〔洋室 A(部屋風呂有)〕 大人 6, 000円～ 子供 4, 800円～ 〔洋室 B(部屋風呂無)〕 大人 5, 500円～ 子供 4, 400円～ 〔和室〕 大人 5, 500円～ 子供 4, 400円～ 〔ファミリールーム〕 大人 5, 500円～ 子供 4, 400円～ ※1室1名利用の場合は上記料金に 1, 000円を加算した額 ※繁忙期及び金・土・日・祝日・ 祝前日には料金の加算有。	宿泊料 1階宿泊室 一般（大学生以上） 3, 300円 高校生以下 2, 200円 児童又は生徒の研修 1, 100円 2階宿泊室 一般（大学生以上） 2, 750円 高校生以下 1, 830円 児童又は生徒の研修 910円 休憩（ホール又は食堂それぞ れ一室につき） 550円 ペット同伴一匹につき 1, 100円	改修工事のため休業 1基1泊530円(税込)
(13) 利用状況 (令和7年度)	88, 267人	2, 004人	86人	0人

比内②

道の駅ひない「プルミエ比内」

勤労者福祉施設として平成3～4年度に雇用促進事業団との共有で建設し、平成15年度に72万4,500円で雇用・能力開発機構より購入した。「道の駅ひない」を構成する施設として観光情報の提供並びにレストランで特産の農産物を利用したメニューを提供し、地域の観光に寄与している。

- (1) 名 称 **大館市プルミエ比内** (TEL55-1000)
- (2) 所 在 地 大館市比内町扇田字新大堤下93-11
- (3) 工 期 平3.10.21～4.8.17
- (4) 開 設 平4.8.17
- (5) 設 計 能代山本地区設計事業協同組合
- (6) 施 工 者 建物本体工事：丸山建設(株)
外構工事：(株)武田組
給水工事：(有)明祝商事
内装工事：阿部内装店
機械警備配線工事：青森総合警備保障(株)
電話取付配線工事：N T T大館支店
- (7) 面 積 建築面積 851.74㎡ 床面積 833.24㎡
- (8) 建物構造 鉄筋コンクリート造平家建
- (9) 総事業費 215,184千円 (共有割合：42.781%)

建 設 費 (千円)		財 源 (千円)	
建物本体工事費	106,195	基 一 般 財 源	129,539
付帯工事費	22,660		85,645
設計監理費	5,629		
外壁工事費	32,476		
給水工事費	283		
内装工事費	1,948		
機械警備配線工事費	465		
電話取付配線工事費	541		
その他工事費	44,987		
計	215,184	計	215,184

- (10) 施設の概要 レストラン
比内地鶏やとんぶり、きりたんぽ鍋など地元特産品を素材とした豊富なメニューが好評である。
- (11) 開館時間 午前9時～午後5時 時間を変更する場合がある。
休館日 月曜日 (祝日の場合は、翌日)・年末年始
- (12) 指定管理者 (株)比内物産開発

(13) 利用料金上限

区 分	利用料金(1時間当たり)	
	右記以外	営利を目的とした利用
会 議 室	570円	1,130円
研修室(和室1室)	570円	1,130円
研修室(和室全室)	850円	1,680円

備考

- 1 使用時間が1時間に満たない場合は、1時間として算定する。
- 2 物品等の販売・展示会等での使用は、営利を目的とした使用とする。

(14) 利用状況 (令和7年度) 28,229人



比一②

道の駅ひない 大館市比内軽食・直売コーナー「とっと館」

「道の駅ひない（比内鶏の里）」の中核的施設として、地場産秋田杉の集成材ほか木材がふんだんに使われている。内部は軽食・直売・物産の3コーナーに分かれており、新鮮な農林水産物の直売や比内地鶏、とんぶりなどの地域特産物の提供ほか観光情報の提供などを行い、県内外の多くの利用者に親しまれるとともに地域の産業振興に資することを目的に建設。

- (1) 名 称 **大館市比内軽食・直売コーナー**（TEL50－7700）
- (2) 所 在 地 大館市比内町扇田字新大堤下93－11
- (3) 工 期 平13. 3. 19～13. 7. 31
- (4) 開 設 平13. 8. 4
- (5) 設 計 昭建築設計室
- (6) 施 工 者 建物本体工事：丸山建設(株)
看板設置工事：(株)佐野組
- (7) 面 積 建築面積 321.79㎡ 床面積 241.17㎡
- (8) 建物構造 木造平家建
- (9) 総事業費 99,981千円

建 設 費 （千円）		財 源 （千円）	
建物本体工事費	85,785	国庫補助金	44,972
看板設置工事	2,104	地方債	39,000
工事監督費	1,995	一般財源	16,009
工事雑費	60		
備品費	9,904		
手数料・負担金	133		
計	99,981	計	99,981

- (10) 施設の概要 軽食コーナー 31.17㎡ うどん・そば等軽食の提供
直売コーナー 64.43㎡ 新鮮な農林水産物の直売
物産コーナー 55.35㎡ 特産物ほか土産品の提供
- (11) 開館時間 午前9時～午後6時
定休日 年末年始、1月～3月の木曜日（休日の場合は翌日）
- (12) 指定管理者 (株)比内物産開発
- (13) 使用料金 無 料
- (14) 利用状況 (令和7年度) 76,508人

大ー⑦②

大館スカイパーキング

安全かつ円滑な道路交通を確保するため交通安全対策の観点から建設されたもので、現在は屋外平面部分を利用した定期駐車専用駐車場として利用されている。

- | | |
|-----------|--|
| (1) 名 称 | 大館スカイパーキング (都市計画課 TEL43-7082) |
| (2) 所 在 地 | 大館市字馬喰町17 |
| (3) 工 期 | 平5. 6. 25～6. 3. 15 |
| (4) 開 場 | 平6. 4. 1 |
| (5) 設 計 | (株)パスコ |
| (6) 施 工 者 | (株)イトウ |
| (7) 面 積 | 敷地 983.52㎡ 建物 2,290.52㎡ |
| (8) 建物構造 | 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 |
| (9) 総事業費 | 780,000千円 (国庫補助金 195,000千円、市費 585,000千円) |
| (10) 駐車台数 | 17台 (平面部分) ※長さ 5.5m以下、幅 2.3m以下 |
| (11) 利用時間 | 通年、終日使用可能 |
| (12) 駐車料金 | 定期駐車券 7,600円/月 (1ヵ月単位での販売) |
| (13) 管理運営 | 大館市 (都市計画課) |
| (14) 利用状況 | (令和7年度)・定期駐車券発行枚数 97枚 |

大ー⑦③

犬都記念公園 ドッグラン

平成17年10月に完成した犬都記念公園は、公園全体が駐車場を併設したドッグランとなっており、ドッグラン (A) とドッグラン (B) の2つのエリアが整備されている。

大館市は「忠犬ハチ公」のふるさととしても知られ、犬と密接なかかわりがあることから、犬都記念公園は大館市を象徴する施設となっている。

- | | |
|-----------|--|
| (1) 名 称 | 犬都記念公園ドッグラン (都市計画課 TEL43-7082) |
| (2) 所 在 地 | 大館市釈迦内字上大留 |
| (3) 面 積 | 4,976㎡ |
| (4) 施設の概要 | ドッグラン ((A)1,617㎡、(B)239㎡)、駐車場31台、管理棟1棟、シェルター2基、パラソル付きベンチ2基、ドッグポール2基 |
| (5) 利用料金 | シーズン券 2,000円、1ヵ月券 500円 |
| (6) 利用期間 | 4月下旬～10月31日 (雨天時休園) |
| (7) 利用時間 | 午前9時～午後5時 |
| (8) 利用状況 | (令和7年度)
①シーズン券 145件
②1ヵ月券 128件
③利用人数 4,654人
④利用頭数 4,511頭 |



大-⑦④

秋 田 犬 の 里

- (1) 名 称 大館市観光交流施設「秋田犬の里」(TEL59-4649)
- (2) 所 在 地 大館市御成町一丁目13番1号
- (3) 工 期 平30. 3. 19～令2. 1. 31
- (4) 開 設 令元. 5. 8
- (5) 設 計 基本：(有)アトリエ建築設計室
実施：三浦・坂本設計共同体
詳細設計：(株)創研コンサルタント
- (6) 施 工 者 建築工事：白川・藤和特定建設工事共同企業体
電気設備工事：奥羽電気設備(株)
機械設備工事：(株)田中工業所
ペレットボイラー設置工事：古家燃料(株)
展示工事：(株)乃村工藝社
H30周辺整備工事：白川建設(株)
H30街灯設置工事：大館桂工業(株)
H31周辺整備工事：白川建設(株)
- (7) 面 積 敷地 16,741.19㎡ 延べ面積 1,246.17㎡ 建築面積 1,359.36㎡
- (8) 建 物 構 造 鉄骨造 二階建て
- (9) 総 事 業 費 1,068百万円
(国 267百万円、県 237百万円、地方債 430百万円、一般財源 134百万円)
- (10) 施設の概要 会議室 46.75㎡
イベントコーナー 94.50㎡
秋田犬展示室 95.20㎡
芝生広場 2,546.07㎡
多目的広場 5,762.24㎡
駐車場 5,924.27㎡
- (11) 管 理 運 営 大館市 (観光課)
- (12) 利 用 状 況 211,778人 (令和7年度)
- (13) 開 館 時 間 午前9時～午後5時
- (14) 休 館 日 12月31日及び1月1日
- (15) 料 金 (1)秋田犬の里使用料

区分	使用の単位	使用料
会議室	1時間につき	11,680円
イベントコーナー	1時間につき	23,360円
秋田犬展示室	1時間につき	23,360円
犬一時預かり室ペット 用ケージ	1ケージ1時間につき	580円

(2) 芝生広場及び多目的広場使用料

使用の単位		使用料
1区画 (200㎡)	1日につき	157,700円
	1時間につき	17,520円

(3) 鉄道パーク使用料

区分	使用の単位	使用料
手こぎトロッコ	1人1回につき	200円

(4) 駐車場使用料

使用の単位		使用料
1区画	1日につき	10,510円
	1時間につき	1,160円

